

ネットワークビデオレコーダー
Web マニュアル
— **S** シリーズ —

※ご注意※

NVR の初期 IP アドレスを必ず変更
して、ご使用をお願いいたします。

第1章 序章

1.1 安全にお使いいただくために

この取扱説明書は、使用者が製品を正しく使用し、危険や財産上の損失がないようにするためのものです。注意事項は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告：警告を無視した場合、重傷または死亡の原因となることがあります。

- 製品の設置は、資格保有者が行い、設置地域の電気安全規制を厳密に遵守する必要があります
- 火災や感電の危険を避けるため、製品を設置する前に、雨や湿気にさらされないようにしてください。
- ヒートシンク、パワーレギュレーター、プロセッサなど、高温になる部品には触れないこと
- DC/AC 12VまたはPoEによって電源供給を受けることができます。
- プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください
- 製品を壁や天井に設置する場合は、装置を固定する必要があります
- 正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。お客様ご自身でカメラの分解は行わないでください

注意事項：注意事項を無視した場合、けがや故障の原因となることがあります。

- カメラを使用する前に、電源電圧が正しいことを確認してください
- 極端に高温または低温の場所、埃や湿気の多い場所での保管や設置、また高い電磁波にさらさないこと
- 製造元が推奨する部品のみを使用する
- カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えないこと
- 熱の蓄積を防ぐために、カメラ周辺の空気の循環を妨げないこと
- レーザー光線はイメージセンサーを損傷する可能性があります。イメージセンサーの表面は、レーザービーム装置が使用されている場所には露出しないようにしてください。
- レンズカバーに付着したほこりをブローアで除去する
- カメラの表面は、乾いたやわらかい布で拭いてください。頑固な汚れは、少量の洗剤で湿らせた柔らかい布で落とし、乾拭きしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの揮発性の溶剤は、表面の仕上げを損なう可能性があるため使用しないでください
- 将来の輸送用コンテナを確保するため、パッケージを保存します。

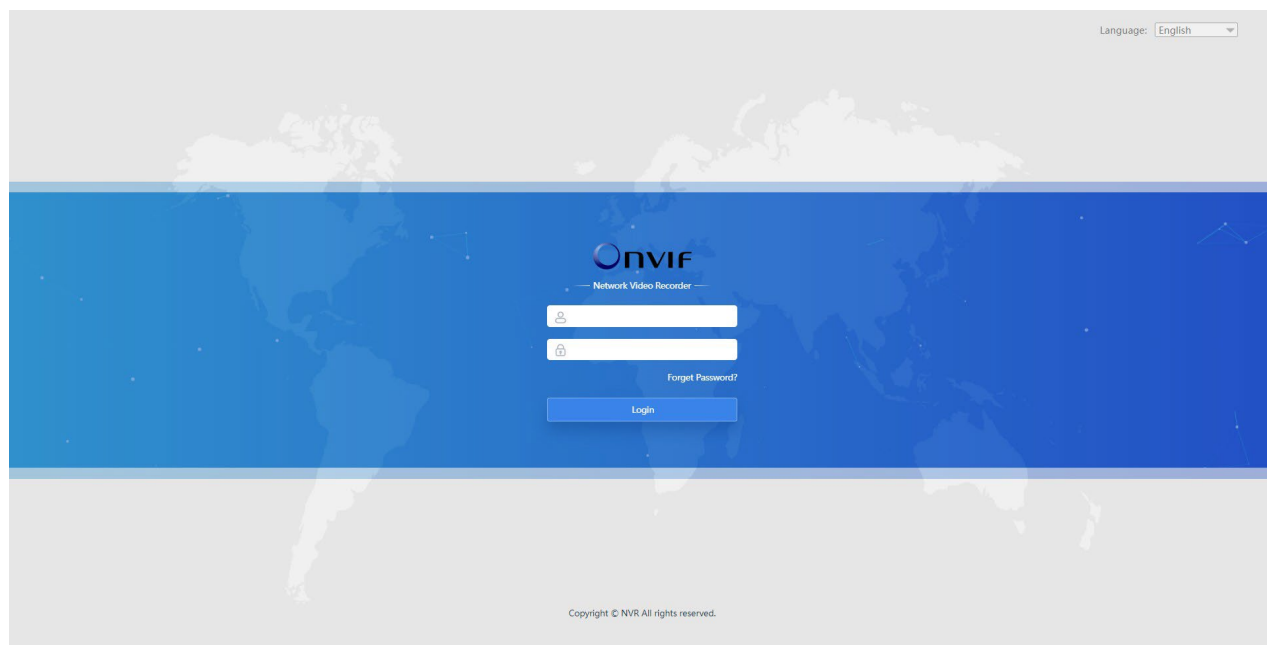
第2章 製品紹介

2.1 はじめに

- ユーザー管理に対応し、管理者はアクセス権を持つ複数のユーザーを作成することができます。
- 情報のインポート／エクスポートの操作・設定をサポート。
- 自動再起動対応。
- Windows、LinuxのCGIに対応。
- プラグインフリーモードに対応。


第3章 ウェブ設定

※パソコンのIP設定は、ネットワークカメラを見てください。



3. 1概要

3.1.1 アカウント設定

 **注:** NVRファームウェア・バージョンxx.9.0.3以上のみ、アカウントのアクティベーションをサポートします。

ステップ1. adminアカウントにパスワードを設定します。

Activation

User Name admin

Password

Confirm

Language English

Next

 注

1. パスワードは8文字以上32文字以下で設定してください。
2. パスワードには、数字と文字が1文字ずつ含まれている必要があります。
3. また、アクティベーション・画面でシステム言語を選択することができます。

ステップ2. パスワードの再設定に使用するセキュリティ質問を設定し、アカウント設定を完了します。

10問の問題が用意されており、好きなものを選んで答えを設定することができます。また、カスタマイズされた問題も用意されています。

この手順を飛ばした場合は、「設定」→「システム設定」→「ユーザー管理」で再度設定することも可能です。

Security Question Setting

Question1: What's your father's name?

Answer1:

Question2: What's your father's name?

Answer2:

Question3: What's your father's name?

Answer3:

Skip Finish

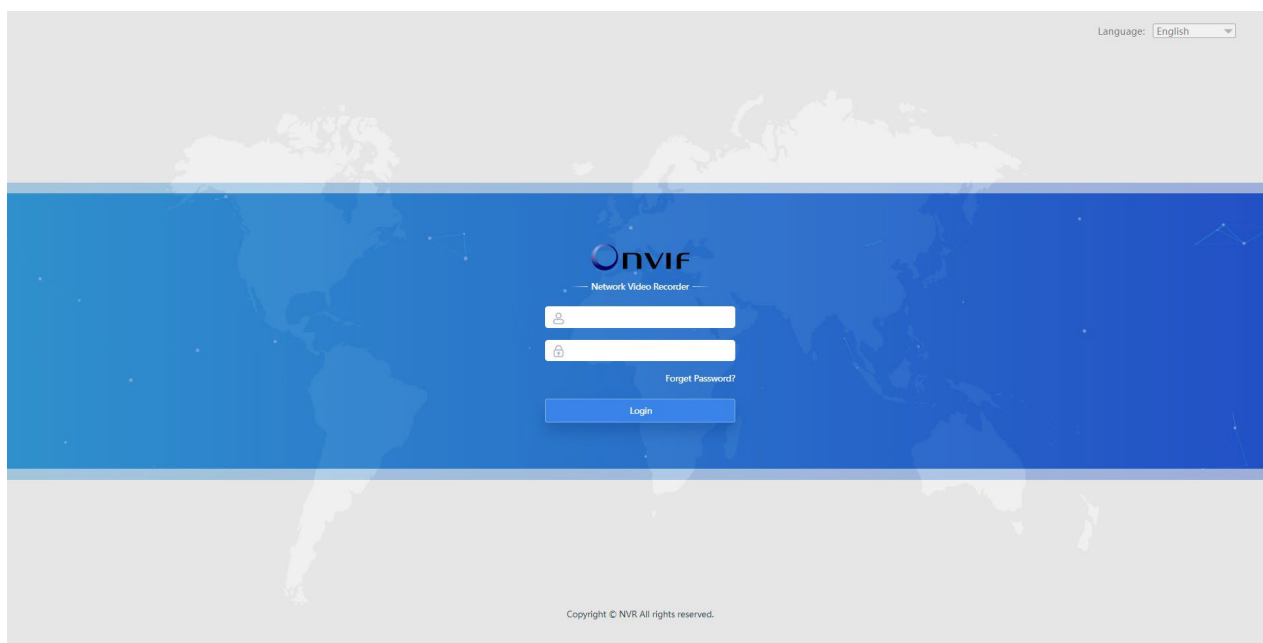
3.1.2 ログイン

ステップ1: 画面の右上にある言語を選択します。

ステップ2: ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックして、NVRウェブページにログインします。

注

- NVRファームウェアのバージョンがxx.9.0.3以上の場合、ログイン前にパスワードを設定してください。
- パスワードの入力を4回間違えると、アカウントがロックされます。
- パスワードを忘れた場合、[Forget Password?](#) をクリックしてパスワードをリセットします (NVR ファームウェア バージョン xx.9.0.3 以降でのみサポートされています。)



ステップ3: NVRのWebページは、標準的なブラウザで使用できます。

NVRのバージョンがV7x. 9. 0. 4以上であれば、NVRでプラグイン・フリー・モードがサポートされます。プラグインなしでブラウザ上でビデオをプレビューすることができます。Windowsシステムでは、プラグイン・フリー・モードはChrome/Firefox/Microsoft Edgeブラウザでサポートされています。MAC システムの場合、プラグイン・フリー・モードは Chrome/Firefox/Safari ブラウザでサポートされています。

Local Configuration

Plugin Mode	Plugin-free
-------------	-------------

Primary Stream When Fullscreen

Note: Plugin-Free mode only supports H.264.

Save

3.1.3 メニュー

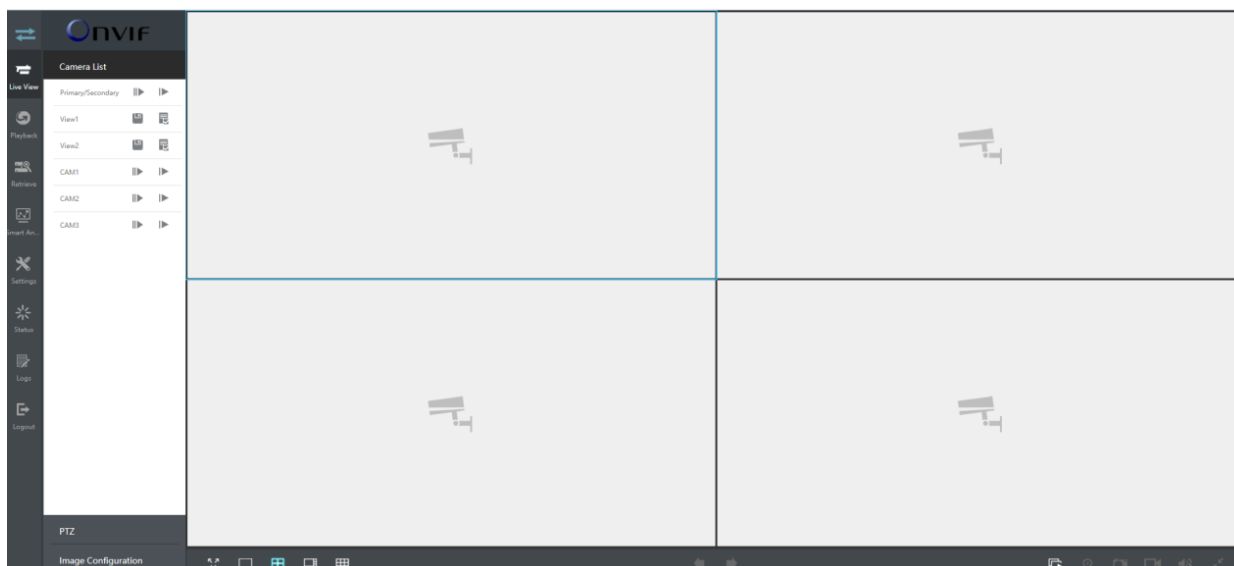









表1.

アイコン	説明
	メニューの表示/非表示
	ライブビュー(ライブ表示)
	ビデオ再生
	ファイルのバックアップ
	スマート分析
	カメラ、録画、イベント、システムの設定を行います。
	デバイス情報、ネットワークステータス、カメラステータス、ディスクステータス、イベントステータス、グループステータス、オンラインユーザー、パケットキャプチャツールの確認

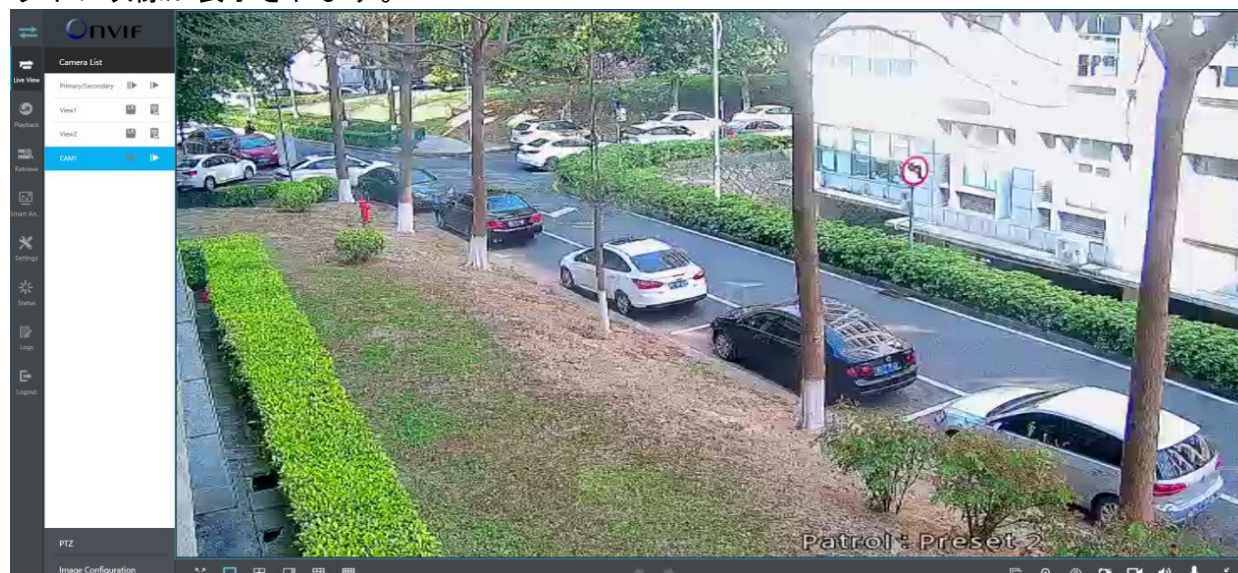
アイコン	説明
	操作ログを確認する
	ログアウトする

3.2 ライブビュー

3.2.1 カメラ一覧

「ライブ表示」をクリックすると、カメラ一覧ページで、追加したカメラの一覧と再生ができます。

再生するカメラを1つのウィンドウで選択します。また、▶▶をクリックするとすべてのカメラのライブ映像が表示されます。




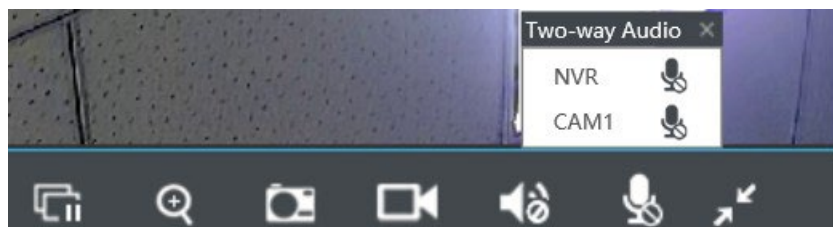
ライブビューに関するアイコンの説明

表2.

アイコン	説明	アイコン	説明
	プライマリーストリームを再生する		セカンダリーストリームを再生する
	ビューを保存する		デフォルトビューを再生する
	フルスクリーン		1画面モード
	4画面モード		8画面モード
	9画面モード		16画面モード
	前のページへ		次のページ
	すべてのライブビューを停止する		すべてのライブビューを開始
	デジタルズーム		
	スナップショット		録画
	オーディオオン		オーディオオフ
	双方向オーディオ		オリジナル画像
	画像のリサイズ		Display Settings

双方向オーディオ

 をクリックして、双方向音声を有効にします。カメラまたは NVR と会話するよう選択することができます。






注

1. オーディオI/O画面をサポートしないNVRの場合、Webページを通じてカメラと会話することのみをサポートします。
2. 双方向オーディオは、1つのチャンネルが同時に話すことのみをサポートします。
3. 再生のオーディオを含め、双方向オーディオとオーディオ機能は併用できませんが、あるWebページで双方向オーディオを使用している場合、別のページでオーディオを使用することは可能です。
4. NVRのオーディオ・画面は単独でのみ使用できます。他のデバイスがNVRと会話しているときに、他のチャンネルのオーディオまたは双方向オーディオを同時に有効にすると、デバイスが応答がない状態であることを示します。
5. ます。

そして、ライブビューで表示される各チャンネルには、ビデオロスやアラームのステータスを示す複数のアイコンが表示されます。

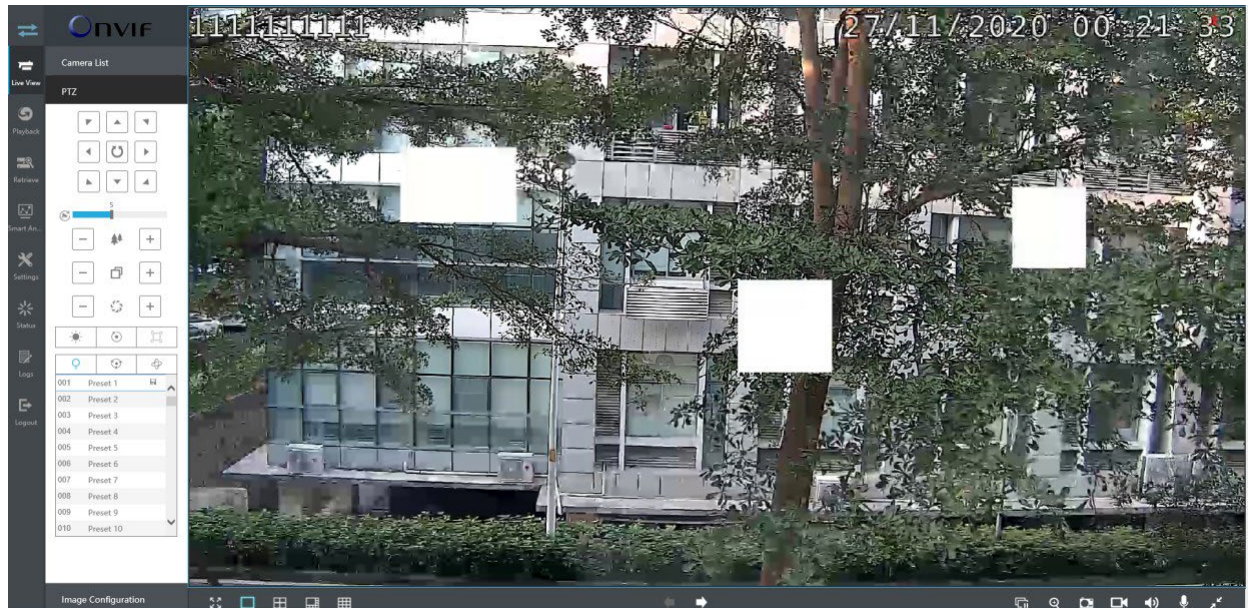
NVR ユーザーマニュアル | 3 - ウェブ設定 | 18

表3.

アイコン	説明
	ビデオロスを示す
	動体検知アラームを表示します。
	VCAアラームを表示します。

3.2.2 PTZ ※PTZカメラのみ対応します。

PTZカメラの場合、PTZページでPTZ、プリセット、パトロール、パターン、30秒間の照明、レンズ初期化、補助フォーカスを直接操作することが可能です。

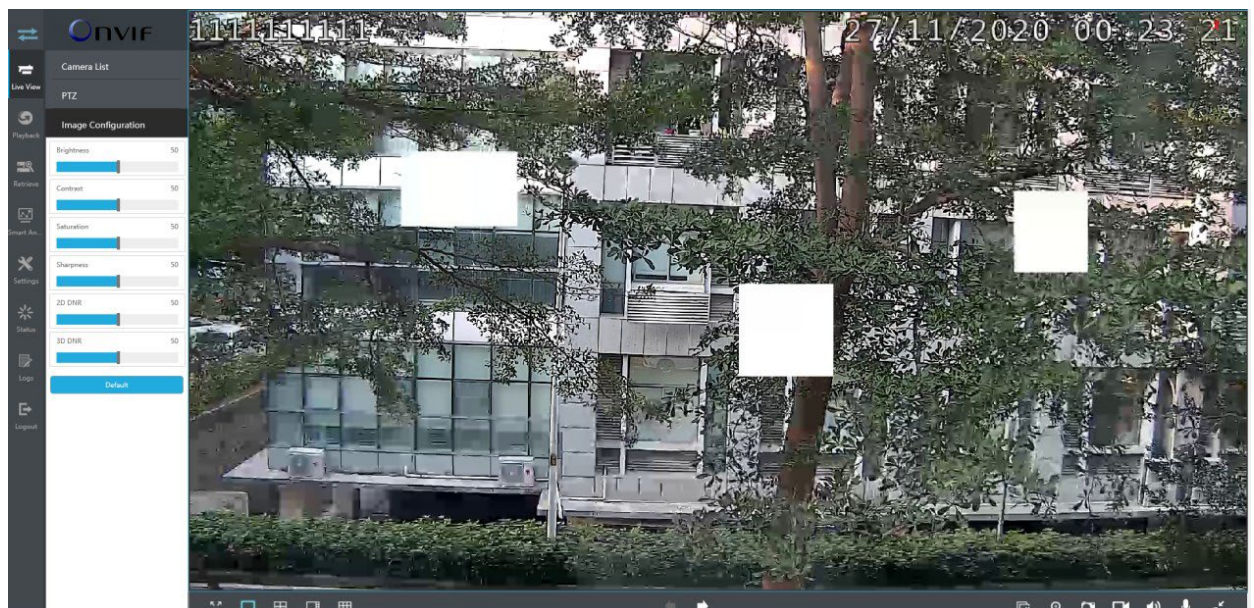


注

1. 30秒間の照明、レンズ初期化、補助フォーカス、フィッシュアイ自動追尾を使用する前に、カメラのバージョンが4X.7.0.74以上であることを確認してください。
2. また、フィッシュアイチャンネルはPTZ操作に対応しており、ユーザーはフィッシュアイビューのオンボード監視角度を調整することができます。

3.2.3 イメージ設定

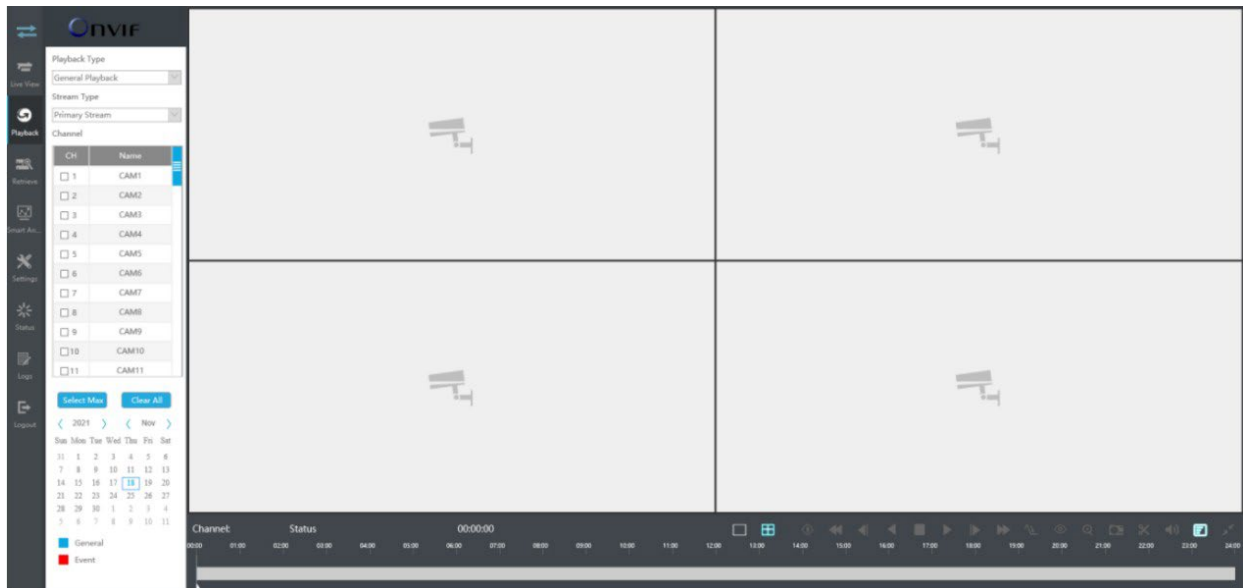
イメージ設定ページで、画像の明るさ、コントラスト、彩度、シャープネス、ノイズリダクションのレベルを調整できます。



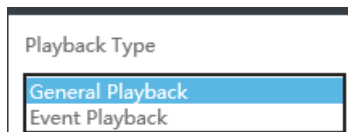
3. 3再生

再生は、録画した時間に合わせて動画を再生したり、録画した動画ファイルを指定した時間帯に再生することができます。複数のチャンネルの同時再生に対応します。

3.3.1 一般的な再生



ステップ1. 再生タイプで “一般再生” を選択します。



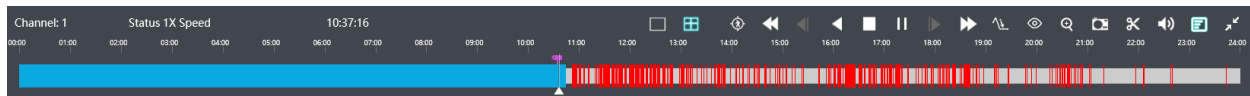
ステップ2. ストリームタイプを選択します。

メインストリームとサブストリームがあります。



ステップ3. 再生するチャンネルを選択します。

ステップ4. 日付を選択します。



各チャンネルにツールバーがあり、選択したチャンネルに対応するツールバーは1つだけです。ツールバーには、複数の種類の録画を表示することができます。録画期間中にどのようなイベントが発生したかを示しています。それぞれの色の意味は次のとおりです。

青—一般

赤—イベント

「動画再生ツールバーの説明」画像では、この期間には連続録画とイベント録画があります。

注


1. 再生が一時停止中でも、速度を調整することが可能です。
2. Webページの再生時間バーには、モニターと同じように、ロックされたアイコンやタグ付きのアイコンも表示されます。

表5.

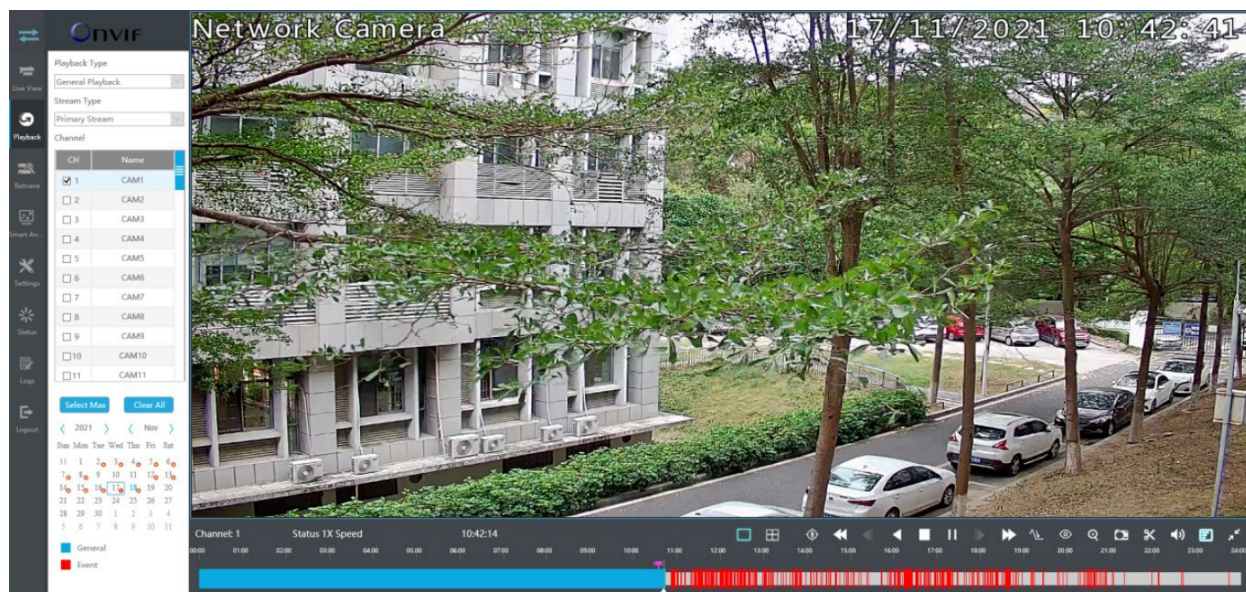
アイコン	説明	アイコン	説明
	1画面モード		4画面モード
	スマート検索		再生スピードダウン
	コマ戻し		巻き戻し
	停止		再生
	一時停止		コマ送り
	再生スピードアップ		デジタルズーム
	スナップショット		バックアップ
	オーディオオン		オーディオオフ
	POS情報の表示		オリジナル画像
	画像のリサイズ		Lock
	Quivk Tag		CustomTag

スマート検索NVRはすべてのモーション・イベントを検索し、選択したエリアのすべてのイベント録画ファイルを再生することができます。以下は、この機能を使用する手順です。

(1) 再生画面に移動し、再生するチャンネルを選択します。

(2)  をクリックすると、スマート検索が有効になります。

(3) フレーム内に検索範囲を指定し、NVRはその検索エリアのモーション・イベントを検索した後、ビデオ・ファイルを再生します。



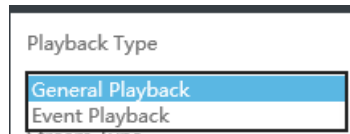
注

1. NVRファームウェア・バージョンxx.9.0.10以降のみスマート・検索をサポートします。
2. カメラのバージョンがxx.7.0.76以上であることを確認してください。
3. スマート検索とスマートプレイスピードは併用できません。
4. スマート検索は、1チャンネル再生時のみ有効です。

3.3.2 イベント再生



ステップ1. 再生タイプに「イベント再生」を選択します。



ステップ2. ストリームタイプ（ストリームの種類）を選択します。

Primary StreamとSecondary Streamがあります。



ステップ3. チャンネルを選択します。

再生したいチャンネルを選択します。選択したチャンネルの数に応じて、再生画面が自動的に調整されます。

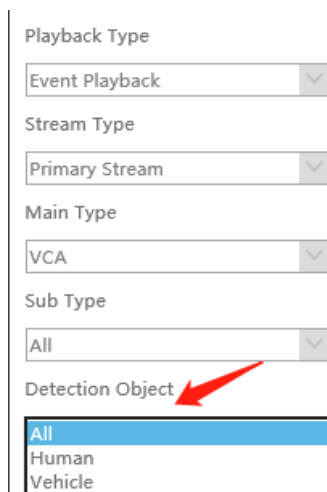
ステップ4. イベントの種類を選択します。



特に、Detection Objectは、Main TypeがVCAで、Sub Typeが複数のVCAイベントのうちの1つである場合にのみ利用できるオプションです。選択したDetection Objectに従って、該当する条件を満たす映像を検索し、再生することができます。Detection Objectは3つのオプションがあります。「すべて」、「人」、「車両」の3つのオプションがあります。

人・車両検知対象機能をサポートする VCA イベントは以下の通りである。

- 侵入検知
- 退出検知
- 動体検知
- ラインクロス検知
- 徘徊検知



Playback Type
Event Playback

Stream Type
Primary Stream

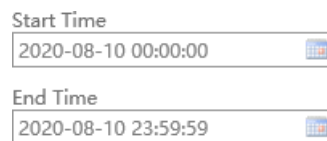
Main Type
VCA

Sub Type
All

Detection Object


- All
- Human
- Vehicle

ステップ5：開始時刻と終了時刻を選択し、「検索」をクリックして録画を検索します。

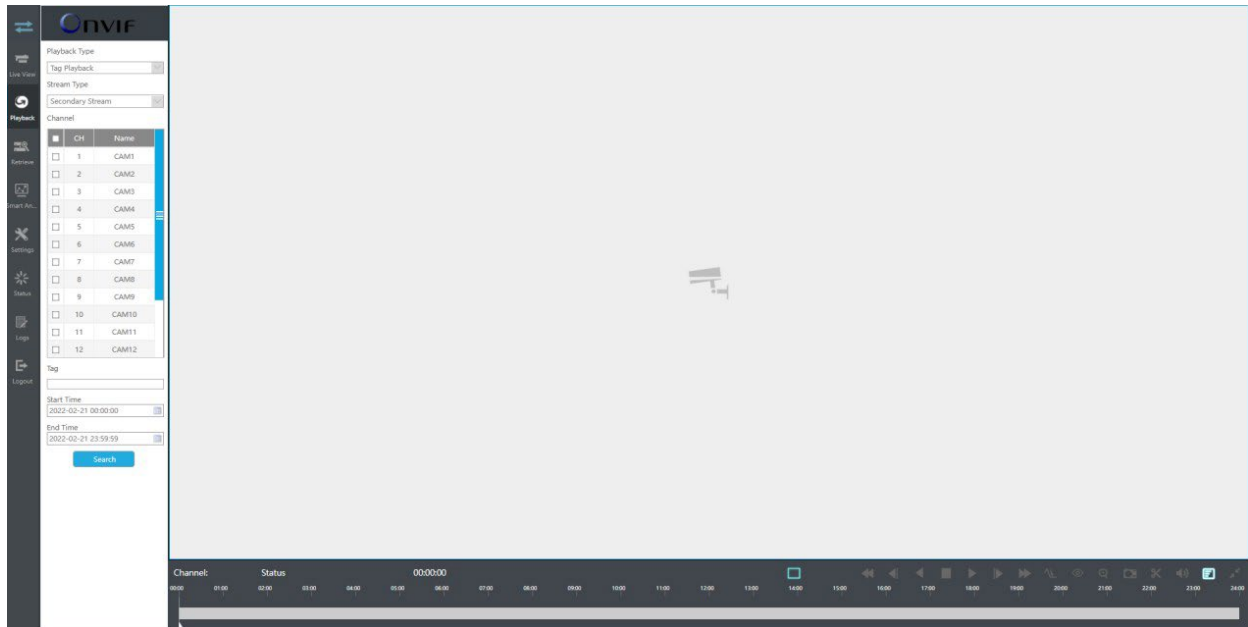


Start Time
2020-08-10 00:00:00

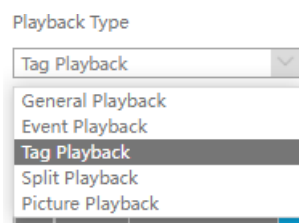
End Time
2020-08-10 23:59:59

ステップ6：「検索」をクリックした後、すべての動画がリストされます。再生前と再生後の時間を設定し、 をクリックしてビデオを再生します。

3.3.3 タグ再生



ステップ1. 再生タイプに「Tag Playback」を選択します。



ステップ2. ストリームタイプ（ストリームの種類）を選択します。

Primary StreamとSecondary Streamがあります。



ステップ3. チャンネルを選択します。

再生したいチャンネルを選択します。選択したチャンネルの数に応じて、再生画面が自動調整されます。

ステップ4. タグ名やタグのキーワードを入力する。




ステップ5 : 開始時刻と終了時刻を選択します。

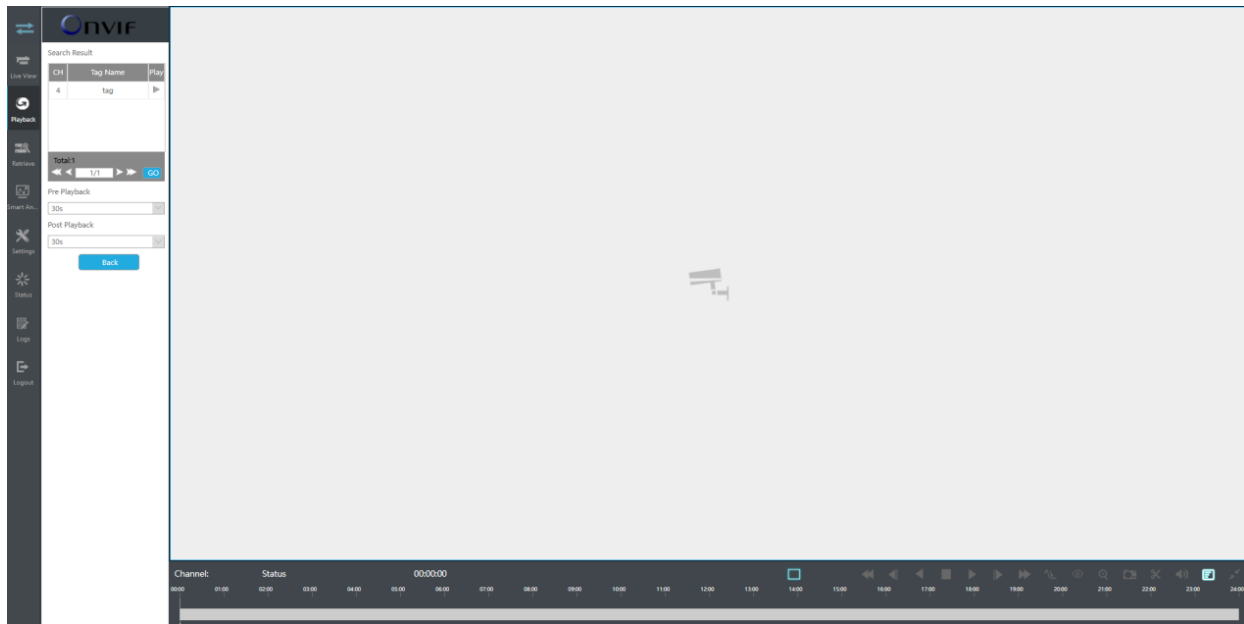
Start Time

2020-08-10 00:00:00

End Time

2020-08-10 23:59:59

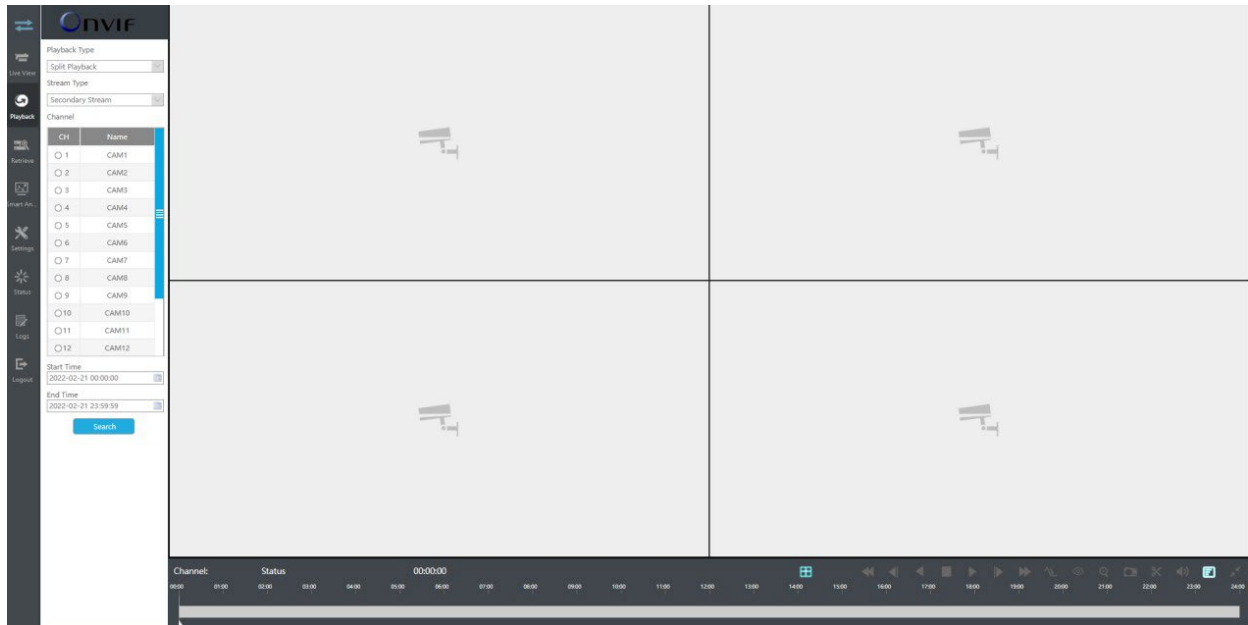
ステップ 6: **Search** をクリックすると、タグ付けされた動画がすべてリストアップされます。再生前と再生後の時間を設定し、 をクリックして、タグ付けされたビデオを再生します。



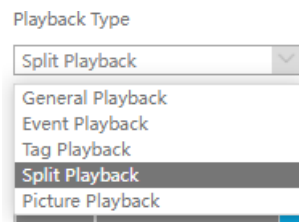
動画再生ツールバー 説明は、再生バーでロックやタグ付けされていないアイコンを除き、一般再生と同じです。

3.3.4 分割再生

分割再生は、ビデオチャンネルを選択し、時間範囲を設定することで、ビデオファイルを指定時間帯に分割し、異なる時間のビデオを同時に再生できるようにします。



ステップ1. 再生方式で「Split Playback」を選択します。



ステップ2. ストリームタイプを選択します。

Primary StreamとSecondary Streamがあります。

ステップ3. チャンネルを選択するチャンネルを選択します。

再生したいチャンネルを選択する。複数選択することはできません。

ステップ4. 開始時刻と終了時刻を設定します。

開始時刻と終了時刻を設定し、「検索」ボタンをクリックすると、選択したチャンネルの再生録画が検索されます。検索可能範囲は24時間以内です。

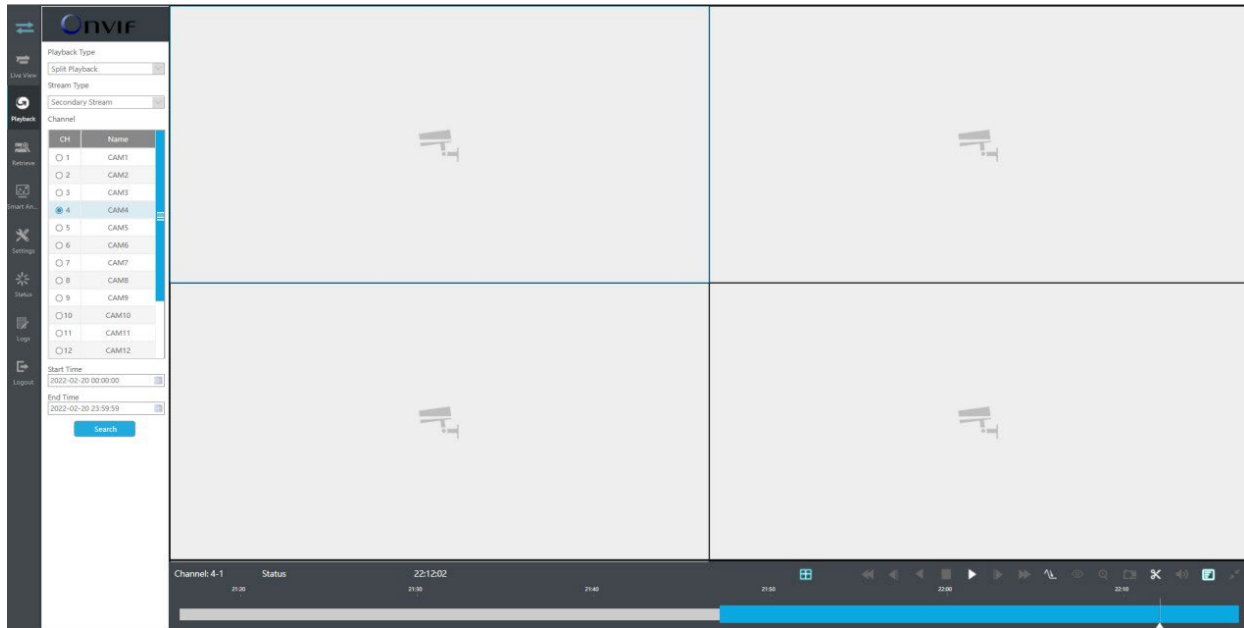
Start Time

2020-08-10 00:00:00

End Time

2020-08-10 23:59:59

ステップ5: “検索”をクリックすると再生が始まり、デフォルトでは4つの分割画面で表示されます。



3.3.5 画像再生

The screenshot displays the ONVIF web interface for video playback. The interface is divided into a left sidebar and a main content area.

Left Sidebar:

- ONVIF logo
- Playback Type: Picture Playback
- Main Type: Live View Snapshot
- Channel list table
- Start Time: 2022-02-21 00:00:00
- End Time: 2022-02-21 23:59:59
- Search button

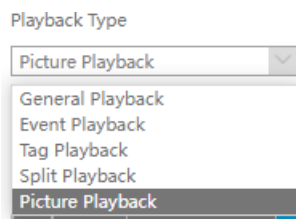
Channel List Table:

Ch	Name
<input type="checkbox"/>	1 CAM1
<input type="checkbox"/>	2 CAM2
<input type="checkbox"/>	3 CAM3
<input type="checkbox"/>	4 CAM4
<input type="checkbox"/>	5 CAM5
<input type="checkbox"/>	6 CAM6
<input type="checkbox"/>	7 CAM7
<input type="checkbox"/>	8 CAM8
<input type="checkbox"/>	9 CAM9
<input type="checkbox"/>	10 CAM10
<input type="checkbox"/>	11 CAM11
<input type="checkbox"/>	12 CAM12

Main Content Area:

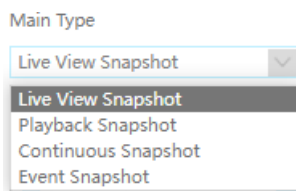
A large, mostly blank gray area representing the video playback window. A small icon of a camera is visible in the center. At the bottom of this area, there are navigation controls: a play button, a stop button, and a double arrow button.

ステップ1. 再生タイプで “Live View Snapshot ”を選択します。



ステップ2. チャンネルを選択します。

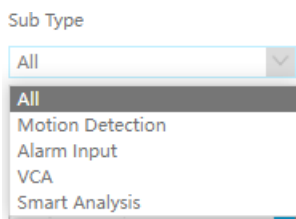
ステップ3. ライブビュースナップショット、再生スナップショット、連続再生、イベント再生など、スナップショットの種類を選択します。



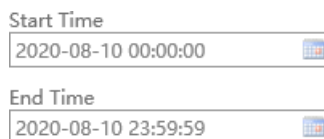
ライブビュースナップショットおよび再生スナップショットとは、ライブビューおよび再生ページで手動で撮影した画像ファイルのことを指します。

連続再生は、Storage->スナップショット->Continuous スナップショット で、連続的なスナップショットのスケジュールを設定する必要があります。

イベントスナップショットには、モーション検出、アラーム入力、VCA、スマート分析が含まれます。対応するイベントを選択し、「検索」をクリックすると、イベントスナップショット・ファイルを取得できます。





ステップ4 : 開始時刻と終了時刻を選択します。




ステップ5 : 「検索」をクリックすると、すべてのスナップショットがリストアップされま

す。

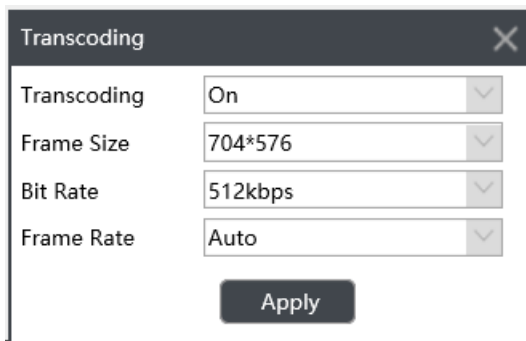
 をクリックすると選択した画像が再生され、 をクリックすると画像が自動再生されます。

3.3.6 トランスコード

トランスコード機能により、リモート再生が可能です。

ステップ1. ビデオの検索または再生に成功した後、トランスコードしたいチャンネルを選択して 

をクリックすると、トランスコード・パネルが展開されます。



Transcoding	
Transcoding	On
Frame Size	704*576
Bit Rate	512kbps
Frame Rate	Auto

Apply

ステップ2. トランスコーディングのパラメータを設定します。

ネットワークの状況に応じて、トランスコーディング、フレームサイズ、ビットレート、フレームレートを設定します。ネットワークの状況が悪いほど、トランスコード・パラメータは小さくなります。

ステップ3. 「適用」をクリックして、トランスコードを有効にします。

3.3.7 動画ファイルのバックアップ

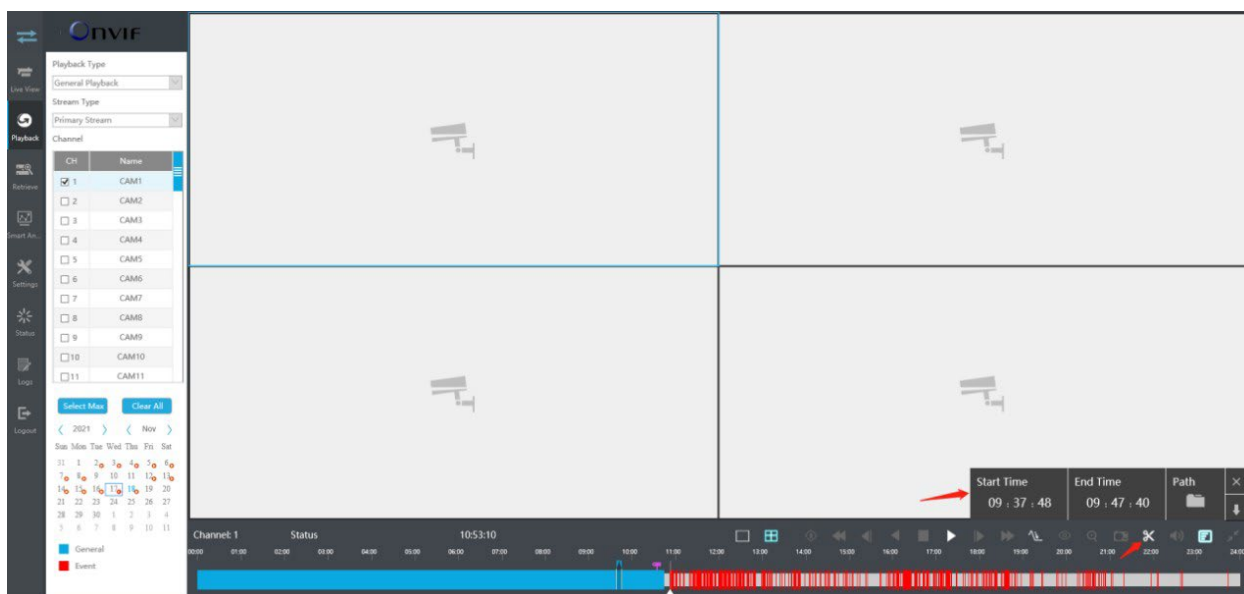
録画したファイルはWEBから指定してバックアップが可能です。

ステップ1. 再生画面で、カメラ、ストリームタイプ、録画ビデオを検索する日付と時刻を選択します。

ステップ2. 録画したファイルをバックアップに選択します。



をクリックし、タイムバーの縦線をドラッグして、開始時刻と終了時刻を選択します。



ステップ3. 録画したファイルをバックアップする。

 をクリックしてファイルパスを選択し、 をクリックして録画したファイルをバックアップします。



3.3.8 画像ファイルのバックアップ

ステップ1. Local Configurationインターフェースで再生画像のパスをブラウズします。

Local Configuration

Record File Path

Preview Picture Path


Playback Picture Path


Connection Type

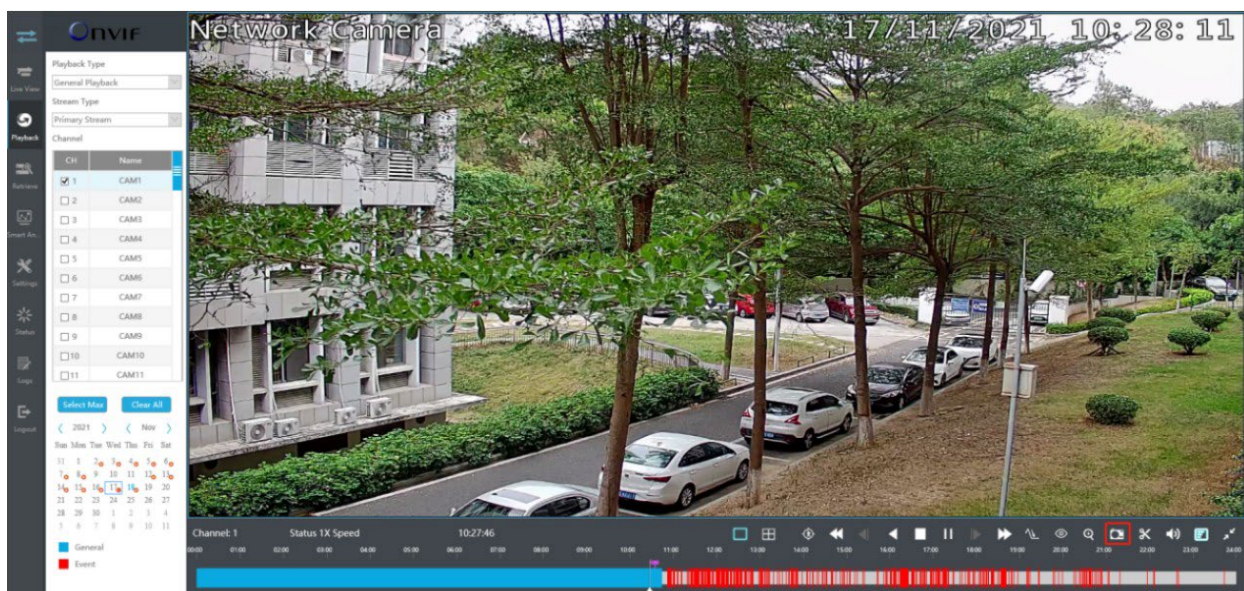
Play Mode

Auto Logout

Primary Stream When Fullscreen

ステップ2.  をクリックして、ピクチャリングビデオの再生を保存します。その後、バックアップ画像は前に設定したファイルパスに見つけることができます。

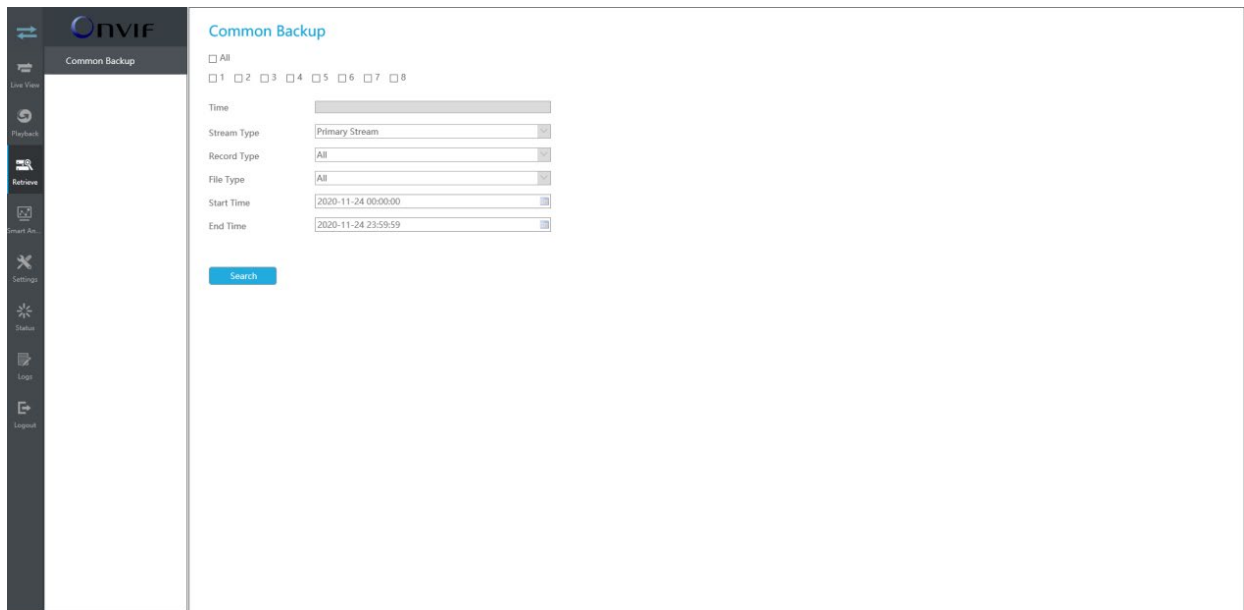
 **注意：**再生スナップショットを取得する前に、ブラウザを管理者として実行することをお勧めします。



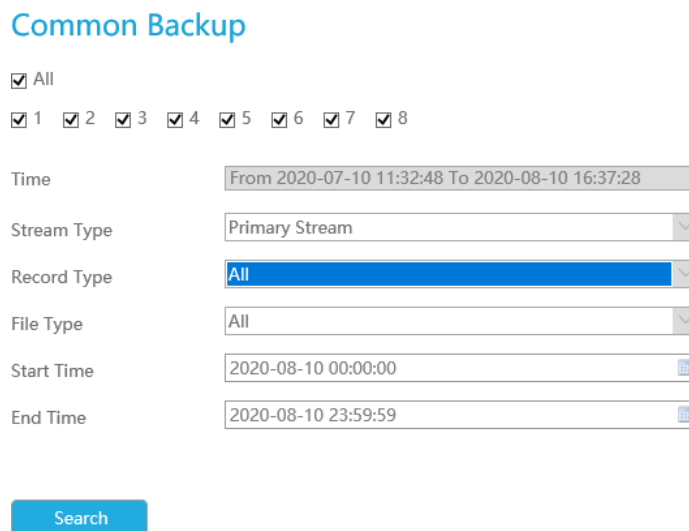
3. 4検索

3.4.1 一般バックアップ

設定したストリームタイプ、録画タイプ、ファイルタイプによる録画ファイルの検索をサポートします。

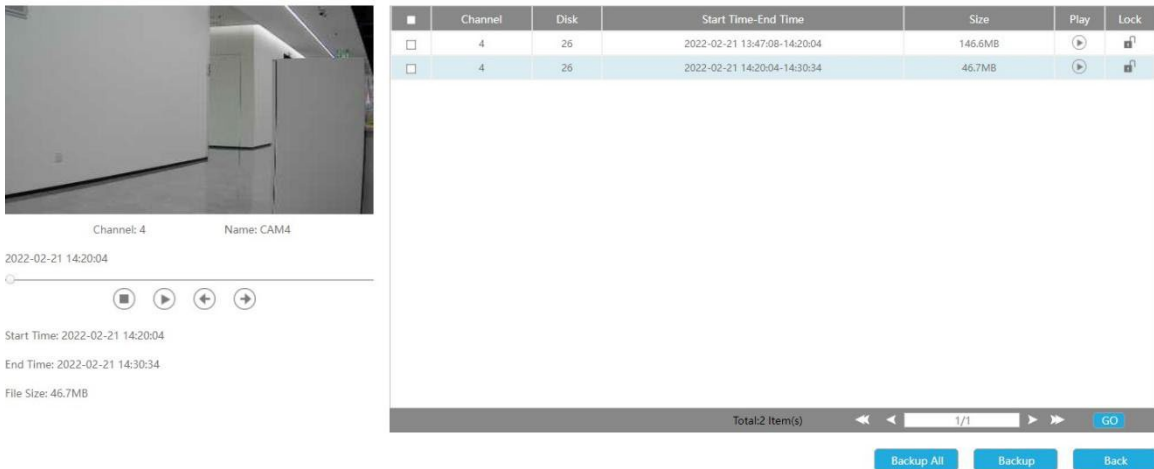


ステップ1：検索条件を設定し、 をクリックして動画を検索します。



検索結果を一覧で表示することができます。

Common Backup



The screenshot displays the 'Common Backup' interface. On the left, there is a video player showing a hallway scene. Below the video, the following information is displayed: Channel: 4, Name: CAM4, 2022-02-21 14:20:04, Start Time: 2022-02-21 14:20:04, End Time: 2022-02-21 14:30:34, and File Size: 46.7MB. On the right, there is a table with the following data:



	Channel	Disk	Start Time-End Time	Size	Play	Lock
<input type="checkbox"/>	4	26	2022-02-21 13:47:08-14:20:04	146.6MB		
<input type="checkbox"/>	4	26	2022-02-21 14:20:04-14:30:34	46.7MB		

At the bottom of the interface, there are three buttons: 'Backup All', 'Backup', and 'Back'. A pagination bar at the bottom right shows 'Total: 2 Item(s)' and '1/1' with a 'GO' button.

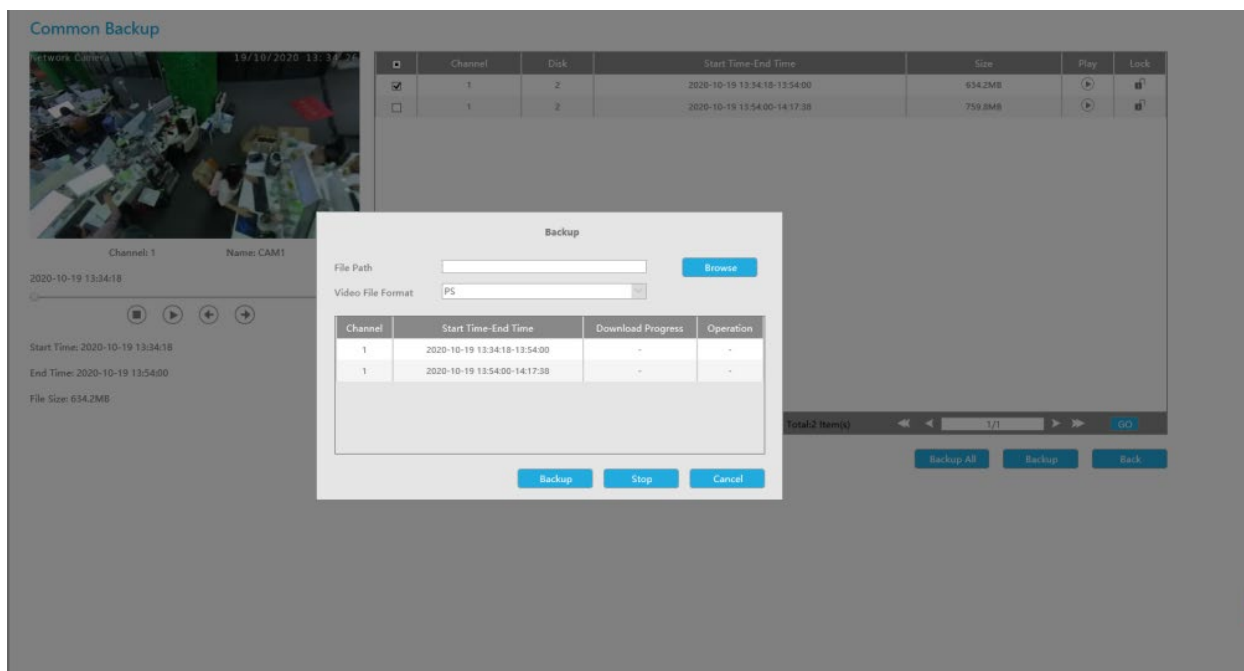
ステップ2: バックアップしたいファイルを選択し、。また



をクリックすると、録画したすべてのビデオをバックアップできます。

一般バックアップ インターフェースでは、ビデオの再生、ロック、ロック削除がサポートされています。 をクリックすると再生され、 をクリックするとロックされます。動画がロックされると、ロックされた動画があるファイルは上書きされません。

ステップ3: MP4、AVI、PS形式などのエクスポートする形式を選択し、「バックアップ」をクリックして、選択したファイルをエクスポートします。



3.4.2 イベントのバックアップ

イベントタイプに応じた画像や映像の検索とバックアップをサポートします。イベントタイプには、動体検出、アラーム入力、スマートイベント、スマート解析があります。

Event Backup

Main Type	<input type="text" value="Motion Detection"/>
Stream Type	<input type="text" value="Primary Stream"/>
Start Time	<input type="text" value="2022-04-18 00:00:00"/>
End Time	<input type="text" value="2022-04-18 23:59:59"/>
Pre Playback	<input type="text" value="0s"/>
Post Playback	<input type="text" value="10s"/>
Channel	<input type="checkbox"/> All
	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 14 <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 16

Search

特に、Detection Objectは、Main TypeがVCAで、Sub Typeが複数のVCAイベントのうちの一つである場合にのみ利用できるオプションです。選択したDetection Objectに従って、該当する条件を満たす映像を検索し、再生することができます。Detection Objectは3つのオプションがあります。「すべて」、「人」、「車両」の3つのオプションがあります。

人・車両検知対象機能をサポートする スマートイベントは以下の通りである。

- 侵入検知
- 退出検知
- 動体検知
- ラインクロス検知
- 徘徊検知

Event Backup

Main Type	VCA
Sub Type	All
Detection Object	All All Human Vehicle
Stream Type	
Start Time	2022-04-18 00:00:00
End Time	2022-04-18 23:59:59
Pre Playback	0s
Post Playback	10s
Channel	<input type="checkbox"/> All <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 14 <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 16

ステップ1：検索条件を設定し、「検索」ボタンをクリックすると、動画が検索されます。

Event Backup

Main Type	Motion Detection
Stream Type	Primary Stream
Start Time	2022-04-18 00:00:00
End Time	2022-04-18 23:59:59
Pre Playback	0s
Post Playback	10s
Channel	<input type="checkbox"/> All <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 14 <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 16

検索結果を一覧で表示することができます。

Event Backup

The screenshot shows the 'Event Backup' interface. On the left, there is a video player for 'Channel: 1' (Name: CAM1) with a timeline and playback controls. The video title is '2022-04-06 02:22:45'. Below the player, it shows 'Start Time: 2022-04-06 02:22:45', 'End Time: 2022-04-06 02:23:05', and 'File Size: 11.6MB'. On the right, there is a table with columns: Source, Channel, Disk, Event Duration Time, and Play. The table contains 15 rows of backup items, all from 'CH1' on 'Disk 26'. The 'Event Duration Time' column shows various time ranges. The 'Play' column has a play button icon for each row. At the bottom of the table, it says 'Total:1541 Item(s)' and '1/16'. Below the table are three buttons: 'Backup All', 'Backup', and 'Back'.

Source	Channel	Disk	Event Duration Time	Play
CH1	1	26	2022-04-06 02:22:45-02:22:55	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:23:20-02:23:30	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:23:35-02:23:45	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:23:59-02:24:09	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:24:26-02:24:36	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:24:45-02:24:55	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:25:01-02:25:11	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:26:43-02:26:53	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:28:46-02:28:56	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:29:20-02:29:30	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:29:36-02:29:46	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:30:00-02:30:10	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:30:46-02:30:56	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:31:02-02:31:12	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:32:45-02:32:54	▶
CH1	1	26	2022-04-06 02:34:51-02:35:01	▶

ステップ2: バックアップしたいファイルを選択し、「バックアップ」をクリックします。また、「すべてバックアップ」をクリックして、すべての録画されたビデオをバックアップすることもできます。

イベントバックアップの画面で、▶ をクリックして動画を再生することができます。

Event Backup

This screenshot is similar to the one above, but the play button icon in the 'Play' column of the table is highlighted with a red box. The rest of the interface, including the video player and the 'Backup All', 'Backup', and 'Back' buttons, remains the same.

ステップ3：MP4、AVI、PS形式などのエクスポートする形式を選択し、「バックアップ」をクリックして、選択したファイルをエクスポートします。

Channel	Start Time-End Time	Download Progress	Operation
1	2020-10-19 13:34:18-13:54:00	-	-
1	2020-10-19 13:54:00-14:17:38	-	-

3.4.3 画像バックアップ

画像タイプに応じた画像の検索とバックアップをサポートします。画像タイプは、オール、ライブビュースナップショット、再生スナップショット、イベント再生があります。

Picture Backup

Channel All
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

Picture Type

Start Time

End Time

ステップ1：検索条件を設定し、「検索」ボタンをクリックすると、動画が検索されます。

Picture Backup

Channel All
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

Picture Type

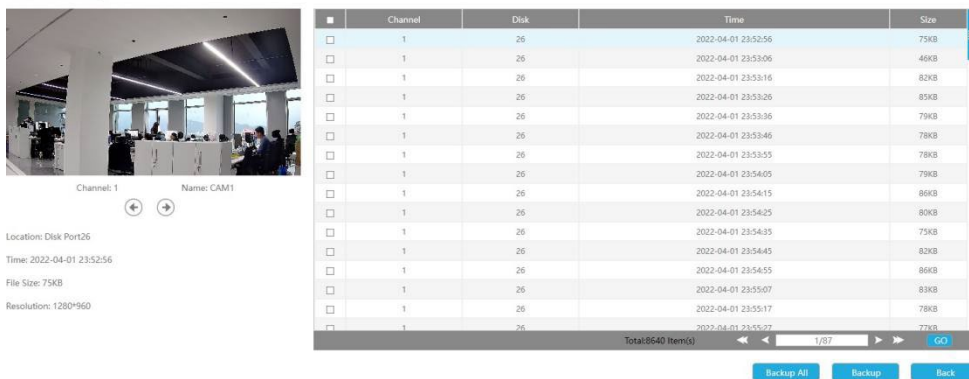
Start Time

End Time

Search

ステップ 2: バックアップしたいファイルを選択し、**Backup** をクリックします。また、**Backup All** をクリックすると、録画したすべてのビデオをバックアップすることができます。

Picture Backup



The screenshot shows the 'Picture Backup' interface. On the left, there is a video preview window showing a meeting room. Below the preview, it displays 'Channel: 1', 'Name: CAM1', 'Location: Disk Port25', 'Time: 2022-04-01 23:52:56', 'File Size: 75KB', and 'Resolution: 1280*960'. On the right, there is a table listing backup items with columns for Channel, Disk, Time, and Size. The table contains 17 rows of data, all from Channel 1, Disk 25, with various timestamps and file sizes ranging from 75KB to 83KB. At the bottom of the table, it shows 'Total: 1640 Item(s)' and '1/87'. Below the table are three buttons: 'Backup All', 'Backup', and 'Back'.

Channel	Disk	Time	Size
1	25	2022-04-01 23:52:56	75KB
1	25	2022-04-01 23:53:06	46KB
1	25	2022-04-01 23:53:16	82KB
1	25	2022-04-01 23:53:26	85KB
1	25	2022-04-01 23:53:36	79KB
1	25	2022-04-01 23:53:46	78KB
1	25	2022-04-01 23:53:55	78KB
1	25	2022-04-01 23:54:05	79KB
1	25	2022-04-01 23:54:15	86KB
1	25	2022-04-01 23:54:25	80KB
1	25	2022-04-01 23:54:35	75KB
1	25	2022-04-01 23:54:45	82KB
1	25	2022-04-01 23:54:55	86KB
1	25	2022-04-01 23:55:07	83KB
1	25	2022-04-01 23:55:17	78KB
1	25	2022-04-01 23:55:27	77KB

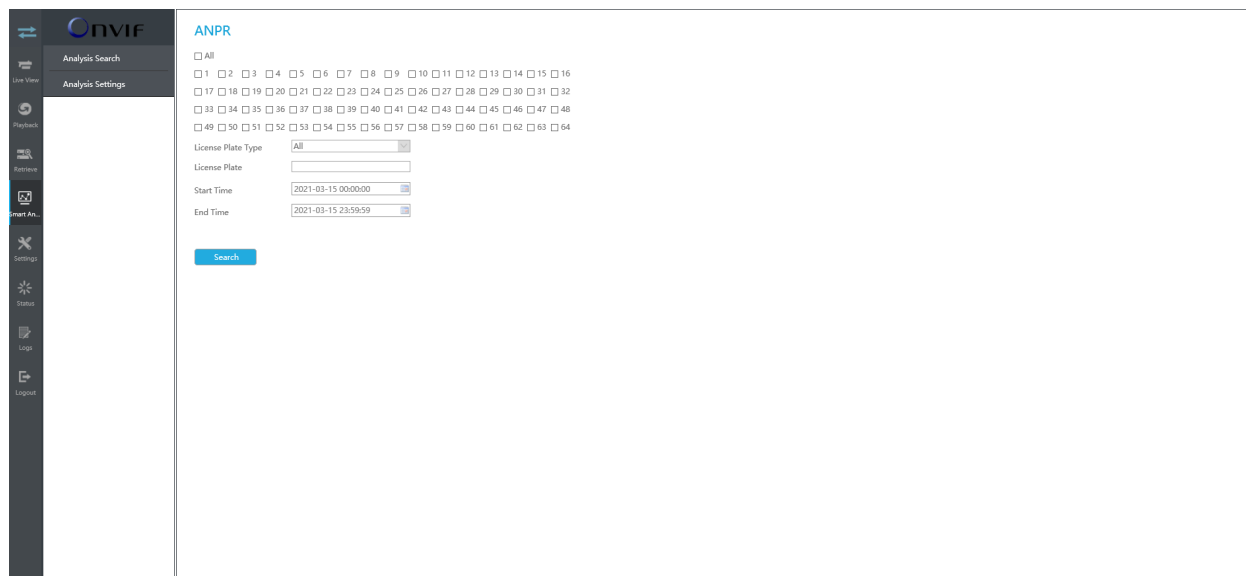
ステップ 3: スナップショットの解像度を自動、704*576、640*360から選択し、「バックアップ」をクリックして、選択したスナップショットをエクスポートすることができます。



The screenshot shows a 'Backup' dialog box. It has a title bar 'Backup'. Below the title bar, there is a 'Snapshot Resolution' label and a dropdown menu currently set to 'Auto'. At the bottom of the dialog, there are two buttons: 'Backup' and 'Cancel'.

3.5 スマート解析

ANPRログ、顔検出結果、人数カウント結果、ヒートマップ結果をページ内で確認できるほか、ANPR、顔検出、人数カウント、ヒートマップの設定も可能です。



3.5.1 解析検索

3.5.1.1 ANPR

ANPRログの検索とバックアップができます。

ANPR

All
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

License Plate Type:
License Plate:
Plate Color:
Vehicle Type:
Vehicle Color:
Vehicle Speed:
Direction:
Start Time:
End Time:

ANPR

Channel: 3 Name: CAM3

2021-11-17 14:39:22

Channel: 3
Time: 2021-11-17 14:39:22
License Plate: RT578N Plate Type: Visitor
Plate Color: N/A Vehicle Type: N/A
Vehicle Color: N/A Vehicle Speed: 0
Direction: N/A Country / Region: N/A
ROI_ID: N/A

ANPR Logs

All

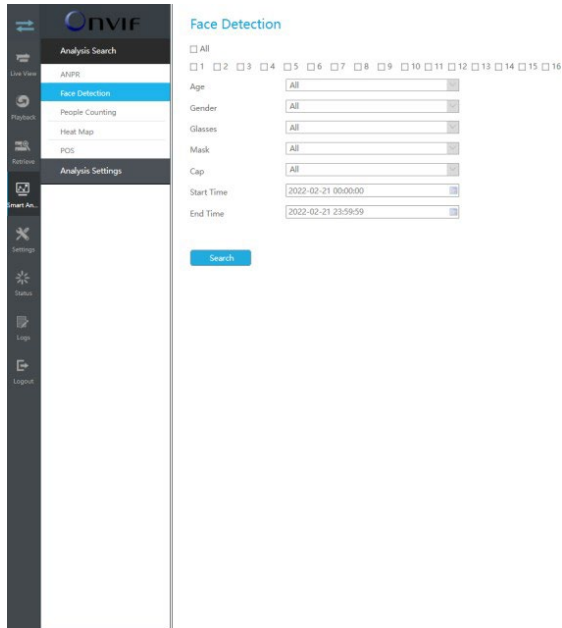
RT-578-N -578-N -578-N T-578-N


CH3 2021-11-17 14:39:32 CH3 2021-11-17 14:39:32 CH3 2021-11-17 14:39:34 CH3 2021-11-17 14:40:22

Total 4 Item(s) 1/1

3.5.1.2 顔検出

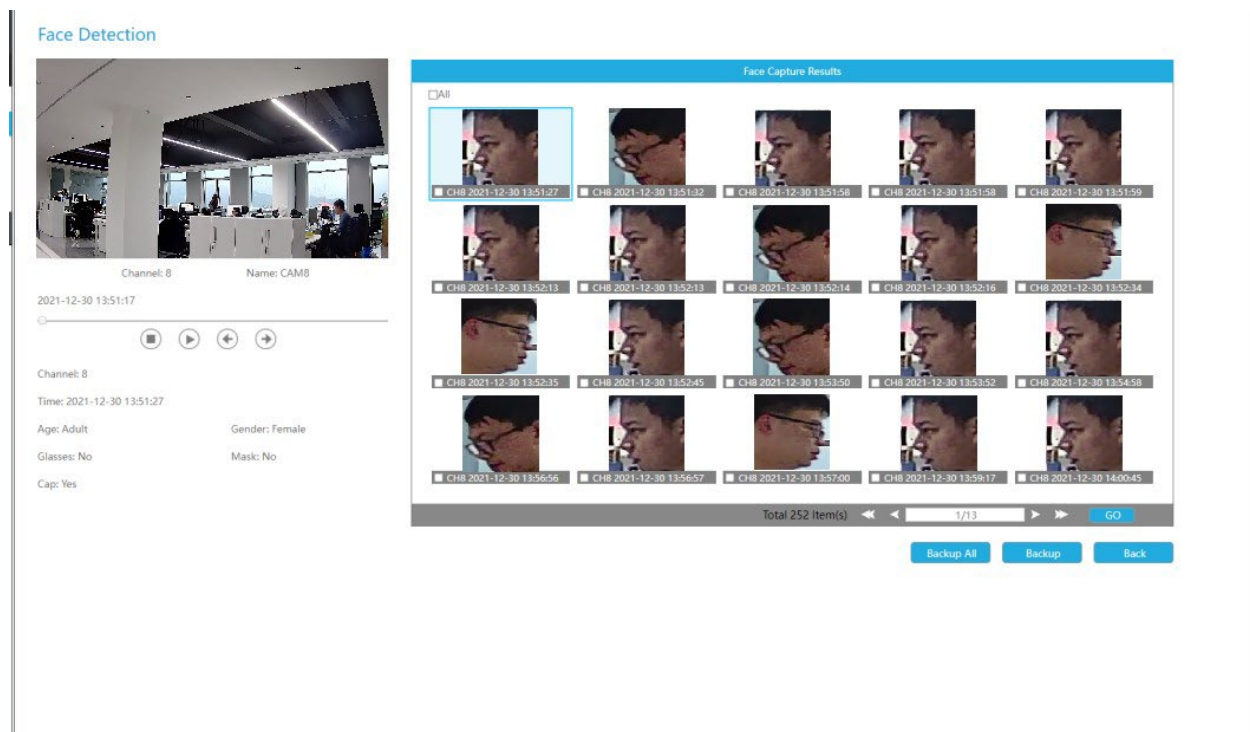
顔検出の結果を検索・バックアップすることができます。



該当する情報を入力し、検索ボタン（）をクリックして検索すると、顔検出の結果が表示されます。結果一覧には顔のスナップショットが表示され、ページの左側には完全な画像ビデオと顔の属性情報が表示されます。顔検出の結果は、年齢、性別、眼鏡、マスク、帽子などの顔属性でフィルタリングすることができます。

注

- カメラがAIシリーズで、バージョンがV4x. 7. 0. 79-r25以上であることを確認してください。
- NVRのモデルがNRxxxx-xxT/Hであることを確認してください。




▶ をクリックすると動画が再生されます。

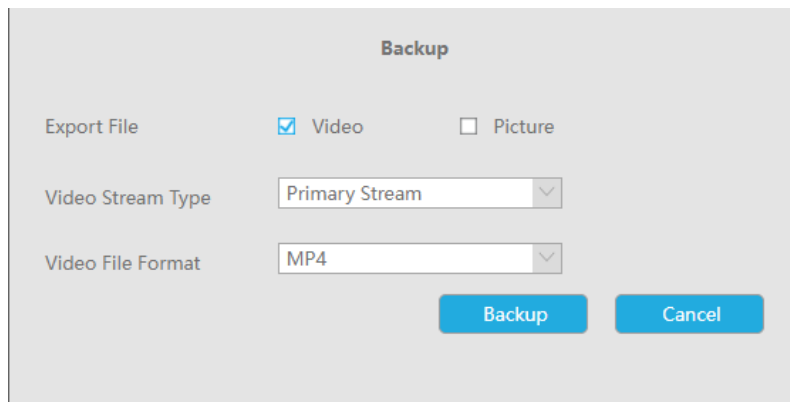


顔検出結果のバックアップには、2つの方法があります。

- 顔検出のログをバックアップする。

ステップ1: バックアップしたい顔検出結果にチェックを入れ、バックアップボタン () をクリックします。

ステップ2: エクスポートファイルの種類、ビデオストリームの種類、ビデオファイルの形式を選択し、エクスポートボタンをクリックします。



- すべてバックアップ

ステップ1: 「バックアップ all  」ボタンをクリックします。

ステップ2: エクスポートファイルの種類、ビデオストリームの種類とビデオファイルの形式を選択し、エクスポートボタンをクリックします。そして、選択されたエクスポートファイルの種類に対応するファイルを取得します。

3.5.1.3 人数のカウント

人数カウントの結果を検索・バックアップすることができます。

People Counting

Search Type	<input type="text" value="People Counting by Camera"/>
Channel	<input checked="" type="checkbox"/> All <input checked="" type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 14 <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 16
Line	<input type="checkbox"/> All <input type="checkbox"/> Total <input type="checkbox"/> Line 1 <input type="checkbox"/> Line 2 <input type="checkbox"/> Line 3 <input type="checkbox"/> Line 4
Report Type	<input type="text" value="Daily Report"/>
Statistic Type	<input type="text" value="People Entered"/>
Start Time	<input type="text" value="2022-04-18 00:00:00"/>

ステップ1：検索条件を入力する。

検索タイプ：カメラ別人数カウント、グループ別人数カウント、リージョナル人数カウントなど、最初に検索の種類を選択します。

(1) 「カメラで人数カウント」を選択する。

チャンネル：対応するチャンネルを確認します。複数チャンネルの同時検索に対応しています。

ライン：検出ラインを確認します。チャンネルの同時検索に対応しています。

レポートの種類：日報、週報、月報、年報があります。

統計の種類：入場人数、退場人数、合計が利用可能です。

開始時刻：検索を開始する時刻を入力します。

(2) 「グループ別人数カウント」を選択する。

グループ：グループを選択します。

レポートの種類：日報、週報、月報、年報があります。

統計の種類：入場人数、退場人数、合計が利用可能です。

開始時刻：検索を開始する時刻を入力します。

(3) 「リージョナル人数カウント」を選択する。


チャンネル：対応するチャンネルを確認します。複数チャンネルの同時検索に対応しています。

リージョン：検出エリアを確認します。複数エリアのレポートの同時検索に対応しています。

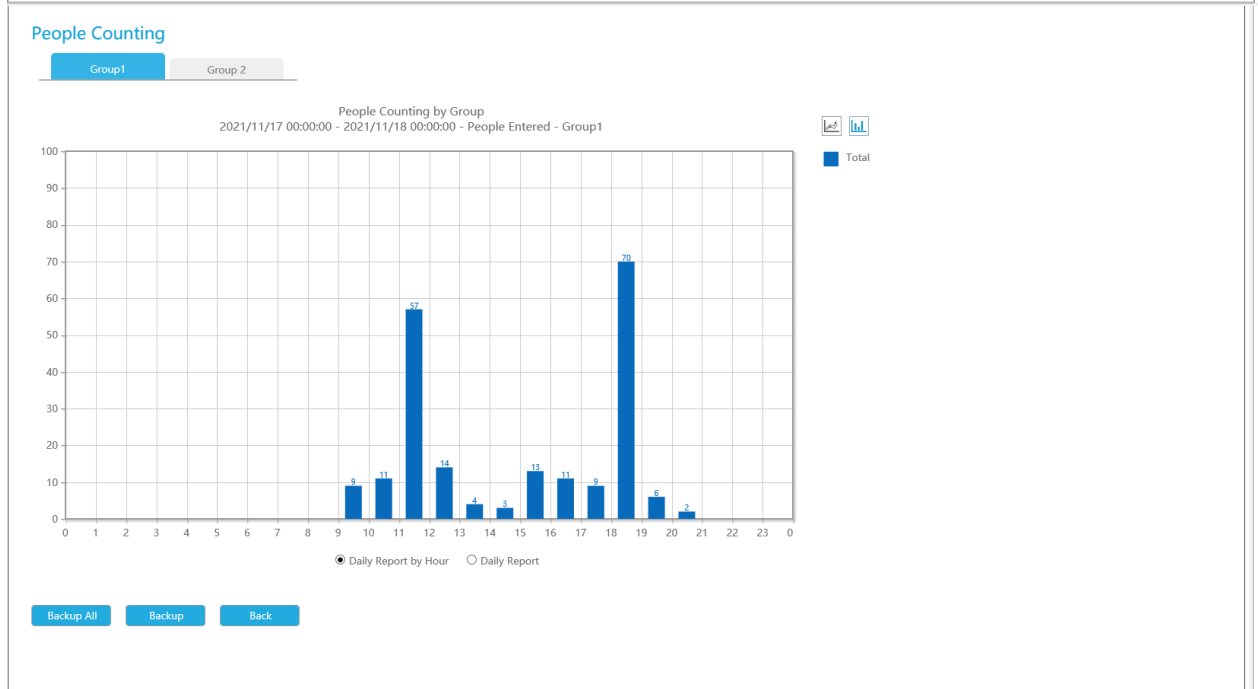
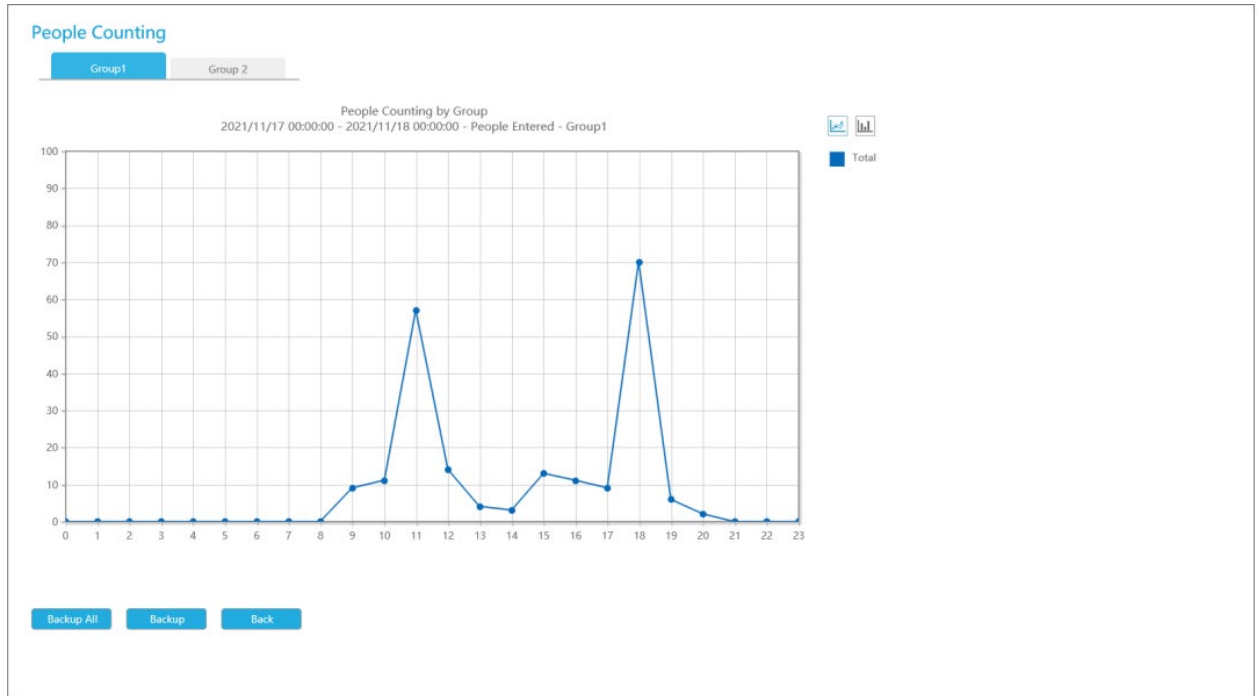
滞在期間：滞在期間を選択します。

レポートの種類：日報、週報、月報、年報があります。

開始時刻：検索を開始する時刻を入力します。


ステップ2:  をクリックすると、対応する結果が表示されます。人数カウントの結果を表示することができます。折れ線グラフと坊グラフで表示可能です。

 をクリックしてエクスポートすることができます。

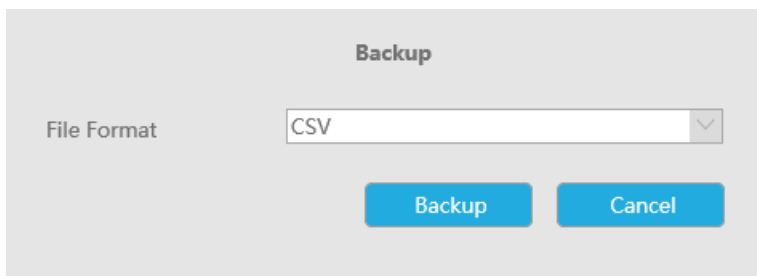


ステップ3：人数カウントの結果をバックアップすることができます。グループ別集計の場合、2つの方法で集計結果をバックアップすることができます。

(1) グループごとにバックアップする。

ステップ1：バックアップしたいグループを選択し、バックアップボタン () をクリックします。

ステップ2：ファイル形式を選択し、エクスポートボタンをクリックします。



(2) すべてバックアップ

ステップ1：「すべてバックアップ」ボタン をクリックします。

Backup All

ステップ2：ファイル形式を選択し、エクスポートボタンをクリックします。そして、対応するファイルを取得します。

3.5.1.4 ヒートマップ

ヒートマップの結果を検索や、エクスポートをすることができます。

Heat Map

All

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

Main Type

Space Heat Map

Report Type

Daily Report

Start Time

2022-04-18 00:00:00

Search

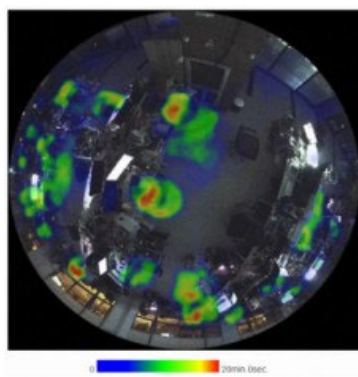
ステップ1：検索条件を入力する。

ステップ2：対応するチャンネルを確認する。複数チャンネルの同時検索に対応していません。

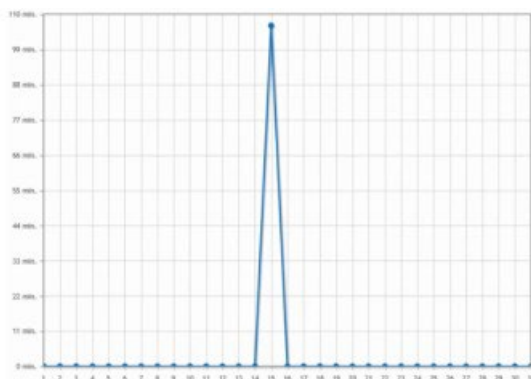
ステップ3：「メインタイプ」を選択します。スペースヒートマップと時間ヒートマップがあります。

(1) スペースヒートマップ：スペースヒートマップは、異なる色で表示されます。色の違

いは、熱量の違いを表しています。赤は最も高く、青は最も低いことを表しています。



(2) 時間ヒートマップ：時間ヒートマップは、時間帯別の熱量を折れ線グラフで表示します。



ステップ4：レポートの種類を選択します。日報、週報、月報、年報が用意されています。

ステップ5：検索したい時刻を入力します。

ステップ6： をクリックすると対応する結果が得られ、 をクリックするとそれをエクスポートすることができます。

3.5.1.5 POS

POSの結果を検索し、バックアップすることができます。

The screenshot shows the ONVIF POS search interface. The left sidebar has a menu with 'Analysis Search' selected, showing sub-items: ANPR, Face Detection, People Counting, Heat Map, and POS. Below this is 'Analysis Settings'. The main area is titled 'POS' and contains search filters: 'POS No.' with checkboxes for 'All' and '1' through '16'; 'POS Content' with a text input field; 'Start Time' with a date-time picker set to '2022-01-04 00:00:00'; and 'End Time' with a date-time picker set to '2022-01-04 23:59:59'. A blue 'Search' button is positioned below these filters.


ステップ1：検索条件を入力する。

POS No.：最初にPOS番号を選択します。

POSコンテンツ：検索したいPOS情報のキーワードを入力します。

開始時刻：検索したい開始時刻を入力します。

終了時刻：検索したい終了時刻を入力します。

ステップ2：  をクリックすると、対応する結果が表示されます。

POS

<input checked="" type="checkbox"/>	POS No.	Time	POS Information	Play
<input checked="" type="checkbox"/>	1	2021-11-01 14:32:33	111111	
<input checked="" type="checkbox"/>	1	2021-11-01 14:33:41	POS 111111 POS 222222 POS 333333	

クリックすると動画が再生



POSの結果をバックアップする方法は2つあります。

(1) 必要なPOS情報をバックアップする。

ステップ1: バックアップしたいPOS情報にチェックを入れ、バックアップボタン をクリックします。

Backup

ステップ2: エクスポートファイルの種類とビデオファイルの形式を選択して、エクスポートボタンをクリックします。

(2) すべてバックアップ

ステップ1: 「バックアップ all **Backup All**」 ボタンをクリックします。

ステップ2: エクスポートファイルの種類とビデオファイルの形式を選択し、エクスポートボタンをクリックします。そして、選択されたエクスポートファイルの種類に対応するファイルを取得します。

3.5.2 解析設定

3.5.2.1 ANPR車番認識

ANPRの設定には、「ブラック」「ホワイト」「訪問者」があります。ANPR機能を使用する際の注意点を説明します。

注

- 利用可能なHDDをNVRに挿入します。
- 対応するファームウェアのバージョンにアップグレードしてください。
 - カメラV4X. 7. 0. 72-r16以上
 - NVR: V7X. 9. 0. 7-r7またはそれ以上
- カメラとNVRの両方がLPR/AMPR機能をサポートしていることを確認します。NVRでは最大16のAMPRチャンネルがサポートされています。
- NVRがナンバープレート情報を取得できることを確認します。ポストタイプとしてデフォルトのモードであるTCPを設定してください。これは、カメラウェブページ -> LPR -> 設定 -> 一般画面で設定することができます。

LPR Message Post Settings	
Enable LPR Message Post:	<input checked="" type="checkbox"/>
Post Type:	TCP
Camera LPR Port:	3344

設定

ANPR 機能を有効にするには、次の 5 つのステップを実行します。カメラがナンバープレートを検出し、NVRがナンバープレート情報の受信を開始します。

The screenshot shows the ONVIF interface for ANPR settings. The 'ANPR' checkbox is checked. The 'Region Settings' section shows a camera view with a red bounding box around a license plate. Below the image is a table with one entry: ID 1, Name R01_1. The 'Event Settings' section shows a license key and a resolution of 1920*1080.

スマート分析→分析設定→ANPR→設定

ステップ 1: チャンネルを選択し、ANPRにチェックをいれます。

ライセンス:カメラの情報により生成されます

ライセンスステータス:有効、無効、期限切れ、非活性化など、現在のライセンスステータスを表示します。

ステップ2: 処理解像度を選択します。検出する距離が遠いほど、高い解像度が必要です。デフォルトでは1280*720です。

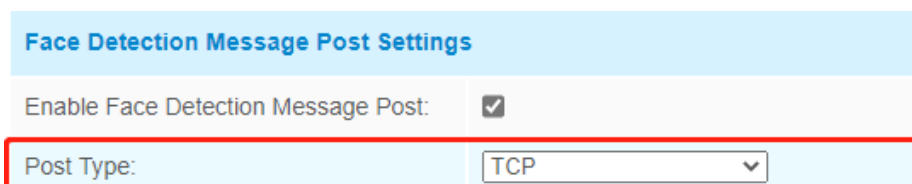
ステップ 3: LPRナイトモードを有効にしてから、LPRナイトモード有効時間を設定します。2つのオプションが利用可能です。カスタマイズと自動です。「自動」オプションは、昼と夜の自動切り替えをサポートします。

3.5.2.2 顔検出

顔検出の設定は、「顔キャプチャ」と「詳細設定」で設定されています。ここでは、顔検出機能を使用する際の注意点を説明します。

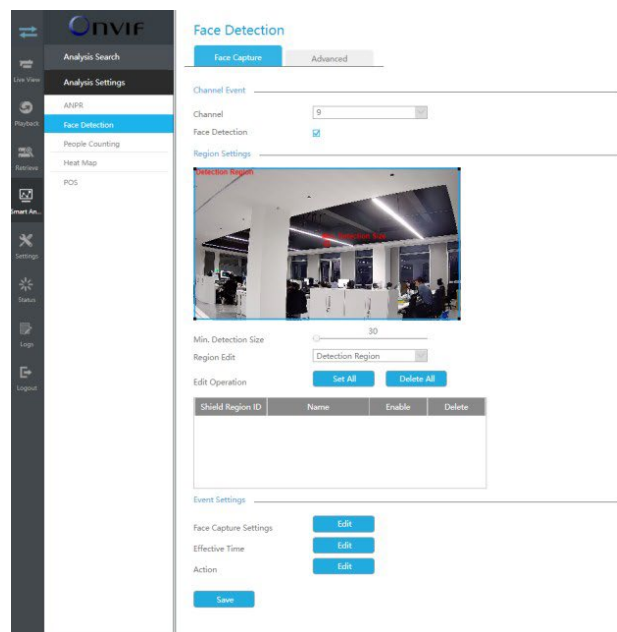
注

1. NVRに利用可能なHDDがあること、正しい録画設定がされていることを確認し、ライブビューで録画を確認できるようにします。
2. NVRが顔情報を取得できることを確認します。ポストタイプとしてデフォルトのモードであるTCPを設定してください。Camera web page → Event → Face Detection → Face Capture interface で、設定することができます。



3. カメラがAIシリーズで、バージョンがV4x. 7. 0. 79-r25以上であることを確認してください。
4. NVRのモデルがNRxxxx-xxT/Hであることを確認してください。

顔キャプチャー

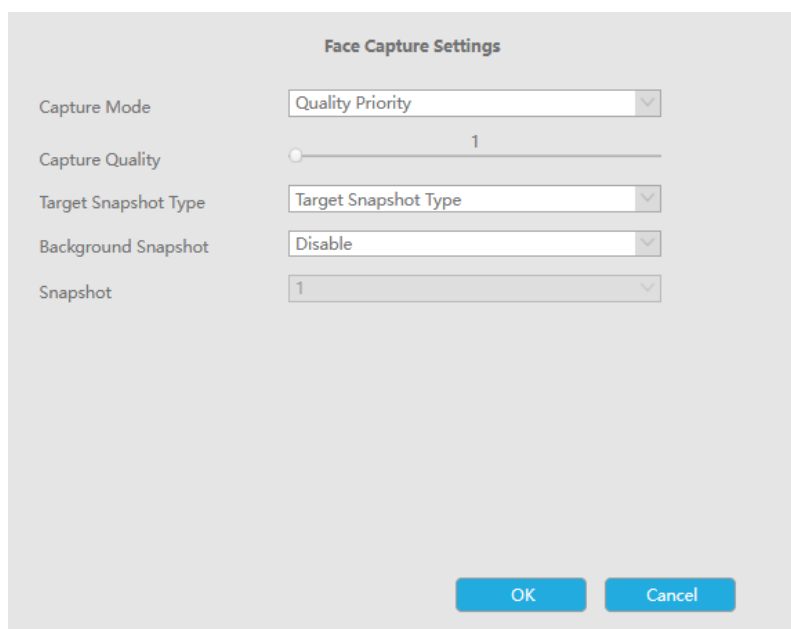


ステップ1：チャンネルを選択し、顔検出機能を有効にします。

ステップ2：最小検知サイズを設定します。


ステップ3 : 検出エリアまたはシールドエリアを設定し、直接画面上に検出エリアを描くことができます。すべて選択または、すべてクリアをクリックして、エリア全体を選択または削除することもできます。検出エリア内の面のみが検出され、シールドエリア内の検出されません。

ステップ4 : 顔キャプチャースナップショットの設定を行います。



キャプチャモード : 画質重視、フレーム重視、カスタマイズが可能です。

- 画質重視 : このモードでは、顔が検出されたときに、最も良い画質の顔スナップショットを表示します。
- フレーム重視。顔検出時に最短時間で顔スナップショットを表示するモードです。
- カスタマイズ : スナップショット間隔、斜め顔角度制限、ピッチング顔角度制限、横顔角度制限、ぼかし制限など、検出条件をカスタマイズできるモードです。

 **注** : 画質重視モードを選択することをお勧めします。

ターゲットスナップショットタイプ。顔のみ、上半身、全身を選択可能です。

- 顔だけ顔のみのスナップショットを撮影します。
- 上半身のスナップショットを撮影します。
- ホールボディ全身のスナップショットを撮影します。

「背景」にチェックを入れると、画像全体のスナップショットをもう一枚撮影します。

注：「背景」オプションのチェックの有無にかかわらず、カメラは画像全体を NVR 側に表示します。

スナップショット間隔：80ミリ秒、200ミリ秒、500ミリ秒、1秒、2秒、4秒が選択可能です。

Oblique Face Angle Limit：斜めの顔の角度制限を 1~180° に設定します。値が大きいほど、検出可能な斜めの顔の角度が大きくなります。

Pitching Face Angle Limit：Pitching Face Angle Limit を 1~180° で設定します。値が大きいほど、検出可能なピッチング顔の角度が大きくなります。

Side Face Angle Limit：Side Face Angle Limit を 1~180° に設定します。値が大きいほど、検出可能な側面の角度が大きくなります。

Blur Limit：Blur Limitを1~10で設定します。値を大きくすると、よりぼやけた顔を検出することができます。

スナップショット：スナップショットの枚数を1~5枚に設定し、設定したスナップショット間隔に基づきスナップショットを撮影します。

ステップ5：顔検出機能の有効時間を設定します。

ステップ6：警告音、メール連携、イベントポップアップ、PTZアクション、アラーム出力、ホワイトLED、トリガーチャンネル録画などのアクションを設定します。

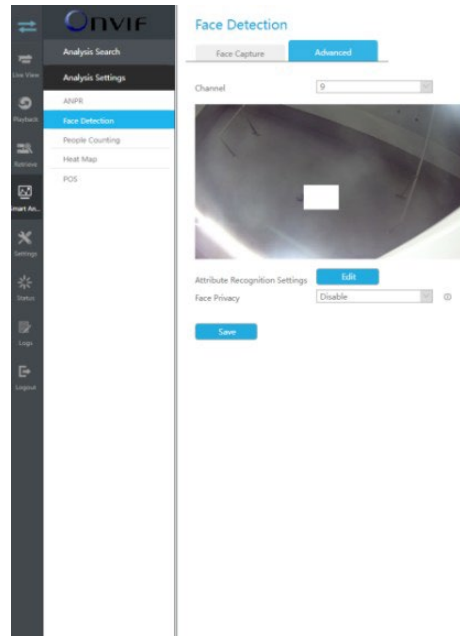
これらのアクションの詳細な設定については、「[アラームアクション](#)」を参照してください。

注：以下の機能は、顔検出と同時に有効にすることはできません。

- スマートイベント
- 人数カウントとリージョナル人数カウント
- 回廊モード
- 自動追尾

アドバンスト

属性認識を有効にし、検出する属性を設定することができます。または、顔検出の「顔プライバシーモード」を有効にします。



属性の認識設定：属性には、年齢、性別、メガネ、マスク、帽子があります。ユーザーは必要に応じて属性を選択することができます。

顔プライバシー：顔プライバシーモードを有効にすると、顔検出検索エリアで検出された顔に自動的にモザイクがかかります。

注

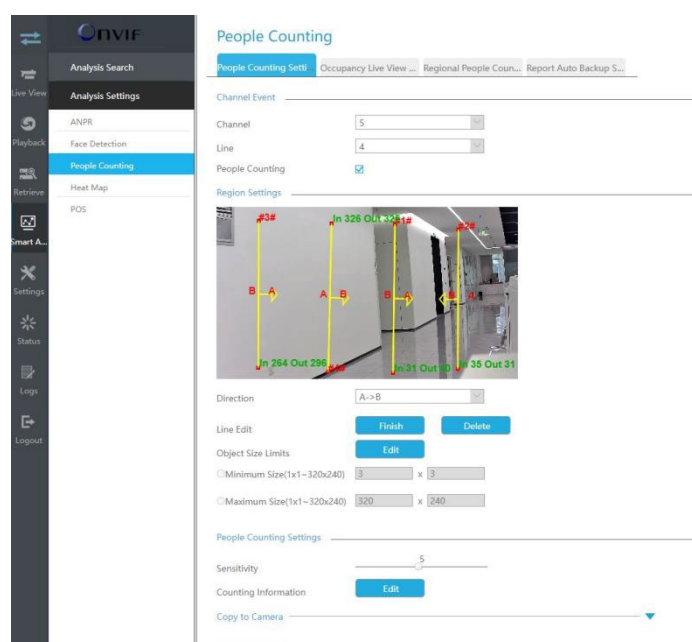
1. 属性認識機能は、顔認証機能と併用できません。
2. 顔プライバシーモードを有効にするために、ビデオパラメータを以下のような推奨設定に変更します。

- H. 265ビデオコーデック(全ストリーム)
- プライマリーストリーム：1080P@25fps
- セカンダリーストリーム：704*576@25fps
- サードストリーム：使用不可

3.5.2.3 人数カウント

人数カウントの設定

人数カウントは、設定した時間内に入出入りした人数をカウントすることができます。



ステップ1. チャンネルイベントを有効にします。

チャンネルと検出ラインを選択し、人数カウントを有効にします。

Channel Event

Channel

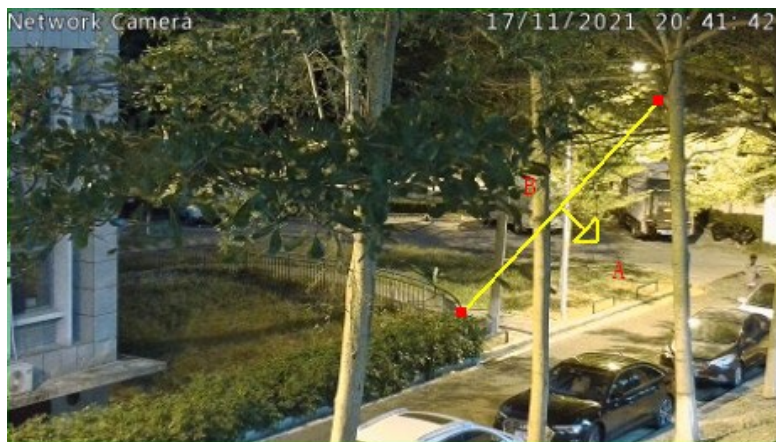
Line

People Counting

ステップ2. 検出ラインを設定します。

Edit


ボタンをクリックした後、方向を選択して線を引きます。



Line Edit

Finish

Delete

 注：最大4本の検出線の描画に対応し、個別に設定することができます。

ステップ3. 被写体のサイズ制限を設定する。

Object Size Limits

Edit

Minimum Size(1x1~320x240)

3

x

3

Maximum Size(1x1~320x240)

320

x

240

最小サイズ：「最小サイズ」は、対象のサイズがフレームより大きい場合にのみ、「人数カウント」の設定が有効になることを意味します。サイズは、対象のサイズがフレームより大きい場合のみ、人数カウントの設定が有効になることを意味します。

最大サイズ：「最大サイズ」は、対象のサイズがフレームより小さい場合のみ、人数カウントの設定が有効になります。

ステップ4. 検出感度を設定します。

ステップ5. 編集ボタンをクリックして、カウント情報を設定します。

Counting Information Edit

Count Type All
 In Out Sum Capacity

OSD

OSD Font Size

OSD Text Position

Line Counting Information

Reset Counting Information


Reset Counting Data

Auto Reset

Day

Time

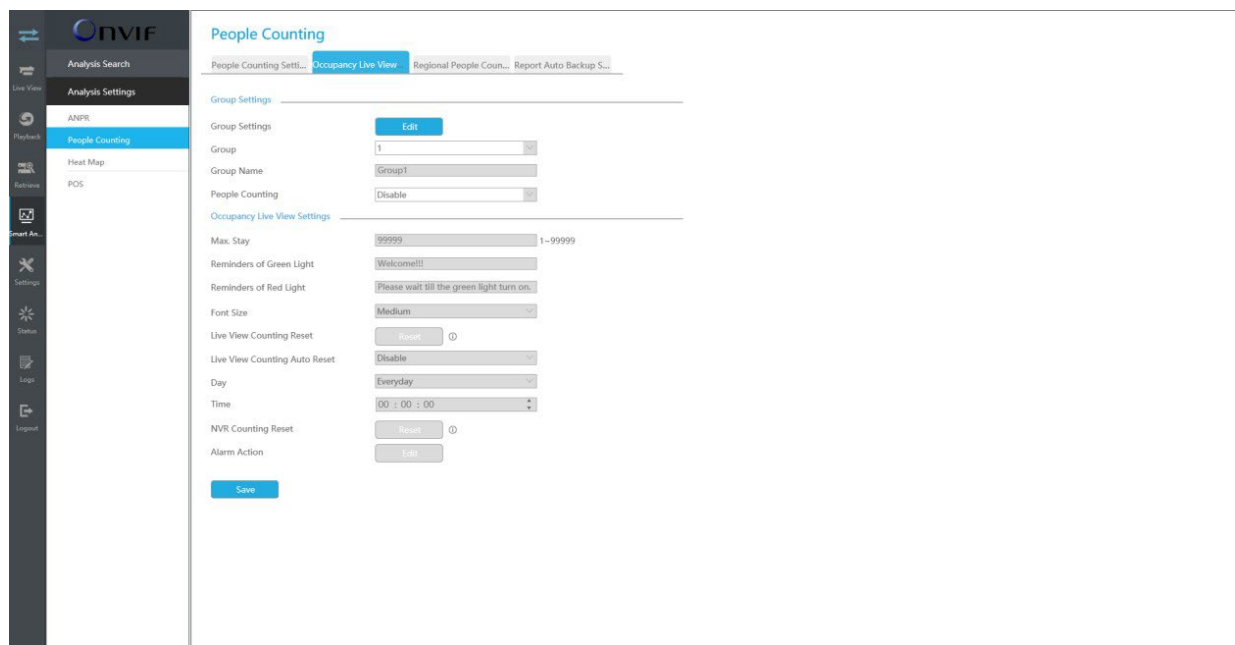
表6.


パラメータ	機能紹介
カウントの種類	ユーザーはLive Videoに表示する情報を選択することができます。
OSD	表示されているOSDの有効/無効を設定します。
OSDフォントサイズ	OSD表示のフォントサイズ。
OSDテキスト位置	OSD表示の文字位置。
リセットカウント情報	このボタンをクリックすると、OSD上のカウント情報がクリアされます
カウントデータのリセット	このボタンをクリックすると、データベース内のカウント情報がクリアされます。  注：このオプションを有効にすると、検索インターフェースのカウント情報もクリアされます。
オートリセット	設定に応じて、カウント情報を自動的にクリアするために使用します。
日付	オートリセットの日付
時間	オートリセットの時間

ステップ6. 「カメラにコピー (Copy To Camera)」をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。



人数カウントライブビュー設定

ページでは、人数カウント・ライブビューに関する情報を設定することができます。



 注：カメラのバージョンが4X. 7. 0. 77以上であることを確認してください。

ステップ1. グループを設定します。

グループ設定：  をクリックすると、グループ設定画面が表示されます。  をクリックしてグループを追加し、グループ名を編集し、グループ追加画面でグループに参加するチャンネルを選択することができます。最大 9 つのグループを追加することができます。

Add Group

Group No.

Group Name

Channel All

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32


33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48

49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

ステップ2. 追加されたグループから、グループを選択します。

Group

グループ名：対応するグループ名が自動的に取得されます。

選択したグループNo. のグループ設定]画面で対応するグループの[]をクリックすると、[グループ名]を変更できます。

ステップ3. 選択したグループの人数カウントを有効にします。

People Counting

ステップ4. 人数カウントの関連パラメータを設定します。

最大滞在人数：最大滞在人数を1~99999の間で設定、初期値は99999です。

緑のライトのリマインダ：人数カウント・ライブビュー・画面でグリーンライトが点灯しているときのプロンプトを最大45文字で設定します。デフォルトのプロンプトは「welcome!!!」です。

赤のライトのリマインダ：人数カウントライブビュー画面で赤信号が点灯しているときのプロンプトを45文字以内で設定します。デフォルトのプロンプトは「Please wait till the green light turn on」（緑色のライトが点灯するまでお待ちください）です。

フォントサイズ：プロンプトのフォントサイズを選択します。
[小] [中] [大] の3つのオプションがあります。

ライブビューカウントリセット：オキュパンシー・ライブビュー・インターフェースのグループ・カウント・データをリセットします。

ライブビューカウントオートリセット/日付/時間：ライブビューカウント自動リセットを有効にすると、設定した時刻にグループカウントのデータが自動的にリセットされます。

Live View Counting Auto Reset

Day

Time

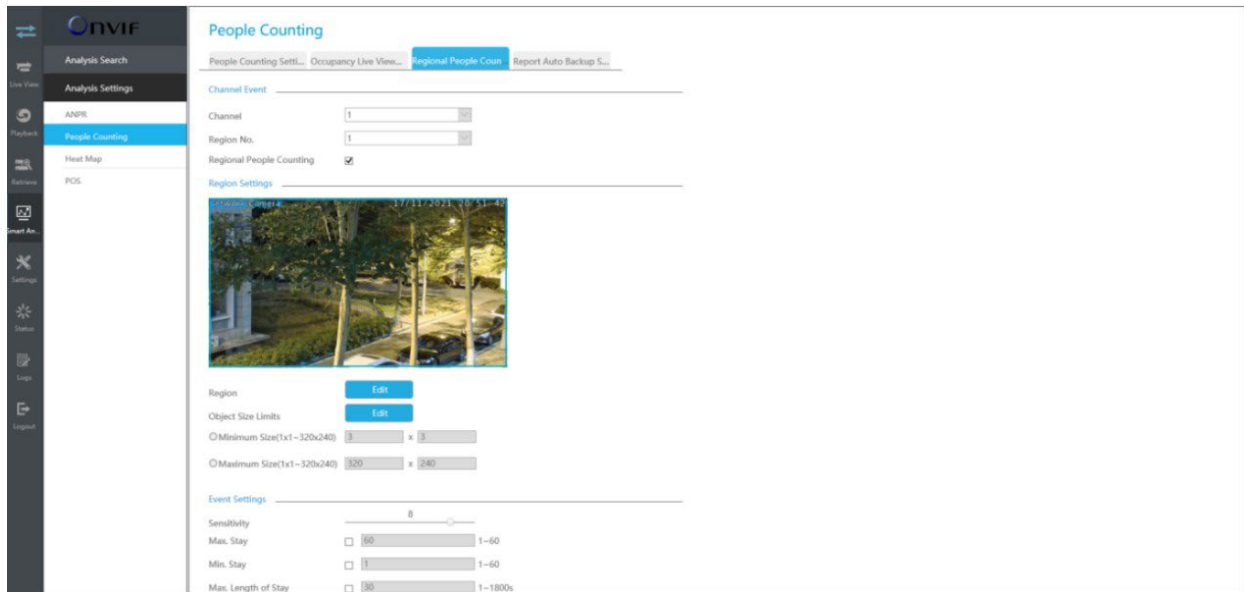
NVRカウント・リセット：NVR側に保存されているグループ・カウント・データをリセットし、人数カウントライブビュー画面のグループ・カウント・データもリセットします。

アラームの動作：現在のグループの滞在人数が設定した最大滞在人数に達すると、アラームが発生します。警告音、メール連携、PTZアクション、アラーム出力、ホワイトLEDなどのアラームアクションを設定することができます。

これらのアクションの詳細設定については、「[アラームアクション](#)」を参照してください。

リージョナル人数カウントの設定

リージョナル人数カウントを有効にすると、検知エリアの人数と各人の滞在時間をリアルタイムで確認することができます。



ステップ1. チャンネルと設定するエリア番号を選択し、リージョナル人数カウントを有効にします。

Channel	<input type="text" value="1"/>
Region No.	<input type="text" value="1"/>
Regional People Counting	<input checked="" type="checkbox"/>

注：カメラのモデルがNCXXXX-XXCで、カメラのバージョンが4X.7.0.78以上であることを確認してください。

ステップ2. 検出検索エリアを設定する。



Region

Finish

Set All

Delete

ステップ3. 対象のサイズ制限を設定する。

<input type="radio"/> Minimum Size(1x1~320x240)	3	X	3
<input type="radio"/> Maximum Size(1x1~320x240)	320	X	240

最小サイズ：「最小サイズ」は、対象のサイズがフレームより大きい場合にのみ、「人数カウント」の設定が有効になることを意味します。サイズは、対象のサイズがフレームより大きい場合のみ、人数カウントの設定が有効になることを意味します。

最大サイズ：「最大サイズ」は、対象のサイズがフレームより小さい場合のみ、人数カウントの設定が有効になります。

ステップ4. 感度を設定する。

レベル1~10があり、初期値は5です。感度が高いほど、動いている被写体がカウントされやすくなります。

Sensitivity 5

—————○—————

ステップ5. アラームのトリガーを設定します。閾値が一定値を超えるとアラームが発生します。

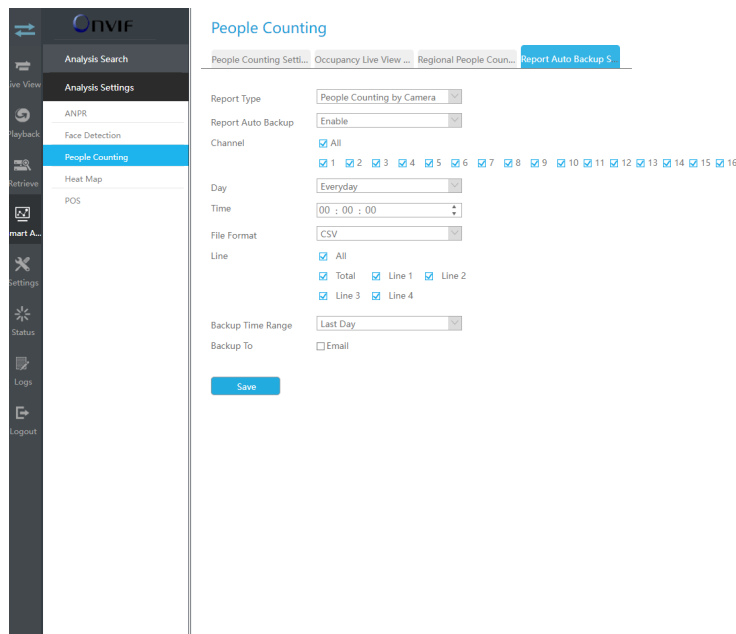
Max. Stay	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="60"/>	1~60
Min. Stay	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="1"/>	1~60
Max. Length of Stay	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="30"/>	1~1800s

ステップ6. 警告音、電子メール連携、イベントポップアップ、PTZアクション、アラーム出力、ホワイトLED、トリガーチャンネル録画などのアラームアクションを設定します。

これらのアクションの詳細な設定については、「[アラームアクション](#)」を参照してください。

レポート自動バックアップの設定

ここでは、人数カウントレポートの自動バックアップを設定することができます。そして、定期的に直近の日付、直近の週、またはすべてのCSVレポートを外部デバイスまたは電子メールにエクスポートすることができます。



ステップ1: カメラ別人数、グループ別人数、エリア別人数など、レポートの種類を選択します。

ステップ2: レポート自動バックアップを有効にし、チャンネルまたはグループを選択します。

ステップ3: 曜日と時間を設定します。

Day	Everyday
Time	16 : 41 : 00

ステップ4: 検出ラインを選択します。

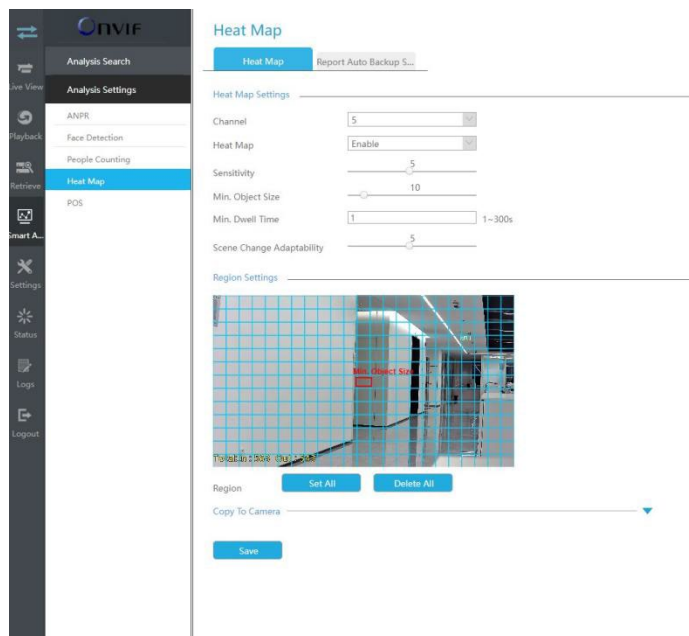
ステップ5: 「最終日」を含む「バックアップ時間範囲」と「すべてエクスポート」を選択します。

ステップ6: ユーザーは、レポートを電子メールにエクスポートすることができます。

3.5.2.4 ヒートマップ

NVRはNVR上のカメラのヒートマップ機能の設定を直接サポートし、ヒートマップの結果をスマート解析で検索およびエクスポートすることができます。

ヒートマップ



感度：レベル1～10があり、初期値は5です。感度が高いほど、動く被写体をより簡単に録画することができます。

最小被写体サイズ：被写体の最小サイズを1～100の間で設定します。デフォルト値は10です。この値より小さい被写体は結果に録画されません。

最小徘徊時間：1から300の間で最小徘徊時間を設定します。デフォルト値は30です。設定した「最小滞在時間」よりも長く被写体が滞在した場合、結果には録画されません。

シーンチェンジの適応度：レベル1～10があり、デフォルトは5です。シーンチェンジ適応度は、カメラがシーンの変化に適応できるかを示し、検出の精度を高めることができます。値が高いほど、カメラはより速く変化するシーンに適応します。

ヒートマップ検索エリア：画面を描画して検出検索エリアを設定します。「すべてセット」ボタンで全検索エリアを選択、「Delete All」ボタンで現在描画している検索エリアを削除することができます。

注

1. カメラのバージョンが4X. 7. 0. 74以上であることを確認する。

2. カメラ側でヒートマップスケジュールを設定してください。
3. ヒートマップ機能は、以下のカメラでのみ動作します。

フィッシュアイカメラ：デューピングモードが10で、デューピングルールがカメラ側の歪み補正であることを確認してください。

パノラミニバレットカメラ：レンズディストーション補正機能がオンになっていることを確認してください。

レポート自動バックアップの設定

ここでは、ヒートマップレポートの自動バックアップを設定することができます。また、定期的に直近1日、直近1週間、またはすべてのレポートを、CSV形式で外部デバイスまたは電子メールにエクスポートすることができます。

Report Auto Backup

Heat Map Report Auto Backup S...

Report Auto Backup Enable

Channel All

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

Day Everyday

Time 00 : 00 : 00

Report Type Space Heat Map Time Heat Map

Backup Time Range Last Day

Backup To Email

Save

ステップ1：レポート自動バックアップを有効にし、チャンネルを選択します。

ステップ2：曜日と時間を設定します。

Day Everyday

Time 16 : 41 : 00

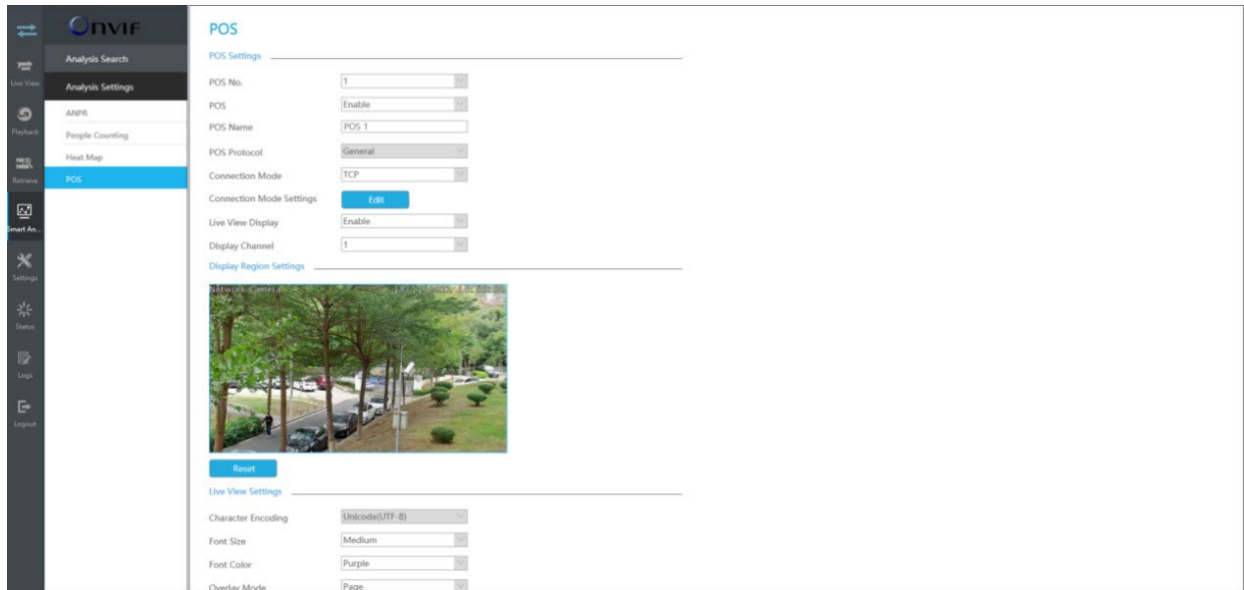
ステップ3：スペースヒートマップや時間ヒートマップなどのレポートタイプを選択します。

ステップ4：最終日を含むバックアップ時間範囲とすべてをエクスポートを選択します。

ステップ5：ユーザーは、レポートを外部デバイスまたは電子メールにエクスポートすることができます。

3.5.2.5 POS

ここでは、いくつかの基本的なPOS情報を設定することができます。POS機器とNVR間の通信が可能で、NVR側でPOS機能を有効にすると、NVRはPOS機器から送信された情報を取得し、設定されたチャンネルのライブビューにPOS情報を表示することが可能です。



ステップ1：POS番号を選択し、POS機能を有効にします。

POSの名前：必要に応じてPOS名をカスタマイズすることができます

POS プロトコル：POS 通信プロトコルを表示します。デフォルトは General です。

接続モード：POS機との接続モードを選択、TCPまたはUDPは任意です

接続モードの設定：POS機のIPアドレスとPOSポートの設定

ステップ2：ライブビュー表示を有効にすることができます。有効にすると、各設定ページのライブビューとプレビューボックスにPOS情報が表示されるようになります。

表示チャンネル：POS情報を表示するチャンネルを選択します。

注：情報の重複を防ぐため、異なるPOSマシンの情報を同じチャンネルで表示することはできません。

表示検索エリア：チャンネル内でPOS情報が表示される検索エリアを描画します。

Character Encoding (キャラクタエンコーディング)：POS機から送信される情報のエンコード形式。デフォルトはUnicode(UTF-8)です。

フォントサイズ：POS情報のフォントサイズを設定します。

フォントカラー：POS情報のフォントカラーを設定します。

オーバーレイモード：ライブビューでチャンネル表示検索エリアがフルになったときのオーバーレイモードを設定します。ページまたはロールはオプション

表示時間：ライブビューでの単一POS情報の表示時間を設定します。

タイムアウト：POS情報の有効期限を設定し、設定時間内に送信された複数のメッセージは再び同じメッセージに統合されます

プライバシーに関する設定：プライバシー保護のため、必要に応じて一部の情報を*に設定することができます

ステップ3：POS機能有効時間を設定します。

ステップ4：NVRがPOSマシンから送信された情報を取得すると、アラームが作動します。警告音、電子メール・リンク、PTZアクション、アラーム出力、ホワイトLEDおよびその他を含むアラーム・アクションを設定することができます。

これらの動作の詳細設定については、「[3.5.2.1 ANPR](#)」を参照してください。

3.6 カメラ

設定前に、カメラがNVRと同じネットワークに接続されていること、NVRのネットワーク設定が正しく設定されていることを確認してください。

3.6.1 カメラ管理

Camera Management

Channel: 5, Channel Name: CAM5, IP Address: 192.168.14.102, Port: 80, User Name: admin, Password: [empty], Transport Protocol: Auto, Protocol: ONVIF, Time Setting: Sync Time With NVR

Buttons: Add, Refresh, Delete, Edit Authentication

Channel	Channel Name	Edit	Delete	Status	IP Address	Channel ID	Port	Protocol	MAC	Firmware Version
1	CAM1	[edit]	[delete]	✓	192.168.14.102	-	8081	ONVIF	1CC316210991	40.7.0.78-r1
2	CAM2	[edit]	[delete]	✓	192.168.14.103	-	8083	ONVIF	1CC316219804	40.7.0.78-r1
3	CAM3	[edit]	[delete]	✓	192.168.14.104	-	8084	ONVIF	1CC316238D13	40.7.0.78-r1
4	CAM4	[edit]	[delete]	✓	192.168.14.105	1	8085	ONVIF	1CC316220D8D	43.7.0.78-r1

Free Receiving Bandwidth: 135.50Mbps

ステップ1. カメラを追加します。

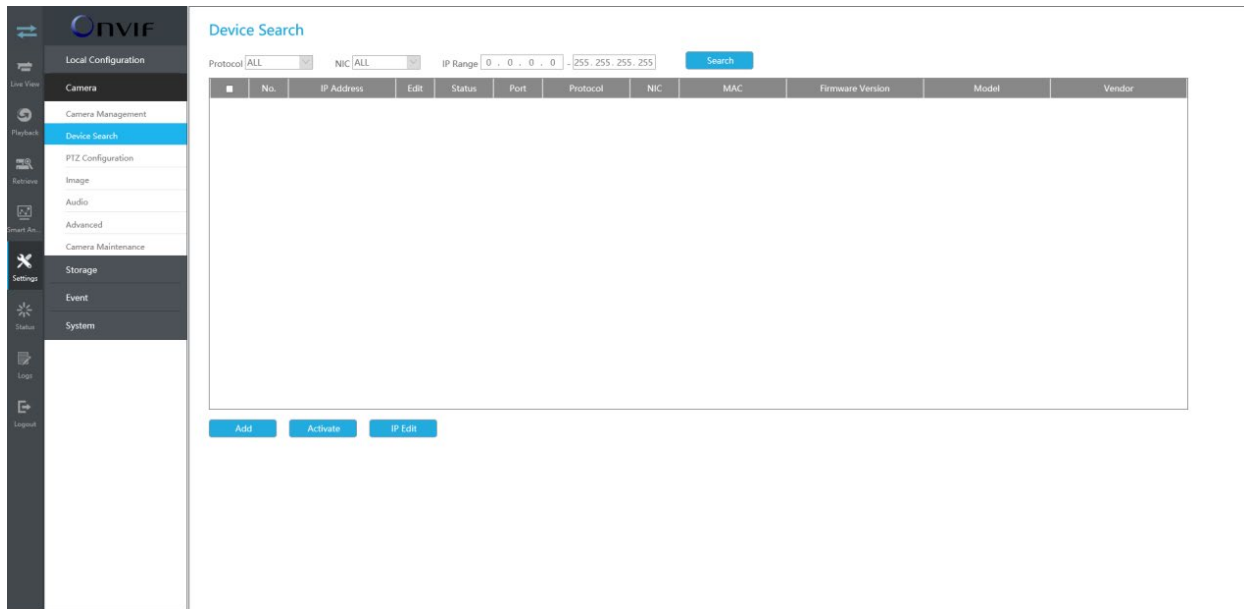
方法1. デバイス検索画面でカメラを追加します。'カメラ' → 'デバイス検索'.

1. IPレンジ、NIC、プロトコルを選択します。

Protocol: ALL, ONVIF, MSSP | NIC: ALL | IP Range: 192.168.14.102 - 255.255.255.255 | Search | Add

Protocol	NIC	IP Range	Search	Add
----------	-----	----------	--------	-----

2. Search ボタンをクリックすると、NVR と同じ LAN にあるカメラが検索されます。



3. チャンネルを一つ選択し、**Add** ボタンをクリック、パスワードを入力し、**Add** ボタンをクリックすると終了します。

Add Camera

MAC	<input type="text" value="1CC316230139"/>		
IP Address	<input type="text" value="192.168.7.140"/>		
Channel	<input type="text" value="6"/>	Channel Name	<input type="text" value="CAM6"/>
User Name	<input type="text" value="admin"/>	Password	<input type="password"/>
Transport Protocol	<input type="text" value="Auto"/>	Time Setting	<input type="checkbox"/> Sync Time With NVR
Port	<input type="text" value="80"/>		
Protocol	<input type="text" value="MSSP"/>		

4. をチェックすると、ネットワークカメラが同じパスワードの場合、一括で追加され、TCP、UDP または自動転送プロトコルを選択できます。**OK** をクリックして、一括追加を終了します。

MSSP : LAN内の異なるネットワークセグメントを持つカメラを全て検索することができます。

Add Camera

User Name

Password

Transport Protocol

方法2. カメラ管理画面からカメラを追加します。「カメラ」→「カメラ管理」。

Camera Management

Camera Management
Batch Management

<p>Channel <input style="width: 100%;" type="text" value="6"/></p> <p>IP Address <input style="width: 100%;" type="text"/></p> <p>User Name <input style="width: 100%;" type="text" value="admin"/></p> <p>Transport Protocol <input style="width: 100%;" type="text" value="Auto"/></p> <p>Protocol <input style="width: 100%;" type="text" value="ONVIF"/></p>	<p>Channel Name <input style="width: 100%;" type="text" value="CAM6"/></p> <p>Port <input style="width: 100%;" type="text" value="80"/></p> <p>Password <input style="width: 100%;" type="text"/></p> <p>Time Setting <input type="checkbox"/> Sync Time With NVR</p>
--	---

チャンネルIDを選択し、必要事項を入力後、「追加」ボタンをクリックします。カメラ接続には3つのプロトコルがあります。

- ONVIF : ONVIF プロトコルを持つ ONVIF IP カメラを追加することができます。

Camera Management

Camera Management		Batch Management	
Channel	5	Channel Name	CAM5
IP Address		Port	80
User Name	admin	Password	
Transport Protocol	UDP	Time Setting	<input type="checkbox"/> Sync Time With NVR
Protocol	ONVIF		

- **RTSP** : RTSP プロトコルストリーム（ポート : 554）で任意の IP カメラを追加できます。追加するには、IP カメラのパスを入力する必要があります。

Camera Management

Camera Management		Batch Management	
Channel	5	Channel Name	CAM5
User Name	admin	Password	●●●●●●
Transport Protocol	UDP	Time Setting	<input type="checkbox"/> Sync Time With NVR
Protocol	RTSP		
Primary	rtsp://192.168.7.222:554/main	Secondary	rtsp://192.168.7.222:554/sub

[Add](#) [Refresh](#) [Delete](#) [Edit Authentication](#)

- **MSSP** : MSSPプロトコルで同一LAN上にあるカメラを追加することができます。

Camera Management

Camera Management

Batch Management

Channel

IP Address

User Name

Transport Protocol

Protocol

Channel Name

Port

Password

Time Setting Sync Time With NVR

Add


Refresh


Delete

Edit Authentication

オフライン・カメラをThe NVRに追加するには、method2. を使用します。記入したデバイス情報が正しい限り、NVRはデバイスが接続されているかどうかを判断し、カメラのステータスを自動的に更新します。


ステップ2. 接続ステータスを確認する。

IPチャンネルを追加カメラ管理インターフェースの **Refresh** ボタンをクリックすると、ステータスの下に  が表示されます。

 のアイコンが表示された場合、ユーザーはステータスバーの対応するアイコンにマウスを移動して、エラー内容を確認することができます。

■	Channel	Channel Name	Edit	Delete	Status	IP Address	Channel ID	Port	Protocol	MAC	Firmware Version
<input type="checkbox"/>	1	CAM1				192.168.14.102	-	8081	ONVIF	1CC316210991	40.7.0.78
<input type="checkbox"/>	2	CAM2				192.168.14.103	-	8083	ONVIF	1CC316219804	40.7.0.78
<input type="checkbox"/>	3	CAM3				192.168.14.104	-	8084	ONVIF	1CC316238D13	40.7.0.78
<input type="checkbox"/>	4	CAM4				192.168.14.105	1	8085	ONVIF	1CC316220D8D	43.7.0.78
<input type="checkbox"/>	5	CAM5				192.168.7.234	-	80	ONVIF		

ステップ3. カメラの設定を行います。カメラを1台設定する

カメラの追加後、 をクリックして、チャンネル情報を再編集してください。

Camera Edit

Settings Parameters

Channel:

Channel Name:

IP Address:

Port:

User Name:

Password:

Transport Protocol:

Time Setting: Sync Time With NVR

Protocol:

このチャンネルのパラメータを再編集するために、パラメータページに移動し、録画ストリームタイプを一般またはイベントから選択して、異なるパラメータを個別に設定することができます。一般ストリームでは、ストレージを節約するために低いパラメータを設定することをお勧めします。設定後、[OK]をクリックして保存します。

注

1. イベント録画ストリーム設定には、モーション検出、VCA、カメラアラーム入力、スマート分析などのイベントが含まれます。
2. カメラのファームウェアのバージョンが4X7.0.75以上であることを確認してください。

カメラの一括設定

Batch Settings をクリックし、複数のチャンネルを選択し、カメラのパラメータを設定します。

The screenshot shows the 'Camera Management' interface with the 'Batch Management' tab selected. A red box highlights the configuration settings for the selected channels. Below the settings is a table of camera channels with a red box around the selection checkboxes.

Channel	Channel Name	Edit	Delete	Status	IP Address	Channel ID	Port	Protocol	MAC	Firmware Version	
<input type="checkbox"/>	1	CAM1				192.168.14.102	-	8081	ONVIF	1CC316210991	40.7.0.78
<input checked="" type="checkbox"/>	2	CAM2				192.168.14.103	-	8083	ONVIF	1CC316219804	40.7.0.78
<input type="checkbox"/>	3	CAM3				192.168.14.104	-	8084	ONVIF	1CC316238D13	40.7.0.78
<input type="checkbox"/>	4	CAM4				192.168.14.105	1	8085	ONVIF	1CC316220D8D	43.7.0.78
<input type="checkbox"/>	5	CAM5				192.168.7.234	-	80	ONVIF	1CC316287C75	45.7.0.78

Free Receiving Bandwidth 129.50Mbps

ステップ4. カメラを削除する。

をクリックしてこのチャンネルを削除するか、複数のデバイスを選択して、**Delete** をクリックして削除することができます。

The screenshot shows the 'Camera Management' interface with the 'Delete' button highlighted by a red arrow. Below the button is a table of camera channels with a red box around the selection checkboxes.

Channel	Channel Name	Edit	Delete	Status	IP Address	Channel ID	Port	Protocol	MAC	Firmware Version	
<input type="checkbox"/>	1	CAM1				192.168.14.102	-	8081	ONVIF	1CC316210991	40.7.0.78
<input type="checkbox"/>	2	CAM2				192.168.14.103	-	8083	ONVIF	1CC316219804	40.7.0.78
<input type="checkbox"/>	3	CAM3				192.168.14.104	-	8084	ONVIF	1CC316238D13	40.7.0.78
<input type="checkbox"/>	4	CAM4				192.168.14.105	1	8085	ONVIF	1CC316220D8D	43.7.0.78
<input type="checkbox"/>	5	CAM5				192.168.7.234	-	80	ONVIF	1CC316287C75	45.7.0.78

ステップ 5. PoE チャンネルを設定する (PoE NVR の場合のみ)

1. カメラをPoEポートに接続すると、自動的にカメラが検出されます。
2. カメラのパスワードがNVRの管理者パスワードと同じであれば、認証に成功し、内部NICのIPv4アドレスと同じネットワークセグメントに変更され、カメラは正常に接続されます。
3. カメラのパスワードがNVRの管理者パスワードと異なる場合、PoEチャンネルは以下のように表示されます。

切断ステータスです。認証のために **Edit Authentication** をクリックしてカメラのパスワードを入力する必要があります（デバイスを複数選択してこのボタンをクリックすることも可能です）。カメラは内部NICのIPv4アドレスで同じネットワークセグメントに変更され、次のようになります。

カメラが正常に接続されました。次回、NVRはこのカメラを再接続する際に、入力されたパスワードを使用して認証します。

注

1. NVRがPoEポート経由で接続されたカメラを検出すると、カメラはNVRのパスワードを同期させ、カメラは正常に接続されます。マルチストリーム・モードのフィッシュアイカメラでは、デフォルトですべてのチャンネルが追加されます。
 2. PoE NVRに接続されたサードパーティのPoEカメラを追加する手順です。
 - PoE NVRに接続する前に、カメラのIPセグメントをNVRのPoE NICと同じに設定します。
 - デバイス検索画面でNICのPoEを選択し、検索ボタンをクリックするとカメラが検索されます。
- カメラを選択し、[追加]ボタンをクリックして追加します。

Edit Authentication

User Name

Password

Note: Edit authentication for selected cameras.



クリックで直接カメラサイトにアクセスできるので、これまでできなかったカメラ設定にかかる手間を大幅に省くのです。

Camera Management

Camera Management Batch Management

Channel: Channel Name:
 IP Address: Port:
 User Name: Password:
 Transport Protocol: Time Setting: Sync Time With NVR
 Protocol:

Add Refresh Delete Edit Authentication

Channel	Channel Name	Edit	Delete	Status	IP Address	Channel ID	Access	Port	Protocol	MAC	Firmware Version
<input type="checkbox"/> 1	CAM1				192.168.14.102	-		8081	ONVIF	1CC316210991	40.7.0.78
<input type="checkbox"/> 2	CAM2				192.168.14.103	-		8083	ONVIF	1CC316219804	40.7.0.78
<input type="checkbox"/> 3	CAM3				192.168.14.104	-		8084	ONVIF	1CC316238D13	40.7.0.78
<input type="checkbox"/> 4	CAM4				192.168.14.105	1		8085	ONVIF	1CC316220D8D	43.7.0.78
<input type="checkbox"/> 5	CAM5				192.168.7.234	-		80	ONVIF	1CC316287C75	45.7.0.78

Free Receiving Bandwidth 129.31Mbps

注

1. ネットワーク→その他でチャンネルアクセスを最初に有効にしてください。
2. PoE接続されたカメラのトランスポート・プロトコルとして、HTTPを選択してください。
3. NVRファームウェアのバージョンをxx. 8. 0. 6またはそれ以上にアップグレードしてください。

3.6.2 デバイス検索

プロトコルとNICを選択し、IP範囲を設定して、 をクリックすると、NVRと同じLANで選択したプロトコルとNICをサポートするIPデバイスを検索します。

ONVIF

Local Configuration

Camera Management

Device Search

PTZ Configuration

Image

Audio

Advanced

Camera Maintenance

Storage

Event

System

Log

Logout

Protocol: ALL NIC: ALL IP Range: 0 . 0 . 0 . 0 - 255 . 255 . 255 . 255 **Search**

No.	IP Address	Edit	Status	Port	Protocol	NIC	MAC	Firmware Version	Model	Vendor
-----	------------	------	--------	------	----------	-----	-----	------------------	-------	--------

Add **Activate** **IP Edit**

カメラのステータスが非アクティブと表示されている場合、NVRに追加する前にカメラを選択し、[アクティベート]ボタンをクリックし、カメラをアクティベートしてください。

Protocol NIC IP Range -

また、チャンネルを選択して「IP Edit」をクリックすると、そのチャンネルのIP情報を一括で編集することができます。

マルチストリームモードのフィッシュアイカメラでは、IP情報の一括編集時にデフォルトで全チャンネルが追加されます。

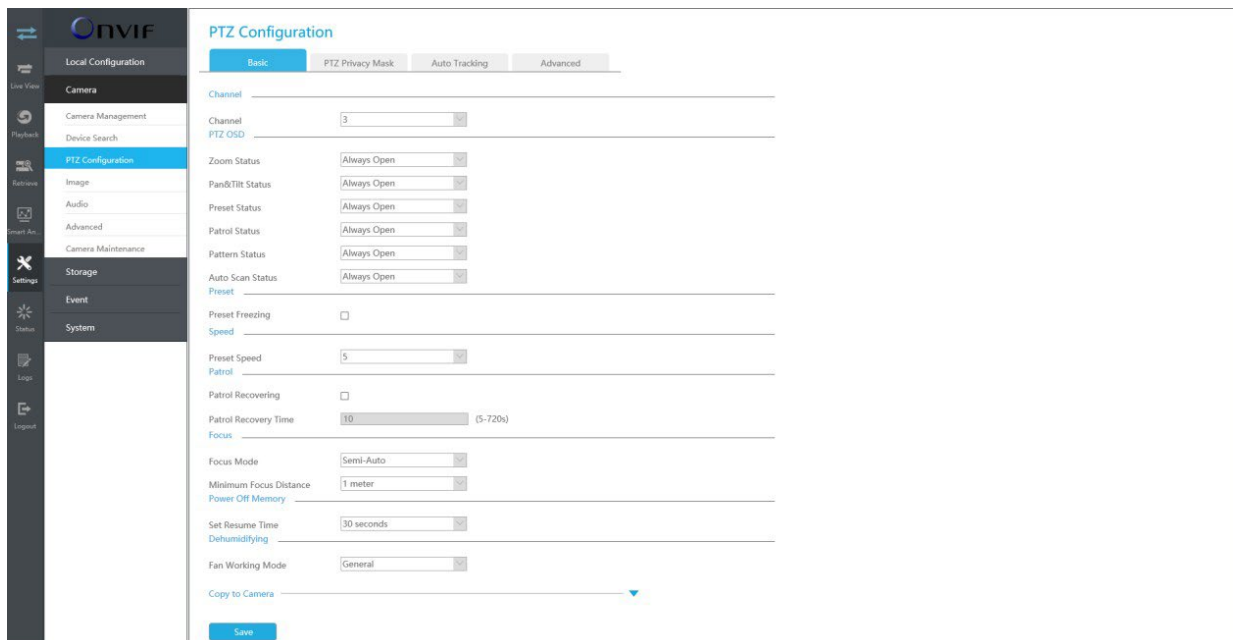
IP Edit

MAC	<input type="text" value="1CC31621EC5A"/>
IP Address	<input type="text" value="192.168.7.222"/>
Subnet Mask	<input type="text" value="255.255.240.0"/>
Gateway	<input type="text" value="192.168.7.1"/>
DNS	<input type="text" value="8.8.8.8"/>
Port	<input type="text" value="80"/>
User Name	<input type="text" value="admin"/>
Password	<input type="text"/>

3.6.3 PTZの設定 ※PTZカメラのみ対応

基本

PTZ(パン/チルト/ズーム)機能およびパラメータを設定することができます。



ステップ1. 設定→カメラ設定→PTZ設定をクリックし、チャンネルを選択します。

ステップ2. PTZ OSDパラメータを設定します。ズームステータス、パン&チルトステータス、プリセットステータス（常時 Close/常時 Open/2s/5s/10s）、パトロールステータス、パターンステータス、自動スキャンステータス（常時 Open/常時 Close）を設定することができます。

ステップ3. プリセットフリーズを有効にすると、プリセットポジションへの移動経路とライブビューの両方を表示する代わりに、プリセットポジションのライブビューを直接表示することができます。また、デジタルネットワークシステムの帯域幅の使用量を削減することができます。

ステップ4. 速度を設定します。

プリセット速度：プリセットを呼び出す速度を決定します。レベル1~10が使用可能です。

手動制御速度：スピードドーム専用で、手動制御のPTZ速度を決定します。低い/中/最高は利用できません

ステップ5. パトロールを設定します。

パトロール回復：パトロール回復を有効にします。

パトロール回復時間：パトロール回復の時間を5秒から720秒の間で設定します。

ステップ6. フォーカスを設定します。

フォーカスモード：3つのフォーカスモードが利用可能です。オート/セミオート/マニュアル

最短フォーカス距離：各フォーカスのステップ長を調整するための最短フォーカス距離を設定します。1m、1.5m、3m、6m、10m、20mが選択可能です。デフォルトの最短フォーカス距離は1mです。

ステップ7. パワーオフメモリを設定します。

カメラがあらかじめ設定された時間より長い間作業を停止した場合、その位置が録画されます。そしてそれは電源遮断から正常な仕事に戻った後位置に再開します。位置を録画するために 30 秒、60 秒、300 秒または 600 秒に再開の時間を置くことができます

ステップ8. 除湿を設定します。

ファンワーキングモード：3つのファンワーキングモードが利用可能です。一般/強化/常時。

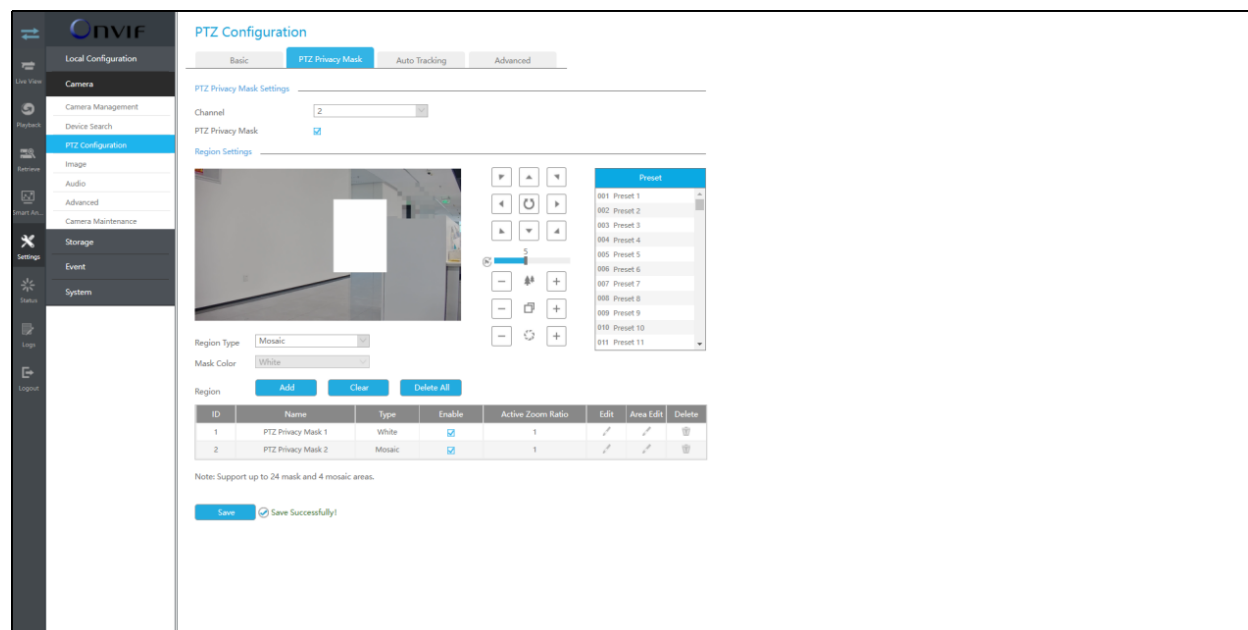
一般：ファンは毎日午前4時から午前7時までと午後5時から午後8時まで稼働します。

強化：ファンは毎日午後5時から午前7時まで稼働します。

常時：ファンは1日24時間稼働します。

PTZプライバシーマスク

NVRは、PTZカメラのプライバシー・マスクの設定をサポートします。一般的なプライバシー・マスクとは異なり、対象のプライバシーを保護し、カメラがどのようにパン/チルト/ズームしても、手動操作で指定した検索エリアを監視から保護します。



The screenshot shows the ONVIF PTZ Configuration interface. The 'PTZ Privacy Mask' tab is active. The 'Channel' is set to 2. The 'PTZ Privacy Mask' checkbox is checked. The 'Region Settings' section shows a video preview with a white rectangular mask. Below the preview are controls for 'Region Type' (set to Mosaic), 'Mask Color' (set to White), and buttons for 'Add', 'Clear', and 'Delete All'. A table lists the configured masks:

ID	Name	Type	Enable	Active Zoom Ratio	Edit	Area Edit	Delete
1	PTZ Privacy Mask 1	White	<input checked="" type="checkbox"/>	1			
2	PTZ Privacy Mask 2	Mosaic	<input checked="" type="checkbox"/>	1			

Note: Support up to 24 mask and 4 mosaic areas.

Save Save Successfully!

プライバシーマスクは、以下の手順で追加することができます。


ステップ1. チャンネルを選択し、プライバシーマスクを有効にします。

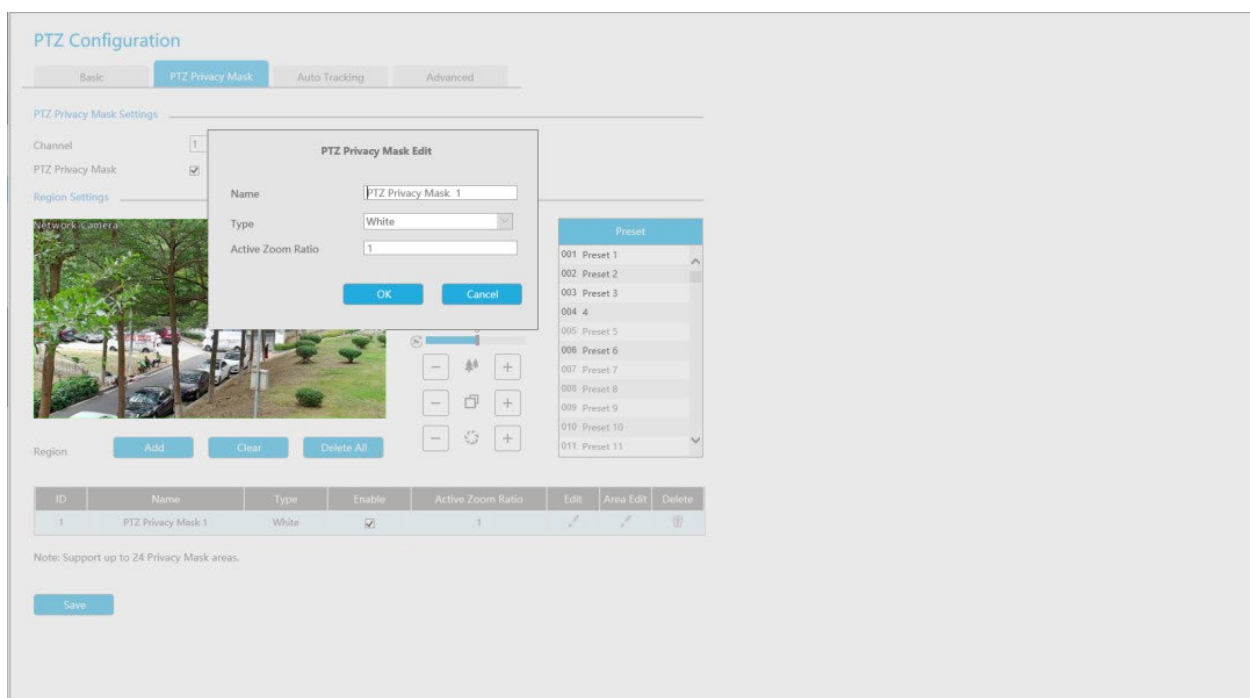
ステップ2. 検索エリアの種類をマスクまたはモザイクから選択します。

ステップ3. マウスをドラッグしてライブビューウィンドウで保護する検索エリアを選択し、「追加」ボタンをクリックしてテーブルに検索エリアを追加します。最大で24個のマスクと4個のモザイク検索エリアを追加でき、各エリアは有効・無効を切り替えることができます。テーブルに追加された検索エリアは、「適用」をクリックするまで有効にはなりませんのでご注意ください。

注

- ・カメラの機種がLiteシリーズでないこと、カメラのバージョンが40.X.X.X、41.X.X.X、46.X.X.X. でないことを確認してください。
- ・モザイク検索エリアをサポートするために、NVRのバージョンがV7x.9.0.14以上であり、カメラのバージョンがVxx.7.0.79以上であることを確認してください。

ステップ4.  をクリックして、PTZプライバシーマスクの名前、プライバシーマスクのタイプ、アクティブズーム比を編集します。



The screenshot shows the PTZ Configuration interface with the PTZ Privacy Mask Edit dialog box open. The dialog box contains the following fields:

- Name: PTZ Privacy Mask 1
- Type: White
- Active Zoom Ratio: 1

Buttons: OK, Cancel

The background interface shows the PTZ Configuration window with the PTZ Privacy Mask tab selected. It includes a live video feed, a Region list, and a Preset list.

ID	Name	Type	Enable	Active Zoom Ratio	Edit	Area Edit	Delete
1	PTZ Privacy Mask 1	White	<input checked="" type="checkbox"/>	1			

Note: Support up to 24 Privacy Mask areas.

Save

ステップ5. 「適用」を選択し、設定を保存します。

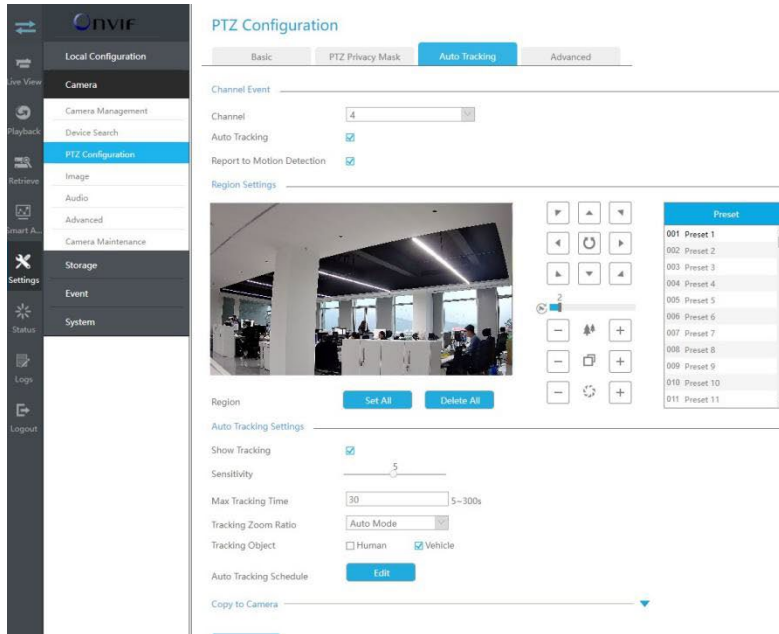
注

1. カメラのバージョンが4X.7.0.73以上であることを確認する。

2. プライバシーマスクの設定方法は、2種類があり、PTZプライバシーマスクはPTZカメラにのみ適用され、プライバシーマスクは他のカメラにも適用することができます。

自動追尾

PTZカメラシリーズは、移動する物体を自動的に追尾することができます。



ステップ1. チェックボックスにチェックを入れ、自動追尾を有効にします。

ステップ2. 自動追尾中に動体検知アラームを作動させるには、“Report to Motion Detection”を有効にします。

ステップ3. “Show Tracking”を有効にすると、自動追尾機能で追尾を表示することができます。

ステップ4. 検出範囲を設定します。



ステップ5. 検出感度を設定します。

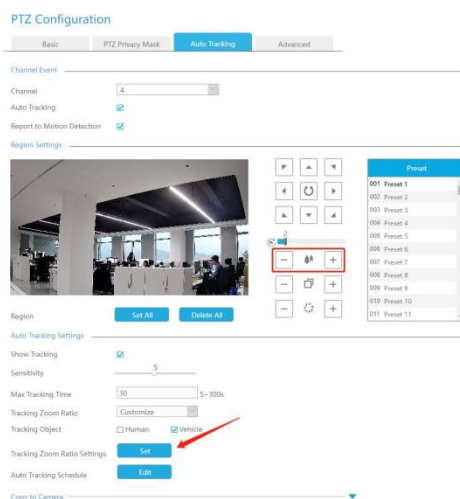
ステップ6. 最大トラッキング時間を設定します。トラッキング時間は5~300sです。トラッキング時間を使い切るとカメラはトラッキングを停止します。

ステップ7. トラッキングのズーム比を選択します（オートモードとカスタマイズがあります）。

- トラッキングズーム比は、自動トラッキングを使用する際に、移動する被写体のズーム比を調整するために使用されます。PTZは被写体の距離と速度に応じて自動的にズーム比を調整します。

自動モードでは、動いている物体を追尾します。カスタマイズを選択した場合、PTZはターゲットを追尾する際に、事前に設定したズーム比に調整されます。

- トラッキングの拡大率をカスタマイズする方法。
-   ボタンでズーム比を設定します。
- 「Set」をクリックすると、設定が保存されます。




ステップ8. トラッキング対象が人なのか車なのかを確認します。

ステップ9. 「編集」をクリックして、IPカメラに同期させる自動追尾スケジュールを編集します。

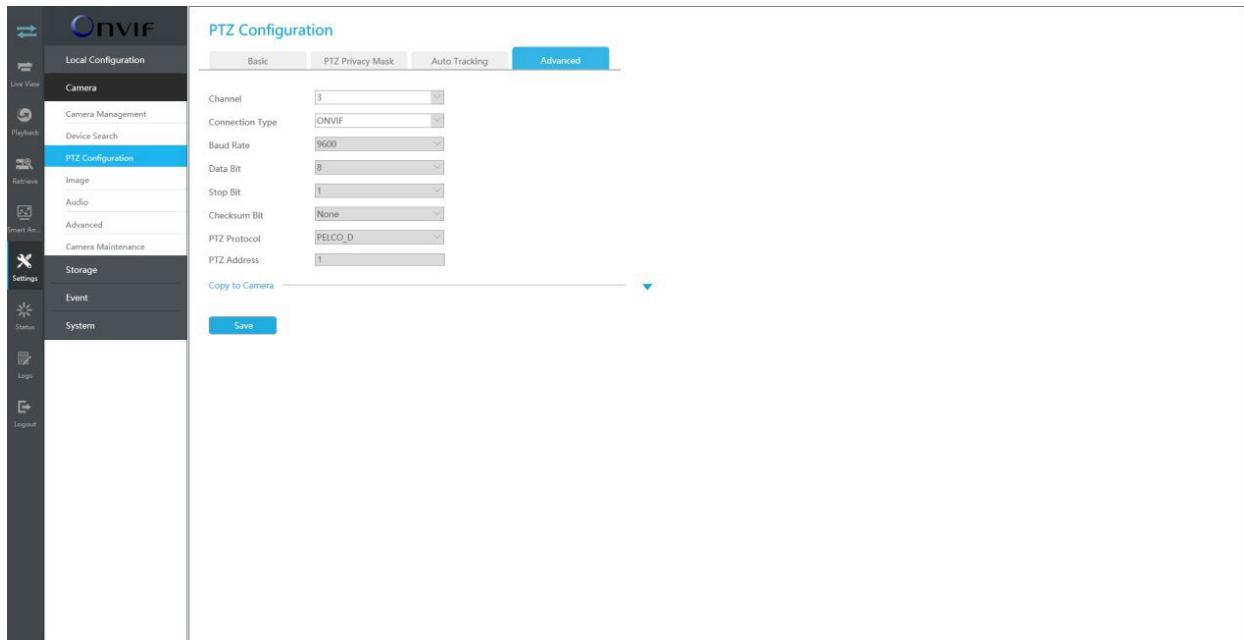
ステップ10. 「カメラにコピー (Copy To Camera)」をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

ステップ11. 「保存」をクリックして、設定を適用します。

 注：カメラのバージョンが4X. 7. 0. 75以上であることを確認してください。

アドバンスト

チャンネルを選択し、PTZ パラメータを設定します。また、「コピー」をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

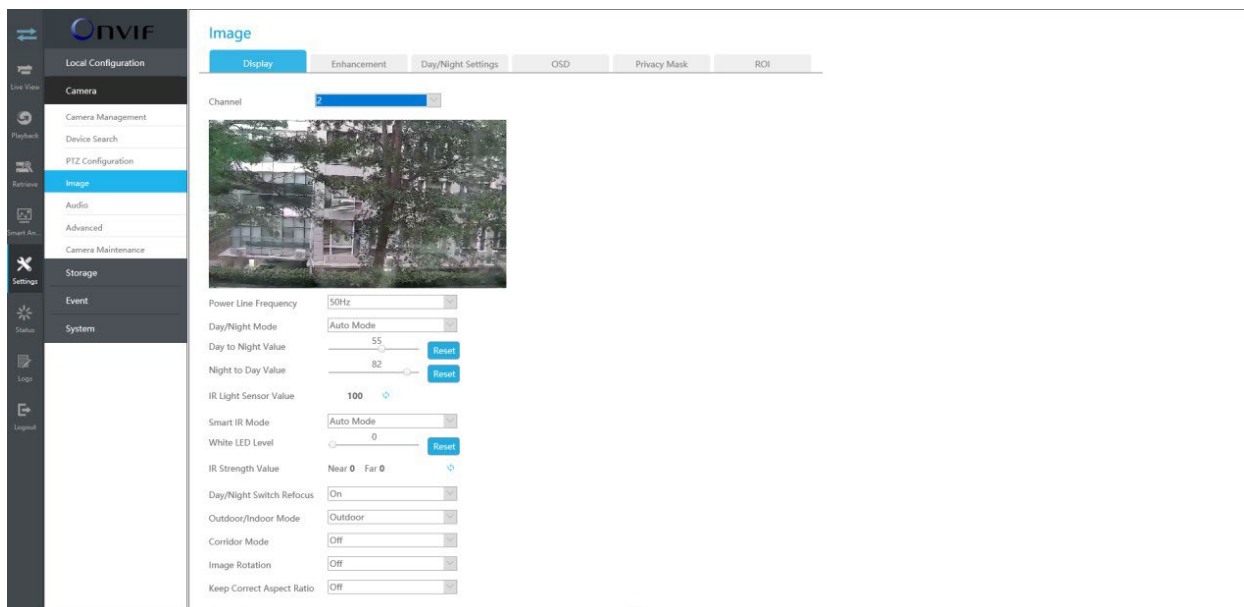


注

1. PTZ カメラを使用する前に、PTZ カメラの設定を行う必要があります。PTZとNVRのRS-485が正しく接続されていることを確認してください。
2. PTZプロトコルとIPチャンネルのアドレスは、PTZデコーダーのものと一致させる必要があります。

3.6.4 画像

3.6.4.1 表示



ステップ1. 設定→イメージ→表示をクリックし、チャンネルを選択します。

ステップ2. 設定を設定します。

フリッカーレス：50Hzと60Hzがあります。

スマートIRモード：ハイビームとロービームの組み合わせで、IR LEDの技術がアップグレードされ、対象物の距離に関係なく、より鮮明で質の高い画像を提供します。また、ロービームとハイビームの明るさは、ズーム比に基づいて手動または自動で調整することができます。さらに、IR反射防止パネルを搭載し、赤外線透過率を大幅に向上させました。赤外線の強さをオートモードまたはカスタマイズで設定し、最適な効果を得ることをサポートします。

IR ストレングス値：近ビームLEDと遠ビームLEDの光量の現在値。

IR LEDのレベル：IR LEDのレベルを0～100の間で調整します。

ホワイトLEDのレベル：ホワイトLEDのレベルを0～100の範囲で調整します。

屋外/屋内モード：チャンネルの屋外/屋内モードを設定します。

デイ/ナイトモード：チャンネルのデイ/ナイトモードを設定します。

Day to Night Sensitivity：ナイトモードを起動するための感度を1～10の範囲で設定します。

Night to Day Sensitivity：デイモードを起動するための感度を1～10の範囲で設定します。

回転モード：画像の回転を設定します。

反転モード：レンズ歪み補正、FOV調整を設定します。

スモークドームカバー：この機能はプロドームカメラのみです。プロドームカメラにスモークドームカバーが装着されている場合、この機能を有効にすると通常の映像が表示されません。

ローカルディスプレイのビデオ：ローカルディスプレイのNTSCまたはPALを選択します。

正しいアスペクト比を維持する：このオプションを有効にすると、解像度の比率を変更したときに画像が歪むのを防ぎます。

注

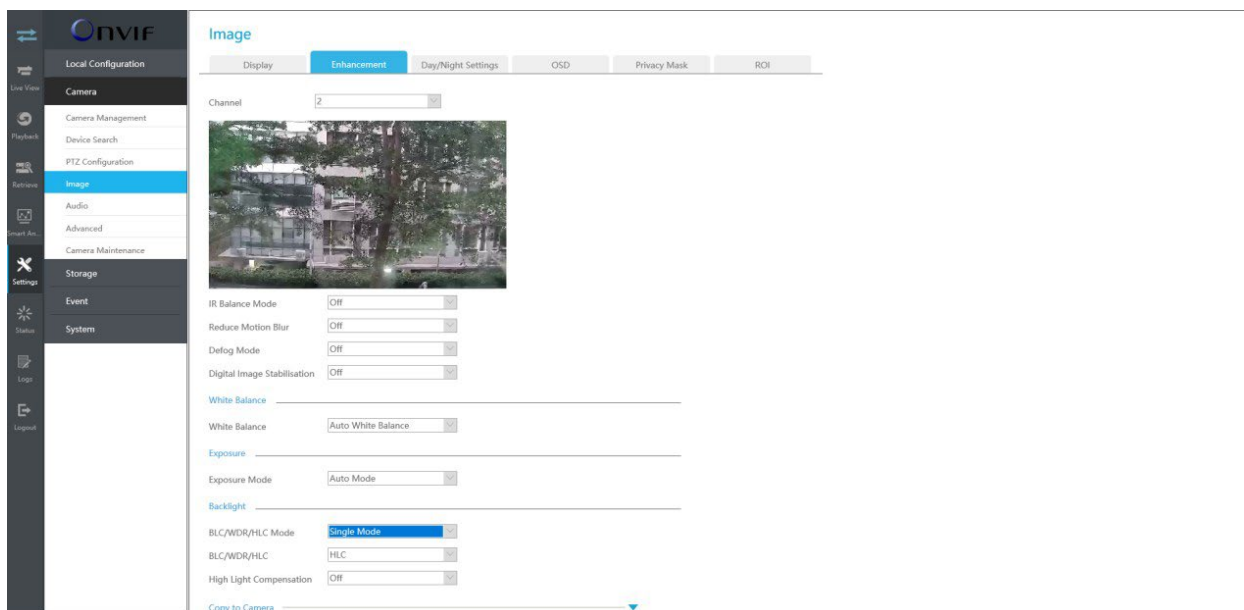
1. スモークドームカバーは、Pro DomeおよびPTZ Domeカメラにのみ対応しています。
2. IR LEDを搭載したカメラでは、スマートIRモードとIR LEDレベルがサポートされています。
3. ホワイトLEDレベルは PTZバレットカメラにのみ対応しています。
4. オートモードの「昼→夜」「夜→昼」感度は、180° パノラマバレット、ミニバレットのファームウェアバージョンが4X.7.0.74以上の場合のみ使用可能です。

ステップ3. ウィンドウの下部にある「カメラにコピー(Copy To Camera)」をクリックして、画像設定を他のチャンネルにコピーします。

ステップ4. 「保存」を選択して、設定を保存します。

3.6.4.2 エンハンスメント

NVRでエンハンスメントを設定すると、その設定はカメラに同期されます。



設定→カメラ設定→イメージ→エンハンスメント

ステップ1. チャンネルを選択します。

ステップ2. 設定します。

ビデオのノイズを減少： 5MP@20fpsのカメラにのみ対応し、不安定な現象を低減させます。

ホワイトバランス：チャンネルのホワイトバランスモードを選択します。

Defogモード：霧の中でより良い画像効果を得ることができます。

DIS：オン、オフが選択可能。設置されている建物自体の微振動をデジタル処理で修正してブレを軽減した映像にします。

動体ぶれを軽減：画像のブレを軽減します。

露出モード：自動モード、手動モード、スケジュールモードが設定できます。

IRバランスモード：赤外線の過剰露出を避けるためにオンにします。

BLC/WDR/HLC モード：シングルモード、Day/Nightモード、スケジュールモードを設定できます。

BLC/WDR/HLC：BLC(逆光補正)、WDR(ワイドダイナミックレンジ)、HLC(ハイライトコントロール)を設定することができます。

ワイドダイナミックレンジ：オフ、カスタマイズ、オンが選択可能です。

ワイドダイナミックレベル：WDR を Low/High/自動 レベルで設定します。

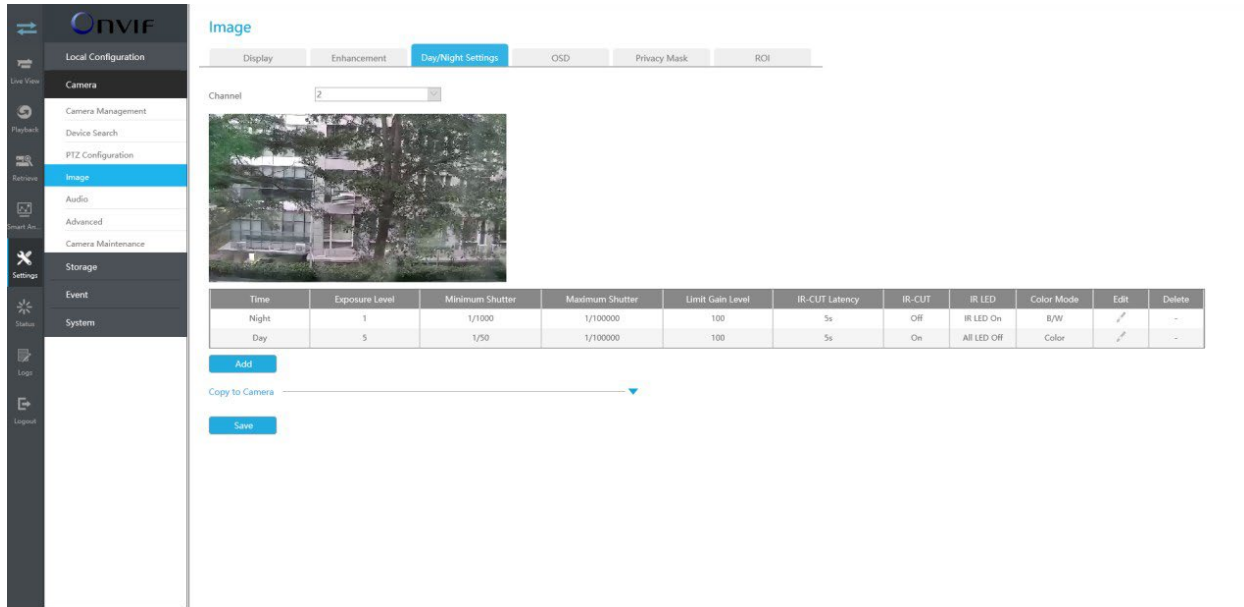
BLCエリア：オフ、カスタマイズ、中央が選択可能（シングルモードの場合、WDRが無効のときのみ有効）。

ステップ3. ウィンドウの下部にある「カメラにコピー(Copy To Camera)」をクリックして、画像設定を他のチャンネルにコピーします。



ステップ4. 「保存」を選択して、設定を保存します。

3.6.4.3 Day/Night設定



設定→カメラ設定→イメージ→Day/Night設定

ステップ1. チャンネルを選択します。

ステップ2. 各項目を設定します。

露光レベル：レベル 0~10 の範囲で設定します。

低速シャッター：1~1/100000sの範囲で設定します。

高速シャッター：1~1/100000sの範囲で設定します。

ゲインレベル制限：リミットゲインレベルを1~100の範囲で設定します。

IR-CUT 間隔：モードが切り替わるまでのインターバル時間。1-20sの範囲で設定します

IR-CUT：IR-CUTのオン/オフを切り替えます。

IR LED：IR-LEDのオン/オフを切り替えます。

カラーモード：白黒/カラーを切り替えます。

編集：上記のパラメータを編集します。

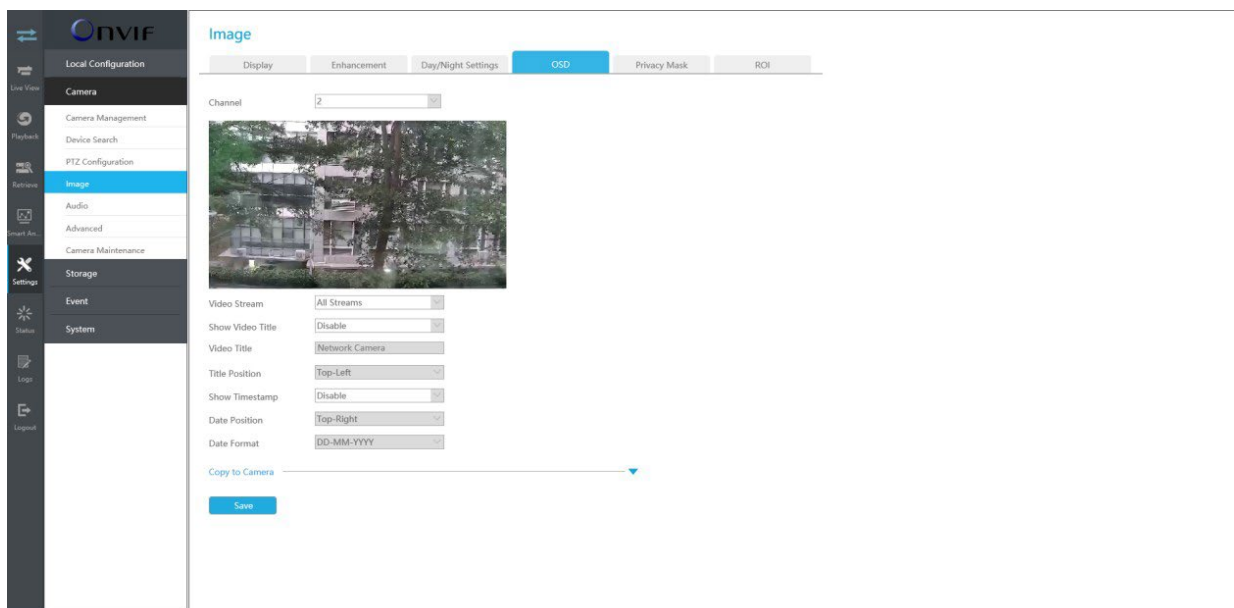
ステップ3. ウィンドウの下にある「カメラにコピー (Copy To Camera)」をクリックして、画像の設定を他のチャンネルにコピーします。



ステップ4. 「保存」を選択して、設定を保存します。

3.6.4.4 OSD

NVRでOSD（オンスクリーンディスプレイ）を設定します。OSDはカメラと同期されます。



設定→カメラ設定→イメージ→OSD

ステップ1. チャンネルを選択します。



ステップ2. すべてのストリーム、プライマリストリーム、セカンダリストリームからビデオストリームを選択します。

ステップ3. ビデオのタイトルとタイムスタンプを有効にします。

ビデオタイトルを表示する：有効にすると、ビデオタイトルが画面上に表示されます。

タイトルの位置：ビデオタイトルの位置を設定します。左上または右上に設定します。

日付の位置：左上、右上、左下、右下のいずれかを設定します。

日付の形式：YYYY-MM-DD、MM/DD/YY、DD/MM/YYYYのいずれかを設定します。

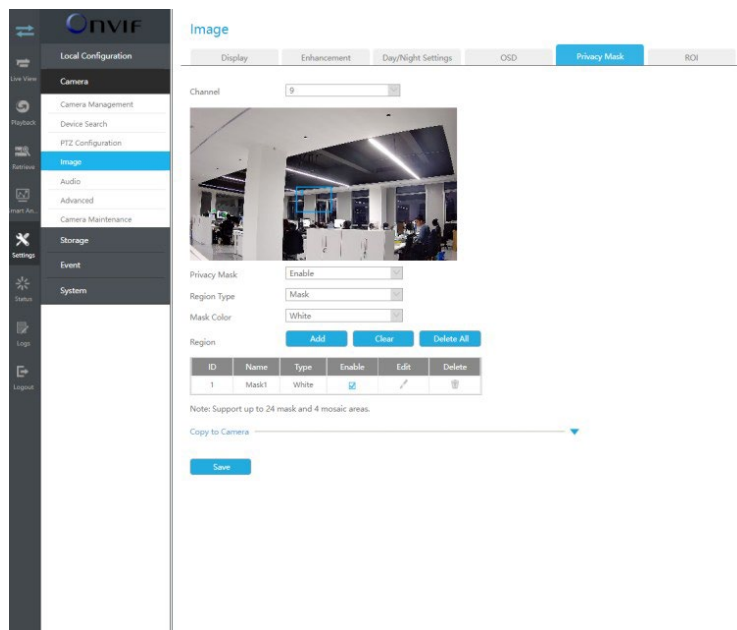
ステップ4. ウィンドウのボタンにある“カメラにコピー (Copy To Camera)”ボタンをクリックして、OSD設定を他のチャンネルにコピーしてください。

ステップ5. 「保存」を選択し、設定を保存します。



3.6.4.5 プライバシーマスク

NVRはプライバシー・マスクの設定ができます。モニターに表示するのが適切でないプライバシー・エリアをカバーするために使用されます。



プライバシーマスクは、以下の手順で追加することができます。
設定→カメラ設定→イメージ→プライバシーマスク

ステップ1. チャンネルを選択し、プライバシーマスクを有効にします。

ステップ2. 検索エリアのタイプ：色を選択します。

ステップ3. マウスをドラッグしてライブビューウィンドウ上で保護する必要のあるマスクエリアを選択し、「追加」ボタンをクリックしてテーブルにマスクエリアを追加します。最大24個のマスクエリアを追加でき、各ゾーンは有効・無効を切り替えることができます。テーブルに追加された検索エリアは、「保存」をクリックするまで有効になりませんのでご注意ください。

注

- カメラの機種がLiteシリーズでないこと、カメラのバージョンが40.X.X.X、41.X.X.X、46.X.X.X. でないことを確認してください。
- モザイク検索エリアをサポートするために、NVRのバージョンがV7x.9.0.14以上であり、カメラのバージョンがVxx.7.0.79以上であることを確認してください。

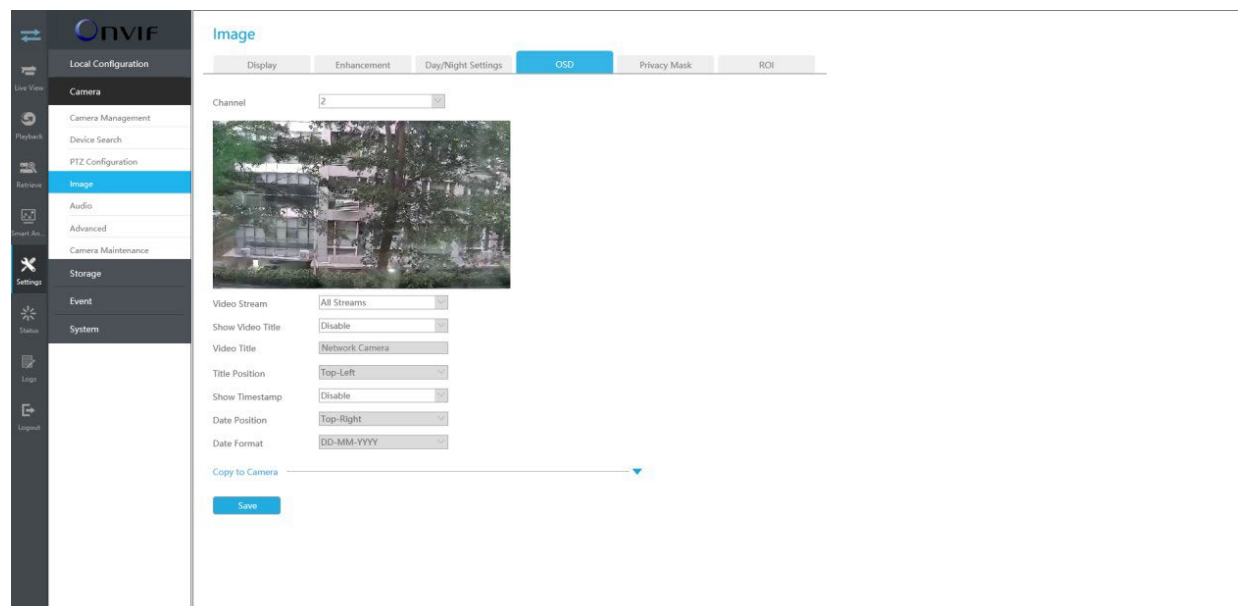
ステップ4. ウィンドウのボタンにある “カメラにコピー (Copy To Camera) ” ボタンをクリックして、プライバシーエリアを他のチャンネルにコピーします。

ステップ5. 「保存」を選択し、設定を保存します。

注：ネットワークカメラのファームウェアのバージョンが4X.7.0.70以上であることを確認してください。

3.6.4.6 ROI

NVRはROI (Region Of Interest)の設定をサポートします。これは、帯域幅とストレージを最適化するために設計された画像のクロップ機能です。



以下の手順でROIを追加することができます。

ステップ1. チャンネルを選択し、ROIを有効にします。

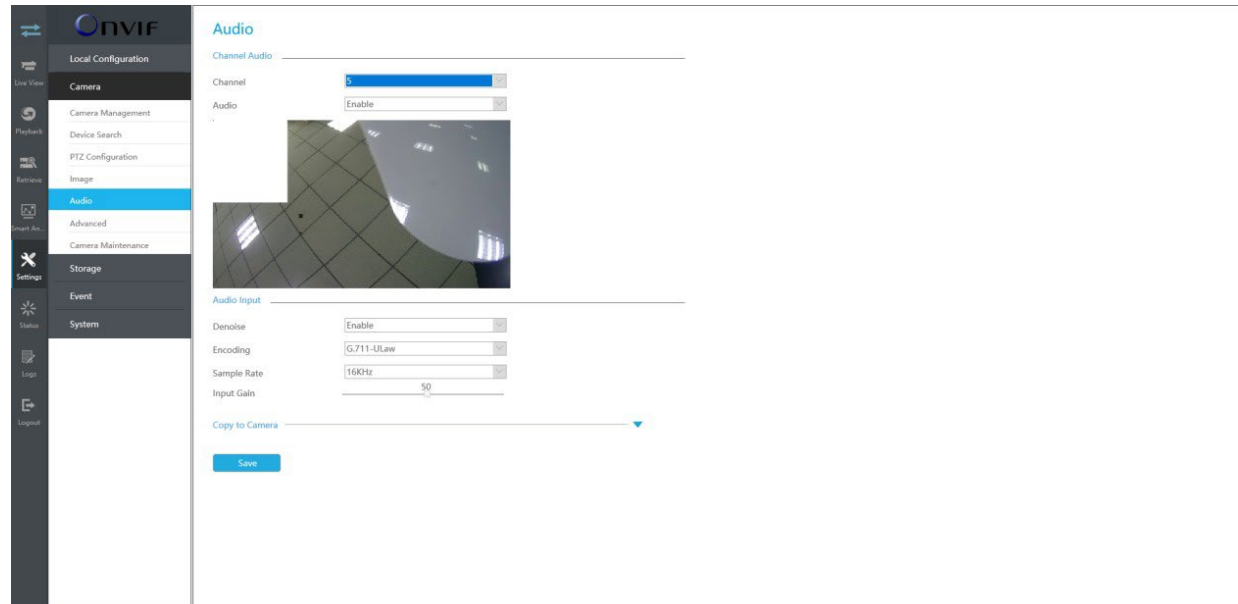
ステップ2. プライマリストリームとセカンダリストリームからビデオストリームタイプを設定します。マウスをドラッグして、プレビューウィンドウのエリアを選択します。“追加”をクリックします。

追加ボタンをクリックすると、その検索エリアがテーブルに追加されます。最大で8つのエリアを追加でき、各ゾーンは有効・無効にすることができます。テーブルに追加された検索エリアは、「適用」をクリックするまで有効になりませんのでご注意ください。

ステップ3. ウィンドウの下部にある“カメラにコピー(Copy To Camera)”ボタンをクリックして、ROIエリアを他のチャンネルにコピーします。

ステップ4. 「保存」を選択し、設定を保存します。

3.6.5 オーディオ



このオーディオ機能では、カメラのオーディオパラメータを設定することができます。

設定→カメラ設定→オーディオ

オーディオ：オーディオ機能を有効にします。


ノイズ除去：On/Offで設定します。オンに設定すると、検出されたノイズをフィルタリングすることができます。

エンコーディング：G. 711-ULaw、G. 711-ALaw、AAC LC、G. 722、G. 726が利用可能です。

サンプルレート：8KHz、16KHz、32KHz、48KHzを選択可能。

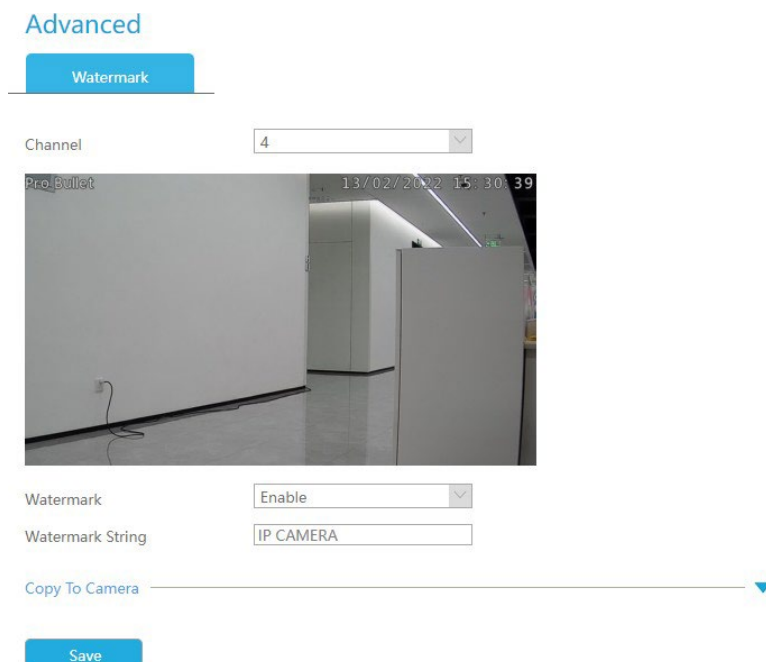
オーディオビットレート：AAC LCのみ使用可能で、最大256kbpsまで対応します。

入力ゲイン：入力オーディオのゲインレベルで、0～100です。

 カメラのバージョンがxx. 7. 0. 76以上であることを確認してください。

3. 6. 6 高度な設定

3. 6. 6. 1 ウォーターマーク



設定→カメラ設定→高度な設定→ウォーターマーク

以下の手順で、透かしを入れることができます。


ステップ1. チャンネルを選択します。

ステップ2. ウォーターマークを有効にします。

ステップ3. ウォーターマーク 文字列を入力します。

ステップ4. ウィンドウの下部にある「カメラへコピー」をクリックして、設定を他のチャンネルにコピーします。

ステップ5. 「適用」を選択して、設定を保存します。

 **注：**ウォーターマークは、サードパーティーでエクスポートする場合のみ表示されま
す。

3.6.7 カメラのメンテナンス

NVRは、カメラのオンライン・アップグレードとローカル・アップグレードの両方をサポー
トします。

設定→カメラ設定→カメラメンテナンス→ローカルアップグレード
ローカルアップグレード

ステップ1. ブラウザボタンをクリックし、ファームウェアを選択します。



The screenshot shows the 'Camera Maintenance' page with the 'Local Upgrade' tab selected. Under the 'Upgrade' section, there is a 'Firmware' input field and a 'Browse' button. A red box highlights the 'Browse' button. Below the input field, there is a checkbox labeled 'Reset settings to factory default (except IP Address and User information)' which is currently unchecked. At the bottom of the section, there are 'Upgrade' and 'Refresh' buttons.

ステップ2. バージョンアップ後、IPアドレスとユーザ情報以外の設定を工場出荷時の
設定に戻す場合は「工場出荷時設定に戻す」にチェックを入れます。



This screenshot is similar to the previous one, but the checkbox 'Reset settings to factory default (except IP Address and User information)' is now checked. A red arrow points to the checked checkbox. The 'Browse' button is still highlighted with a blue box.

ステップ3. アップグレードしたい該当チャンネルを選択し、「アップグレード」をクリ
ックすると、カメラがアップグレードされます。

Camera Maintenance

Local Upgrade

Online Upgrade

Upgrade

Firmware

Browse

Reset settings to factory default (except IP Address and User information)

Upgrade

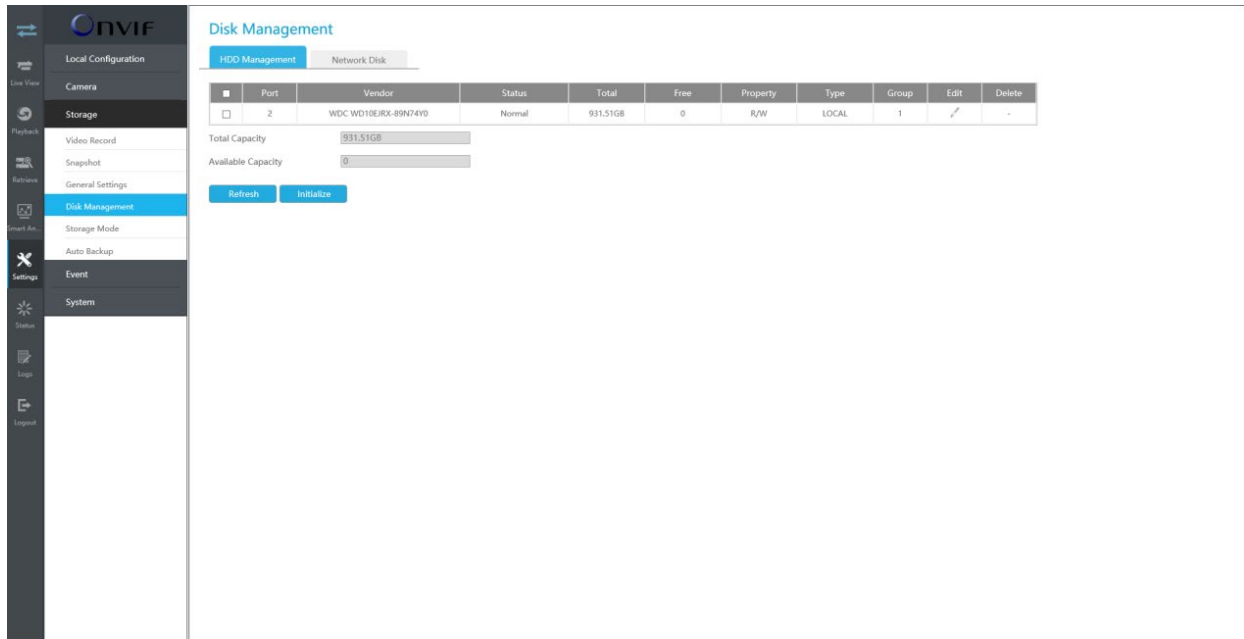
Refresh

<input checked="" type="checkbox"/>	Channel	Channel Name	Status	IP Address	Channel ID	Protocol	MAC	Firmware Version
<input checked="" type="checkbox"/>	1	CAM1		192.168.14.102	-	ONVIF		
<input checked="" type="checkbox"/>	2	CAM2		192.168.14.103	-	ONVIF	1CC316219804	40.7.0.78-r1
<input checked="" type="checkbox"/>	3	CAM3		192.168.14.104	-	ONVIF	1CC316238D13	40.7.0.78-r1
<input checked="" type="checkbox"/>	4	CAM4		192.168.14.105	1	ONVIF	1CC316220D8D	43.7.0.78-r1

3.7 ストレージ

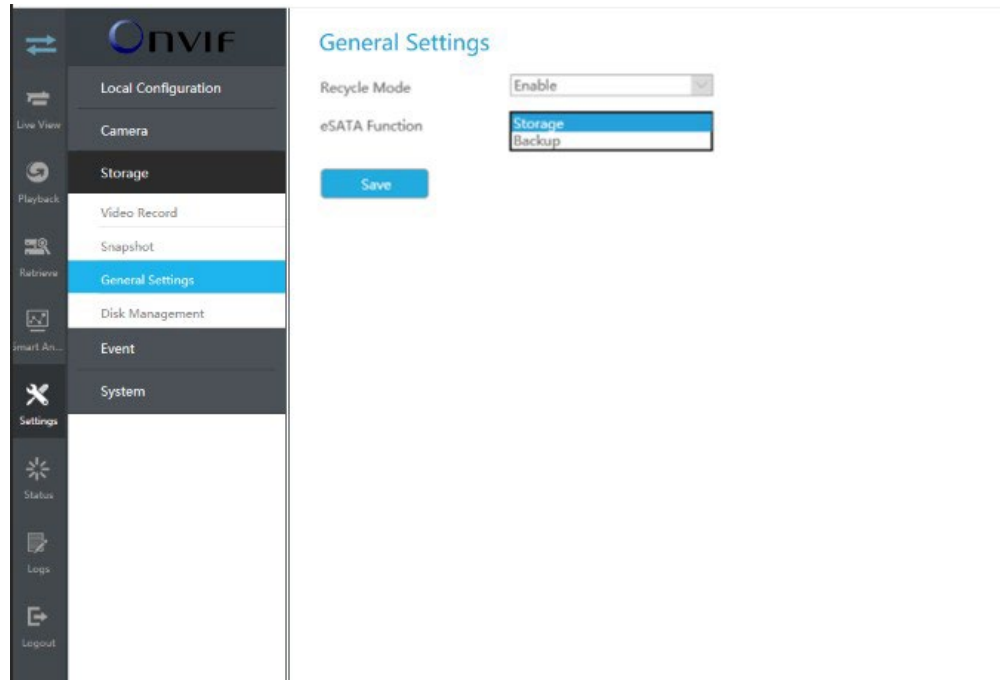
録画のための準備

ステップ1. NVRがインストールされ、HDDが初期化されたことを確認します。設定→「ストレージ」 → 「ディスク管理」で確認してください。




ステップ2. HDDに十分な記憶容量があることを確認します。

ストレージ→一般設定のインターフェースで、ストレージデバイスの容量不足の場合の「リサイクルモード」を有効にする。



リサイクルモード。すべてのストレージデバイスのリサイクルモードを有効または無効にすることができます。

eSATA機能。ストレージとバックアップの両方が可能です。

 注： eSATA機能はNVR 8000シリーズでのみ利用可能です。

3.7.1 動画録画

録画スケジュール

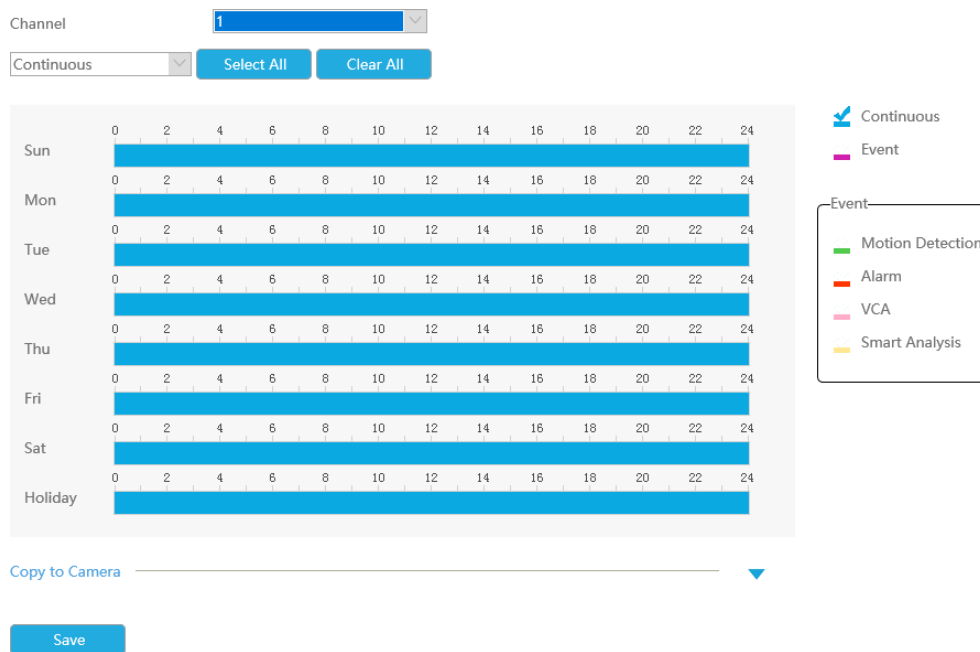
設定→ストレージ→ビデオ録画

ステップ 1. チャンネルを選択します。

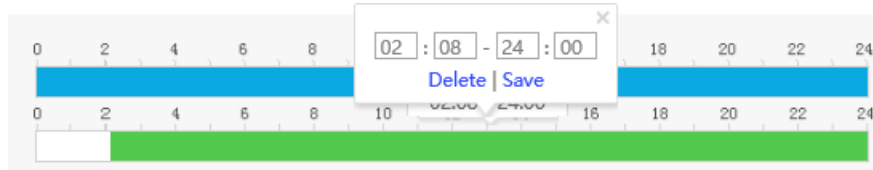



ステップ2. 録画スケジュールを設定する

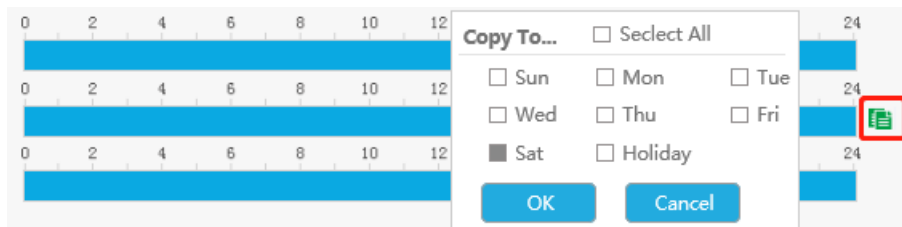
操作の種類を選択します。連続、イベント（動体検知、Audio Alarm、Alarm Input、スマートイベント、スマート分析を含む）、消去のいずれかを選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして、録画有効時間を設定します。すべて選択」または「すべて消去」をクリックすると、対応するすべてのスケジュールを設定または消去することができます。



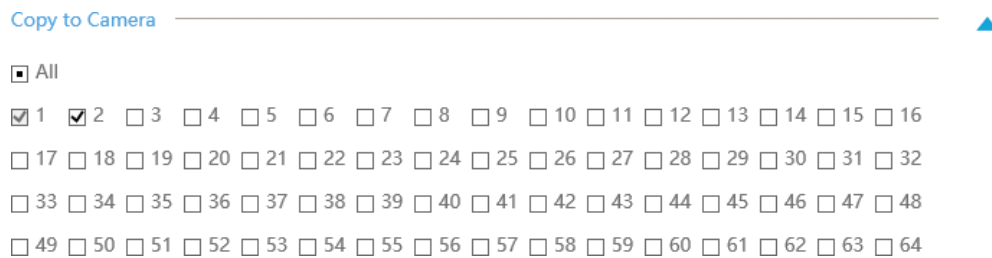
また、タイムバーをクリックすると、録画時間の再編集ができます。




 をクリックすると、時刻設定を他の日にコピーすることができます。



ステップ3. 「Copy To Camera」をクリックすると、同じ録画設定を他のチャンネルにコピーすることができます。



 **注:** ここでは、ナンバー・プレートがNVRが録画するように、ANPR録画を正しく設定する手順を説明します。

ステップ 1: ストレージ -> ビデオ録画 -> 録画スケジュールで、録画タイプとしてスマート解析を設定します。スマート解析の隣にある感嘆符は、スマート解析にANPRが含まれていることを示すために使用されます。

Video Record

Record Schedule | Record Settings

Channel: 1

Smart Analysis:

Event

- Motion Detection
- Alarm
- VCA
- Smart Analysis

Copy to Camera

ステップ2: ブラックリストモード、ホワイトリストモード、訪問者モードが必要に応じて有効になっていることを確認します。

ステップ 3: Black List Mode/White List Mode/Visitor Modeの有効時間とトリガーチャンネルの録画動作を設定します（デフォルトでフル有効時間、トリガーチャンネルの録画が設定されています）。

Action

Audible Warning | Email Linkage | PTZ Action | Alarm Output | White LED | Others

Trigger Channels Record

All

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48

49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

Trigger Channels Snapshot

All

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

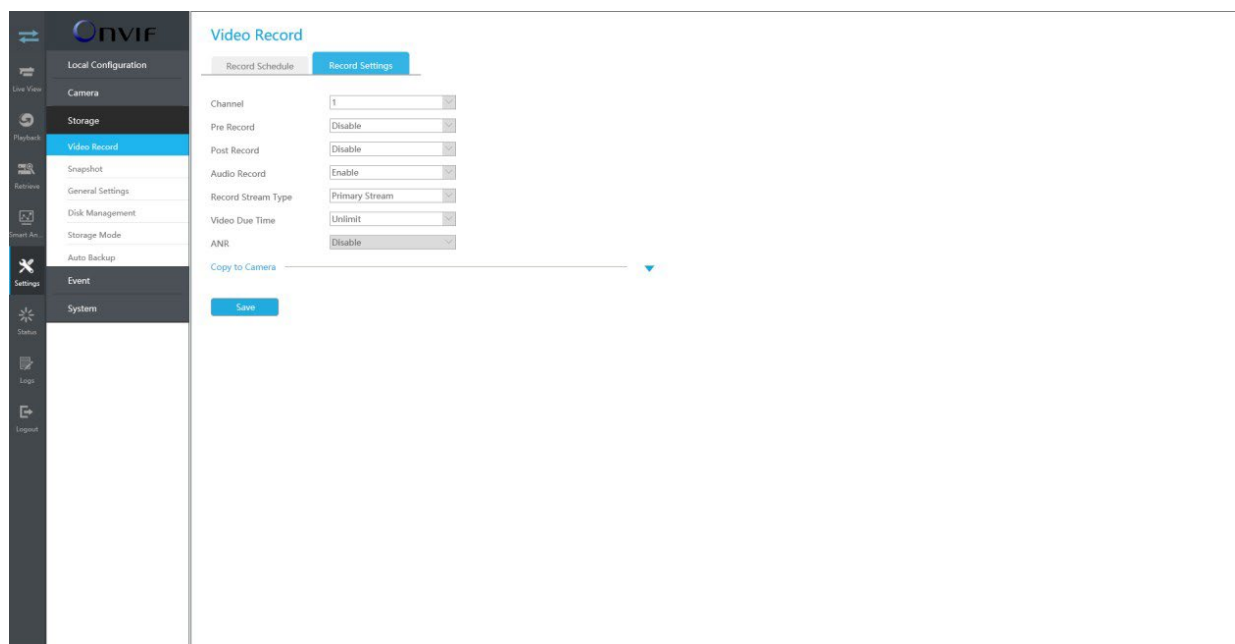
17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48

49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

Note: This page's configuration will not be copied into other channels.

選択したチャンネルの一般的な設定を行います。「Copy To Camera」をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーします。



チャンネルを選択: 設定するチャンネルを選択します。

プリ録画: イベントの事前録画の継続時間です。イベントが検出される前に録画を開始します。

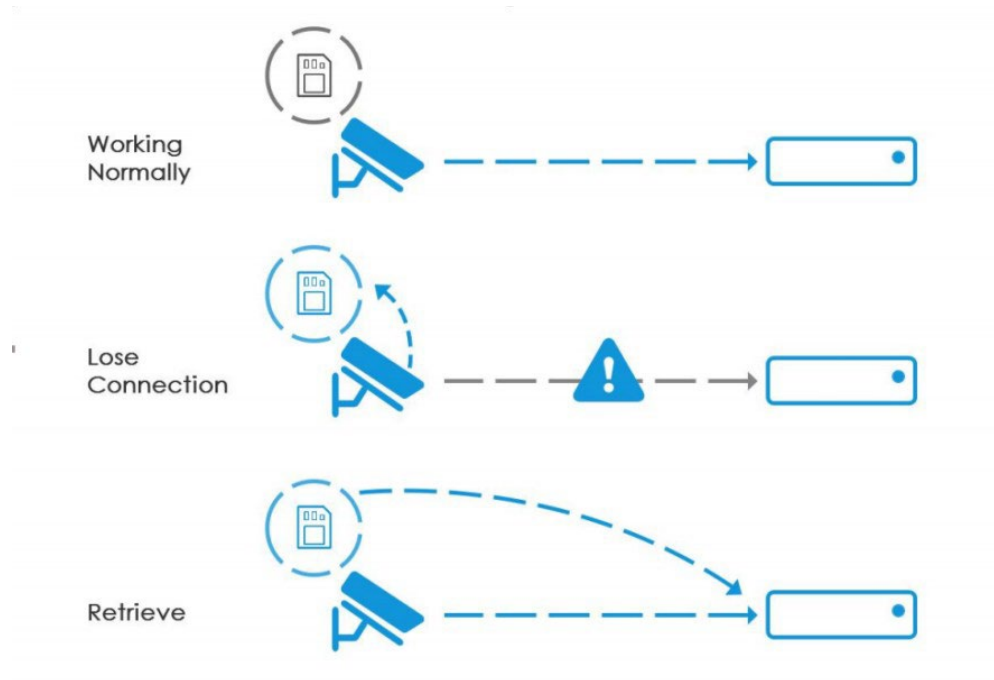
ポスト録画: イベントのポスト録画の持続時間。イベント終了後も録画を継続する。

音声記録: 音声を記録するかどうかを選択します。

録画ストリームの種類: 録画のメイン ストリームまたはサブ ストリームを選択します。プライマリ+サブストリームは、Tで終わるNVRモデルでのみ利用可能です。サブストリームが無効なステータスで録画用に選択された場合、サブストリームが利用できないことをポップアップ表示されます。

ビデオ期限: 録画ファイルの期限を設定し、1~120日が利用可能です。

ANR (Automatic Network Replenishment): インターネットの中断による録画のギャップを自動的に補充することができます。下図のように、NVRとカメラ間のネットワーク接続が正常な場合、NVRはビデオを保存します。接続がされていない場合、カメラは連続録画を開始し、代わりにSDカードにビデオを保存します。そして、再接続後、NVRは一定期間内にカメラのSDカードから失われたビデオを自動的に取得し、データの欠落を防ぎます。



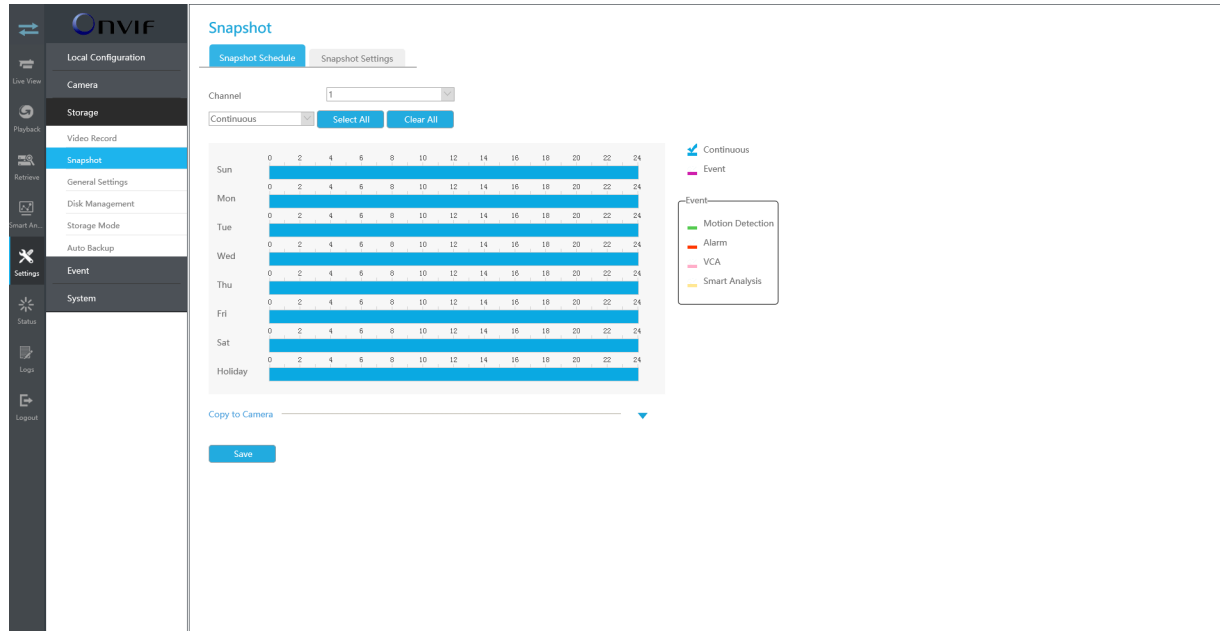
以下、ANRを使用する際の注意点です。

注 

1. ご使用の機器のファームウェアが正しいバージョンであることをご確認ください。
 - カメラV4X. 7. 0. 72以上
 - NVR: V7X. 9. 0. 6またはそれ以上
2. カメラにSDカードが搭載されていること。
3. カメラは、MSSPプロトコルによってNVRに追加される必要があります。
4. NVRに録画スケジュールがあるかどうかに関係なく、カメラはANR録画を行い、再接続後にNVRに保存します。

NVRに録画スケジュールがあるかどうかに関係なく、カメラはANR録画を行い、再接続後にNVRに保存します。

3.7.2 スナップショット



設定→ストレージ→スナップショット

 注：Cで終わるNVRモデルは、この機能をサポートしていません。

スナップショットスケジュール

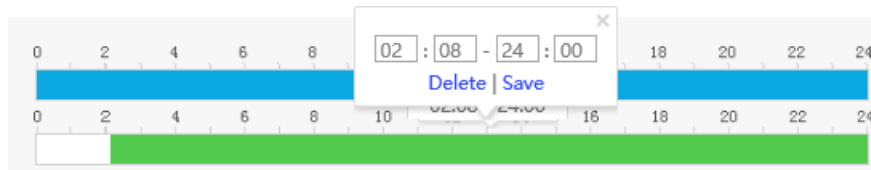
ステップ1. チャンネルを選択します。


ステップ2. スナップショットのスケジュールを設定します。

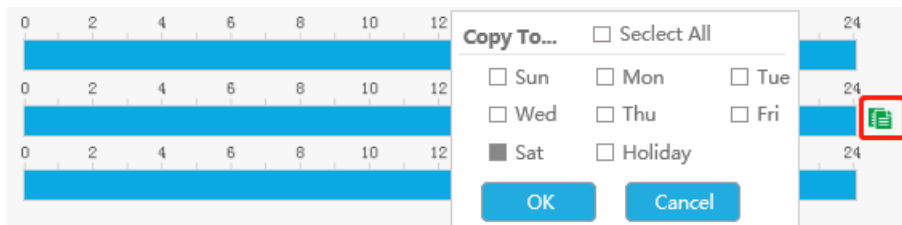
操作の種類を選択します。継続的イベント、モーション検出、Audio Alarm、Alarm Input、映像解析、スマート画像解析のいずれかを選択します。イベント録画には、モーション検出、アラーム、VCA、スマート分析などのイベントが含まれており、イベント再生で検索できます。タイムテーブルの四角をドラッグして、録画の有効時間を設定します。すべて選択」または「すべて消去」をクリックすると、対応するすべてのスケジュールを設定または消去することができます。



また、タイムバーをクリックすると、録画時間の再編集ができます。



 をクリックすると、時刻設定を他の日にコピーすることができます。



ステップ 3. [Copy To Camera] をクリックすると、同じスナップショットの設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

Copy to Camera

All

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
- 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
- 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
- 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

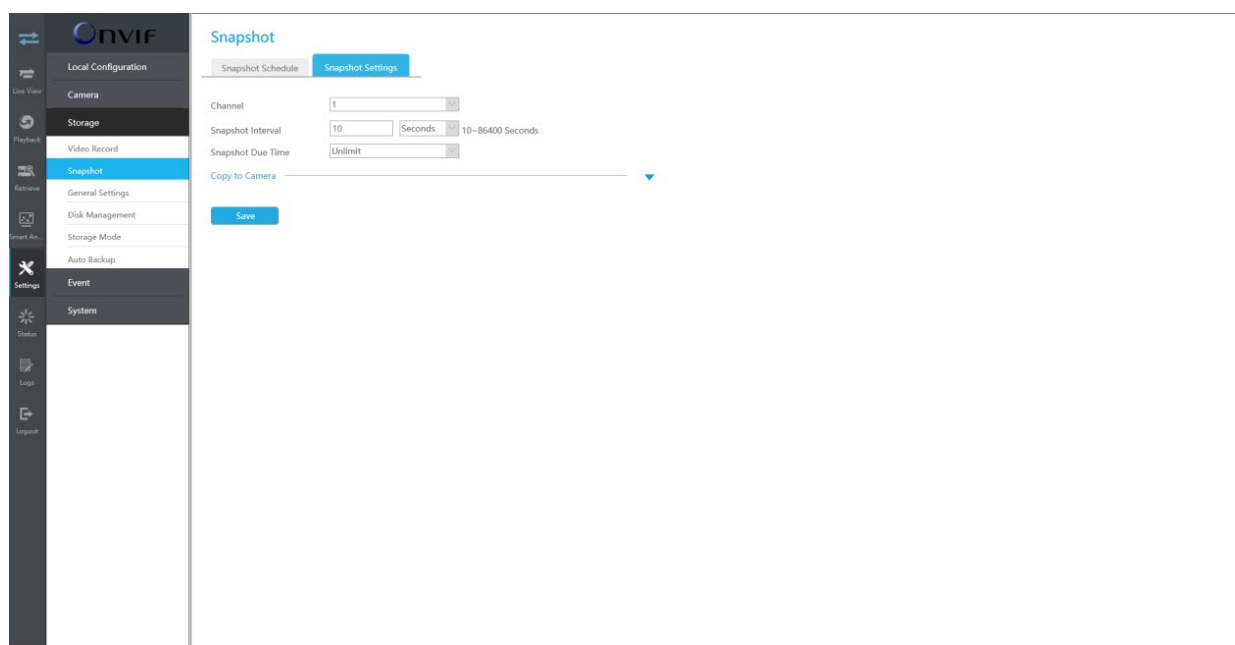
スナップショットの設定

チャンネルの一般設定「カメラにコピー (Copy To Camera)」をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーします。

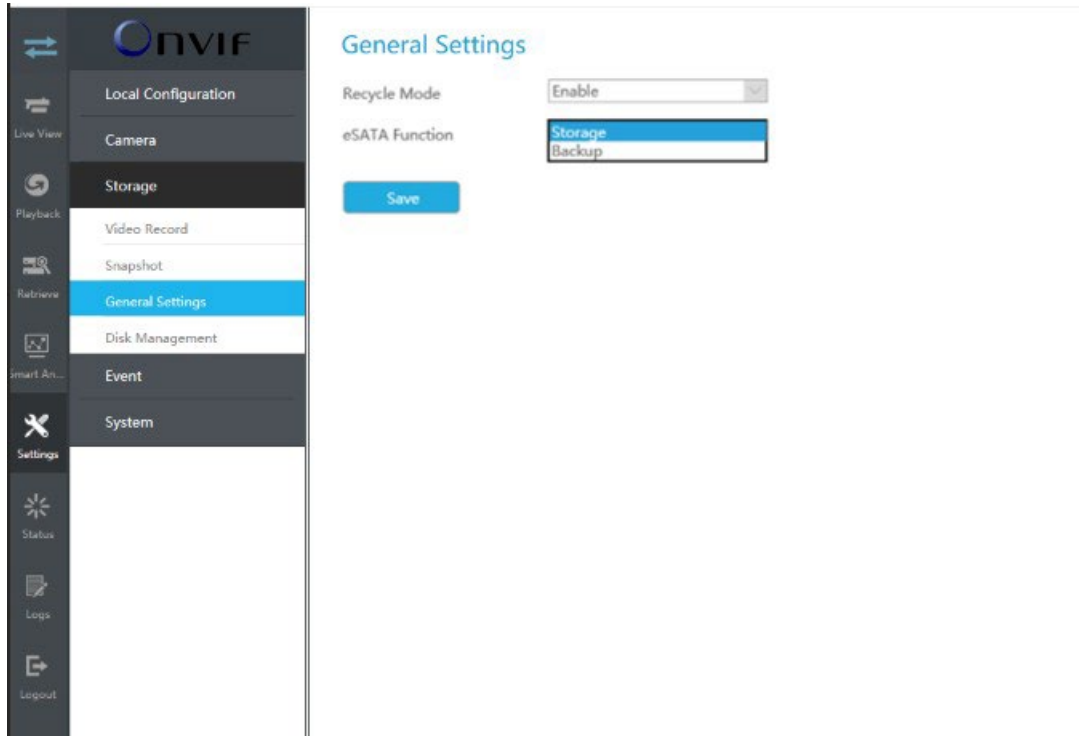
チャンネルを選択: 設定するチャンネルを選択します。

スナップショット間隔: スナップショット間隔を設定します。10~86400秒が利用可能です。

スナップショット期限: スナップショットファイルの期限を設定し、1~120日または無制限が利用可能です。



3.7.3 一般設定



リサイクルモード：すべてのストレージデバイスのリサイクルモードを有効または無効にすることができます。

eSATA機能：ストレージとバックアップの両方が可能です。

注： eSATA機能はNVR 8000シリーズでのみ利用可能です。

3.7.4 ディスクの管理

ディスクのステータスを確認、ネットワークディスクを追加することができます。
設定→ストレージ→ディスク管理→HDD管理

HDD管理

プロパティ：R/W、読み取りのみが選択可能です。

注：録画スケジュールを設定する前にHDDを初期化することで、録画が正常に行われるようになります。

Disk Management

HDD Management Network Disk

Port	Vendor	Status	Total(GB)	Free(GB)	Type	Property	Delete
2	WDC WD2500BEVT-08A23T1	Normal	232	0	LOCAL	R/W	-

Total Capacity(GB) 232

Available Capacity(GB) 0

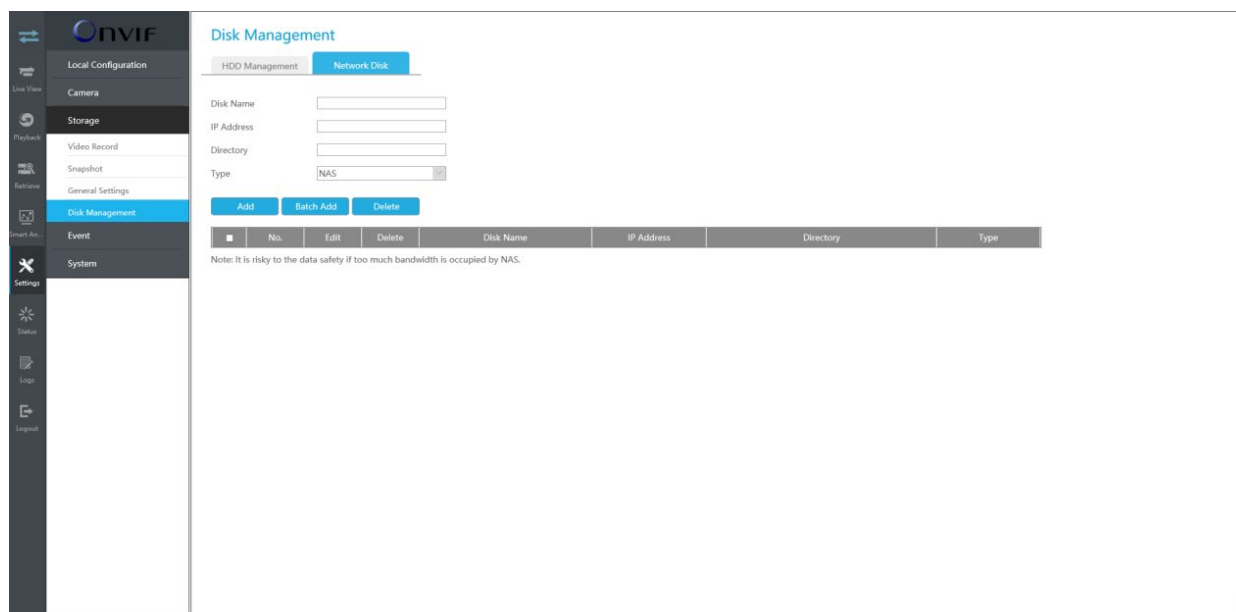
Refresh Save Initialize


ネットワークディスク

NAS (Network-Attached Storage) がネットワーク内にあり、録画ファイルやスナップショットを保存するために適切に設定されている必要があります。NASを追加するには、対応するNAS情報を入力します。

注 

1. ネットワークディスクの追加は、NFS形式のみです。
2. ネットワークディスクではなく、ハードディスクを使用することをお勧めします。



 をクリックして、プロパティを編集します。これで、ストレージデバイスの準備が整いました。

HDDの種類 : RAIDはRAID、NASはネットワーク添付ドストレージ、LOCALはノーマルディスクモードを意味します。

手動で追加するか、「一括追加」をクリックしてローカルNASを検索することができます。

Network Disk Search

Type NAS

☐	File Path

3.7.5 RAID

RAID

RAID Mode Enable

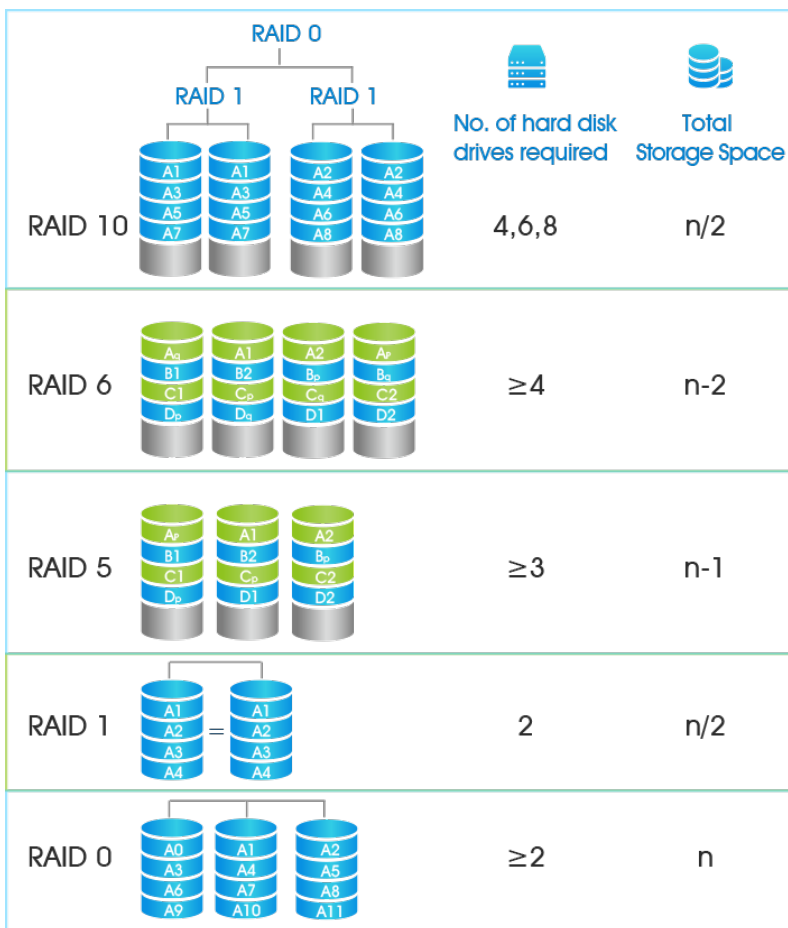
Physical Disk

☐	Port	Vendor	Status	Capacity	Type	Hot Spare
☐	3	WDC WD20EJRX-89G3VY0	Normal	1.819TB	Array	-
☐	4	WDC WD10EJRX-89N74V0	Normal	931.51GB	Array	-

Array

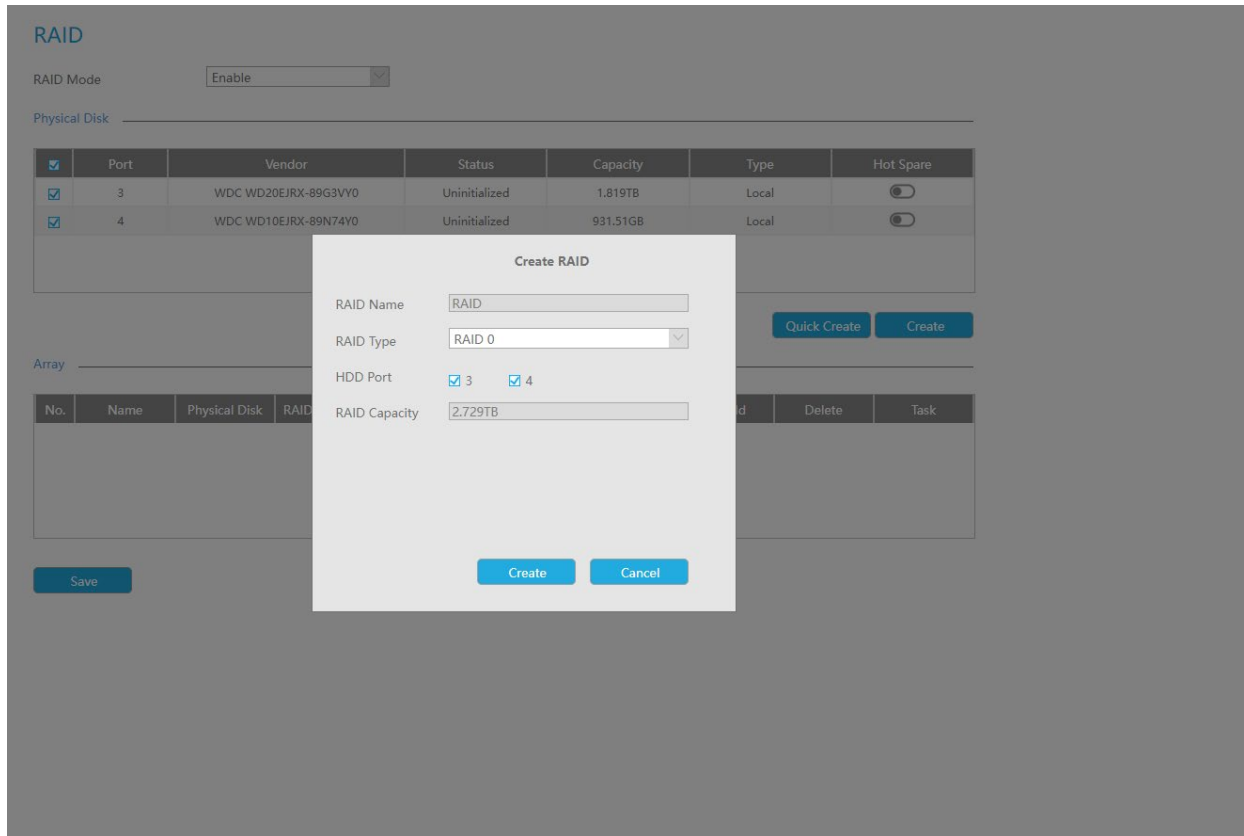
No.	Name	Physical Disk	RAID Capacity	Status	Level	Hot Spare	Rebuild	Delete	Task
26	RAID	3,4	931.38GB	Recovery	RAID1	-	-	🗑	

RAID (Redundant Array of Independent Disks) は、複数のディスクドライブのコンポーネントを論理的なユニットに結合するストレージ技術である。RAIDは、複数のハードディスクドライブにデータを保存し、1台のディスクが故障してもデータを復元できるよう、十分な冗長性を持たせています。



ステップ1. RAIDを有効にします。有効にするとNVRは再起動します。

ステップ2. HDDを選択し、「作成」または「クイック作成」をクリックして、新しいアレイを作成します。しばらくすると、新しいアレイが利用可能になります。



ホットスペアディスク：ディスクは、システムで作成されたすべてのアレイのホットスペアとして使用することができます。

再構築：アレイがDegradedステータスのとき、デバイスはホットスペアディスクで自動的にアレイの再構築を開始し、データの高い安全性と信頼性を確保することができます。

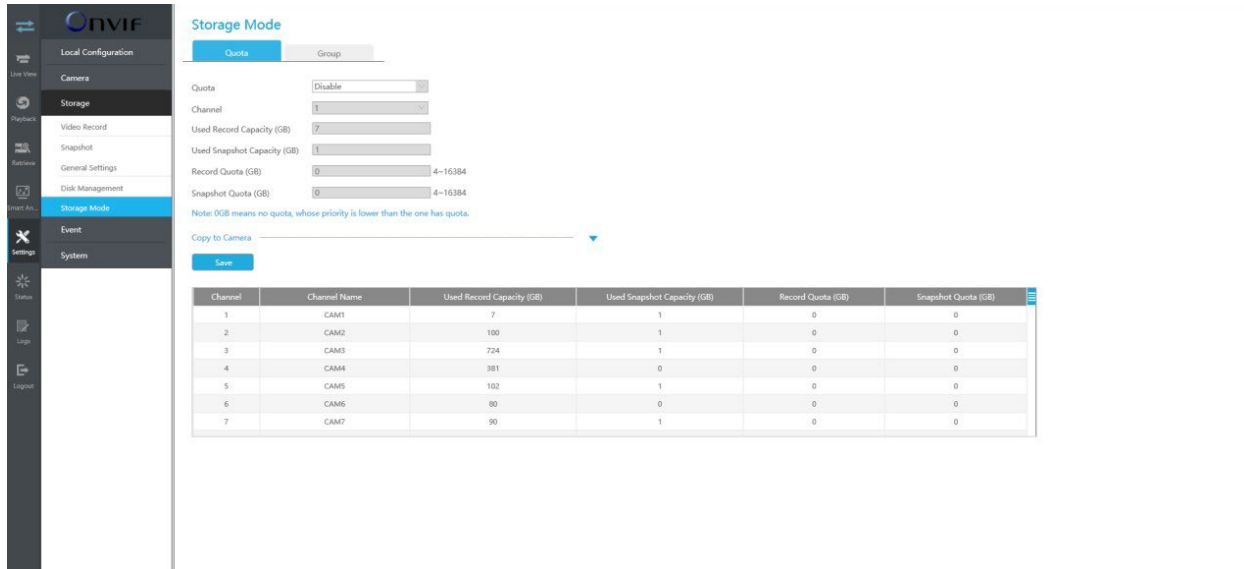
注 

1. RAIDは、4K H. 265 NVR 7000/8000シリーズおよび4K H. 265 PoE NVR 7000シリーズでのみ利用可能です。
2. RAIDを作成するための16TB以上の容量をサポートし、RAIDのデータは正常に読み書きすることができます。ユーザーの大容量ストレージへの要求に応えます。
3. Quick CreateはRAID5のみ。

3.7.6 ストレージモード

クォータ

スナップショットやレコーディングなど、チャンネルごとにストレージ容量を設定できるため、より柔軟にストレージを割り当てることができます。



設定→ストレージ→ストレージモード→クォーター

ステップ1. クォータを有効にする。

Quota

ステップ2. クォータを有効にしたいチャンネルを選択します。応するチャンネルの使用録画容量と使用スナップショット容量が自動的に表示されます。

Channel

Used Record Capacity (GB)

Used Snapshot Capacity (GB)

ステップ3. 録画とスナップショットに対して別々にクォータを設定します。そして、クォータは0または、4~16384GBの範囲です。デフォルトは0GBです。

Record Quota (GB) 4~16384

Snapshot Quota (GB) 4~16384

ステップ 4. 「保存」をクリックして、現在のインターフェースの設定を有効にします。

「カメラにコピー (Copy To Camera)」をクリックし、画面を表示“OK”をクリックすると同じクォーターの設定を選択したチャンネルにコピーすることができます。

[Copy to Camera](#)

All

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
- 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
- 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
- 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

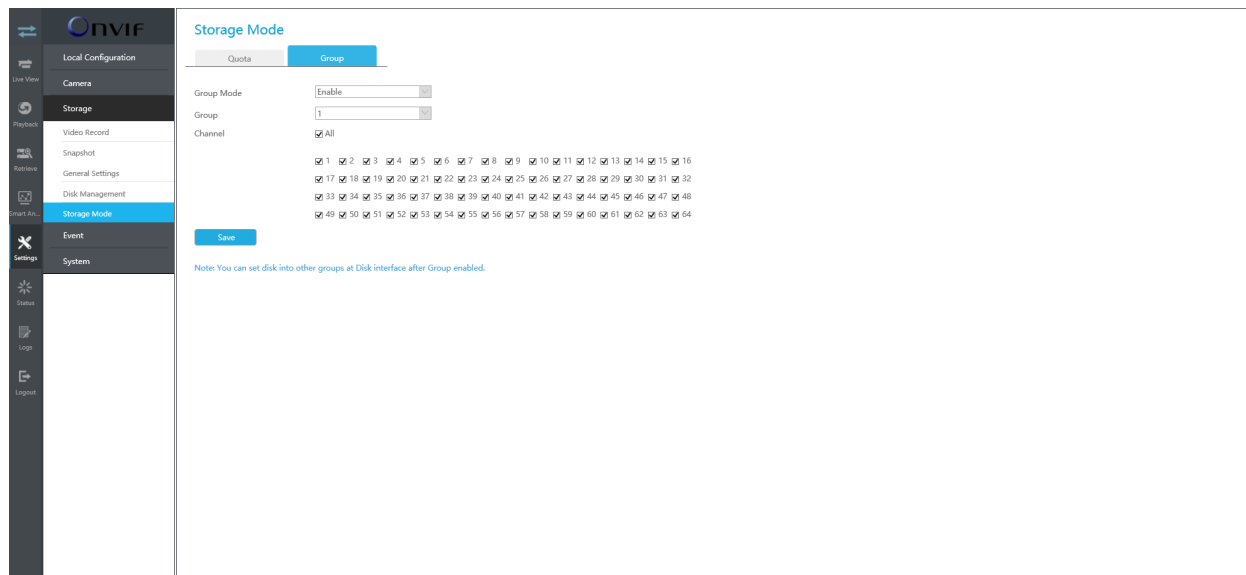
Save

各チャンネルのクォータステータスは、下部にある表に表示されます。

グループ

設定→ストレージ→ストレージモード→グループ

ディスクをグループ分けすることで、異なるチャンネルの録画ファイルを異なるグループに分けて保存することができます。



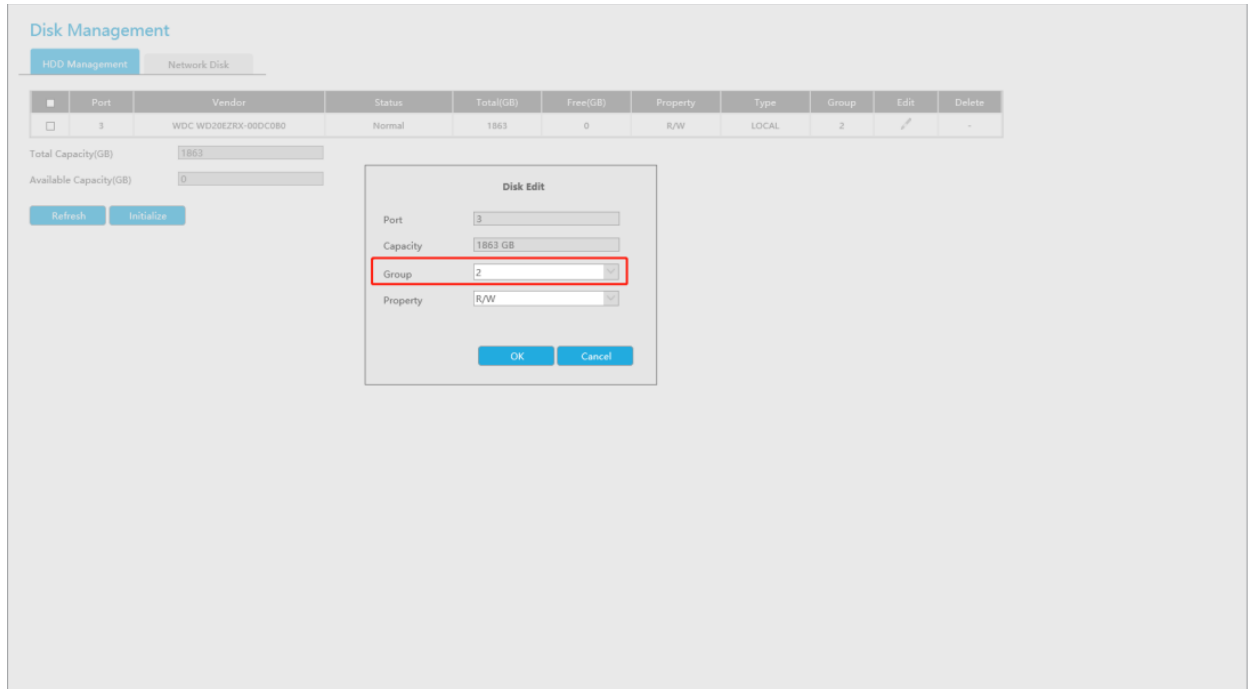
ステップ1. グループモード：グループを有効にする。

Group Mode

Enable

ステップ2. 「ディスクの管理」に切り替えます。☑ をクリックして、すべてのディスクのグループ番号を設定します。

📌 注：最大16グループまで追加可能です。



ステップ3. グループと、そのグループに録画したいチャンネルを選択します。

Quota Group

Group Mode

Group

Channel All

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

Save

Note: You can set disk into other groups at Disk interface after Group enabled.

3.7.7 自動バックアップ

Auto Backup

Auto Backup	<input type="text" value="Enable"/>
Storage Device	<input type="text" value="Select Device"/> <input type="button" value="Format"/>
Available Capacity	<input type="text" value="-"/>
Backup Start Time	<input type="text" value="Everyday"/> <input type="text" value="00 : 00 : 00"/>
Backup Channel	<input type="checkbox"/> All <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 14 <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 16
Backup Stream Type	<input type="text" value="Primary Stream"/>
Backup File Type	<input type="text" value="MP4"/>
Recycle	<input type="text" value="Enable"/>
Backup Status	<input type="text" value=""/>
Last Successful Backup	<input type="text" value=""/>

Note: The latest 24 hours' video will be backed up.


設定→ストレージ→Auto Backup

ステップ1. Auto Backupを**Enable**にします。

Auto Backup

ステップ 2. ストレージデバイスをUSBデバイス、NAS、eSATAディスクのいずれかを選択します。

Storage Device

 注: eSATAディスクはNVR 8000シリーズにのみサポートされています。

ステップ3. バックアップ開始時刻を設定します。

Backup Start Time

ステップ4. バックアップ チャンネルを選択するためにチェックボックスをオンにします。また、「すべて選択」 をクリックして、すべてのチャンネルを選択することもできます。

ステップ5. Backup File TypeをPrimary StreamまたはSecondary Streamに設定します。

ステップ6. バックアップファイルの種類をMP4、AVI、PSに設定します。

ステップ7. 自動バックアップ機能のリサイクルモードをEnableまたはDisableにすることができます。

ステップ 8. 「Save」をクリックして設定を保存すると、最新24時間分の動画が自動的にストレージデバイスにバックアップされます。

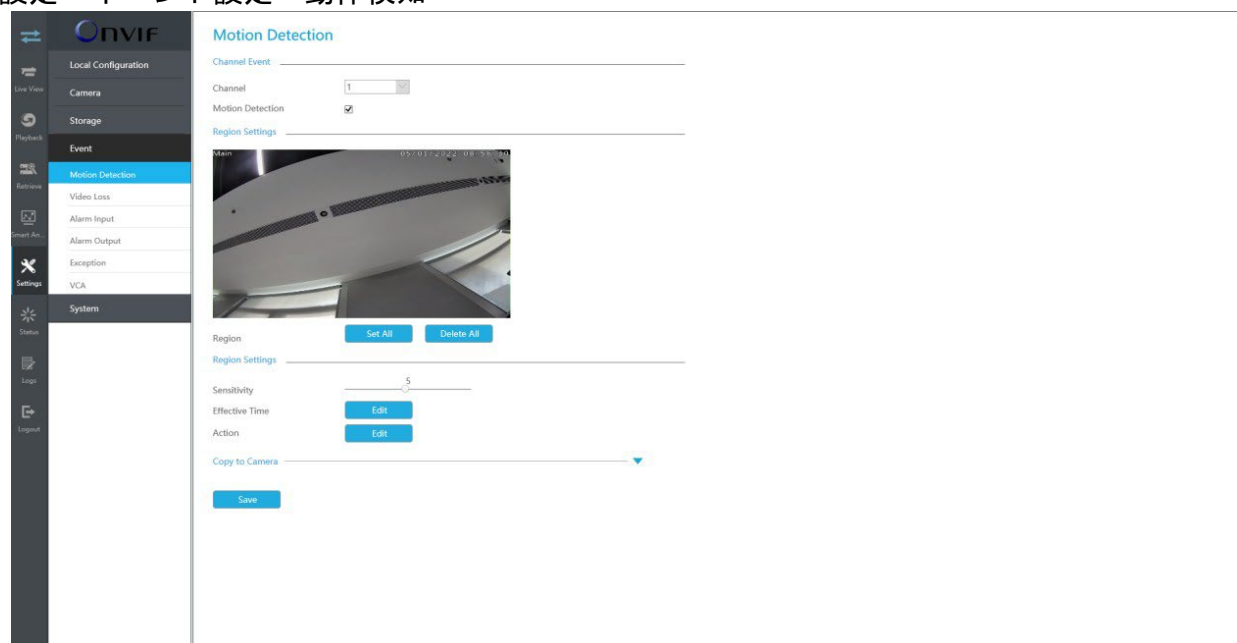
注

1. 自動バックアップのステータスはバックアップステータスバーで確認でき、対応するステータスは以下の通りです。
 - ストレージデバイスなし
 - サポートされていないストレージデバイスのフォーマット
 - スタンバイ
 - 働く (xx%)
2. すでにバックアップに成功している動画がある場合は、「Last Successful バックアップ」バーにバックアップ終了時刻が表示されます。

3.8 イベント

3.8.1 動体検知

設定→イベント設定→動体検知



ステップ1. 動体検知を有効にする。

チャンネルNo、感度を選択し、IPカメラの動体検知を有効にチェックを入れ動体検知を有効にします。

Motion Detection

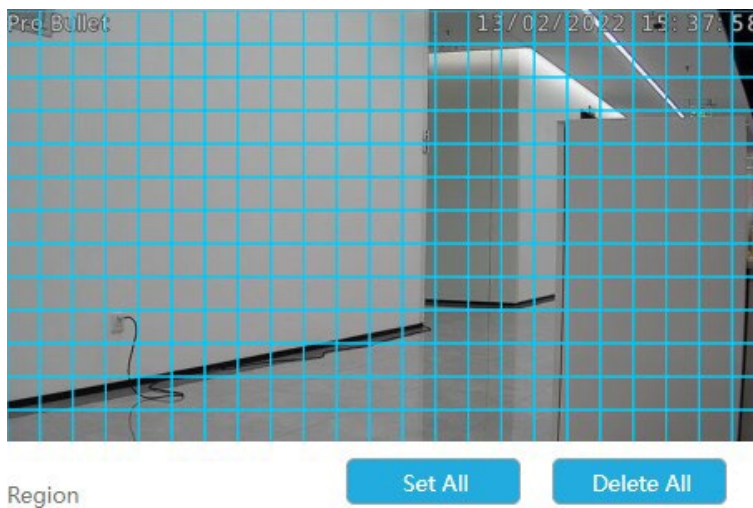
Channel Event _____

Channel

Motion Detection

ステップ2：動体検知のエリアを設定します。

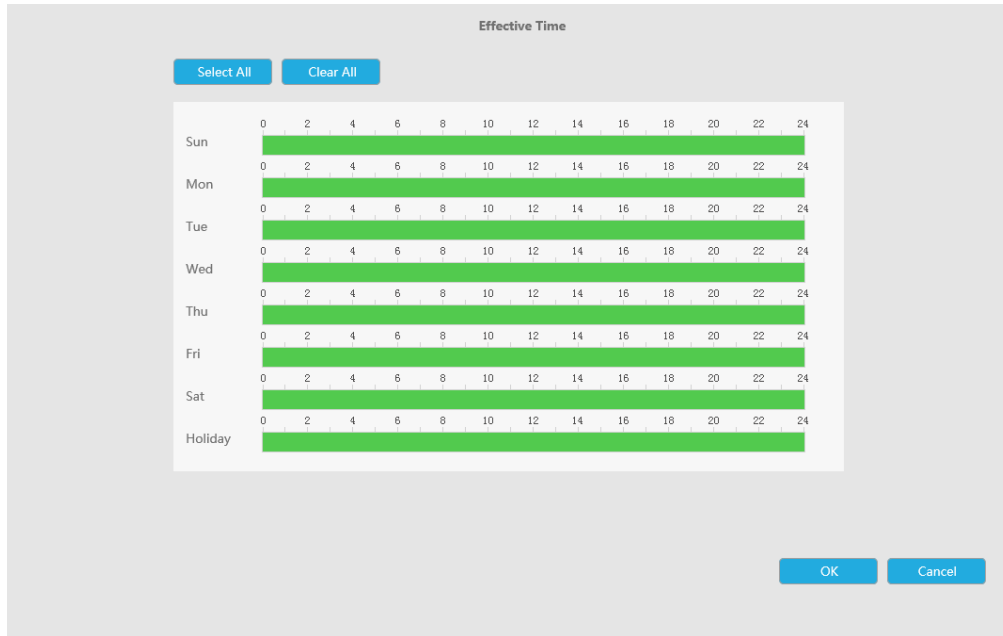
ライブビューウィンドウ上で四角をドラッグすることで、エリアを設定することができます。



注： 動体検知検索エリアは、カメラに同期して表示されます。

ステップ3. 「有効時間の編集」をクリックして、動体検知の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。「すべて選択」または「すべてクリア」をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアすることができます。



ステップ4. 「編集」をクリックし、動体検知アラームのスケジュールを設定します。

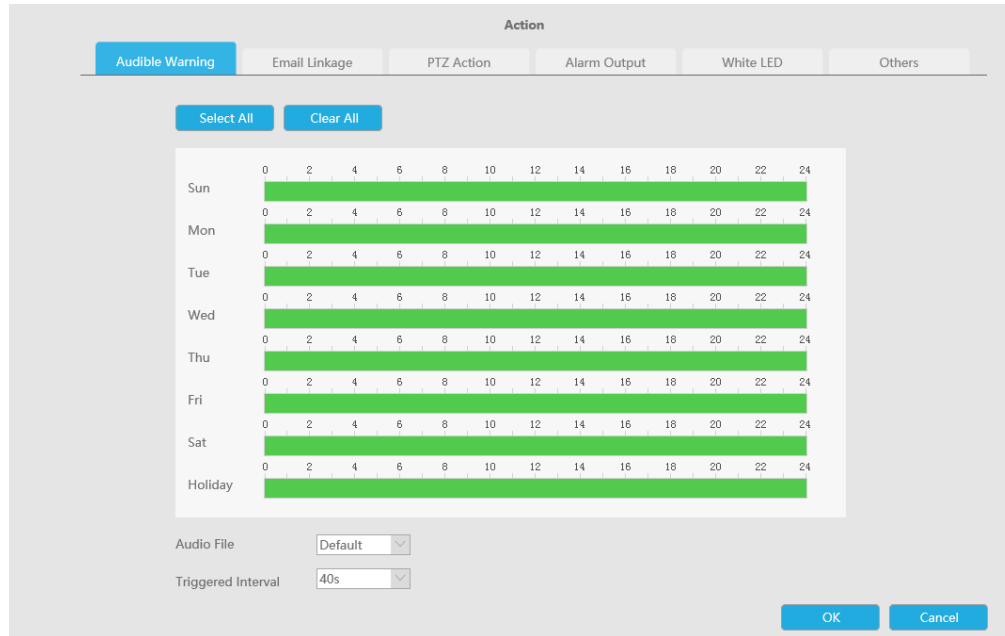
音声による警告: イベントが検出されると、音声による警告をします。アクションの編集をクリックします。

警告音を選択します。タイムテーブルをドラッグして、時刻を指定します。

全て選択または、すべてクリア をクリックすると、すべての時間を設定または、クリアすることができます。

オーディオファイル (Audio File): ユーザーは、可聴警告のために必要なオーディオファイルを選択することができます。デフォルトはビーブ音です。

トリガー間隔: イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。

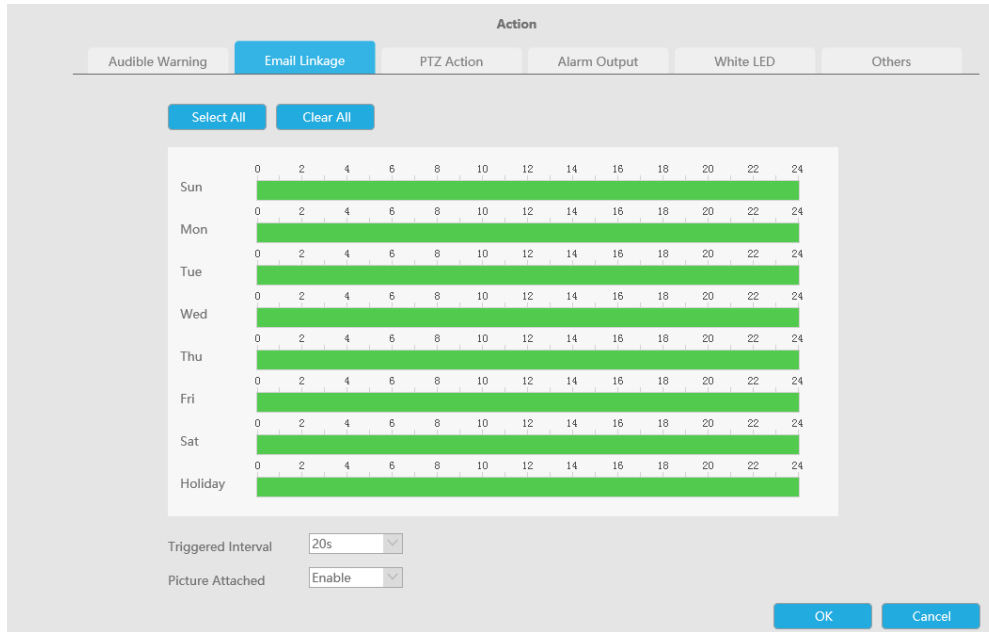


メール連携:NVRは事前に設定したアドレスに電子メールを送信します。

メール連携を選択します。タイムテーブルをドラッグして時間を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアすることができます。

トリガー間隔: イベントが検出されたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。

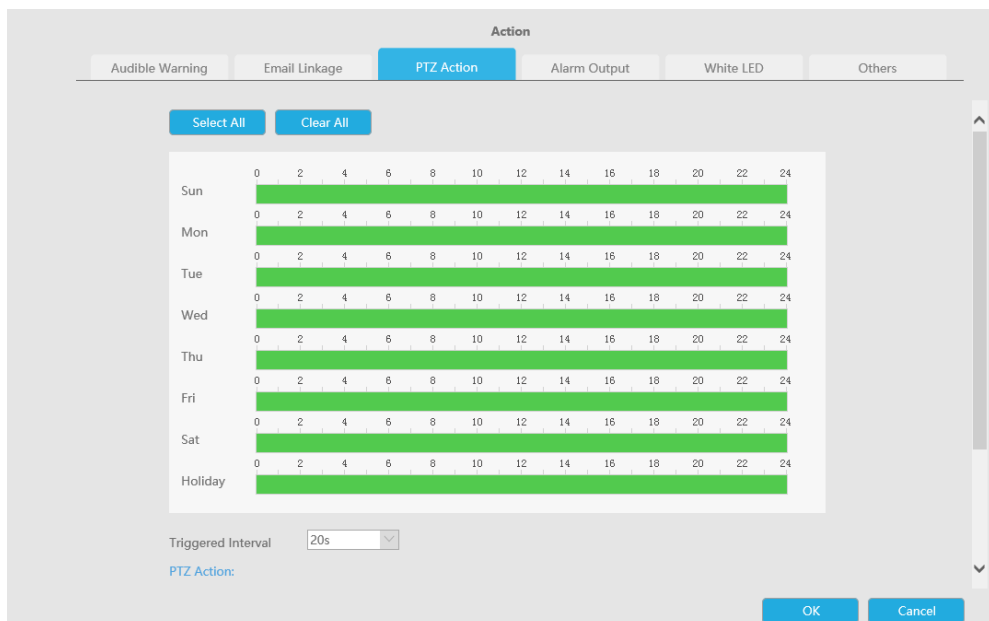
画像添付メール送信時に画像を添付するかを選択します。有効にすると、1枚のイベントキャプチャ画像が添付されたアラームメールを受け取ることができます。




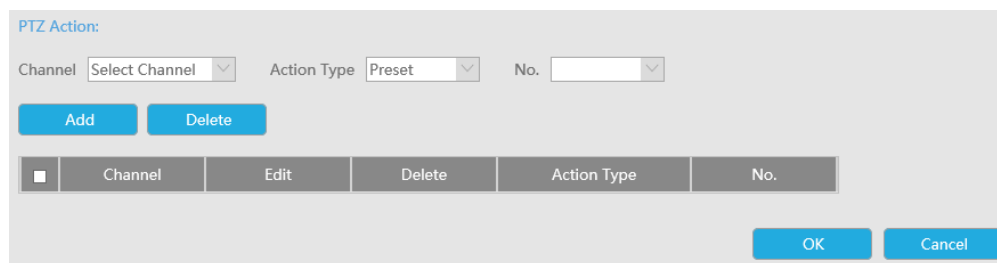
※ PTZカメラのみ対応

PTZアクション：アラームが発生したときにPTZアクションを検出します。

1. 操作の種類を選択します。PTZ動作、タイムテーブルをドラッグして、時間を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックすると、すべての時間設定が行われます。



 また、 をクリックすると、PTZアクションを追加することができます。



PTZ Action:

Channel Action Type No.

<input type="checkbox"/>	Channel	Edit	Delete	Action Type	No.
--------------------------	---------	------	--------	-------------	-----

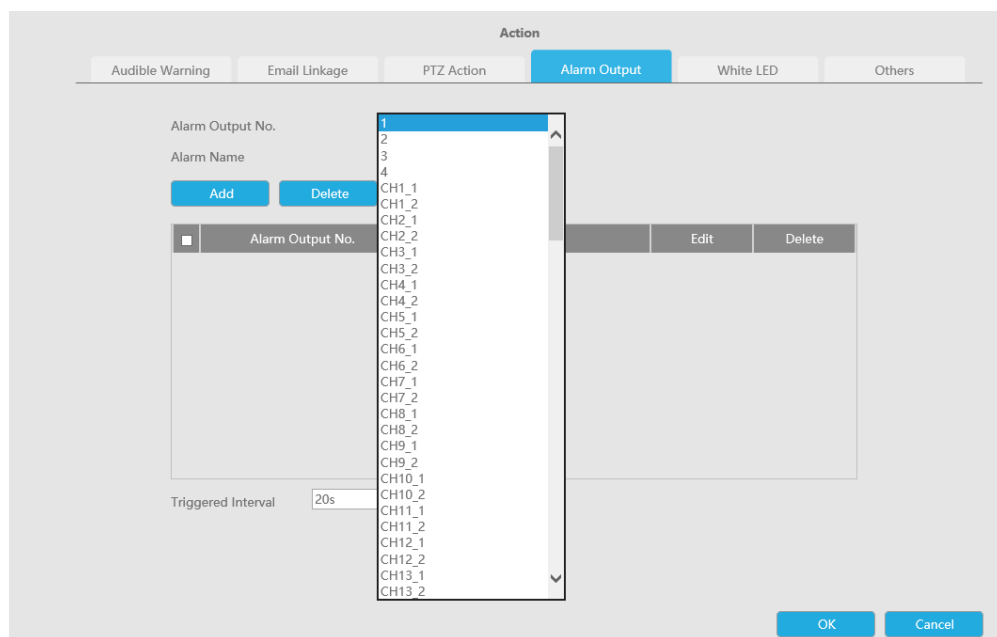
チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。

アクションタイプ：プリセットとパトロールがあります。

PTZ No：プリセットまたはパトロールの番号を選択します。

アラーム出力：NVR アラーム出力については、1、2. などのように関連するアラーム出力が最初に表示されます。カメラ・アラーム出力については、カメラ・チャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x (CH1_1など) として表示されます。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。



Action

Audible Warning Email Linkage PTZ Action **Alarm Output** White LED Others

Alarm Output No.

Alarm Name

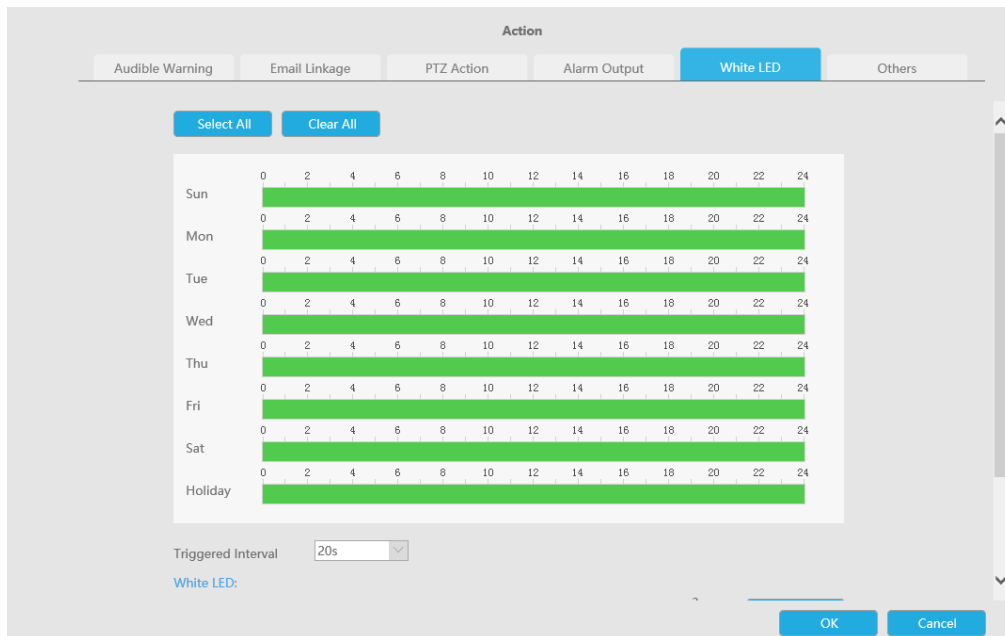
<input type="checkbox"/>	Alarm Output No.	Edit	Delete
--------------------------	------------------	------	--------

Triggers Interval

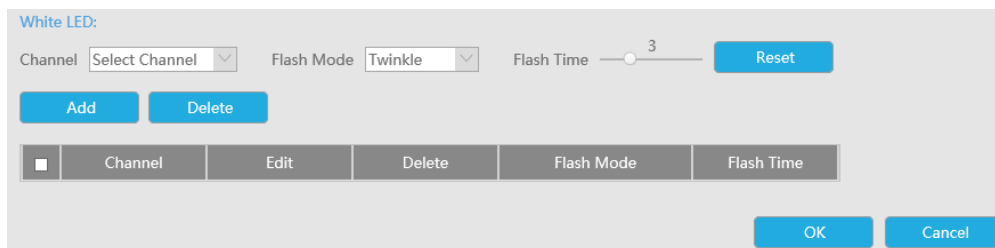
ホワイトLED：アラームが検出されたときにホワイトLEDが点滅します。

1. ホワイトLEDを選択します。次に、タイムテーブル上をドラッグして、時間を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックすると、すべての時間設定が完了します。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。



また、追加をクリックすると、ホワイトLEDを追加することができます。



チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。

点灯モード。点滅と常時があります。

点灯時間：ホワイトLEDの点滅時間を設定します。点灯モードが点滅の場合、点灯時間の範囲は1~10で、デフォルト値は3です。点灯モードが常時の場合、点灯時間の範囲は1~60で、デフォルト値は5です。

Others：アラーム発生時に選択したチャンネルを録画します。

Action

Audible Warning Email Linkage PTZ Action Alarm Output White LED **Others**

Trigger Channels Record

All

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48

49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

Trigger Channels Snapshot

All


1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48

49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

Note: This page's configuration will not be copied into other channels.

 **注：** イベントアクションを設定する前に、録画とスナップショットのスケジュールが正しく設定されていることを確認してください。

3.8.2 ビデオロス

設定→イベント設定→ビデオロス

ステップ1. チャンネルを選択します。



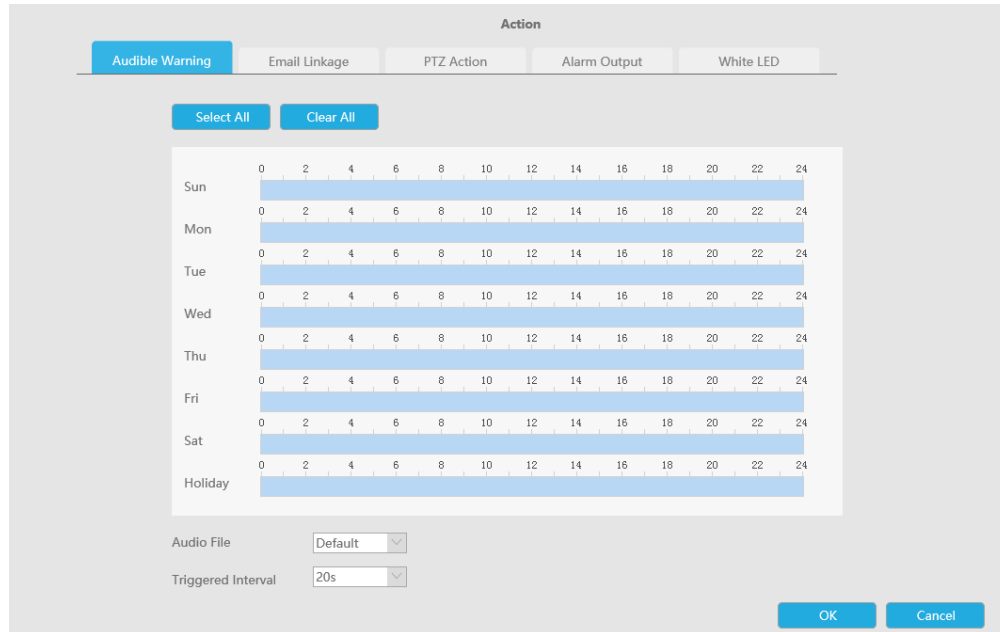
ステップ2. アクションを「編集」をクリックして設定します。

音声による警告: イベントが検出されると、音声による警告をします。

警告音を選択します。次に、タイムテーブルをドラッグして、時刻を設定します。すべて選択または、すべてクリアをクリックすると、すべての時間設定が完了します。

オーディオファイル: ユーザーは、警告のために必要なオーディオファイルを選択することができます。デフォルトはビープ音です。

トリガー間隔: イベントが検出れたときに、2つのアクションの間隔。

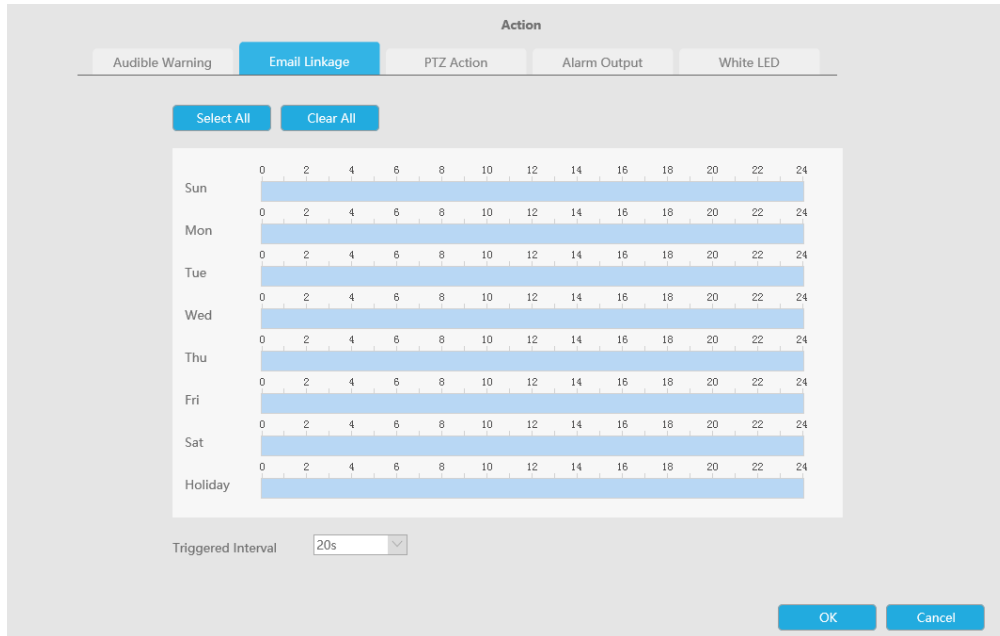


電子メール連携: 事前に設定したアドレスに電子メールを送信します。

メール連携と消去を選択します。タイムテーブルをドラッグして時間を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックして、すべての時間を設定またはクリアすることができます。

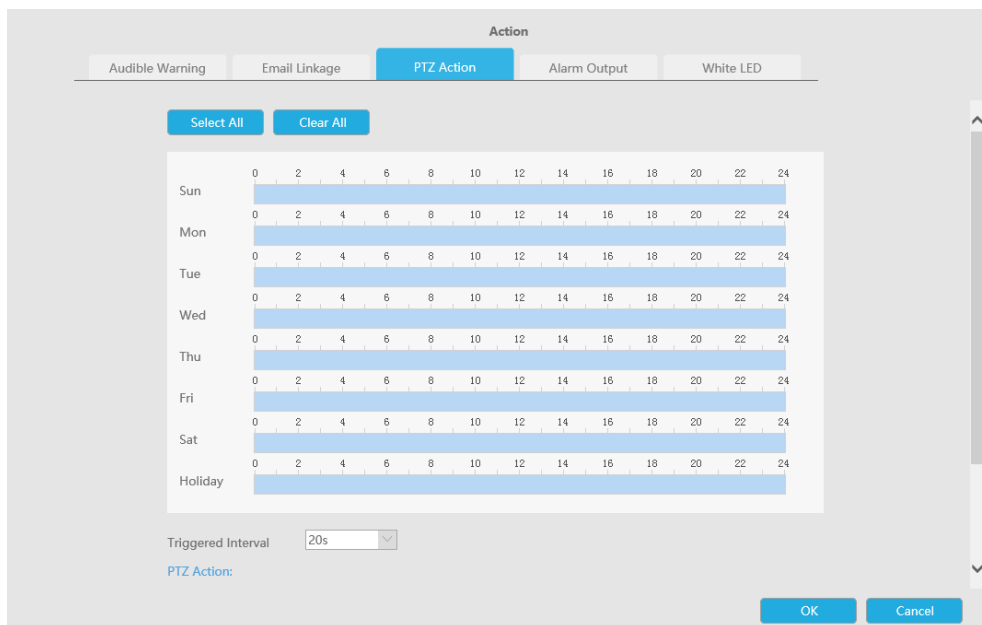
トリガー間隔: イベントが検出されたときに、2つのアクションの間にある間隔。

画像添付: メール送信時に画像を添付するかを選択します。有効にすると、1枚のイベントキャプチャ画像が添付されたアラームメールを受け取ることができます。



PTZアクション：アラームが発生したときにPTZアクションを検出します。

1. PTZ動作を選択します。タイムテーブルをドラッグして、時間を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックすると、すべての時間を設定または、クリアすることができます。



また、追加をクリックすると、PTZアクションを追加することができます。

PTZ Action:

Channel Action Type No.

<input type="checkbox"/>	Channel	Edit	Delete	Action Type	No.
--------------------------	---------	------	--------	-------------	-----

チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。

アクションタイプ：プリセットとパトロールがあります。

No：プリセットまたはパトロールの番号を選択します。

アラーム出力：NVR アラーム出力については、1、2. などのように関連するアラーム出力が最初に表示されます。カメラ・アラーム出力については、カメラ・チャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x (CH1_1など) として表示されます。

検出間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。

Action

Audible Warning Email Linkage PTZ Action **Alarm Output** White LED

Alarm Output No.

Alarm Name

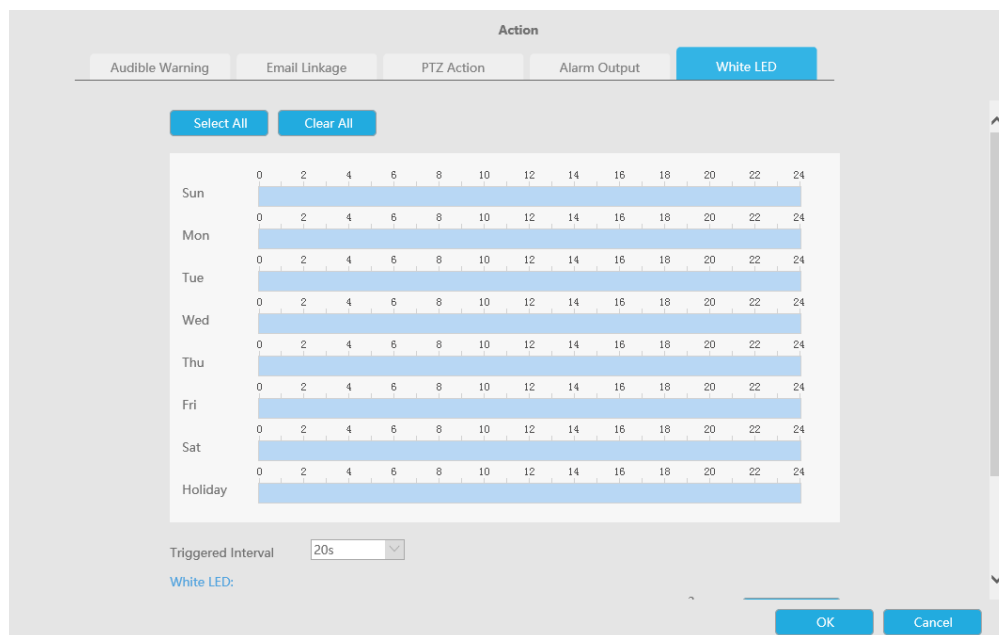
<input type="checkbox"/>	Alarm Output No.	Edit	Delete
--------------------------	------------------	------	--------

Triggered Interval

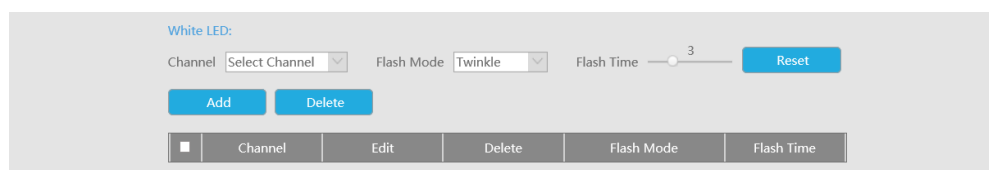
ホワイトLED：アラームが検出されたときにホワイトLEDが点滅します。

1. ホワイトLEDを選択します。タイムテーブルをドラッグして、時間を設定します。すべて選択または、すべてクリアをクリックすると、すべての時間が設定または、クリアすることができます。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。



また、追加をクリックすると、ホワイトLEDを追加することができます。



チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。

点灯モード：点滅と常時があります。

点灯時間：ホワイトLEDの点滅時間を設定します。点灯モードが点滅の場合、点灯時間の範囲は1~10で、デフォルト値は3です。点灯モードが常時の場合、点灯時間の範囲は1~60で、デフォルト値は5です。

ステップ3. カメラへコピーをクリックし、チャンネルにチェックを入れるとチェックを入れたチャンネルに設定内容が反映されます。

3.8.3 アラーム入力

設定→イベント設定→アラーム入力→NVRアラーム入力

3.8.3.1 NVRアラーム入力

ステップ1. アラーム入力番号、アラーム名、アラームタイプを設定します。

Alarm Input Settings

NVR Alarm Input Camera Alarm Input

Alarm Input No. 1

Alarm Name (cannot copy)

Alarm Type NO

アラーム入力No：入力信号があるチャンネルです。

アラーム名称：アラーム名を設定します。

アラームのタイプ：NOまたはNCタイプを選択します。

ステップ2. 「編集」をクリックして、アラーム入力の有効時間を設定します。

音声による警告：イベントが検出されると、音声による警告をします。ユーザーは次の方法でスケジュールを設定できます。

操作の種類を選択します。警告音を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時刻を指定します。

すべて選択または、すべてクリア をクリックすると、すべての時間を設定または、クリアすることができます。

オーディオファイル：ユーザーは、警告のために必要なオーディオファイルを選択することができます。デフォルトはビーブ音です。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。

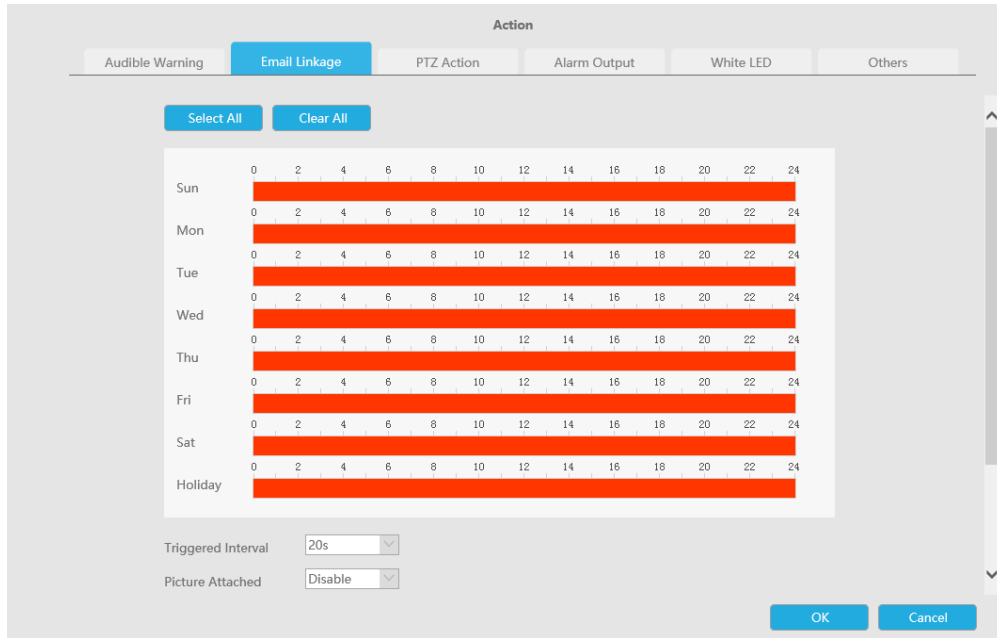
The screenshot shows the 'Action' configuration window with the 'Audible Warning' tab selected. At the top, there are tabs for 'Audible Warning', 'Email Linkage', 'PTZ Action', 'Alarm Output', 'White LED', and 'Others'. Below the tabs are 'Select All' and 'Clear All' buttons. The main area is a grid with days of the week (Sun, Mon, Tue, Wed, Thu, Fri, Sat, Holiday) on the y-axis and time intervals (0, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24) on the x-axis. Each cell in the grid contains a red bar, indicating that the audible warning is active for all days and times. Below the grid, there are two dropdown menus: 'Audio File' set to 'Default' and 'Triggered Interval' set to '20s'. At the bottom right, there are 'OK' and 'Cancel' buttons.

電子メール・リンクージ：事前に設定したアドレスに電子メールを送信します。ユーザーは以下の方法で有効なスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類として、メール連携を選択します。タイムテーブルをドラッグして時間を設定します。すべて選択または、すべてクリアをクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアすることができます。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。

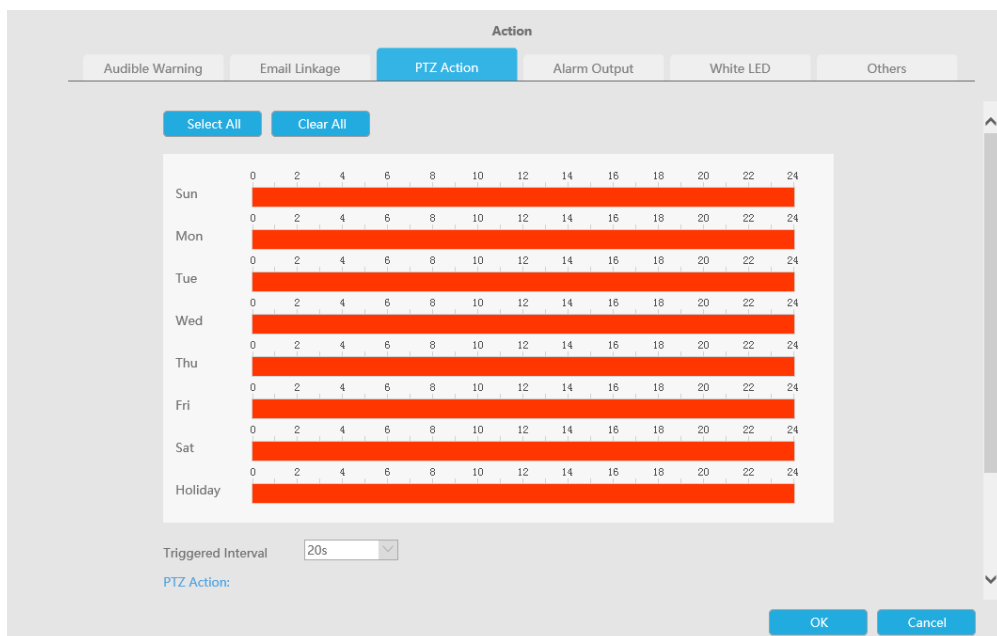
画像添付：メール送信時に画像を添付するか選択します。有効にすると、1枚のイベントキャプチャ画像が添付されたアラームメールを受け取ることができます。



PTZアクション：アラームが発生したときにPTZアクションを検出します。PTZアクションには、**プリセットとパトロールがあります。**

ユーザーは、以下の方法でスケジュールを設定できます。

1. PTZ動作を選択します。タイムテーブルをドラッグして、時間を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックすると、すべての時間の設定または、クリアすることができます。



追加をクリックすると、PTZアクションを追加することができます。

The screenshot shows a dialog box titled "PTZ Action:". At the top, there are three dropdown menus: "Channel" with "Select Channel" selected, "Action Type" with "Preset" selected, and "No." with an empty dropdown. Below these are two buttons: "Add" and "Delete". Underneath is a table with columns: "Channel", "Edit", "Delete", "Action Type", and "No.". The table is currently empty. At the bottom right of the dialog are "OK" and "Cancel" buttons.

チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。

動作タイプ：プリセットとパトロールがあります。

No：プリセットまたはパトロールの番号を選択します。

アラーム出力：NVR アラーム出力については、1、2. などのように関連するアラーム出力が最初に表示されます。カメラ・アラーム出力については、カメラ・チャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x (CH1_1など) として表示されます。

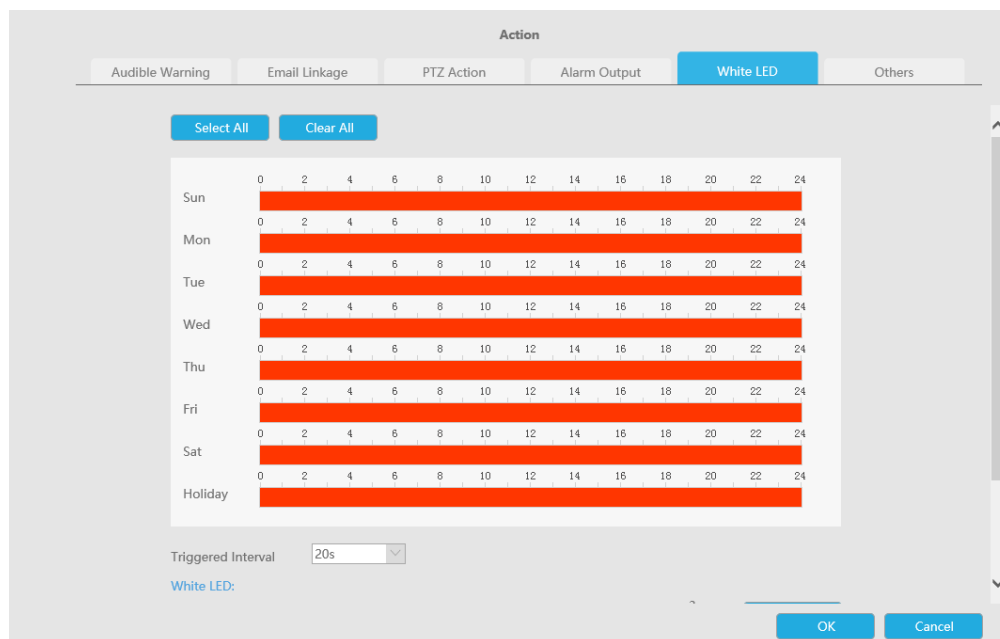
トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。

The screenshot shows a dialog box titled "Action" with several tabs: "Audible Warning", "Email Linkage", "PTZ Action", "Alarm Output" (selected), "White LED", and "Others". In the "Alarm Output" tab, there are fields for "Alarm Output No." and "Alarm Name". Below these are "Add" and "Delete" buttons. A table with columns "Alarm Output No.", "Edit", and "Delete" is shown, but it is empty. A large list box contains a scrollable list of alarm output identifiers: 1, 2, 3, 4, CH1_1, CH1_2, CH2_1, CH2_2, CH3_1, CH3_2, CH4_1, CH4_2, CH5_1, CH5_2, CH6_1, CH6_2, CH7_1, CH7_2, CH8_1, CH8_2, CH9_1, CH9_2, CH10_1, CH10_2, CH11_1, CH11_2, CH12_1, CH12_2, CH13_1, and CH13_2. Below the list is a "Triggered Interval" field with "20s" entered. At the bottom right are "OK" and "Cancel" buttons.

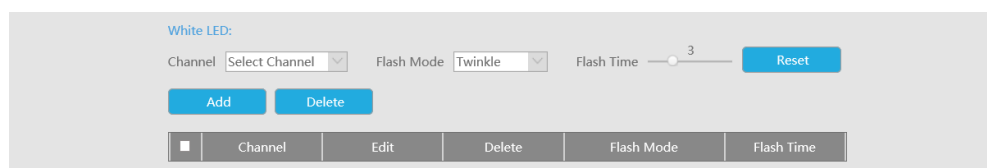
ホワイトLED：アラームが検出されたときにホワイトLEDが点滅します。次の方法で、スケジュールを設定できます。

1. ホワイトLEDを選択します。タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックすると、すべての時間の設定または、クリアすることができます。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。



追加をクリックすると、ホワイトLEDを追加することができます。



チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。

点灯モード：点滅と常時があります。

点灯時間：ホワイトLEDの点滅時間を設定します。点灯モードが点滅の場合、点灯時間の範囲は1~10で、デフォルト値は3です。点灯モードが常時の場合、点灯時間の範囲は1~60で、デフォルト値は5です。

Others：アラーム発生時に選択したチャンネルを検出して録画します。

Action

Trigger Channels Record

All

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

Trigger Channels Snapshot

All

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

Note: This page's configuration will not be copied into other channels.

3.8.3.2 カメラアラーム入力

NVRは、カメラのアラーム入力を直接設定することができます。

ステップ1. アラーム入力番号の設定、アラーム入力の有効化、アラーム名とアラームタイプの設定

Alarm Input Settings

Channel

Alarm Input No.

Alarm Input

Alarm Name (cannot copy)

Alarm Type

アラーム入力番号：入力信号があるチャンネル

アラーム入力：「Enable」をクリックすると、このチャンネルのアラーム入力が有効になります。

アラーム名：アラームの名前を設定します。


アラームのタイプ：アラームのNOまたはNCアラームタイプを選択します。

ステップ2. 「編集」をクリックし、アラーム入力の有効時間を設定します。

ステップ3. アラーム入力に対応するアクションを設定します。

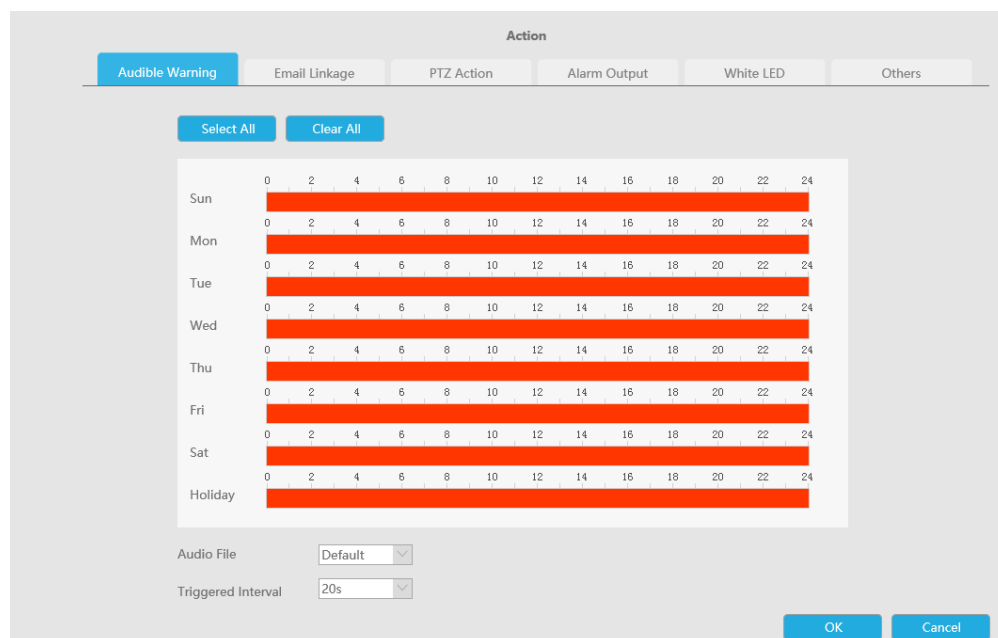
音声による警告：イベントが検出されると、NVRは音声による警告をし

ます。ユーザーは次の2つの方法でスケジュールを設定できます。

1. 操作の種類を選択します。音声または消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時刻を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックすると、すべての時間設定が完了します。
2.  をクリックして、手動で録画有効時間を編集します。

オーディオファイル：ユーザーは、警告のために必要なオーディオファイルを選択することができます。デフォルトはビープ音です。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。



The screenshot displays the 'Action' configuration window for 'Audible Warning'. At the top, there are tabs for 'Audible Warning', 'Email Linkage', 'PTZ Action', 'Alarm Output', 'White LED', and 'Others'. Below the tabs are 'Select All' and 'Clear All' buttons. The main area is a 7-day schedule grid with columns for hours 0, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, and 24. Each day (Sun, Mon, Tue, Wed, Thu, Fri, Sat) has a red bar spanning from 0 to 24 hours. A 'Holiday' row is also present. Below the grid, there are two dropdown menus: 'Audio File' (set to 'Default') and 'Triggered Interval' (set to '20s'). At the bottom right, there are 'OK' and 'Cancel' buttons.

メール連携:NVRは事前に設定したアドレスにメールを送信します。ユーザーは、以下の2つの方法でスケジュールを設定ができます。

1. 操作の種類として、メールと消去を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして時間を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアすることができます。
2. **Edit** をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。

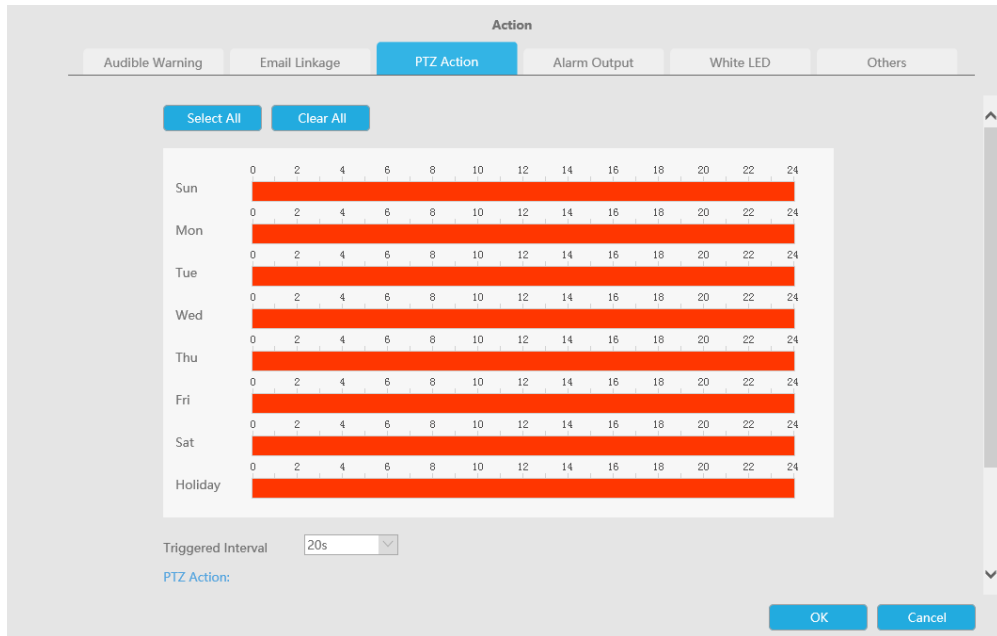
画像添付：メール送信時に画像を添付するかどうかを選択します。有効にすると、1枚のイベントキャプチャ画像が添付されたアラームメールを受け取ることができます。


The screenshot shows the 'Action' configuration window for 'Email Linkage'. At the top, there are tabs for 'Audible Warning', 'Email Linkage' (selected), 'PTZ Action', 'Alarm Output', 'White LED', and 'Others'. Below the tabs are 'Select All' and 'Clear All' buttons. The main area is a weekly schedule grid with days of the week (Sun, Mon, Tue, Wed, Thu, Fri, Sat, Holiday) on the y-axis and hours (0, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24) on the x-axis. Red bars indicate the active schedule for each day. Below the grid, there are two dropdown menus: 'Triggered Interval' set to '20s' and 'Picture Attached' set to 'Disable'. At the bottom right, there are 'OK' and 'Cancel' buttons.

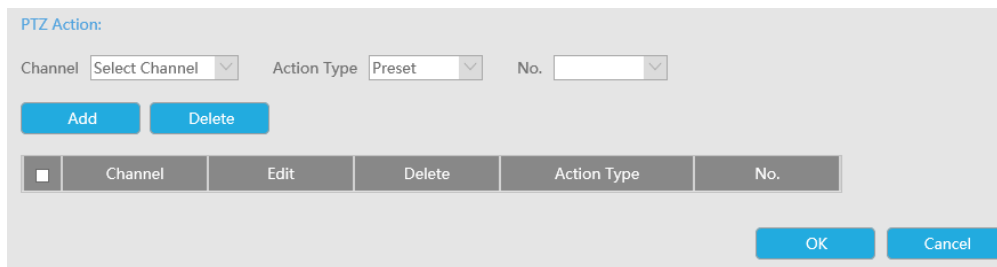
PTZアクション：アラームが発生したときにPTZアクションを検出します。PTZアクションには、プリセットとパトロールがあります。

ユーザーは、以下の2つの方法でスケジュールを設定することができます。

1. 操作の種類を選択します。PTZ動作を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして、時間を設定します。すべて選択または、すべてクリアをクリックすると、すべての時間設定が行われ、より便利になります。
2. **Edit** をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。



また、 をクリックすると、PTZアクションを追加することができます。



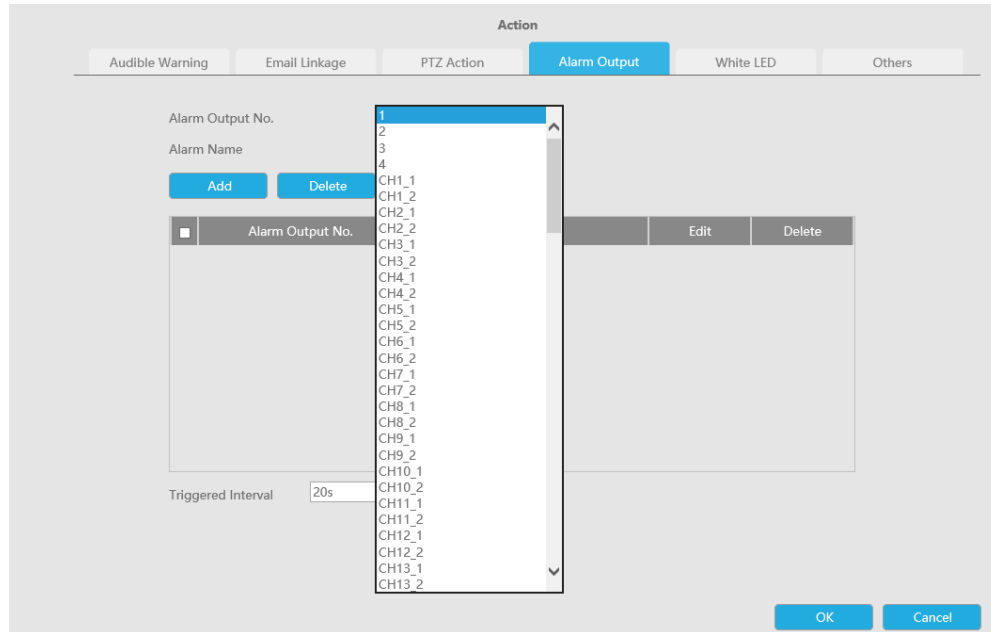
チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。

アクションタイプ：プリセットとパトロールがあります。

No：プリセットまたはパトロールの番号を選択します。

アラーム出力：アラームが検出されたときに、アラーム出力を検出します。NVR アラーム出力については、1、2. などのように関連するアラーム出力が最初に表示されます。カメラ・アラーム出力については、カメラ・チャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x (CH1_1など) として表示されます。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。

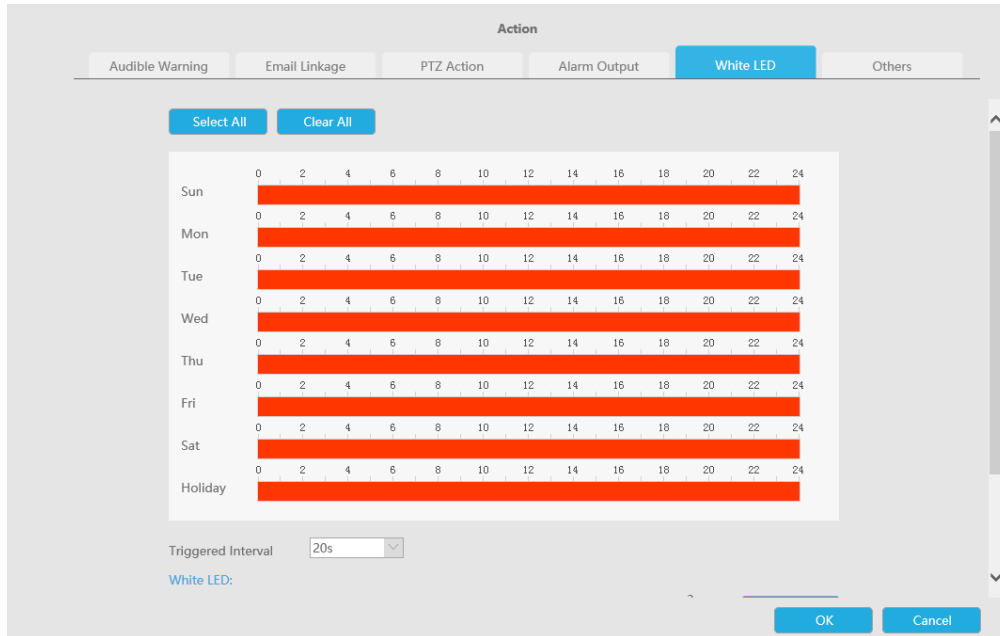


ホワイトLED：アラームが検出されたときにトリガホワイトLEDが点滅します。次の2つの方法で、スケジュールを設定できます。

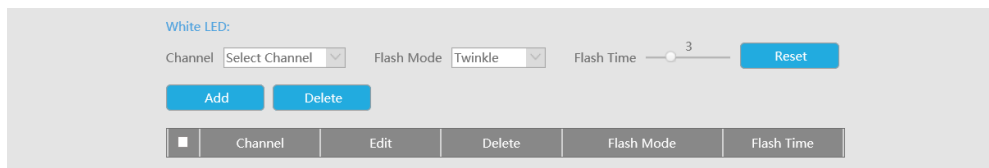
ユーザーは、以下の2つの方法でスケジュールを設定ができます。

1. 操作の種類、ホワイトLEDと消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。すべて選択または、すべてクリアをクリックすると、すべての時間設定が完了します。
2. **Edit** をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間にある有効な間隔。



追加をクリックすると、ホワイトLEDを追加することができます。



チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。

点灯モード：点滅と常時があります。

点灯時間：ホワイトLEDの点滅時間を設定します。点灯モードが点滅の場合、点灯時間の範囲は1~10で、デフォルト値は3です。点灯モードが常時の場合、点灯時間の範囲は1~60で、デフォルト値は5です。

Others：アラーム発生時に選択したチャンネルを録画します。

Action

Audible Warning Email Linkage PTZ Action Alarm Output White LED **Others**

Trigger Channels Record

All

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48

49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

Trigger Channels Snapshot

All

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48

49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

Note: This page's configuration will not be copied into other channels.

ステップ4: "Copy" をクリックして、アラーム入力設定を他の入力インターフェースにコピーします。

Copy to Camera ▲

All

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

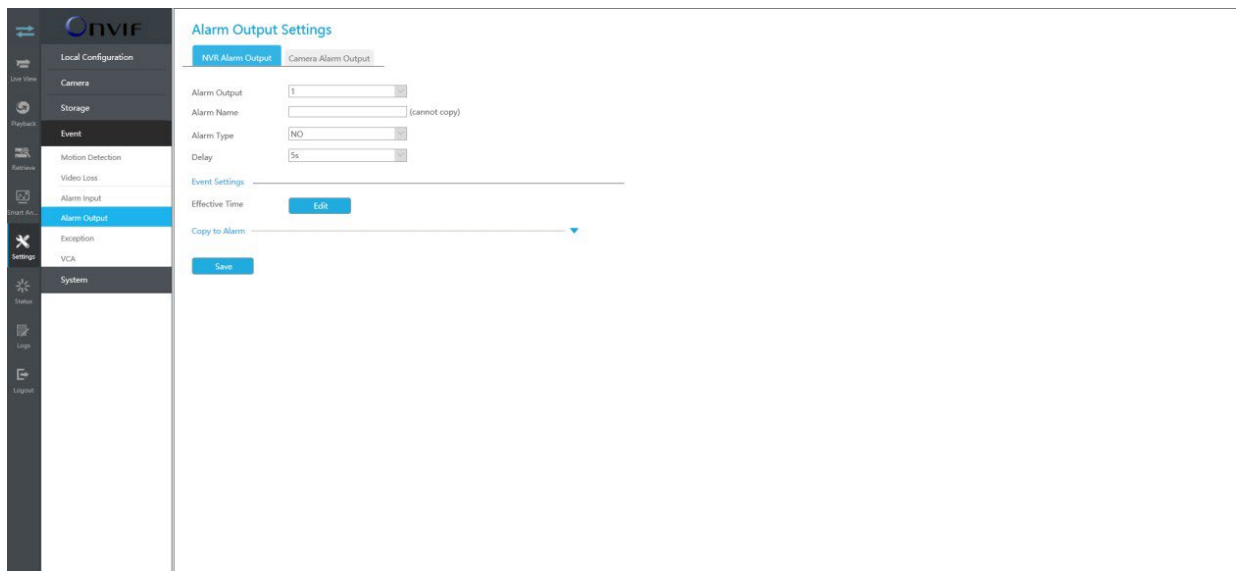
33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48

49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

3.8.4 アラーム出力

設定→イベント設定→アラーム出力

3.8.4.1 NVRのアラーム出力



ステップ1. アラーム出力、アラーム名称、アラームタイプ、遅延を設定します。

Alarm Output Settings

NVR Alarm Output Camera Alarm Output

Alarm Output

Alarm Name (cannot copy)

Alarm Type

Delay

アラーム出力番号： アラーム信号を出力するチャンネルです。

アラーム名称： アラームの名前を設定します。

アラームのタイプ： NOまたはNCタイプを選択します。

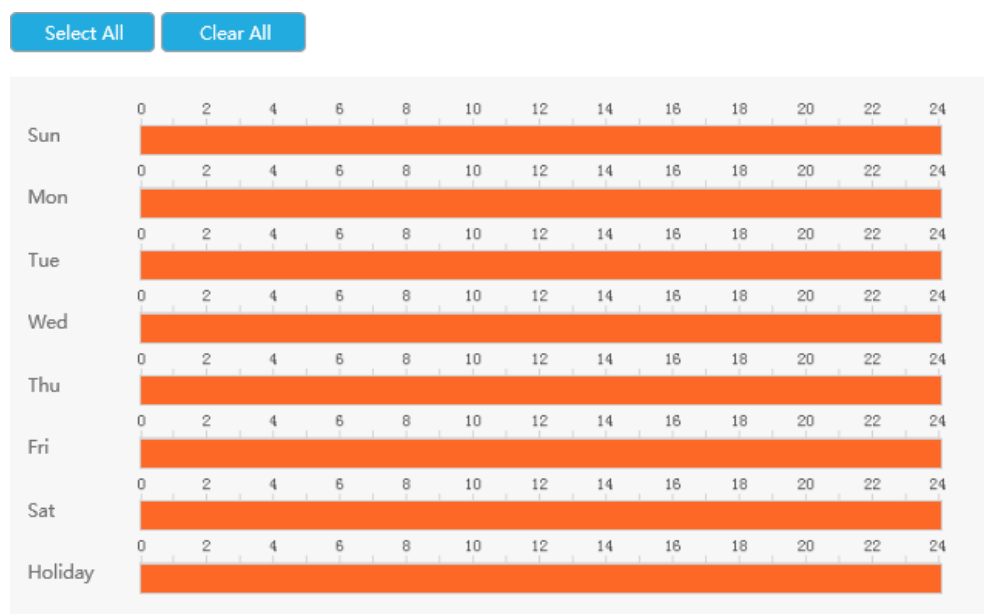
遅延時間： アラームの出力時間です。出力アラームが長く続く場合は、手動クリアを選択してアラームを停止させることができます。

ステップ2. 有効時間の「編集」をクリックして、アラーム出力の有効時間を設定します。

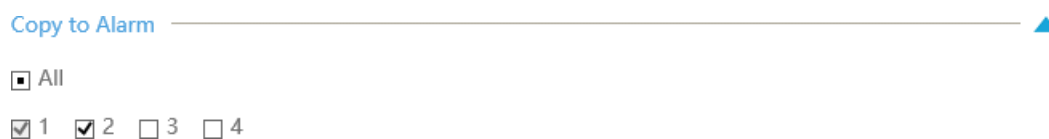
ユーザーは、以下の方法でスケジュールを設定ができます。

1. タイムテーブル上をドラッグして、時間を設定します。「すべて選択」または「すべて消去」をクリックすると、すべての時間を設定または、クリアすることができます。

2. 「編集」をクリックすると、録画有効時間を手動で編集できます。



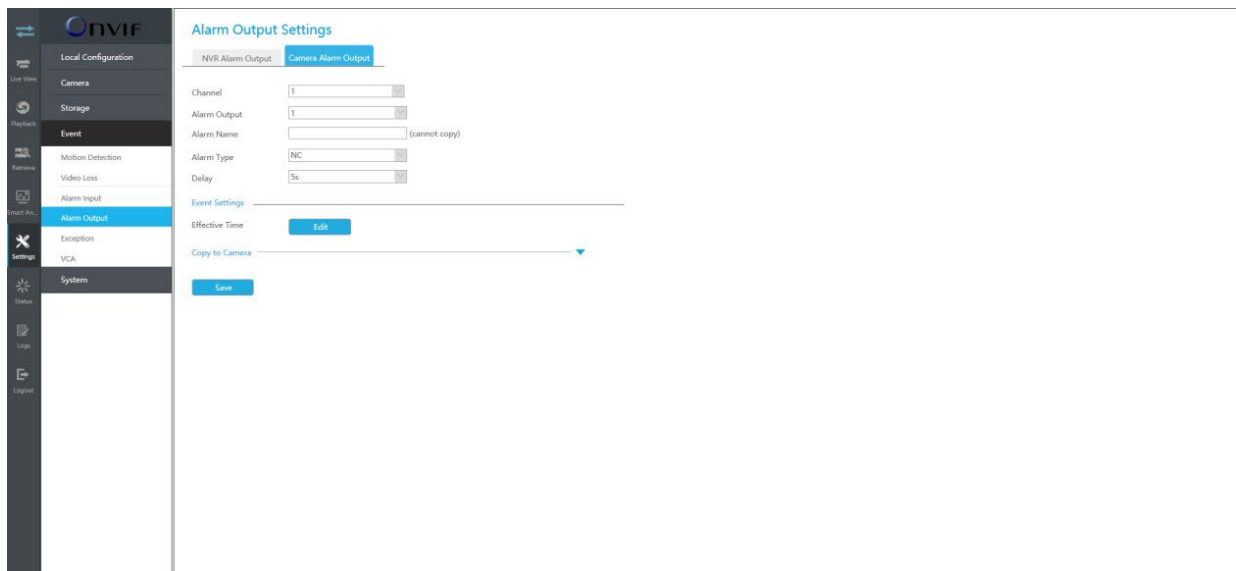
ステップ3: 「コピー」をクリックして、アラーム出力設定を他の出力インターフェースにコピーします。



3. 8. 4. 2 カメラアラーム出力

NVRは、カメラのアップグレードをサポートします。

ステップ1. アラーム出力チャンネル、アラーム名、アラームタイプ、録画チャンネルを設定します。



アラーム出力番号：入力信号がある対応するチャンネルのアラーム出力番号です。

アラーム名：アラームの名前を設定します。

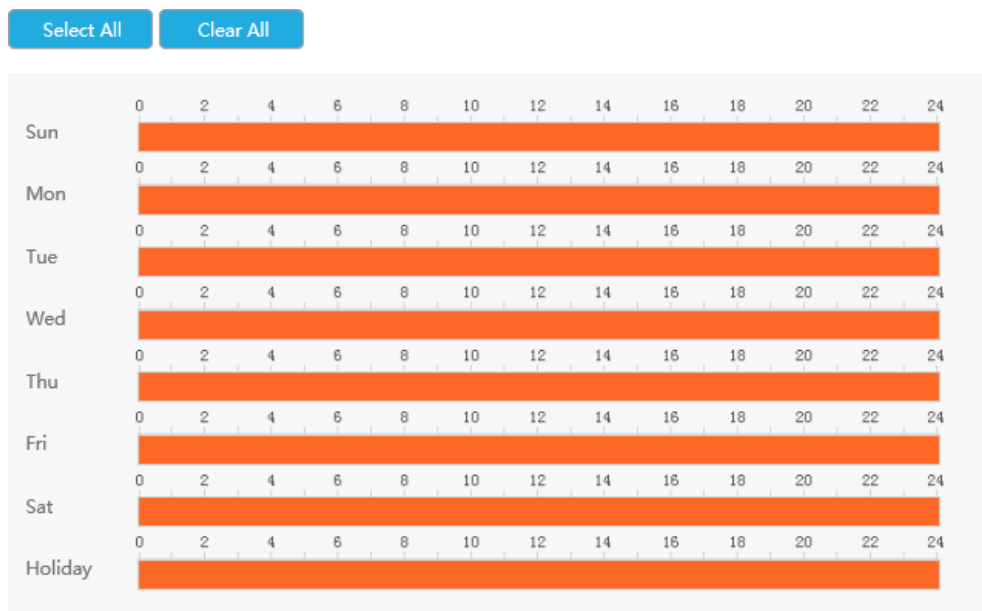
アラームのタイプ：アラームのNOまたはNCアラームタイプを選択します。

遅延時間：アラームの出力時間です。出力アラームが長く続く場合は、手動クリアを選択してアラームを停止させることができます。

ステップ2. 「編集」をクリックして、アラーム出力の有効時間を設定します。

ユーザーは、以下方法でスケジュールを設定できます。

1. 操作の種類を選択します。アラーム出力または消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。「すべて選択」または「すべて消去」をクリックすると、すべての時間設定ができます。
2. 「編集」をクリックすると、録画有効時間を手動で編集できます。



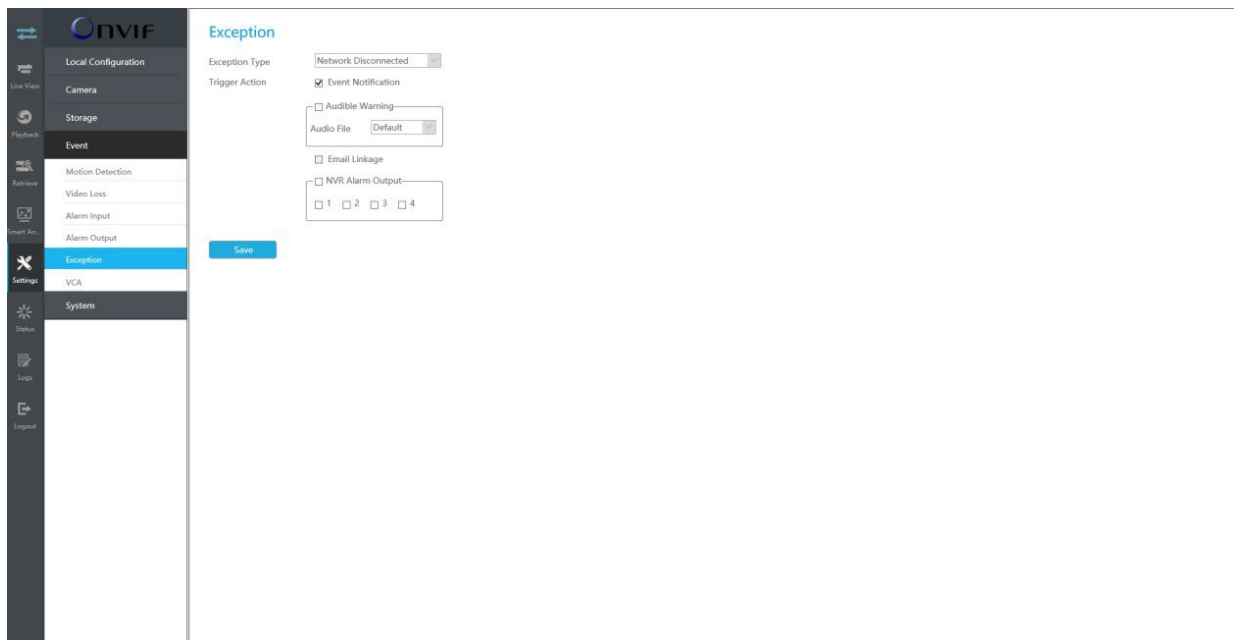
ステップ3: 「コピー」をクリックして、アラーム出力設定を他の出力画面にコピーします。

Copy to Camera ▶

All

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
- 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
- 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
- 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64

3.8.5 以上処理

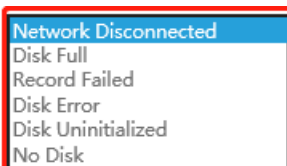


設定→イベント設定→異常処理

ステップ1. 例外タイプを選択します。

Exception Type

Trigger Action



ネットワークが切断：ネットワークが切断されました。

HDD満杯：ディスクが一杯になりました。リサイクルモードがOFF時に発生しやすくなります。

録画に異常：録画に失敗した場合。

HDDエラー：HDDの認識に失敗しました。

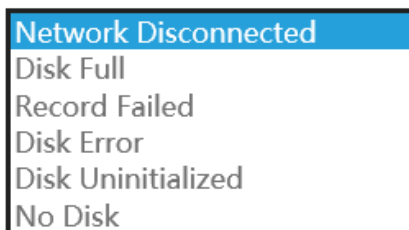
HDD未初期化：ディスクが未初期化です。

HDD無し：ストレージデバイスがありません。

Exception

Exception Type

Trigger Action



ステップ2. イベント通知、音声通知、メール連動、アラーム出力などのアクションを選択します。

イベント通知：アラームが発生した場合、ライブビューに通知が表示されます。

音声による警告：音声による警告をします。警告に必要なオーディオ・ファイルを選択することができます。デフォルトはビープ音です。

メール連携：アラームが発生した場合、アラームメールを送信します。

アラーム出力：対応するアラーム出力を検出します。

Event Notification

Audible Warning

Audio File ▼

Email Linkage

NVR Alarm Output

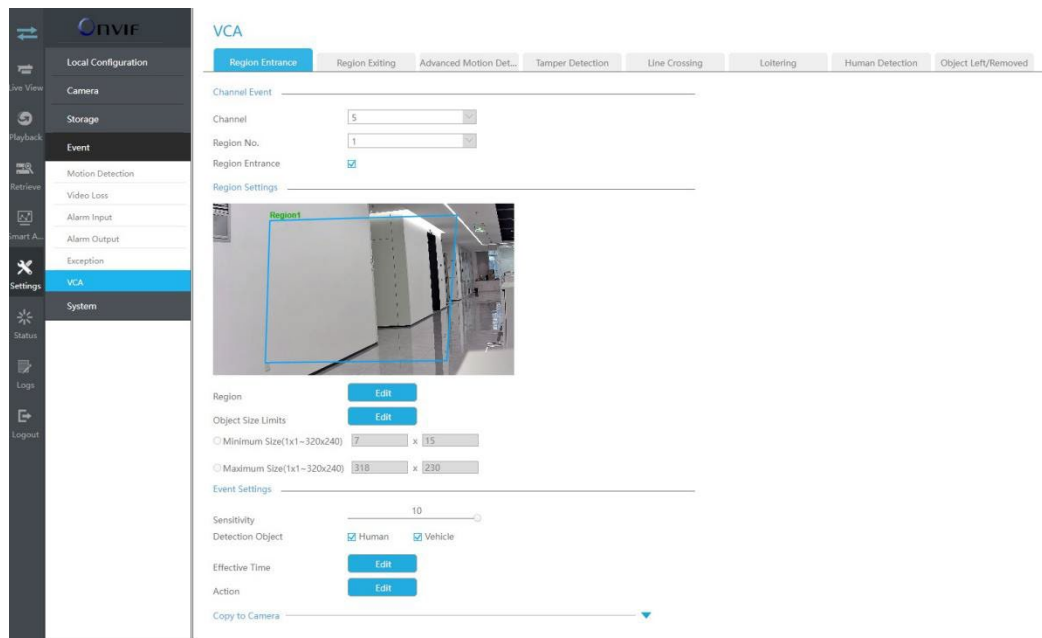
1 2 3 4

3.8.6 スマートイベント

スマートイベント機能は、ネットワークカメラに高度で正確なスマートビデオ解析を提供します。基本機能と高度機能に分かれた10の検出モードによりネットワークカメラの性能を高め、総合的な監視機能と監視シーンへのカメラの素早い対応を可能にします。

3.8.6.1 エリア侵入

選択したエリアに物体が侵入した際にアラームが作動します。



ステップ1. チャンネルと番号を選択し、侵入検知を有効にする。

Channel Event

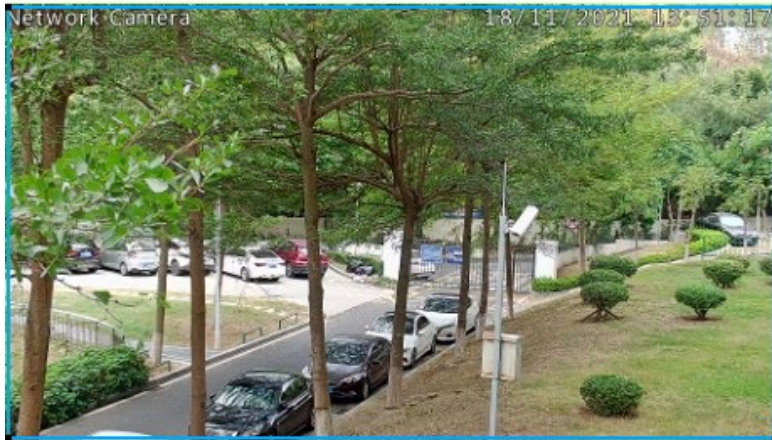
Channel

Region No.

Region Entrance

ステップ2. 侵入検知のエリアを設定する。

Regionの「編集」ボタンをクリックすると、検出検索エリアを編集することができます。また、「編集」ボタンをクリックすることで、検出エリアを編集することができます。また、「全てを設定」「全てを削除」を直接クリックすることで、設定した全ての検索エリアを設定・削除することができます。

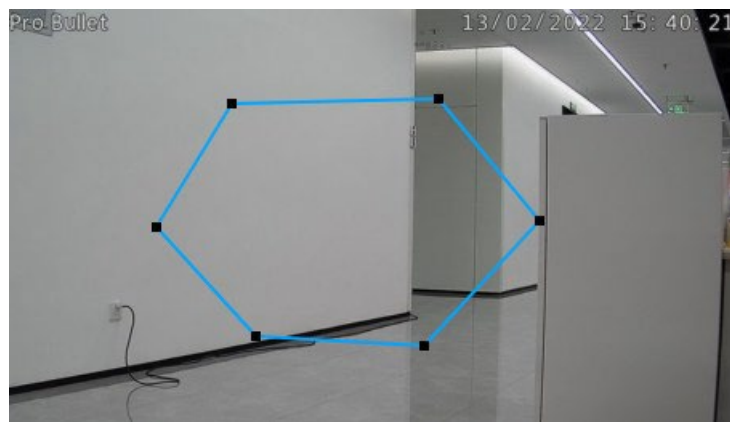


Region

Finish

Set All

Delete All



ステップ3. 被写体サイズの制限を設定します。

「編集」ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

○Minimum Size(1x1~320x240) 3 x 3

○Maximum Size(1x1~320x240) 320 x 240

最小サイズ：最小サイズは、被写体のサイズがフレームより大きい場合のみ、侵入検知の設定が有効になることを意味します。

最大サイズ：最大サイズは、被写体のサイズがフレームより小さい場合のみ、侵入検知の設定が有効になります。

ステップ4. 感度を設定します。

感度は、要件に応じて、動きを検出するために設定することができます。感度のレベルが低い場合、わずかな動きではアラームを作動させません。

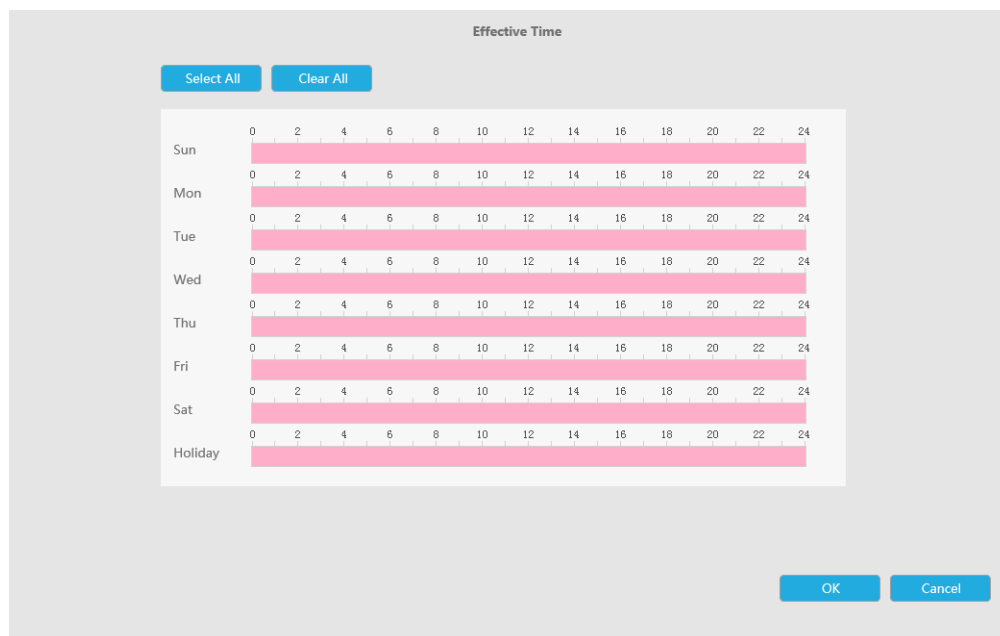


注

1. カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であり、人・車両検知被写体に対応していることを確認してください。
2. カメラの機種が、人・車両検知被写体に対応したNRXXX-XXCであることを確認してください。

ステップ5. 有効時間の「編集」をクリックして、エリア入口の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。「すべて選択」または「すべてクリア」をクリックして、すべての時間を設定またはクリアすることができます。



ステップ6. アクションの「編集」をクリックして、エリア入口アラームのアクションを設定します。

イベントが検出されると、NVRは音声による警告をします。ユーザーは次の方法でスケジュールを設定できます。

1. 警告音を選択します。次に、タイムテーブル上をドラッグして、時刻を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックすると、すべての時間を設定または、クリアすることができます。

オーディオファイル：ユーザーは、警告のために必要なオーディオファイルを選択することができます。デフォルトはビープ音です。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。

The screenshot shows the 'Action' configuration window for 'Audible Warning'. It features a weekly time table with days from Sun to Holiday. Each day has a horizontal bar representing the active period, with a time scale from 0 to 24. Below the table, there are two dropdown menus: 'Audio File' set to 'Default' and 'Triggered Interval' set to '20s'. At the top, there are tabs for 'Audible Warning', 'Email Linkage', 'PTZ Action', 'Alarm Output', 'White LED', and 'Others'. There are also 'Select All' and 'Clear All' buttons above the time table, and 'OK' and 'Cancel' buttons at the bottom right.

電子メール：事前に設定したアドレスに電子メールを送信します。ユーザーは以下の方法でスケジュールを設定することができます。

操作の種類として、メール連携を選択します。次に、タイムテーブルをドラッグして時間を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアすることができます。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。

画像添付：メール送信時に画像を添付するかを選択します。有効にすると、1枚のイベントキャプチャ画像が添付されたアラームメールを受け取ることができます。

Action

Audible Warning |
 Email Linkage |
 PTZ Action |
 Alarm Output |
 White LED |
 Others

Select All |
 Clear All

	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
Sun	[Active]												
Mon	[Active]												
Tue	[Active]												
Wed	[Active]												
Thu	[Active]												
Fri	[Active]												
Sat	[Active]												
Holiday	[Active]												

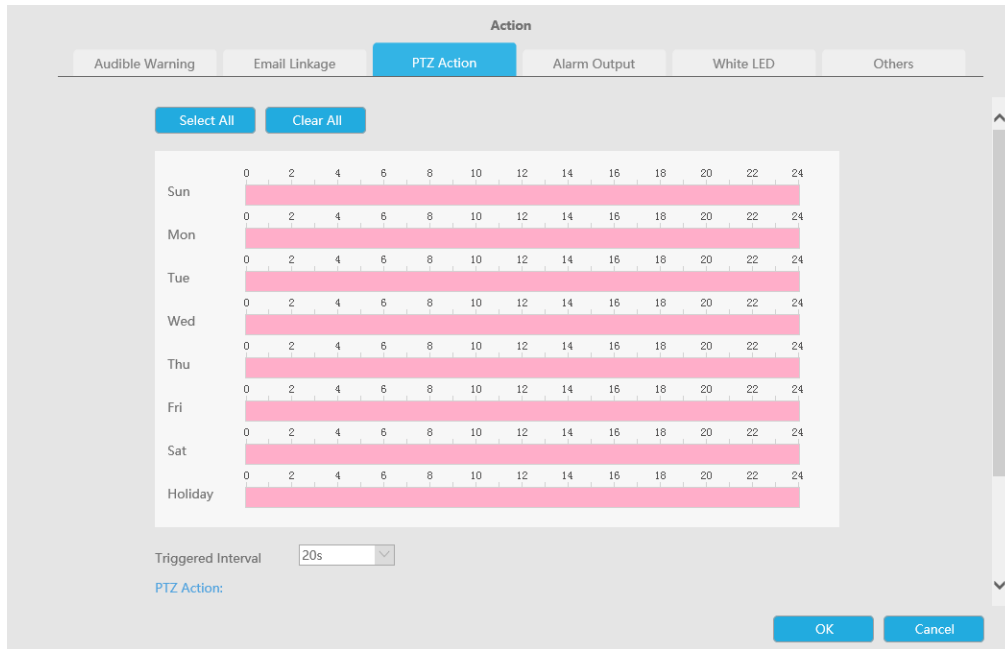
Triggered Interval:

Picture Attached:

OK | Cancel

PTZアクション：アラームが発生したときにPTZアクションを検出します。PTZアクションには、プリセットとパトロールがあります。

操作の種類を選択します。PTZ動作を選択します。次に、タイムテーブルの四角をドラッグして、時間を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックすると、すべての時間を設定または、クリアすることができます。



追加をクリックすると、PTZアクションを追加することができます。

PTZ Action:

Channel Action Type No.

<input type="checkbox"/>	Channel	Edit	Delete	Action Type	No.
<input type="checkbox"/>					

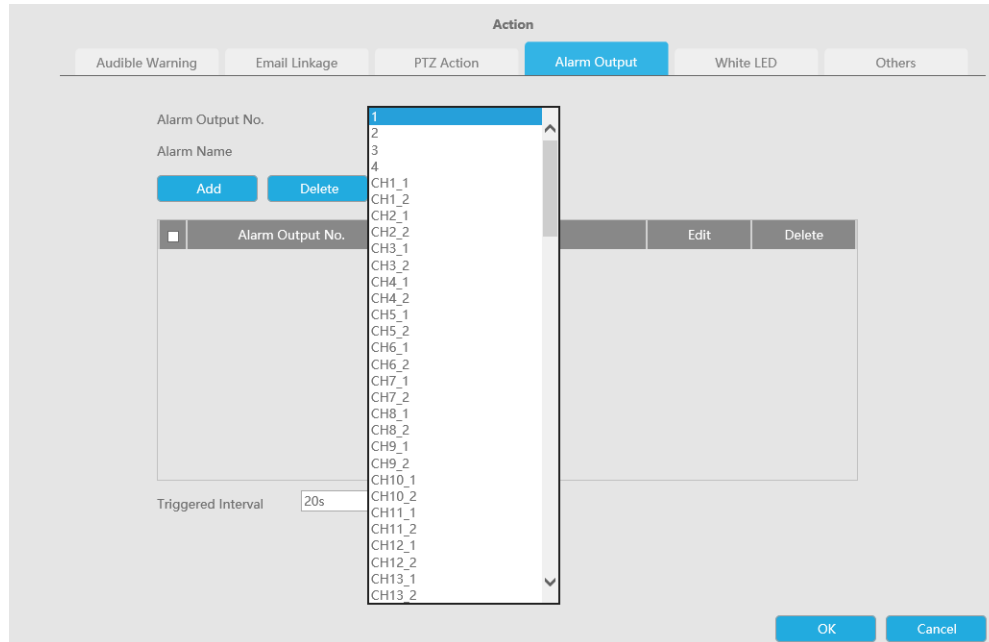
チャンネル: 本機能に対応したチャンネルを選択します。

動作タイプ: プリセットとパトロールがあります。

No: プリセットまたはパトロールの番号を選択します。

アラーム出力: NVR アラーム出力については、1、2 などのように関連するアラーム出力が最初に表示されます。カメラ・アラーム出力については、カメラ・チャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x (CH1_1など) として表示されます。

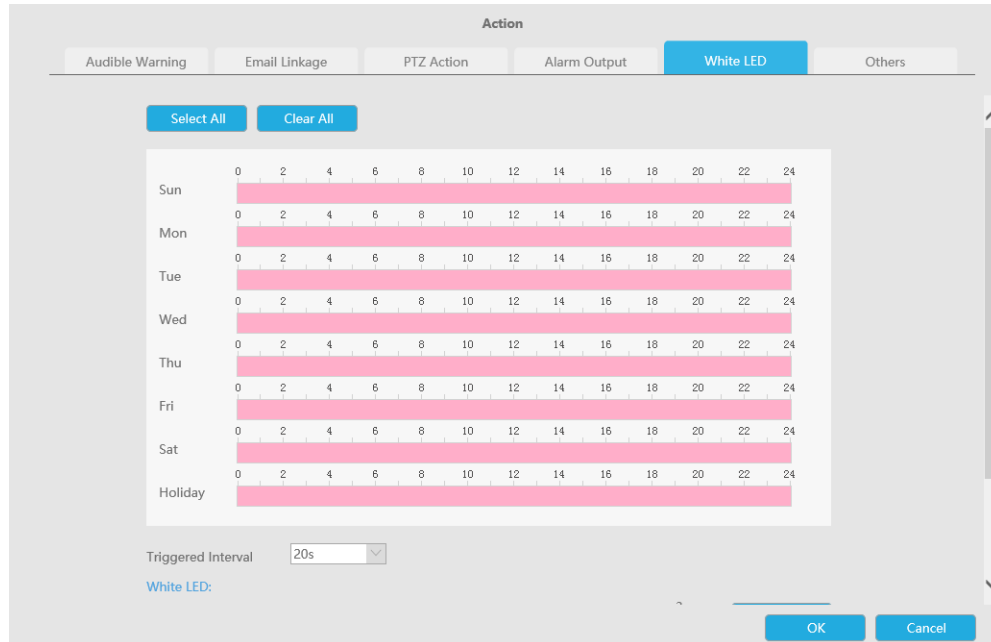
トリガー間隔: イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。



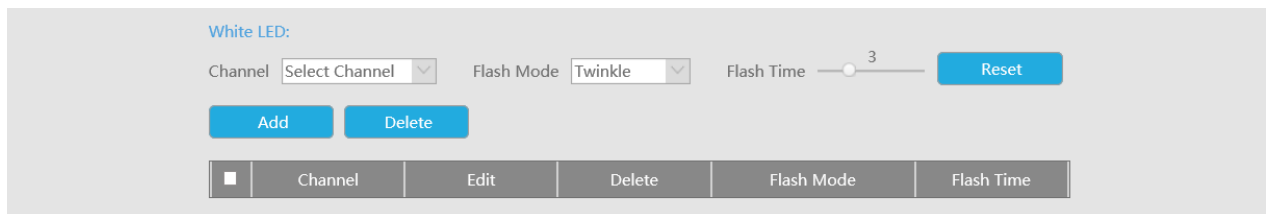
ホワイトLED：アラームが検出されたときにホワイトLEDが点滅します。次の方法で、スケジュールを設定できます。

1. 操作の種類、ホワイトLEDと消去を選択します。次に、タイムテーブル上の四角をドラッグして、時間を設定します。すべて選択または、すべてクリア をクリックすると、すべての時間を設定または、クリアすることができます。
2. **Edit** をクリックすると、有効時間を手動で編集できます。

トリガー間隔：イベントが検出されたときに、2つのアクションの間隔。



追加をクリックすると、ホワイトLEDを追加できます。

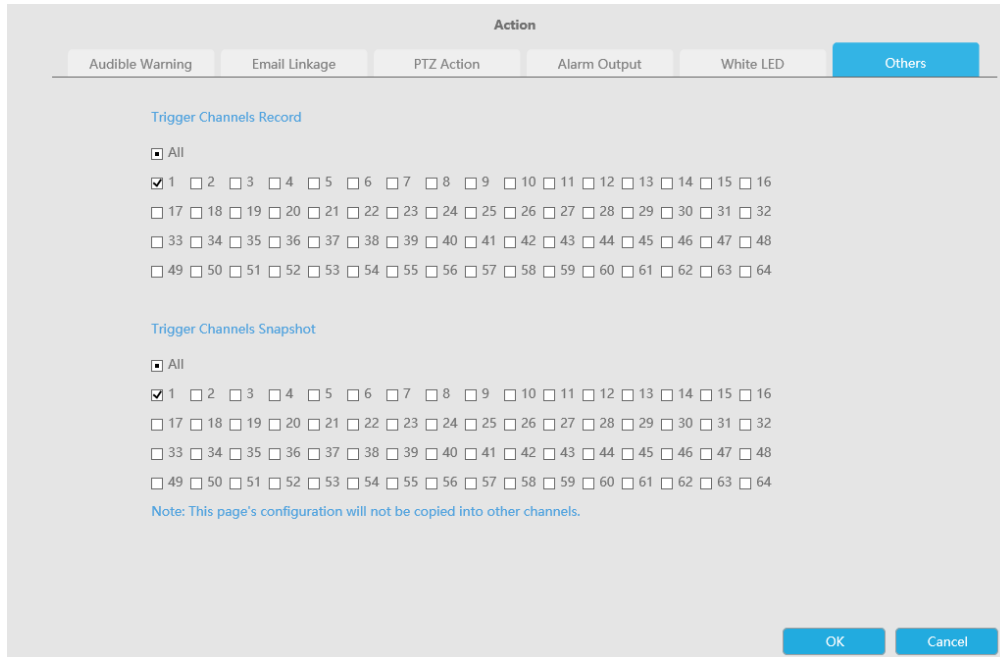


チャンネル：本機能に対応したチャンネルを選択します。

点灯モード：点滅と常時があります。

点灯時間：ホワイトLEDの点滅時間を設定します。点灯モードが点滅の場合、点灯時間の範囲は1~10で、デフォルト値は3です。点灯モードが常時の場合、点灯時間の範囲は1~60で、デフォルト値は5です。

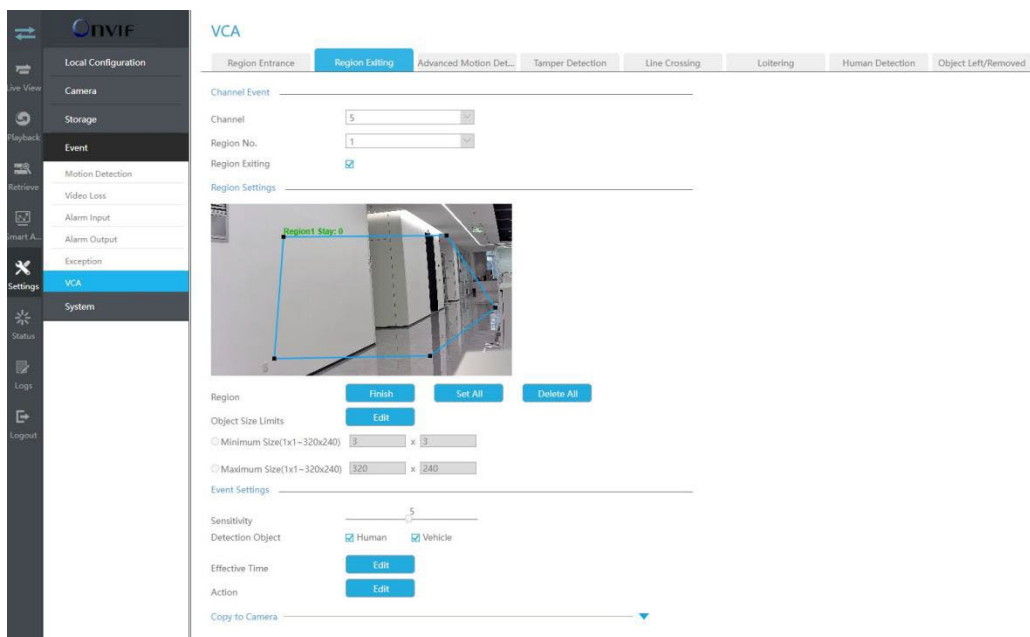
その他：アラーム発生時に選択したチャンネルを検出して録画します。



3.8.6.2 エリア離脱

設定→イベント設定→スマートイベント→エリア離脱

退出検知とは、監視しているエリアから人や物が出ないようにすることです。人や物が外に出ると、アラームが鳴ります。



ステップ1. チャンネル番号を選択し、退出検知を有効にする。

Channel Event

Channel

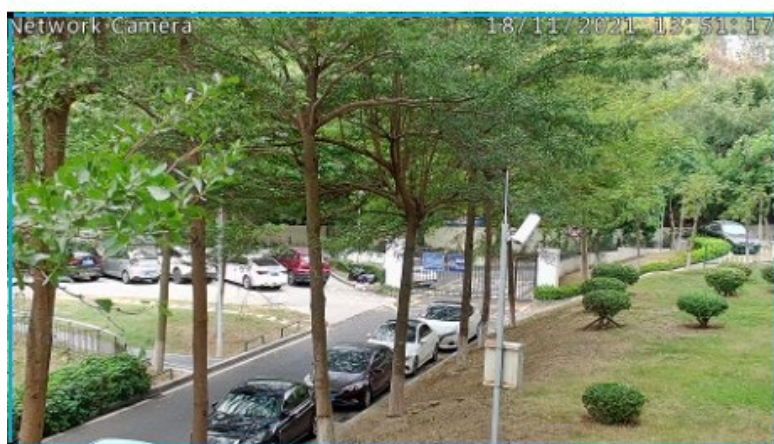
Region No.

Region Exiting

ステップ2. 検索エリアを設定します。

Regionの「編集」ボタンをクリックすると、検出検索エリアを編集することができます。また、“すべてセット”、“Delete All”を直接クリックすることで、設定した全ての検索エリアを設定・削除することができます。

Region Settings

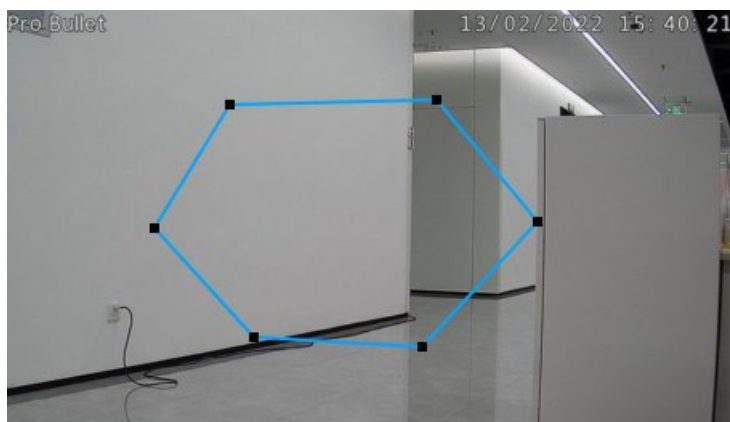


Region

Finish

Set All

Delete All



ステップ3. 被写体サイズの制限を設定します。

「編集」ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

○Minimum Size(1x1~320x240) 3 x 3


○Maximum Size(1x1~320x240) 320 x 240

最小サイズ：最小サイズは、被写体のサイズがフレームより大きい場合のみ、退出検知の設定が有効になることを意味します。

最大サイズ：最大サイズは、被写体のサイズがフレームより小さい場合のみ、退出検知の設定が有効になります。

ステップ4. 感度を設定します。

感度のレベルが低いと、わずかな動きではアラームを作動させません。

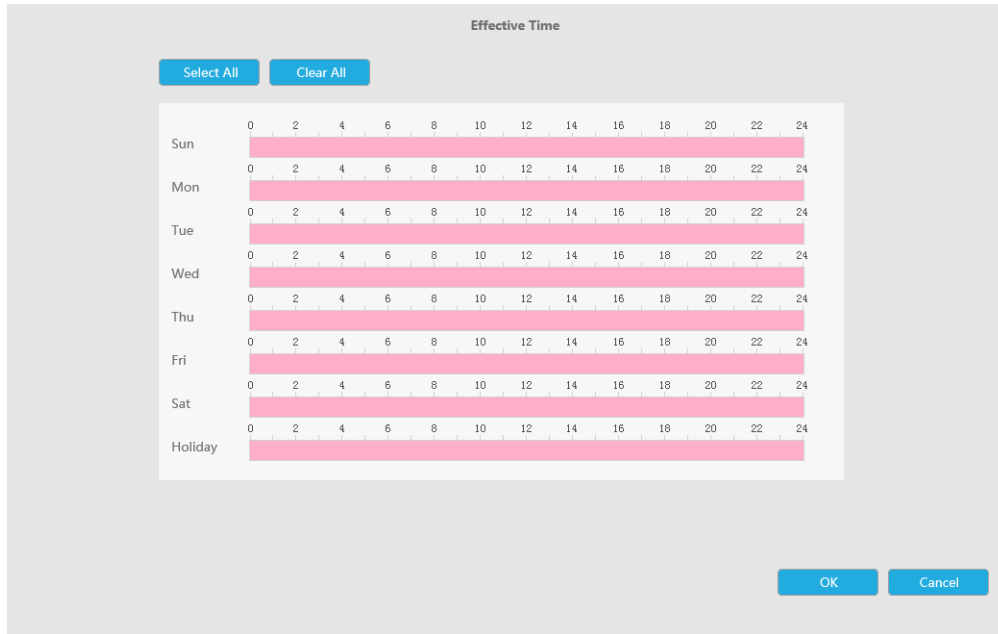
Sensitivity 

注

1. カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であり、人・車両検知被写体に対応していることを確認してください。
2. カメラの機種が、人・車両検知被写体に対応したNRXXX-XXCであることを確認してください。

ステップ5. 有効時間「編集」をクリックして、エリア入口の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。「すべて選択」または「すべてクリア」をクリックして、すべての時間を設定またはクリアすることができます。



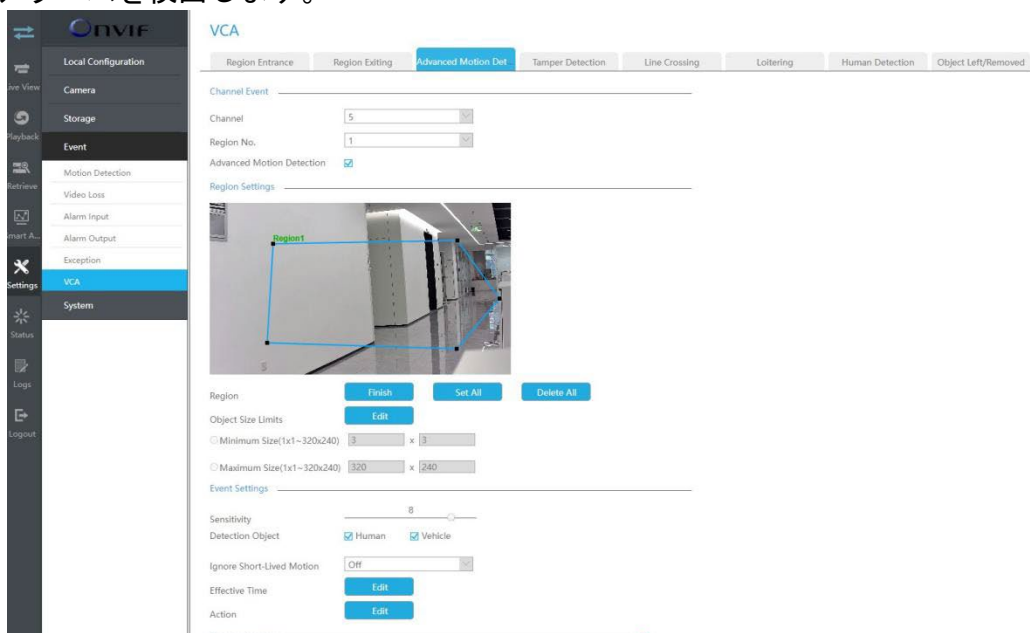
ステップ6. アクション「編集」をクリックして、エリア入口アラームのアクションを設定します。

これらのアクションの詳細設定については、「[アラームアクション](#)」を参照してください。

ステップ7. 「カメラにコピー (Copy To Camera)」をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.8.6.3 高度な動体検知

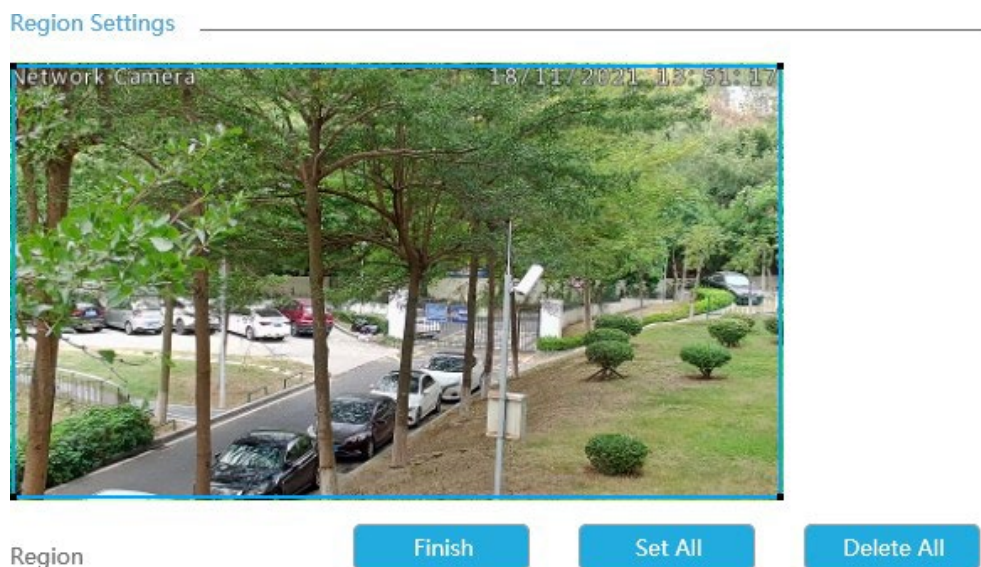
従来の動き検出とは異なり、高度な動き検出は、照明の変化、自然な木の動きなどの「ノイズ」をフィルタリングすることができます。選択された検索エリアで被写体が移動すると、アラームを検出します。



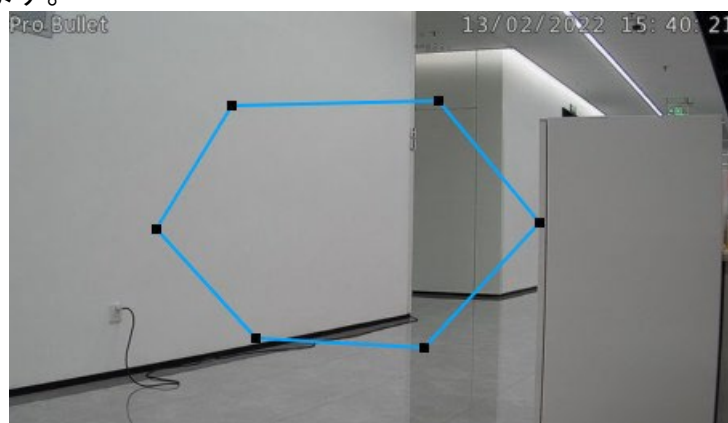
ステップ1. チャンネル選択し、高度な動体検知を有効にします。

ステップ2. 高度な動体検知のエリアを設定します。

Region「編集」ボタンをクリックすると、検出検索エリアを編集することができます。また、「すべてセット」、「Delete All」を直接クリックすることで、設定した全ての検索エリアを設定・削除することができます。



ファームウェアバージョン 4X.7.0.78 以降のカメラでは、VCA 機能のポリゴン検出検索エリアの描画に対応します。



ステップ3. 被写体サイズの制限を設定します。

「編集」ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

○Minimum Size(1x1~320x240) 3 x 3

○Maximum Size(1x1~320x240) 320 x 240

最小サイズ：最小サイズは、被写体のサイズがフレームより大きい場合のみ、設定が有効になることを意味します。

最大サイズ：最大サイズは、被写体のサイズがフレームより小さい場合のみ、設定が有効

になります。

ステップ4. 感度を設定します。

感度のレベルが低いと、わずかな動きではアラームを作動させません。

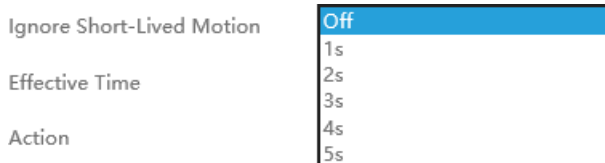


注

1. カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であり、人・車両検知被写体に対応していることを確認してください。
2. カメラの機種が人・車両検知被写体に対応したNRXXX-XXCであることを確認してください。

ステップ5. 短時間モーション無視を設定します。

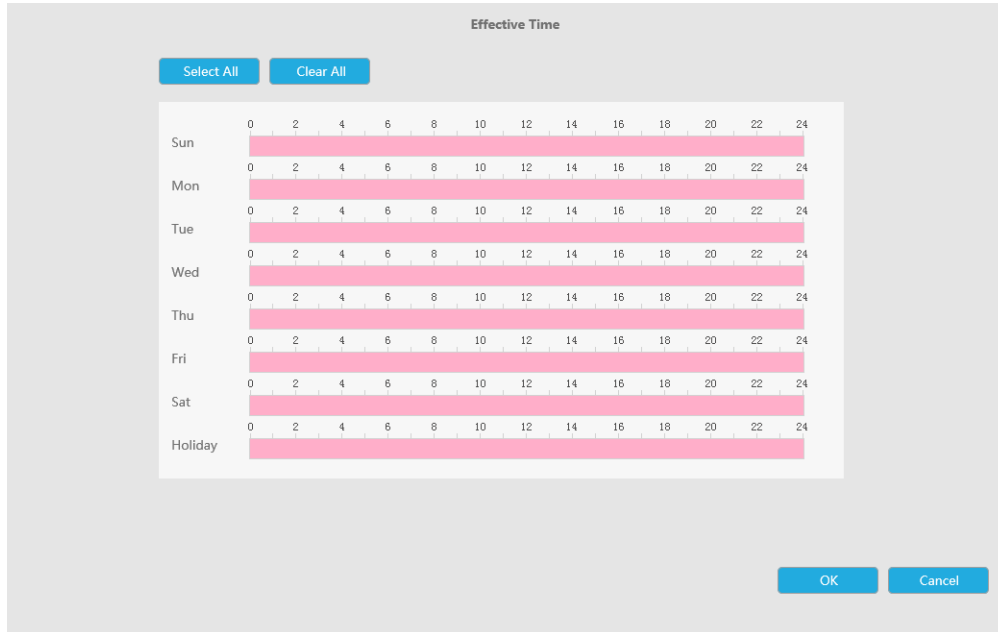
設定した時間内の動きは無視され、アラームが作動しません。



注：カメラのバージョンが4X.7.0.77以上であることを確認してください。

ステップ6. 有効時間の「編集」をクリックして、エリア入口の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。すべて選択」または「すべてクリア」をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアすることができます。



ステップ 7.アクションの「編集」をクリックして、高度な動体検知アラームのアクションを設定します。

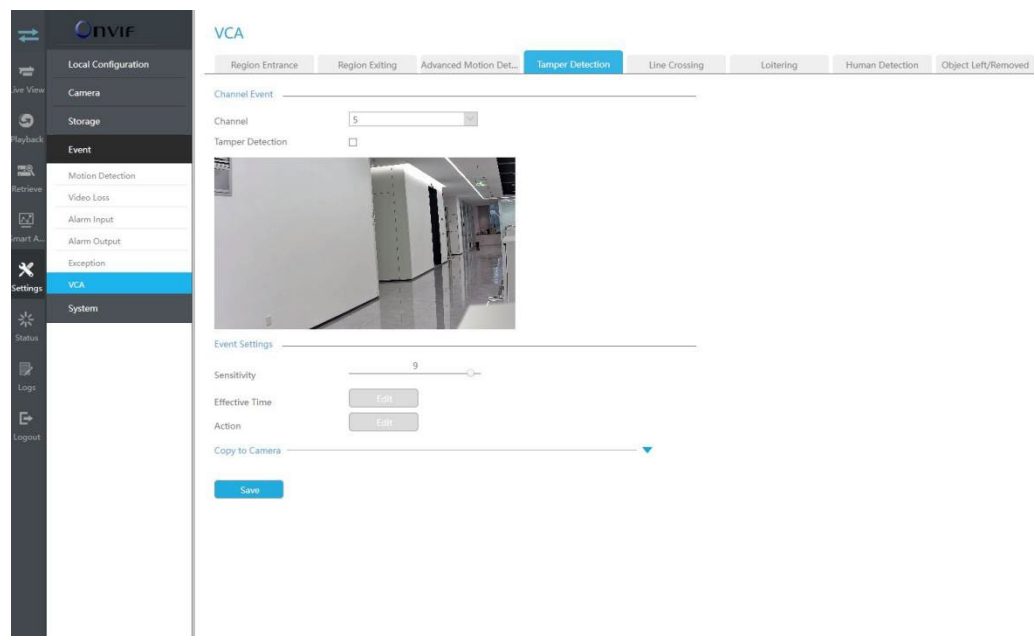
これらのアクションの詳細設定については、「[アラームアクション](#)」を参照してください。

ステップ8.「カメラにコピー(Copy To Camera)」をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.8.6.4 妨害検知

妨害検知は、カメラのピントが合っていない、障害物がある、動いているなど、改ざんの可能性を検知するために使用されます。この機能は、上記のようなアクションが発生した場合、セキュリティスタッフに即座に警告を発します。

ステップ1. チャンネルを選択し、妨害検知を有効にします。



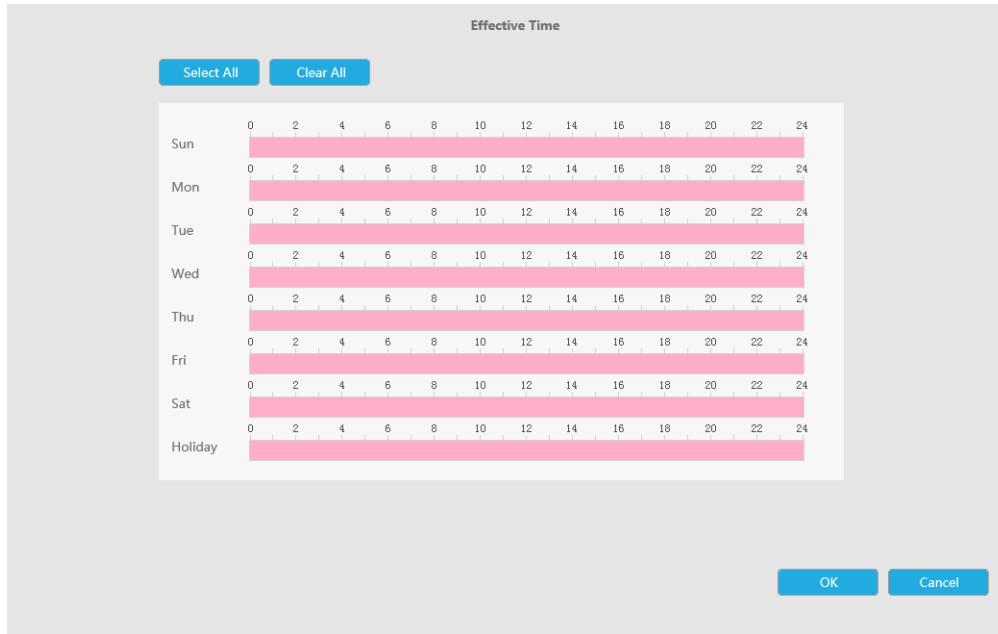
ステップ2. 感度を設定します。

感度のレベルが低いと、わずかな動きではアラームを作動させません。



ステップ3. 有効時間の「編集」をクリックして、エリア入口の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。「すべて選択」または「すべてクリア」をクリックして、すべての時間を設定またはクリアすることができます。



ステップ4. アクション「編集」をクリックして、妨害検知アラームのアクションを設定します。

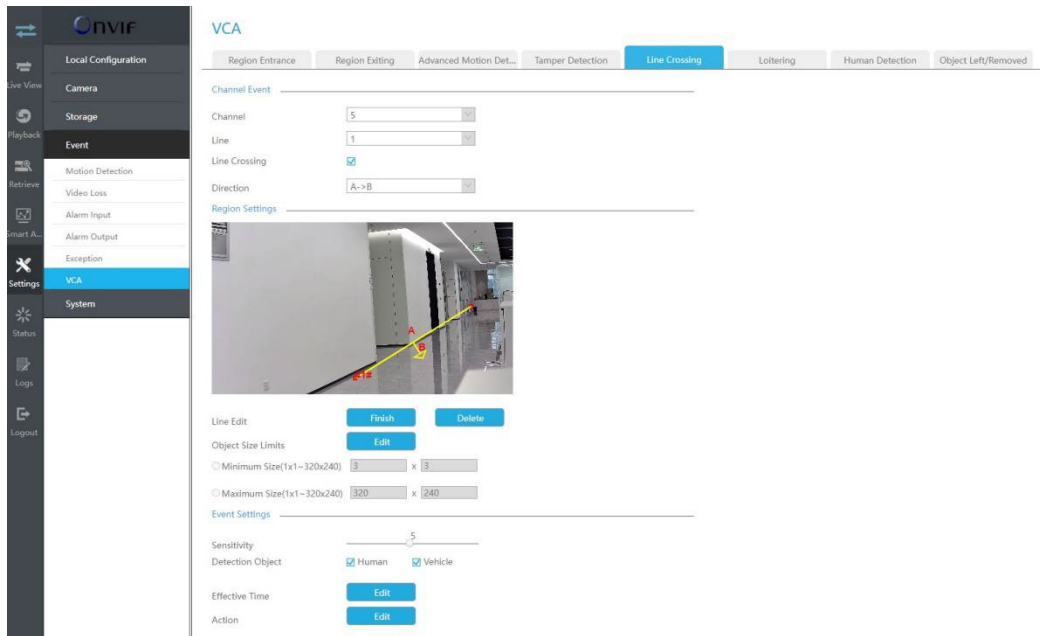
これらのアクションの詳細設定については、「[アラームアクション](#)」を参照してください。

ステップ5. 「カメラにコピー (Copy To Camera)」をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.8.6.5 境界横断検知(ラインクロス検知)

境界横断検知は、ほとんどの屋内および屋外環境で動作するように設計されています。カメラが定義された仮想線を横切る物体を検出すると、毎回イベントが検出されます。

設定手順を以下に示します。



ステップ1. チャンネルを選択し、境界横断検知を有効にします。

ステップ2. 検出ライン番号を選択します。

Channel	4
Line	1
Line Crossing	<input checked="" type="checkbox"/>

ステップ3. 方向を設定します。

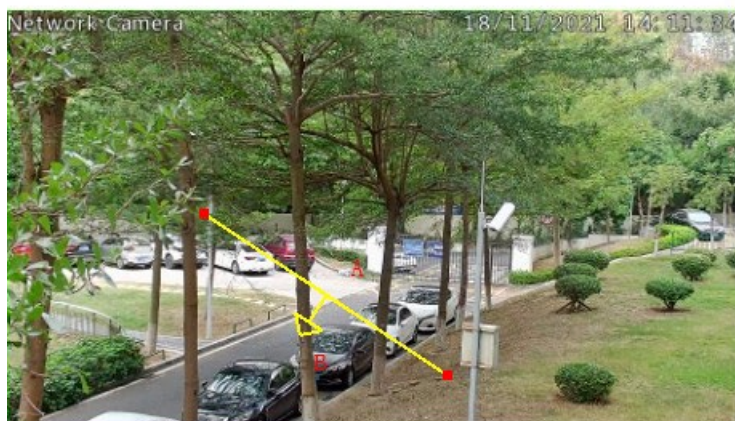
一度に最大4ラインまで設定可能です。アラームの検出には、3つの方向モードがあります。「A→B」は、「A」側から「B」側へラインを横切る被写体がある場合、アラームが検出されることを意味します。「B→A」はその逆です。「A↔B」は、どちらかの側から被写体がラインを横切ったときにアラームが検出されることを意味します。

Direction	A->B
-----------	------

ステップ4. 検出線を引く。

Line Editの「編集」ボタンをクリックすると、その行を編集することができます。

Region Settings



Line Edit

Finish

Delete

 **注：**境界横断検知の各設定は別々に動作し、互いに影響することはありません。

ステップ5. 被写体サイズの制限を設定します。

Object Size Limits 「編集」 ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

Minimum Size(1x1~320x240) 3 x 3

Maximum Size(1x1~320x240) 320 x 240

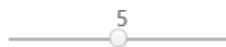
最小サイズ：最小サイズは、被写体のサイズがフレームより大きい場合のみ、設定が有効になることを意味します。

最大サイズ：最大サイズは、被写体のサイズがフレームより小さい場合のみ、設定が有効になります。

ステップ6. 感度を設定します。

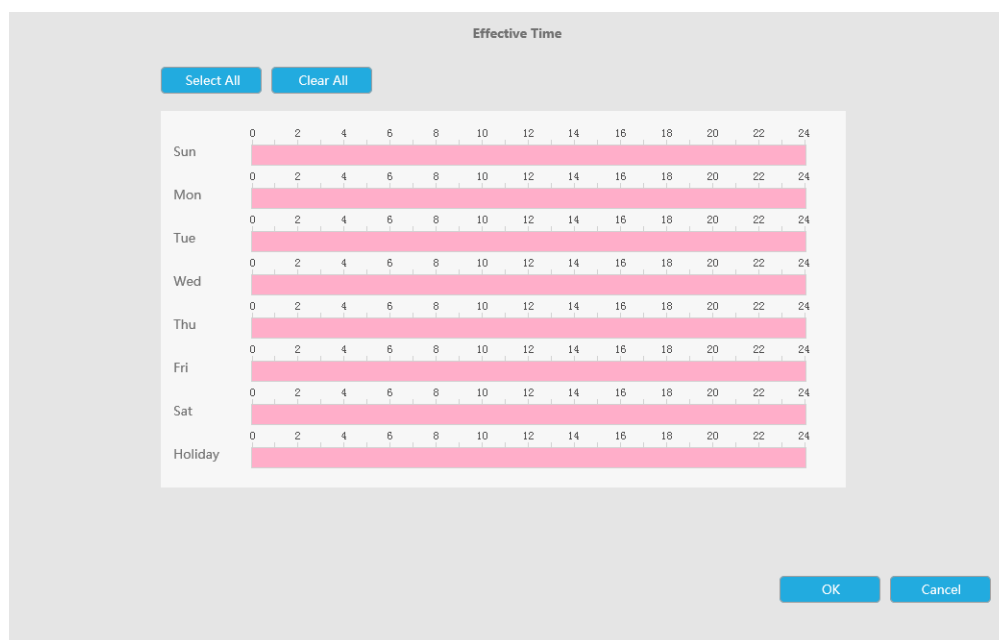
感度は、要件に応じて、動きを検出するために設定できます。感度のレベルが低いと、わずかな動きではアラームを作動させません。

Sensitivity



ステップ7. 有効時間「編集」をクリックし、エリア入口の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。「すべて選択」または「すべてクリア」をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアすることができます。



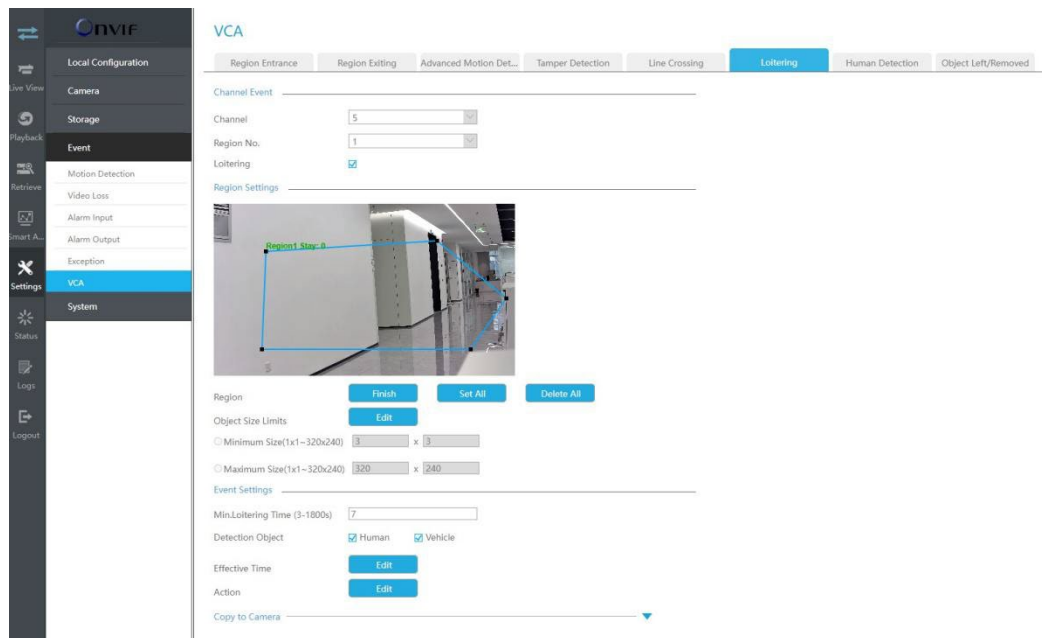
ステップ8. アクション「編集」をクリックして、リンクロスアラームのアクションを設定します。

これらのアクションの詳細設定については、「[アラームアクション](#)」を参照してください。

ステップ9. 「カメラにコピー (Copy To Camera)」をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.8.6.6 徘徊検知

決められたエリアに一定時間、物体が徘徊する、アラームが発生します。



ステップ1. チャンネルを選択し、徘徊検知を有効にします。

Channel Event

Channel

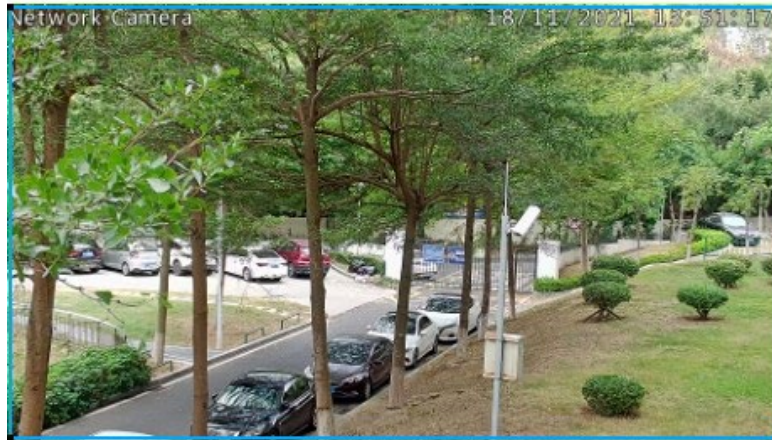
Region No.

Loitering

ステップ2. 検出検索エリアを設定する。

Region「編集」ボタンをクリックすると、検出エリアを編集することができます。また、“すべてセット”、“Delete All”をクリックすることで、設定した全ての検索エリアを設定・削除することができます。

Region Settings



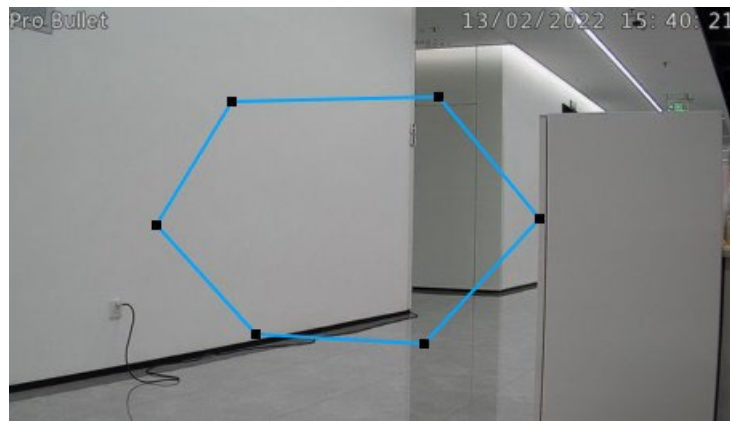
Region

Finish

Set All

Delete All

ファームウェアバージョン 4X.7.0.78 以降のカメラでは、VCA 機能のポリゴン検出検索エリアの描画に対応します。



Object Size Limits 「編集」ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

○Minimum Size(1x1~320x240) x

○Maximum Size(1x1~320x240) x

最小サイズ：最小サイズは、被写体のサイズがフレームより大きい場合のみ、設定が有効になることを意味します。

最大サイズ：最大サイズは、被写体のサイズがフレームより小さい場合のみ、設定が有効になります。

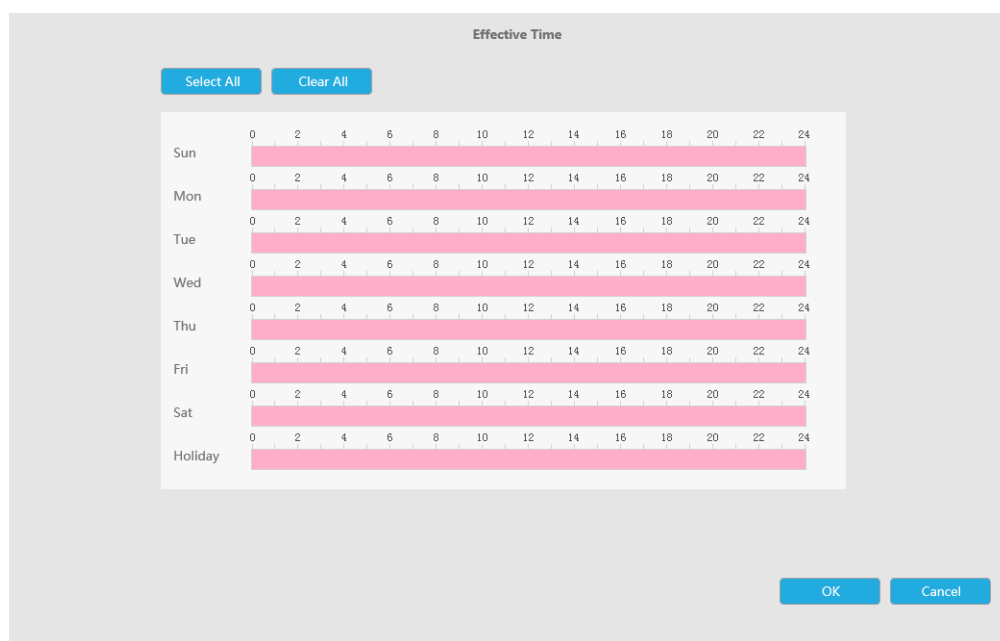
ステップ3. 最小徘徊時間を設定します。

3秒から1800秒の範囲で最小徘徊時間を設定した後、最小徘徊時間を超えて選択エリアに徘徊している物体があれば、アラームが発生します。

Min.Loitering Time (3-1800s)

ステップ4. 有効時間の「編集」をクリックして、エリア入口の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、アラームを受信します。「すべて選択」または「すべてクリア」をクリックして、すべての時間を設定またはクリアすることができます。



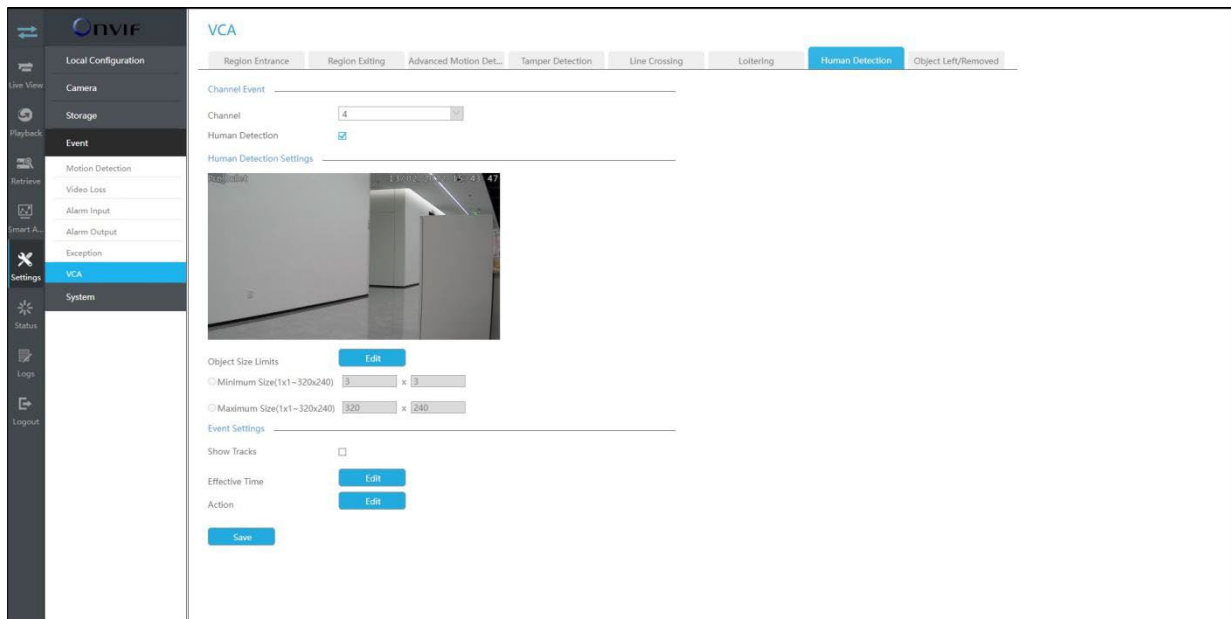
ステップ5. アクション「編集」をクリックして、うろつきアラームのアクションを設定します。

これらのアクションの詳細設定については、「[アラームアクション](#)」を参照してください。

ステップ6. 「カメラにコピー (Copy To Camera)」をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.8.6.7 人物検知

人物検出は、対象物が人物かどうかを判断するために使用されます。



ステップ1. チャンネルを選択し、人物検知を有効にします。

Human Detection

ステップ2. トラックを表示するを有効にする場合は、チェックをいれます。

Show Tracks

ステップ3. 被写体サイズの制限を設定します。

「編集」ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

Minimum Size(1x1~320x240) 3 x 3

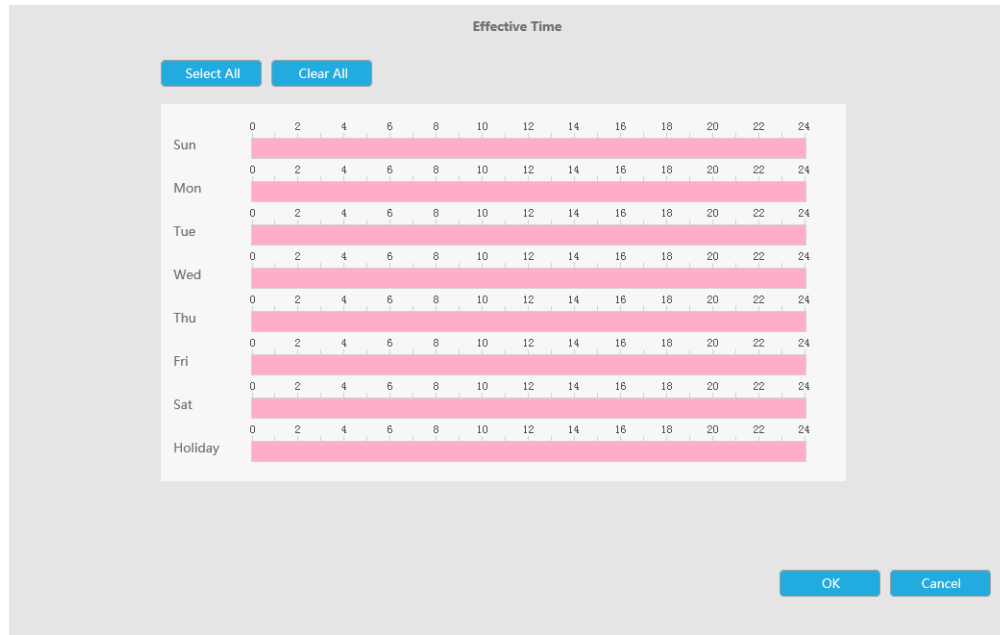
Maximum Size(1x1~320x240) 320 x 240

最小サイズ：最小サイズは、被写体のサイズがフレームより大きい場合のみ、設定が有効になることを意味します。

最大サイズ：最大サイズは、被写体のサイズがフレームより小さい場合のみ、設定が有効になります。

ステップ4. 有効時間の「編集」をクリックして、人物検知の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。「すべて選択」または「すべてクリア」をクリックして、すべての時間設定を設定またはクリアすることができます。




ステップ5. アクション「編集」をクリックして、人体検知アラームのアクションを設定します。

これらのアクションの詳細設定については、「[アラームアクション](#)」を参照してください。

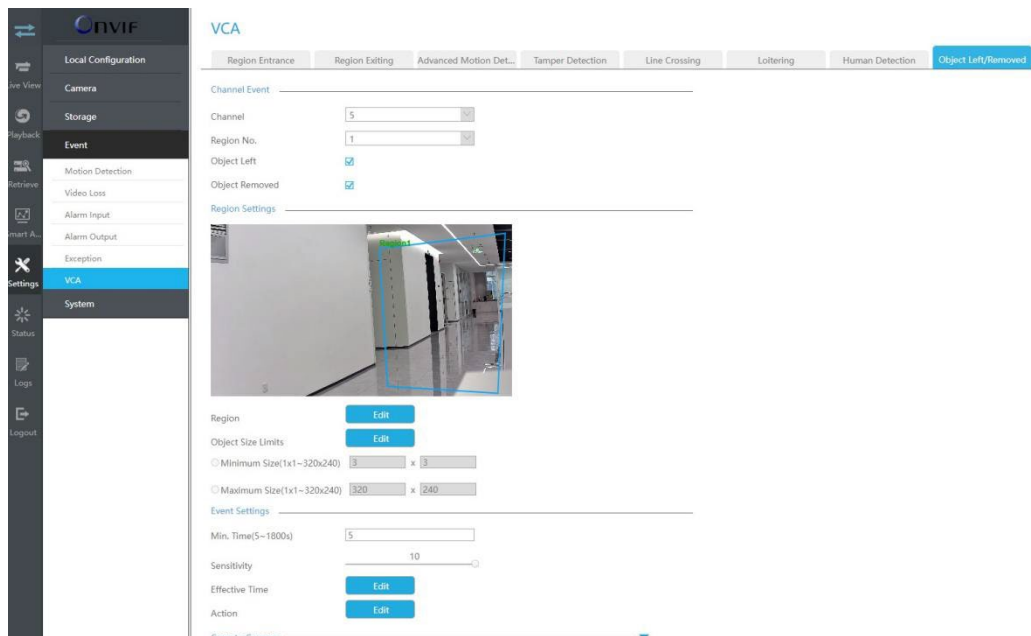
ステップ6. 「カメラにコピー (Copy To Camera)」をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.8.6.8 被写体の置き去り/持ち去り検知

被写体置き去り検知は、被写体が事前に定義された検索エリアに残された場合に検出され、アラームが発生します。被写体持ち去り検知は、被写体が事前に定義された検索エリアから削除された場合、検出され、アラームが表示されます。

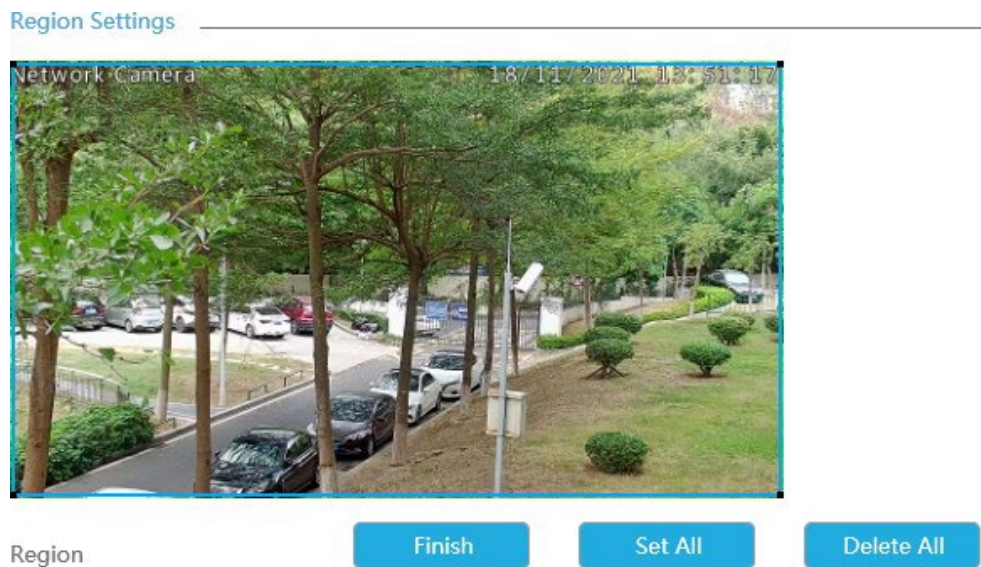
 注：この機能をサポートするには、NVRをV7x.9.0.4-r2以降にアップグレードする必要があります。

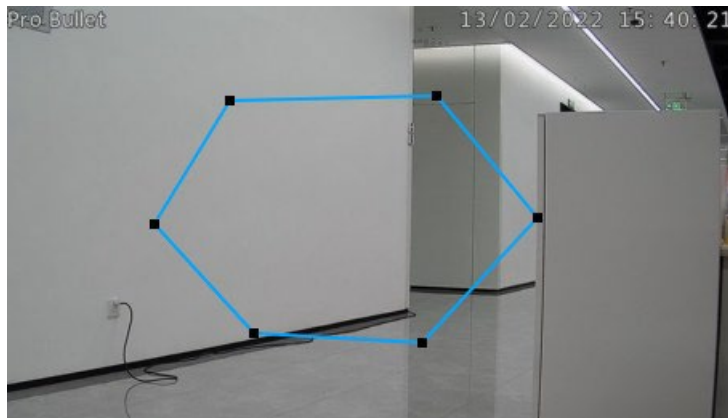
ステップ1. チャンネルを選択し、置き去り/持ち去り検知を有効にします（または、両方の機能を同時に有効にします）。



ステップ2. 検出検索エリアを設定する。

Region「編集」ボタンをクリックすると、検出検索エリアを編集することができます。また、「すべてセット」、「Delete All」を直接クリックすることで、設定した全ての検索エリアを設定・削除することができます。





ステップ3. 被写体サイズの制限を設定します。

Object Size Limits「編集」ボタンをクリックすると、最小サイズと最大サイズを編集することができます。

○ Minimum Size(1x1~320x240) 3 x 3

○ Maximum Size(1x1~320x240) 320 x 240

最小サイズ：最小サイズは、被写体のサイズがフレームより大きい場合のみ、設定が有効になることを意味します。

最大サイズ：最大サイズは、被写体のサイズがフレームより小さい場合のみ、設定が有効になります。

ステップ4. 最小時間を設定します。

3秒から1800秒の範囲で最小時間を設定した後、最小時間を超えて選択範囲に物を置いたり、選択範囲から物を取り除いたりすると、アラームが作動します。

Channel Event

Channel 5

Region No. 1

Object Left

Object Removed

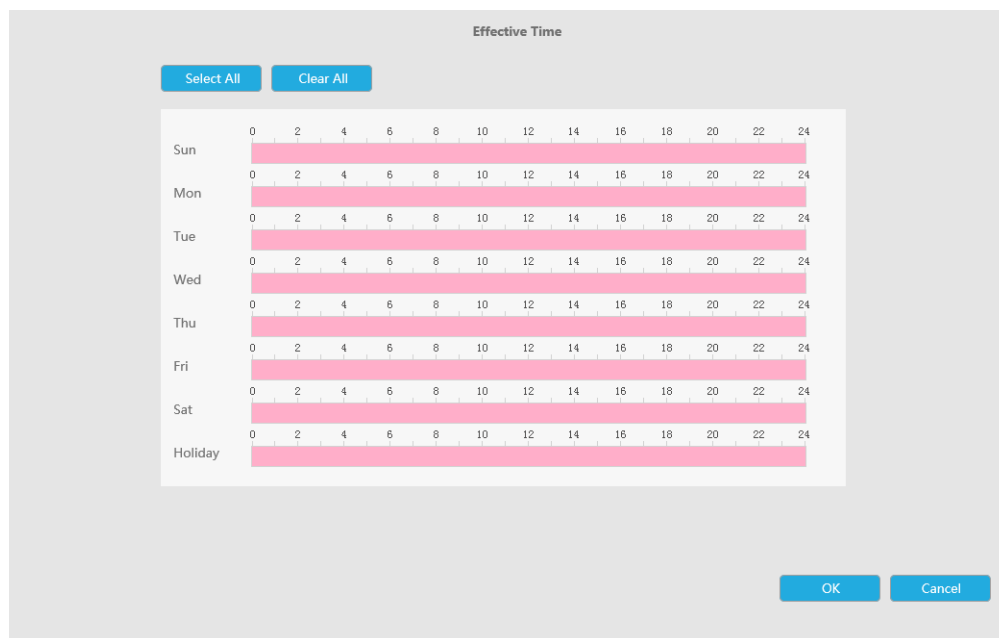
ステップ5. 感度を設定します。

感度のレベルが低いと、わずかな動きではアラームを作動させません。

Sensitivity

ステップ6. 有効時間の「編集」をクリックして、置き去り/持ち去り検知の有効時間を設定します。

有効時間が設定されると、NVRはアラームを受信します。「すべて選択」または「すべてクリア」をクリックして、すべての時間を設定またはクリアすることができます。



ステップ7. アクション「編集」をクリックして、被写体の置き去り/持ち去り検知アラームのアクションを設定します。

これらのアクションの詳細設定については、「[アラームアクション](#)」を参照してください。

ステップ 6. 「カメラにコピー (Copy To Camera)」をクリックすると、同じ設定を他のチャンネルにコピーすることができます。

3.9 設定

3.9.1 一般

設定→システム設定→全般→時刻

日付と時間

NVRの時刻パラメータを設定するもので、タイムゾーン、サマータイム、時刻設定、サーバー・アドレス、NTP同期、間隔などを設定します。

General Settings

Date & Time

Device

Current System Time

Date 10/09/2019

Time 01:11:55

Set The System Time

Time Zone (UTC-08:00) United States - Pacific T

Daylight Saving Time Auto

NTP Server

Server Address pool.ntp.org

NTP Sync Enable

Interval 1 day

Manual

Time 10/09/2019 01:11:52

Sync with computer time

Date 10/09/2019

Time 16:11:55

Save

サーバーアドレス : NTPサーバーのアドレスを手動で入力することをサポートします。

NTP同期 : NTPサーバーと同期するNVRの時刻を設定します。

間隔 : NTPサーバーと同期する間隔を設定できます。

デバイス

設定→システム設定→全般→全般

デバイス名、HDMI音声、音声出力、HDMI互換モード、ブートウィザード、ストリーム情報など、NVRの一般的なパラメータを設定するためのものです。

General Settings

Date & Time	Device
Device Name	<input type="text" value="NVR"/>
HDMI1 Audio	<input type="text" value="Enable"/>
Audio Out	<input type="text" value="Enable"/>
Boot Wizard	<input type="text" value="Enable"/>
HDMI Compatible Mode	<input type="text" value="Enable"/>
Stream Information	<input type="text" value="Disable"/>
HDMI1/VGA1 Resolution	<input type="text" value="1920 x 1080 / 60Hz"/>
HDMI2/VGA2	<input type="text" value="Enable"/>
HDMI2/VGA2 Resolution	<input type="text" value="1920 x 1080 / 60Hz"/>

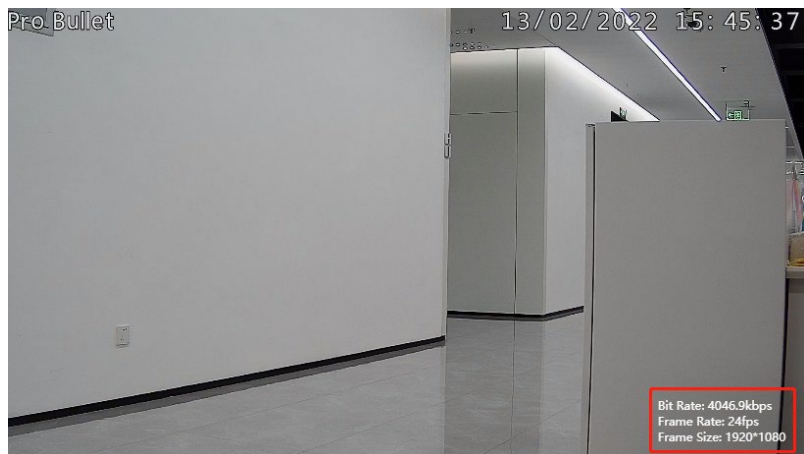
デバイス名：デバイス名を設定します。

HDMI音声：HDMI1オーディオを使用します。

音声出力：オーディオアウトを有効にする。

ブートウィザード：再起動後にブートウィザードをポップアップするようにします。

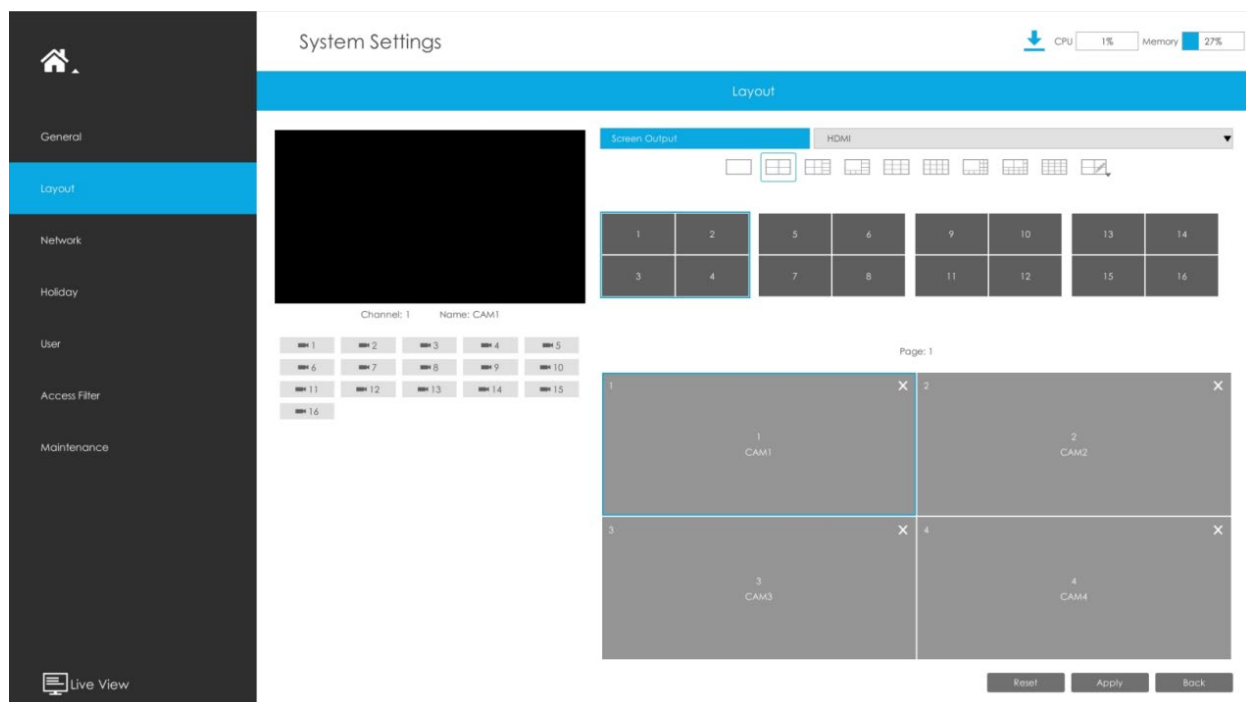
ストリーム情報：ライブビューと再生画面の両方でビットレート、フレームレート、フレームサイズを確認するには、これを有効にします。



注


- 一部の機種では、トランスコードを有効にしている間、ストリーム情報が同期して表示されます。
- プラグインフリーモードでH.265を再生しているチャンネルは、ストリーム情報を表示しません。

3.9.2 レイアウト



ステップ1. 画面出力を選択します。



異なる画面出力で異なるシナリオを監視するニーズに対応するため、画面出力ごとにレイアウトを設定することができます。

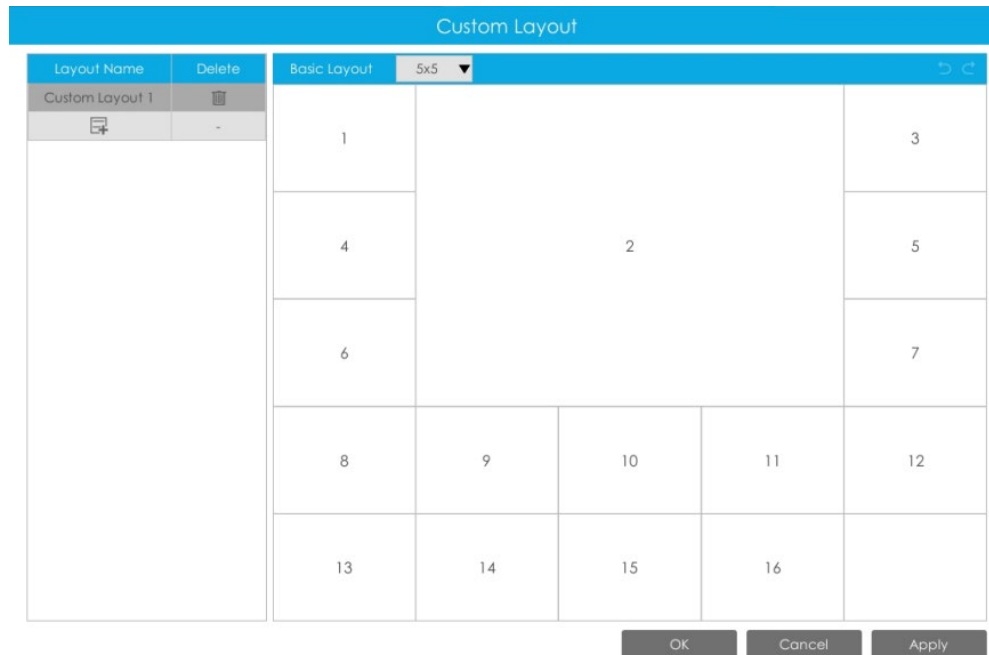
 注：NVR 7000シリーズとNVR 8000シリーズのみがこの機能をサポートします。


ステップ2. レイアウトフォーマットを選択します。




1/4/8/9/12/1+11/2+10/16、またはカスタムレイアウトを選択できます。カスタムレイアウトを選択した場合

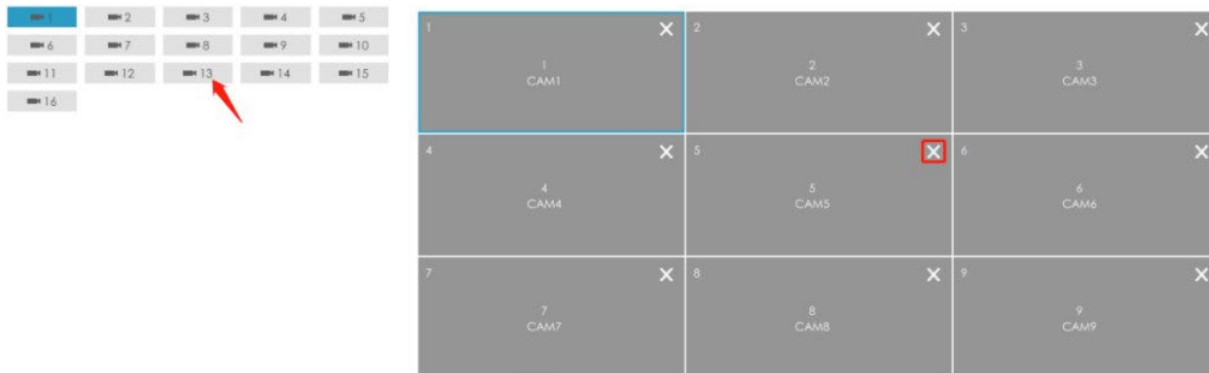
 ボタンをクリックし、 ボタンをクリックし、新しいカスタムレイアウトを追加します。そして、画面をドラッグしてレイアウトをカスタマイズし、「適用」ボタンをクリックし、「OK」をクリックしてカスタムレイアウトを保存します。



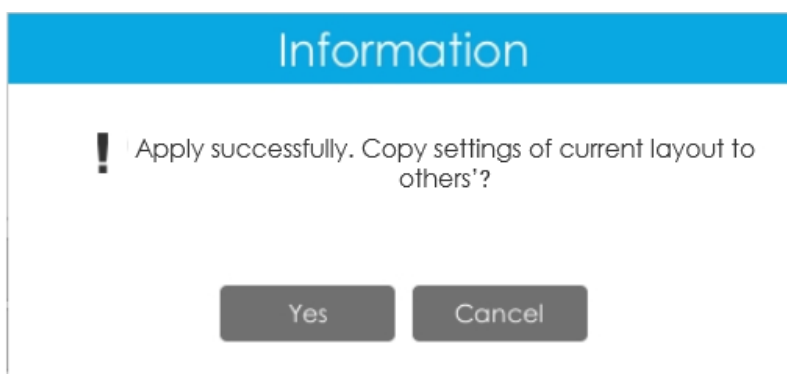
 注：基本レイアウトをベースにカスタムレイアウトを作成することができ、最大5*5の基本レイアウトに対応しています。

ステップ3. 希望するチャンネルを設定する。

 をクリックして、チャンネルを閉じます。ウィンドウを選択し、追加したいチャンネルを選択します。「Apply」をクリックして設定を保存するか、「Reset」をクリックしてレイアウトをリセットします。



ステップ4. 現在のレイアウトの設定を他のレイアウトに適用するかどうかを選択します。



3.9.3 ネットワーク

3.9.2.1 基本

IPv6

手動/ルーター広告/DHCPv6が利用可能です。

DNSサーバー

プライマリDNSサーバー : DNSサーバーのIPアドレス。

セカンダリDNSサーバー : DNSサーバーの代替アドレス。

Network							
Basic	UPnP	DDNS	Email	P2P	PPPoE	SNMP	More
LAN							
IPv4 DHCP	Disable			IPv6 Mode	Manual		
IPv4 Address	192.168.7.111			IPv6 Address			
IPv4 Subnet Mask	255.255.240.0			IPv6 Prefix length			
IPv4 Gateway	192.168.7.1			IPv6 Gateway			
Preferred DNS Server	192.168.5.1						
Alternate DNS Server	. . .						
MTU(Byte)	1500						
MAC	1C-C3-16-9A-30-92						
PoE NIC IPv4 Address	192.168.20.1						

注

1. MTU の有効範囲は 1200～1500 です。
2. 他の機器と競合するIPアドレスは入力しないでください。
3. 動作モード・オプションはNVR 7000/8000シリーズのみです。内部NICのIPv4アドレスはPoE NVRシリーズのみです。

3.9.2.2 UPnP

この機能を有効にすると、ルーターで各ポートのポートマッピングを設定する必要がなく、ルーターがUPnPに対応した時点で自動的にルーターのポートマッピングが行われます。

Network

Basic | **UPnP** | DDNS | Email | P2P | PPPoE | SNMP | HTTPS | More

UPnP:

Forwarding Type:

Port Type	Edit	External Port	Internal Port	Status
HTTP		21202	80	Invalid
RTSP		23202	554	Invalid

3.9.2.3 DDNS

DDNSを使用して動的IPアドレスの問題を解決する。

DDNSを有効にし、サーバーアドレスを選択して、ユーザー名、パスワード、ホストIPを入力します。設定を保存するのを忘れないでください。

注意：“ホストIP”は文字で始まり、数字、文字、ハイフンのみ使用可能です。

Network

Basic | UPnP | **DDNS** | Email | P2P | PPPoE | SNMP | HTTPS | More

Enable DDNS:

Provider:

External HTTP Port:

External RTSP Port:

DDNS URL:

3.9.2.4 電子メール

アラーム発生時にスナップショットが受信者に送信されます。

Network

Basic | UPnP | DDNS | **Email** | P2P | PPPoE | SNMP | HTTPS | More

Email:

User Name:

Password:

SMTP Server:

SMTP Port:

Encryption: TLS SSL

Host Name: Enable

Sender Email Address:

Receiver Email Address 1:

Receiver Email Address 2:

Receiver Email Address 3:

電子メール選択を有効にし、設定を開始します。

ユーザー名：メール送信用のメールアドレスです。

パスワード：メール送信時のパスワードです。

SMTPサーバー：電子メールのSMTPサーバーです。


SMTPポート：SMTPサーバーのポート。通常は25。

送信元メールアドレス：「ユーザー名」と同じである必要があります。

受信先メールアドレス：受信者のメールアドレス。

暗号化：メール送信のセキュリティプロトコル（TLS、SSLなど）。

メール機能が動作するか確認する場合は、「テスト」を選択します。

 **注：**お使いのNVRにホストIP用のポート転送IPがある場合、ポートを含む完全なアドレスを入力してください。

3.9.2.6 PPPoE

PPPoEは、PPPプロトコルとイーサネットを組み合わせたもので、イーサネットホストは単純なブリッジ装置を介してリモートアクセスコンセントレータに接続することができます。

Network

Basic	UPnP	DDNS	Email	P2P	PPPoE	SNMP	HTTPS	More
-------	------	------	-------	-----	--------------	------	-------	------

PPPoE


Dynamic IP

User Name

Password

Confirm Password

Note: If both UPnP and PPPoE are enabled, only PPPoE will take effect.

 **注意：**UPnPとPPPoEの両方が有効な場合は、PPPoEのみが有効になります。

3.9.2.7 *SNMP*

SNMPは、Simple Network Management Protocol の略称で、ネットワーク環境全体でNVRを監視および管理に使用します。。SNMPは、多くのネットワーク・デバイス、ソフトウェアおよびシステムで広く使用されています。

SNMPを設定する前に、SNMPソフトウェアをダウンロードし、SNMPポート経由でNVRの情報を受信できるように設定してください。トラップ・アドレスを設定することで、NVRはアラーム・イベントと例外メッセージを監視センターに送信することができます。

The screenshot shows the 'Network' configuration page with the 'SNMP' tab selected. The settings are organized into sections: 'SNMP V1 / V2c', 'SNMP V3', and 'SNMP Port'. Under 'SNMP V1 / V2c', there are dropdown menus for 'SNMP V1' and 'SNMP V2c' (both set to 'Disable'), and text input fields for 'Read Community' (set to 'public') and 'Write Community' (set to 'private'). Under 'SNMP V3', there are dropdown menus for 'SNMP V3' (set to 'Disable'), 'Level of Security' for both 'Read Security Name' and 'Write Security Name' (both set to 'no auth, no priv'), and text input fields for 'Read Security Name' and 'Write Security Name'. Under 'SNMP Port', there is a text input field for 'SNMP Port' (set to '161'). A 'Save' button is located at the bottom left of the configuration area.

SNMP v1/2/3 : SNMPのバージョンです。お使いのSNMPソフトのバージョンを選択してください。

SNMP v1 : セキュリティ保護なし

SNMP v2: アクセスにパスワードが必要

SNMP v3: HTTPSプロトコルを有効にすることを前提に、暗号化をサポートする。

コミュニティを読み取り : 読み取りコミュニティの名前を入力します

コミュニティを書き込み : 書き込みコミュニティの名前を入力します

セキュリティ名を読み取り : 読み取りセキュリティコミュニティの名前を入力します

セキュリティのレベル : 使用可能なレベルは、(auth、priv)、(auth、no priv)、(no auth、no priv) の3つです。

セキュリティ名を書き込み : 書き込みセキュリティコミュニティの名前を入力します

セキュリティのレベル : 使用可能なレベルは、(auth、priv)、(auth、no priv)、およ

び (no auth、no priv) の3つです。

SNMPポート：SNMPポートのデフォルトは161です。

3.9.2.8 *HTTPS*

通信データのセキュリティを保証できるHTTPS経由でNVRに正常にアクセスできることを確認するために設定します。信頼性の高い安定した技術により、ユーザー情報のセキュリティとデバイスの安全性を確保することができます。

Network

Basic	UPnP	DDNS	Email	P2P	PPPoE	SNMP	HTTPS	More
-------	------	------	-------	-----	-------	------	--------------	------

HTTPS:

Installation Type:

Create a Private Certificate:

Installed Certificate:

Attributes:

証明書のインストールは3種類あります。

プライベート証明書の作成

プライベート証明書の作成の「作成」をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。そして、国、一般名、有効期間などの情報を入力します。そして、「OK」をクリックすると、プライベート証明書が生成されます。

Create a Private Certificate

Country	<input type="text"/>	*
Common Name	<input type="text"/>	*
Period of Validity	<input type="text" value="(1~999)"/>	days*
Password	<input type="text"/>	
Province	<input type="text"/>	
Region	<input type="text"/>	
Organization	<input type="text"/>	
Company	<input type="text"/>	
Email	<input type="text"/>	

OK

Cancel

ダイレクトインストール

参照」をクリックしてローカルに署名された証明書を選択し、「インストール」をクリックしてインストールします。

HTTPS	<input type="text" value="Enable"/>	
Installation Type	<input type="text" value="Direct Installation"/>	
Install Signed Certificate	<input type="text"/>	<input type="button" value="Browse"/>
	<input type="button" value="Install"/>	
Installed Certificate	<input type="text" value="C=CN, H/IP=cn"/>	<input type="button" value="Clear"/>
Attributes	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">Awarded to: C=CN, H/IP=cn Issuer: C=CN, H/IP=cn Period of Validity: Jun 6 16:21:28 2018 ~ Jan 14 16:21:28 2019</div>	

証明書要求の作成


まず、「作成」ボタンをクリックします。そして、国、通常名などを入力して、証明書要求を作成します。

証明書要求をダウンロードし、署名のために信頼できる認証局に提出する。署名された有効な証明書を受け取った後、証明書をデバイスにインポートする。

HTTPS	<input type="text" value="Enable"/>
Installation Type	<input type="text" value="Create a Certificate Request"/>
Create a Certificate Request	<input type="button" value="Create"/> Request Content
Download the Certificate Request	<input type="button" value="Download"/>
Delete the Certificate Request	<input type="button" value="Delete"/>
Installed Certificate	<input type="text" value="C=CN, H/IP=cn"/> <input type="button" value="Clear"/>
Attributes	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> Awarded to: C=CN, H/IP=cn Issuer: C=CN, H/IP=cn Period of Validity: Jun 6 16:21:28 2018 ~ Jan 14 16:21:28 2019 </div>

証明書の作成とインストールが成功したら、以下のインターフェースで証明書情報を確認し、情報をクリアすることができます。そして、ウェブ・ブラウザから <https://ip:port> を入力することでNVRにアクセスすることができます。

Installed Certificate	<input type="text" value="C=CN, H/IP=cn"/> <input type="button" value="Clear"/>
Attributes	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> Awarded to: C=CN, H/IP=cn Issuer: C=CN, H/IP=cn Period of Validity: Jun 6 16:21:28 2018 ~ Jan 14 16:21:28 2019 </div>

 注：デフォルトのHTTPSポートは443ですが、“More ”インターフェースで変更できます。

3.9.2.9 マルチキャスト

マルチキャストを有効にしてNVRの負荷を軽減し、NVRが複数接続されている場合でもビデオを正常にプレビューすることができます。ユーザーは、マルチキャストを有効にしてIPアドレスを入力するだけです。


Network

Basic UPnP DDNS Email P2P PPPoE SNMP HTTPS **Multicast** More

Multicast

IP Address

Note: Valid IP address range: 224.0.0.0~239.255.255.255.

 **注**：有効なIPアドレスの範囲：224.0.0.0～239.255.255.255。

3.9.2.10 高度な設定

Network

Basic UPnP DDNS Email Milesight Cloud PPPoE SNMP HTTPS **More**

Channel Access

Enable SSH

SSH Port

HTTP Port

HTTPS Port

RTSP Port

POS Port

Push Message

Push Stream Type

Push Message Settings

SSH

SSHアクセスを有効または無効にします。SSH（セキュア・シェル）には多くの機能があります。Telnetに取って代わることができ、FTP、POP、さらにはPPP用の安全なチャンネルも提供します。

SSHポート

デフォルトのSSHポートは22です。R&Dデバッグ専用です。

HTTPポート

デフォルトのHTTPポートは80です。実際のアプリケーションに応じてHTTPポートを変更してください。

注

1. IEブラウザのデフォルトのHTTPポートは80です。
2. HTTPポートは、4K/H. 265 NVRシリーズのリモート・ネットワーク・アクセスに使用されます。

HTTPSポート

HTTPSポートのデフォルトは443です。実際の用途に応じて、HTTPSポートを変更してください。

注

1. IE ブラウザのデフォルトの HTTPS ポートは 443 です。
2. HTTPSポートは、4k/H. 265 NVRシリーズのリモート・ネットワーク・アクセスに使用されます。

RTSPポート

RTSP (Real Time Streaming Protocol) は、TCP/IP プロトコルシステムのアプリケーション層プロトコルの一つです。RTSPのデフォルトのポート番号は554です。実際の用途に応じて、RTSPポートを変更してください。

注


1. RTSPポートは、リモートネットワークライブビューに使用されます。
2. RTSPポートの有効範囲は、554または1024~65535です。

プッシュメッセージ

このオプションを有効にすると、モバイルアプリケーションでアラームメッセージを受信することができます。

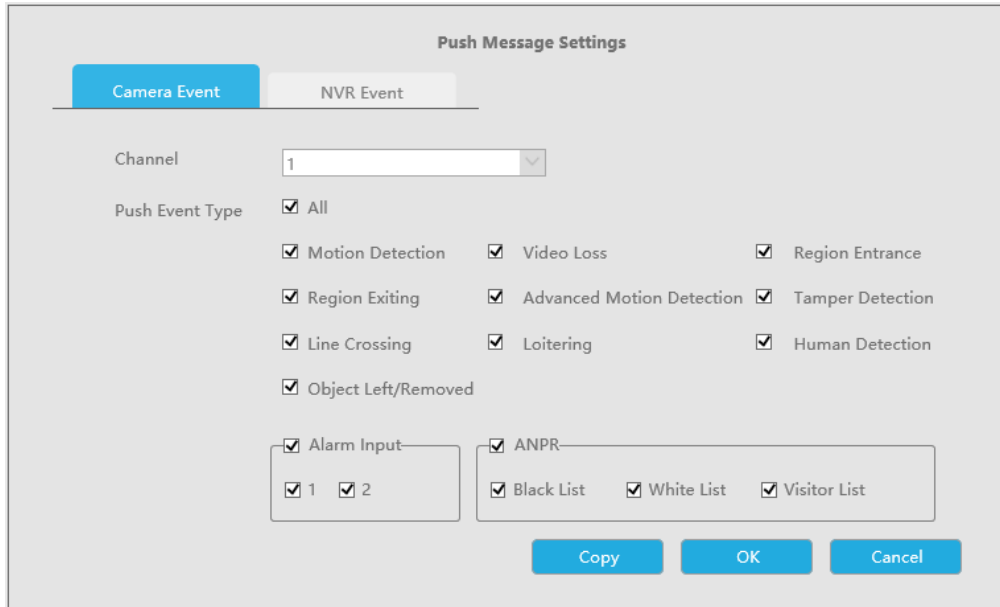
プッシュビデオストリーム

APP i-Sightにプッシュされるビデオストリームを選択します。自動、プライマリストリーム、サブストリームを選択できます。

 **注:** このオプションをサポートするのは、末尾がTのNVRモデルのみです。

プッシュメッセージの設定

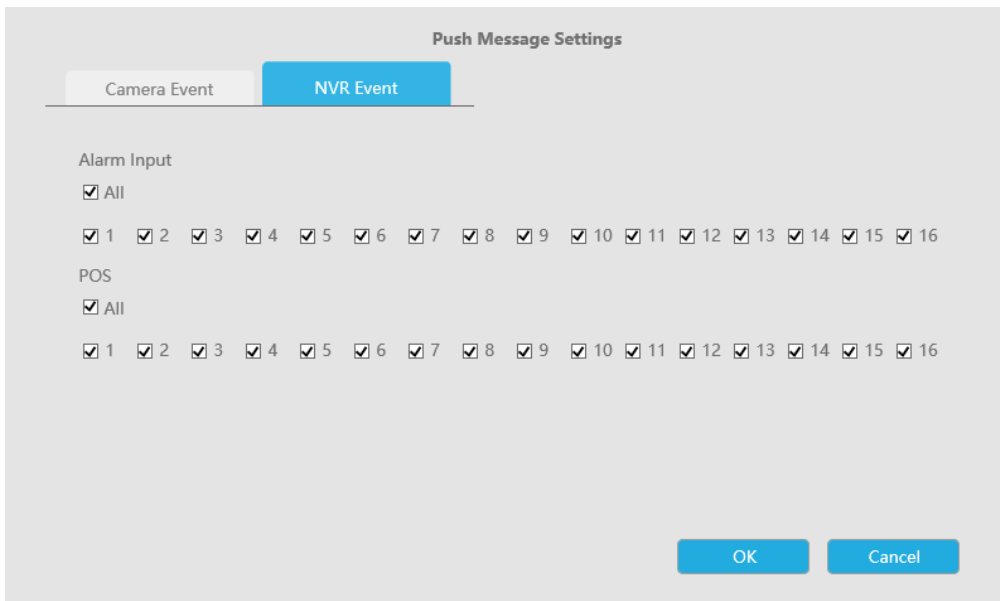
(1) カメライベント




APP i-Sightにプッシュされるプッシュ・イベント・タイプを選択します。各チャンネルには異なるプッシュ・イベント・タイプがあり、このNVRに追加されたすべてのカメラは、モーション検出、ビデオ損失、エリアの入口、出口など、プッシュしたいイベント・タイプを選択できることを意味します。

高度な動体検出、境界横断検知、徘徊検出

NVRイベント




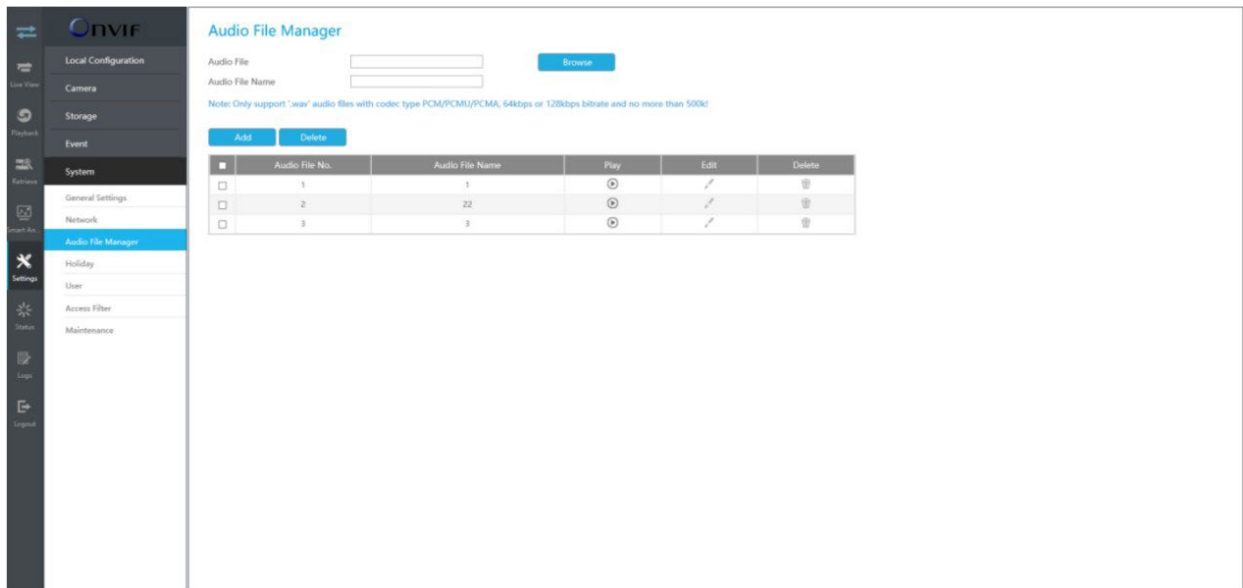
NVRのアラーム入力イベントまたはPOSイベントをプッシュしたいチャンネルを選択します。

 **注：** NVRにアラーム入力インターフェースがない場合、NVRイベント・インターフェースはありません。


3.9.3 オーディオファイルマネージャー


ここでは、最大10個のオーディオファイルをアップロードすることができます。

 **注：** NVR ハードウェアに音声出力インターフェースがあることを確認してください。



新しいオーディオファイルを追加する

 をクリックし、外部デバイスからオーディオファイルを選択し、オーディオファイル名を入力し、「OK」をクリックすると、新しいオーディオファイルが追加されます。


 **注：** オーディオファイルのフォーマットは“.wav”、コーデックの種類はPCM/PCMU/PCMA、ビットレートは64kbpsまたは128kbps、500Kを超えないことを確認してください。

Audio File


Audio File Name

Note: Only support '.wav' audio files with codec type PCM/PCMU/PCMA, 64kbps or 128kbps bitrate and no more than 500k!


オーディオファイルの再生

音声ファイルを選択し、 をクリックすると、音声ファイルが再生されます。

オーディオファイルの編集

オーディオファイルを選択し、 をクリックしてオーディオファイル名を編集します。

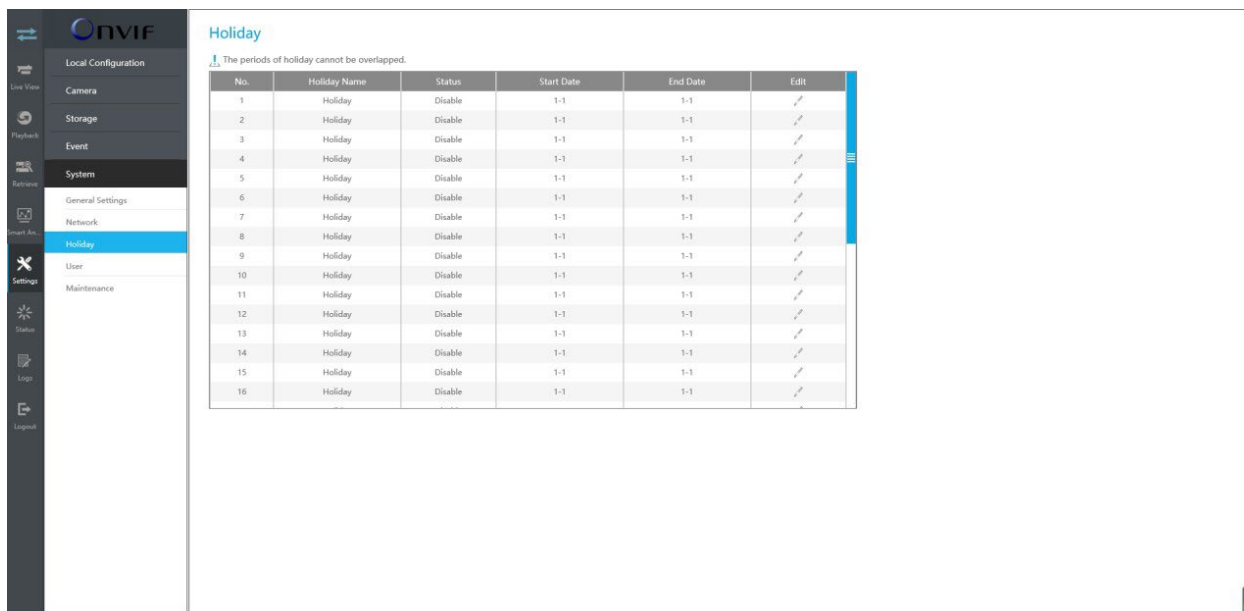
オーディオファイルの削除

















オーディオファイルを選択し、 をクリックしてオーディオファイル名を削除


また、複数の音声ファイルにチェックを入れ、「削除」をクリックすることで、音声ファイルを削除することも可能です。

3.9.4 休日

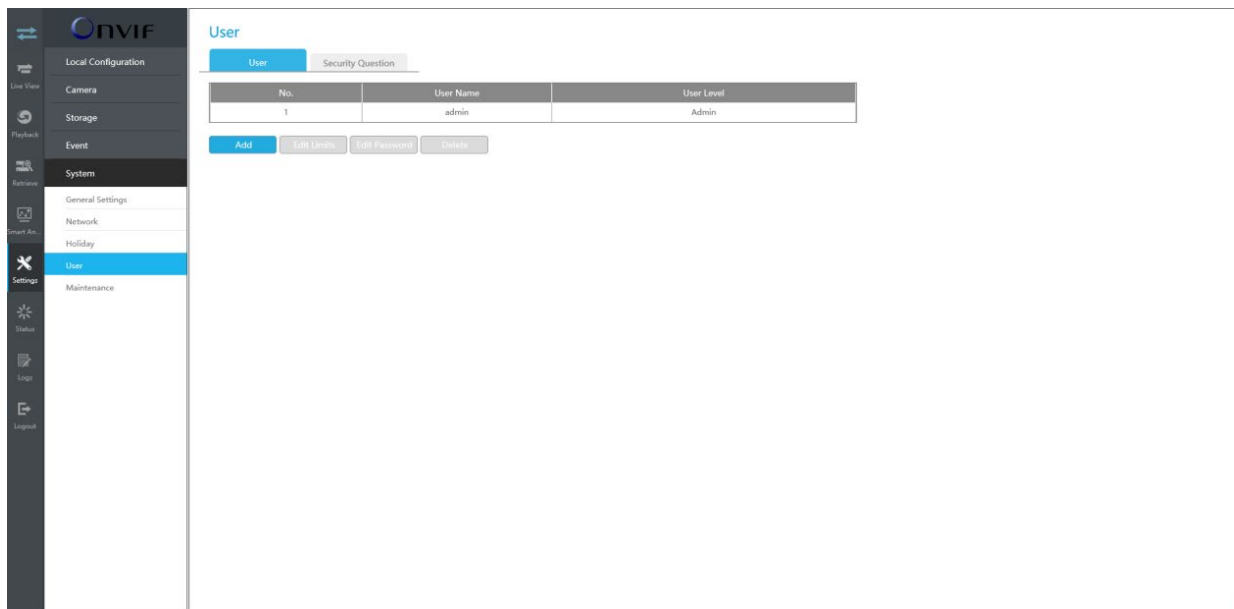
その年の祝日の録画や画像取り込みのスケジュールを設定することができます。



No.	Holiday Name	Status	Start Date	End Date	Edit
1	Holiday	Disable	1-1	1-1	
2	Holiday	Disable	1-1	1-1	
3	Holiday	Disable	1-1	1-1	
4	Holiday	Disable	1-1	1-1	
5	Holiday	Disable	1-1	1-1	
6	Holiday	Disable	1-1	1-1	
7	Holiday	Disable	1-1	1-1	
8	Holiday	Disable	1-1	1-1	
9	Holiday	Disable	1-1	1-1	
10	Holiday	Disable	1-1	1-1	
11	Holiday	Disable	1-1	1-1	
12	Holiday	Disable	1-1	1-1	
13	Holiday	Disable	1-1	1-1	
14	Holiday	Disable	1-1	1-1	
15	Holiday	Disable	1-1	1-1	
16	Holiday	Disable	1-1	1-1	

 をクリックして、休日名、休日有効期限、スタイル、開始日、終了日などの休日情報を編集します。その後、「OK」をクリックして、設定を保存してください。

3.9.5 ユーザー



注

1. NVRファームウェア・バージョンがxx.7.0.6未満の場合、デフォルトのユーザー名は「admin」、デフォルトのパスワードは「123456」です。
2. NVRファームウェア・バージョンがxx.7.0.6からxx.9.0.3までの場合、デフォルトのユーザー名は「admin」、デフォルトのパスワードは「123456」です。
3. NVRファームウェアのバージョンがxx.9.0.3以上の場合、ログイン前にパスワードを設定してください。

新しいユーザーを追加する

設定→システム設定→ユーザー管理

「追加」をクリック。ユーザー情報を入力し、「編集」をクリック。ユーザー権限を設定し、「OK」をクリックして新規ユーザーを追加します。

Add User

Admin Password

User Name

Password

Confirm Password


User Level ▼

User Permissions

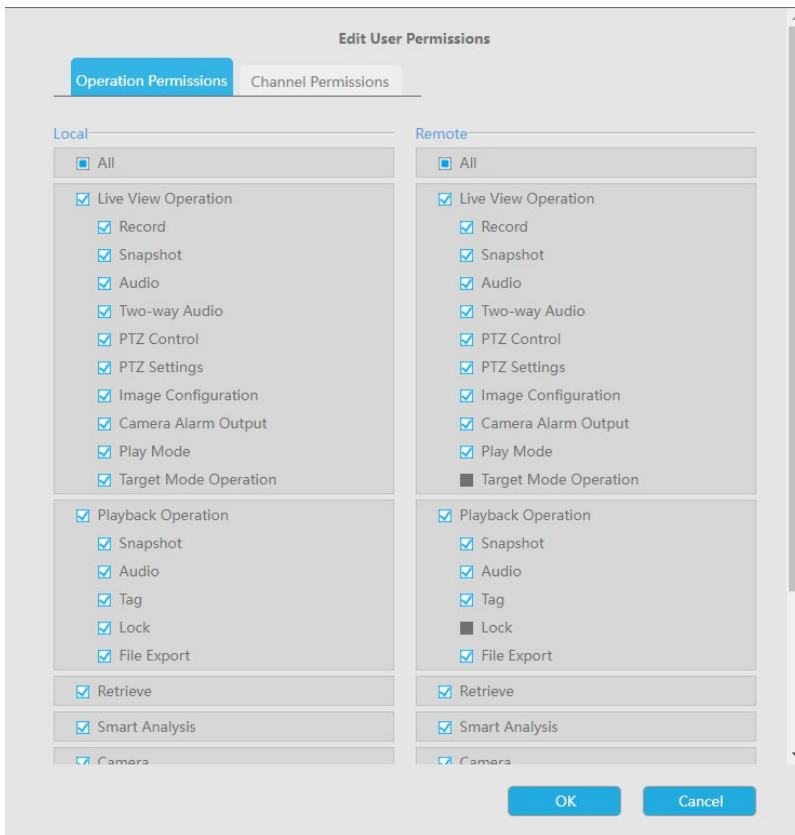
注

1. ユーザー名にはアルファベットと数字しか使用できません。ユーザーレベルには、権限が2つあります。オペレーターとビューワーです。

ユーザー制限の編集

ユーザーを選択し、背景色がダークグレーに変わったら、 をクリックして、ユーザー権限を編集します。ユーザー権限には、「操作権限」と「チャンネル権限」があります。

- 「ローカル」とは、NVRと接続されたモニターへの権限を意味します。
- 「リモート」とは、Web設定への権限を意味します。



Dialog: Edit User Permissions

Operation Permissions | Channel Permissions

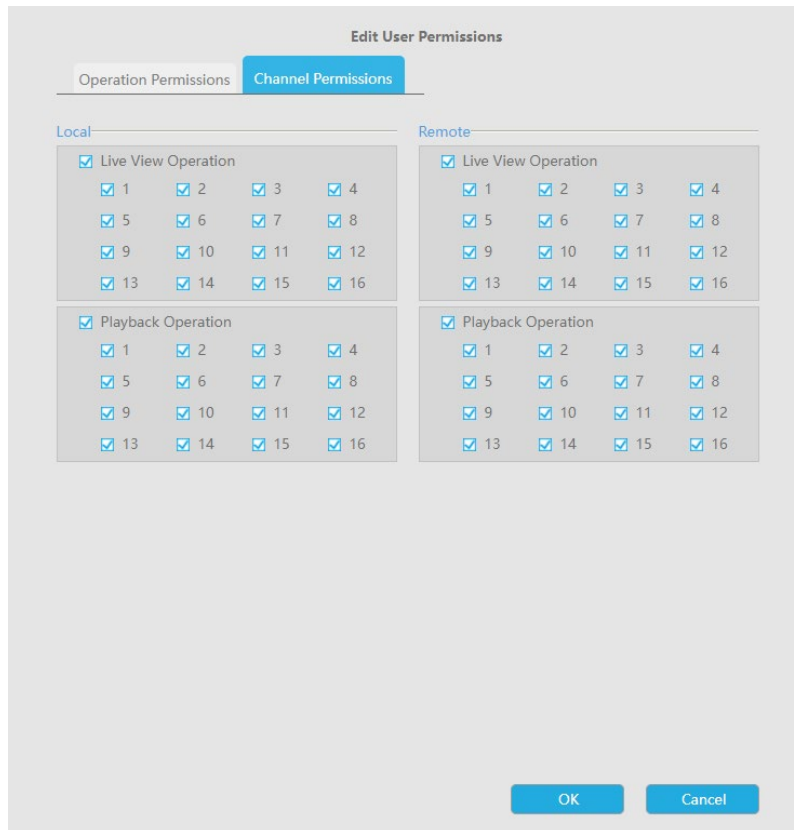
Local

- All
- Live View Operation
 - Record
 - Snapshot
 - Audio
 - Two-way Audio
 - PTZ Control
 - PTZ Settings
 - Image Configuration
 - Camera Alarm Output
 - Play Mode
 - Target Mode Operation
- Playback Operation
 - Snapshot
 - Audio
 - Tag
 - Lock
 - File Export
- Retrieve
- Smart Analysis
- Camera


Remote

- All
- Live View Operation
 - Record
 - Snapshot
 - Audio
 - Two-way Audio
 - PTZ Control
 - PTZ Settings
 - Image Configuration
 - Camera Alarm Output
 - Play Mode
 - Target Mode Operation
- Playback Operation
 - Snapshot
 - Audio
 - Tag
 - Lock
 - File Export
- Retrieve
- Smart Analysis
- Camera

OK Cancel



ユーザーパスワードの編集

ユーザーを選択し、背景色が濃いグレーに変わったら、 をクリックして、Change Password を有効にした後、パスワードを変更します。また、「Edit」をクリックすると、「Unlock Pattern」を有効にした後に、「Unlock Pattern」を設定できます。

新しいパスワードを現在接続しているPoEチャンネルに同期させることは、PoE NVRシリーズで利用可能です。

Edit User

Admin Password:

User Name:

Change Password:


New Password:

Confirm Password:

User Level:

User Permissions:

ユーザーを削除する

ユーザーを選択し、をクリックして、ユーザーを削除します。

セキュリティに関する質問を変更する

管理者パスワードを入力し、セキュリティ質問と回答を選択します。「適用」をクリックして保存します。

User

User **Security Question**

Password Authentication

Admin Password:

Security Question Setting (Questions are already set!)

Security Question1:

Security Answer1:

Security Question2:

Security Answer2:

Security Question3:

Security Answer3:

注

1. このオプションは、NVRファームウェア・バージョンxx.9.0.3以上で利用可能です。

2. セキュリティ質問は、現在のパスワードを忘れた場合に管理者パスワードをリセットするために使用されます。

3.9.6 アクセスフィルター

設定→システム設定→アクセスフィルター

IPまたはMACで追加されたデバイスアドレスへのアクセスを制限または開放するためのアクセスフィルタを有効にします。



ステップ1. アクセスフィルタを有効にする。

Access Filter

ステップ2. フィルターの種類を選択します。

拒否する：追加したデバイスアドレスへのアクセスのみを制限します。

許可する：追加したデバイスのアドレスへのアクセスのみを許可します。

Filter Type

ステップ3. アドレスを追加する。

「追加」をクリックし、デバイスのアドレスを追加します。IPまたはMACでアドレスを追加することができます。

方法1：IP経由でアドレスを追加する。必要に応じてIPアドレスルールを選択できます。

Add Address

Address Type

IP Address Rule

IP Address

Add Address

Address Type

IP Address Rule

IP Address -


方法2 : MAC経由でアドレスを追加する。

Add Address

Address Type

MAC Address

ステップ4. 「OK」をクリックすると、アクセスフィルタが有効になります。

アクセスフィルターのインターフェースで  をクリックすると、対応するアドレスを再度編集することができます。

Edit Address

Address Type ▼

IP Address Rule ▼

IP Address

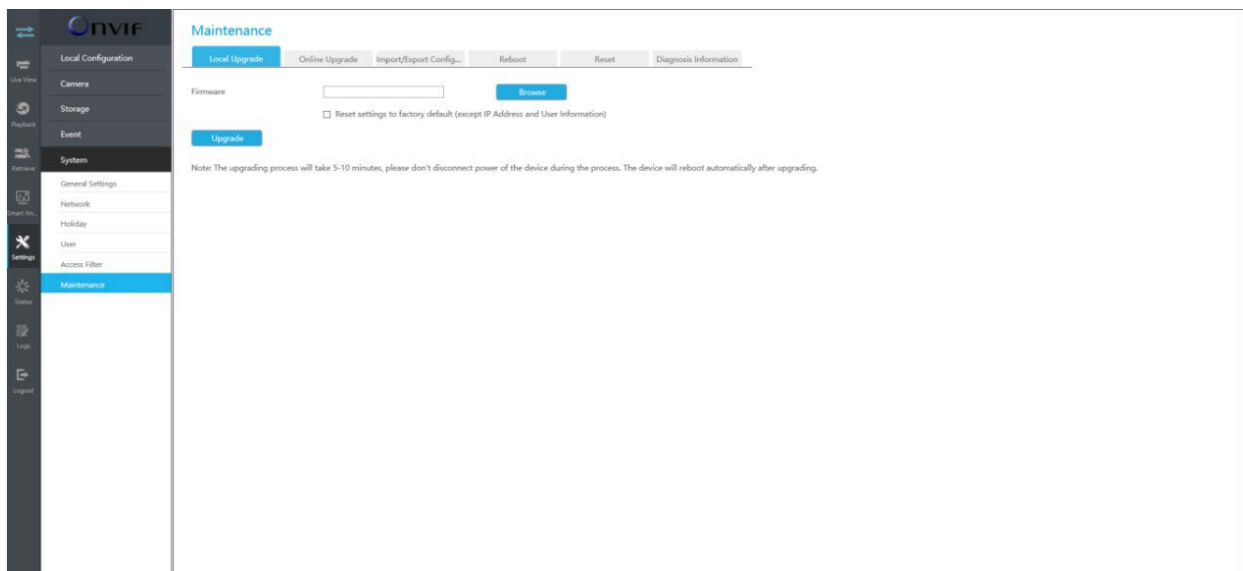
注

- アクセスフィルターが有効で、フィルタータイプが[許可]であるが、テーブルにアドレスが追加されていない場合、NVRへのアクセスは許可されません。
- アクセスフィルターが有効で、フィルタータイプが[拒否]であるが、テーブルにアドレスが追加されていない場合、すべてのアドレスがNVRへのアクセスを許可されます。

3.9.7 機器メンテナンス

設定→システム設定→機器メンテナンス


ローカルアップグレード



ステップ1. 参照ボタンをクリックし、USBにダウンロードしたファームウェアを選択します。

ステップ2. バージョンアップ後、IPアドレスとユーザ情報以外の設定を工場出荷時のステータスに戻す必要があるかどうかを確認します。

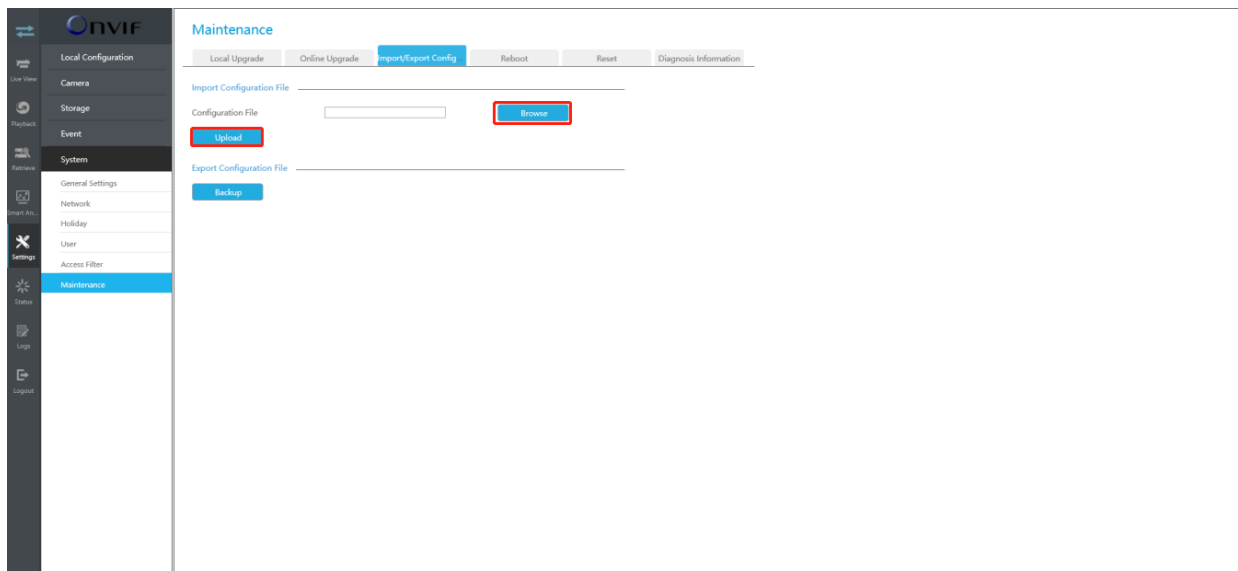
ステップ3. アップグレードを確認するために 「更新」 をクリックします。

 **注意：** アップグレードを確認すると、システムが自動的に再起動します。

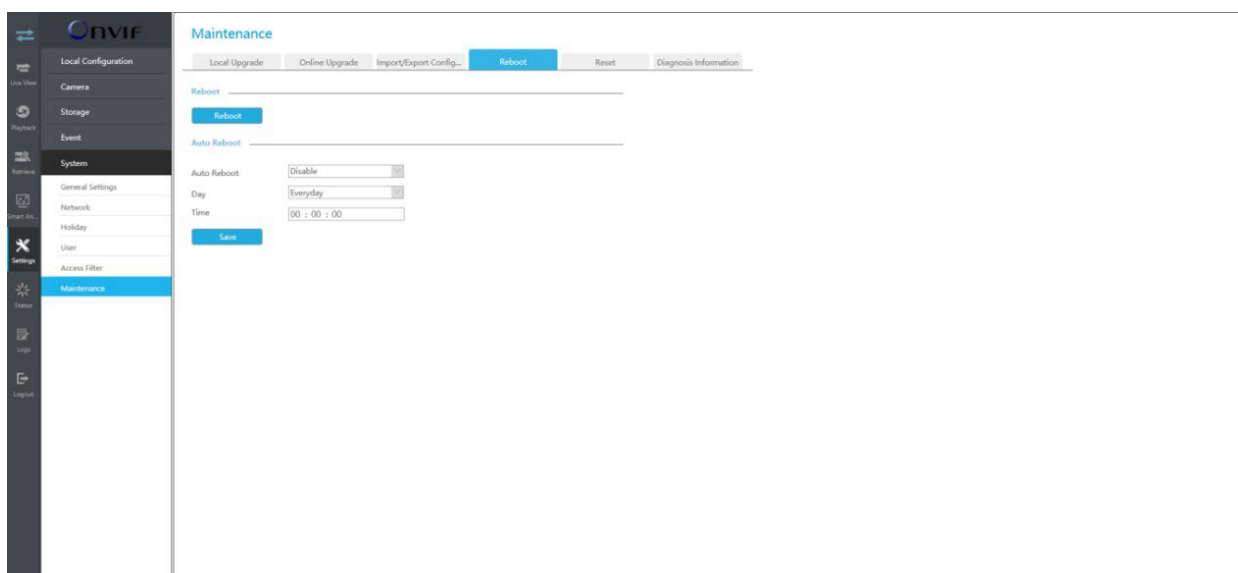
設定のインポート/エクスポート

設定ファイルのインポート： .cfg ファイルを選択し、「復元」 をクリックして、NVR に設定をインポートします。

設定ファイルのエクスポート： “バックアップ ” をクリックすると、USBデバイスに設定がエクスポートされます。



自動再起動



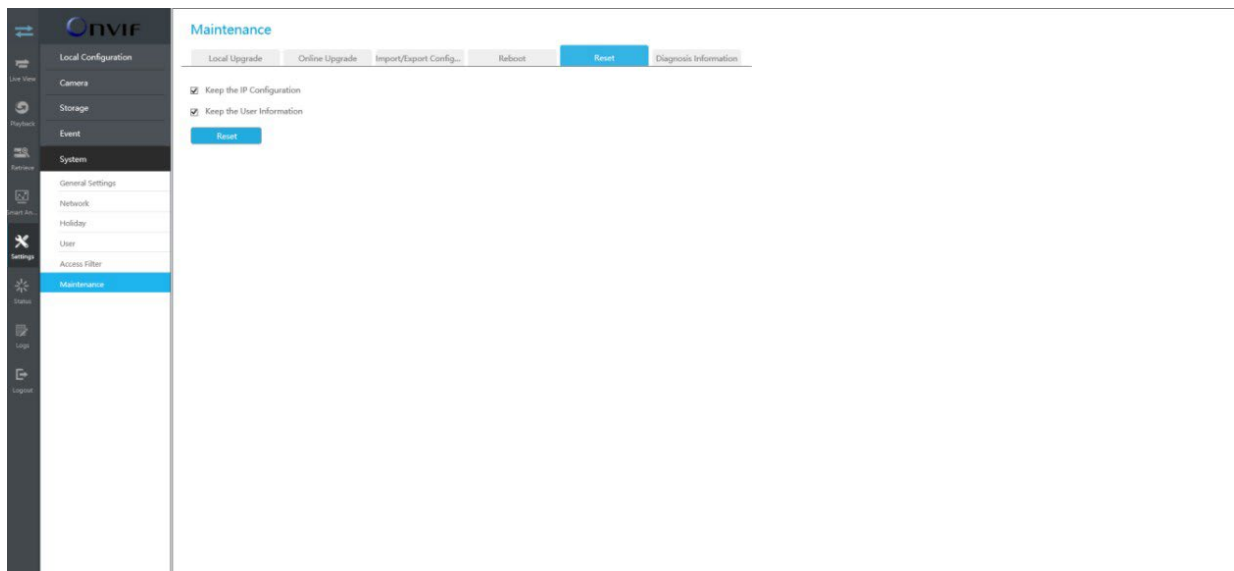
再起動の曜日と時刻を設定すると、設定した時刻にNVRが自動的に再起動されます。

曜日：毎日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日。

時刻：00:00:00～23:59:59の範囲で調整可能です。

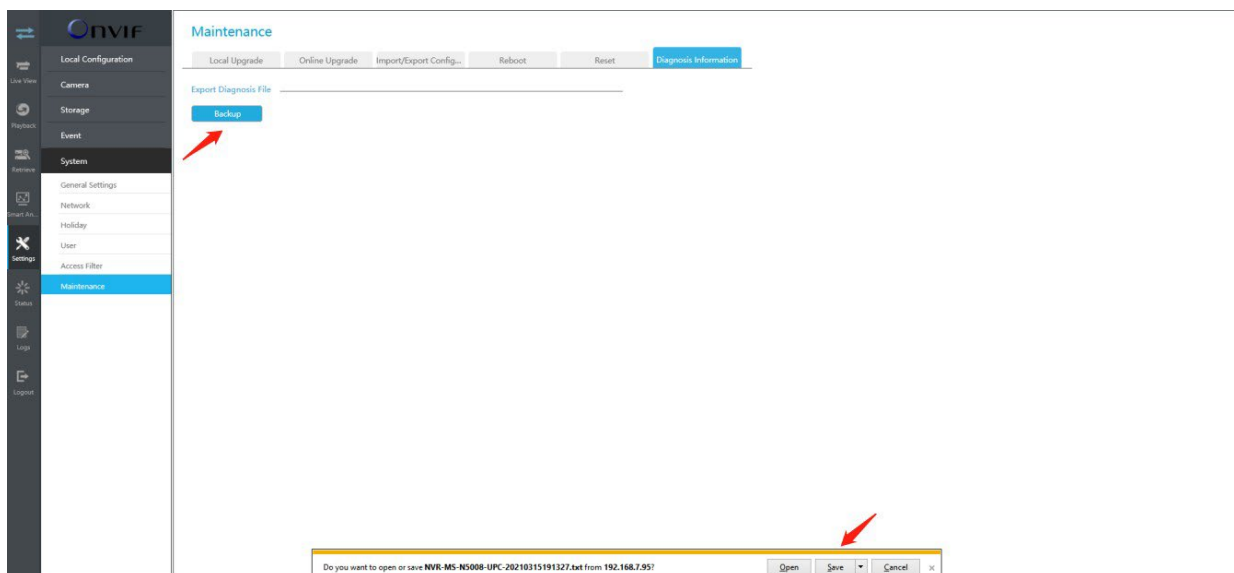
リセット

「リセット」をクリックすると、すべてのパラメータを初期設定に戻すことができます。



診断情報

「バックアップ」をクリックして、診断ファイルをエクスポートします。



3.9.9 ホットスペア

N個のマスターNVRと1個のホット・スペア・スレーブNVRのアーキテクチャとして設定されるN+1ホット・スペアは、ビデオ監視システムのデータの整合性と信頼性を保証します。マスターNVRのいずれかが故障した場合、スレーブNVRがチャンネル情報を引き継ぎ、ビデオ録画を確保します。

一方、故障したNVRが回復すると、スレーブNVRは録画されたデータを送り返します。

マスターモード

ステップ1：ホットスペアモードとしてマスターモードを選択します。

ステップ2：スレーブIPアドレス、スレーブ管理者パスワードを入力し、Applyします。

Hot Spare	
Hot Spare Mode	Master Mode
Slave IP Address	192.168.40.42
Slave Admin Password	*****
Slave Status	Link is up (Ready)

スレーブモード

ステップ 1：ホット スペア モードとしてスレーブ モードを選択し、[適用] をクリックします。NVRは再起動後、正常にスレーブ・モードに変更されます。

ステップ2：最大32のマスターを追加する。

Hot Spare						
Hot Spare Mode	Slave Mode					
Master List						
No.	IP Address	MAC Address	Model			
Refresh		Apply				
Master Status						
No.	IP Address	MAC Address	Model	Connection Status	Working Status	Delete
1	192.168.40.44	1CC3160A7EF4	MS-N7032-UH	Online	Normal	🗑️

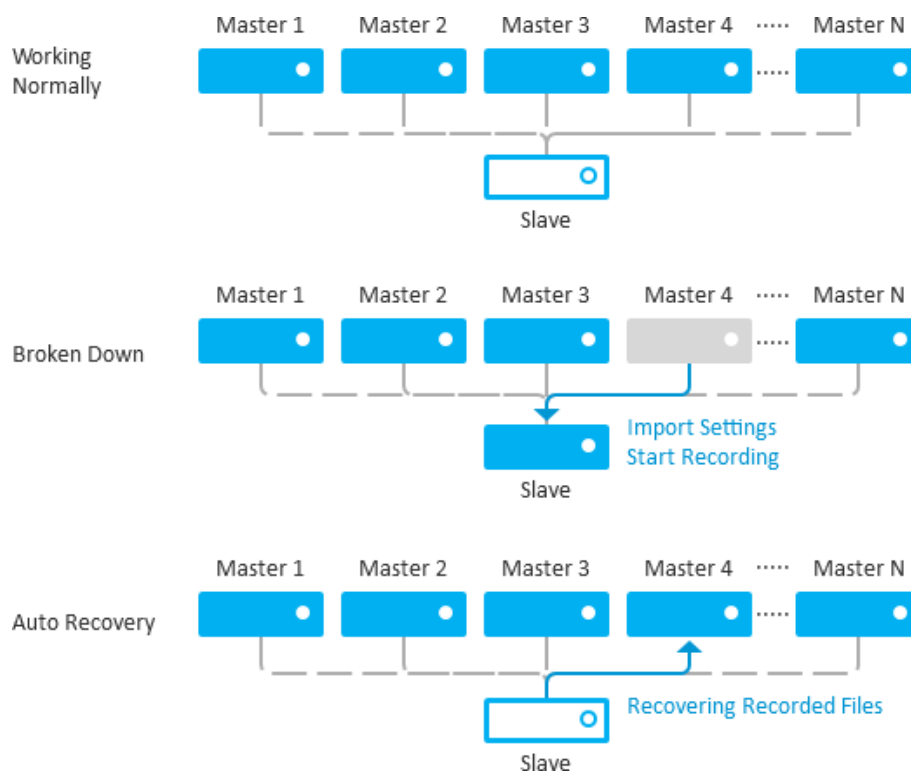
例えば、LAN内に192.168.5.200、192.168.5.201、192.168.5.202 の3台のNVRがあるとします。

192.168.5.200と192.168.5.201をマスターNVRとして設定し、192.168.5.202をスレーブNVRとして設定したい場合です。以下の手順で操作できます。

- 192.168.5.200と192.168.5.201をMaster Modeに設定します。そして、192.168.5.202のIPとアカウント情報をSlaveとして入力します。

- 192.168.5.202をスレーブモードに設定します。そして、192.168.5.200と192.168.5.201をそのマスターリストに追加します。

マスターとスレーブが正常に一致した後、ホットスペア機能が動作し始めます。



注

1. NR7016-UH, NR7032-UH, NR8032-UH, NR8064-UHのみN+1ホットスペア機能をサポートしています。
2. マスターNVRとスレーブNVRを同じNVRモデルでセットアップすることをお勧めします。

3.10 ステータス

デバイス、ネットワーク、カメラ、ディスク、イベントの情報を素早く確認することができます。

参照のみとなります。設定が必要な場合は、該当の項目へ移動し設定してください。

3.10.1 デバイス情報

デバイス情報

デバイス情報には、モデル、MACアドレス、SNアドレス、ハードウェアバージョン、ソフトウェアバージョン、稼働時間が表示されます。

Device Information

	Device Information	About
Model	NR7016-UPH	
MAC Address	1C:C3:16:0A:E8:D2	
SN Address	7420150003	
Hardware Version	V2.0	
Software Version	71.9.1.14	
Uptime	00:55:22 up 26 min	

OSSライセンス

Device Information

Device Information	About
--------------------	-------

Open Source Software Licenses

[View Licenses](#)

「ライセンスの表示」をクリックすると、オープンソースソフトウェアのライセンスが表示されたWebリンクにジャンプします。

```
Legal & Copyright notices and Open Source Software Licenses

1.All software listed herein is provided without any liability or warranty from their copyright holders.
2.All software listed herein is copyright by the respective author. Please see the source code for detailed information.
3.All information here in applies to NETWORK VIDEO RECORDER.
4.This product contains software ("Open Source Software") that is provided to you under open source licenses. Some open source licenses give you the right to obtain a copy of source code.
OFFERS TO PROVIDE SOURCE CODE
This product contains software ("GPL-Licensed Software") that is provided to you under the GNU General Public License ("GPL"). A copy of the GPL is included in this file. You can get a copy of the source code for the gpl-licensed software
E-mail address: achrisjeffik@gsnail.com
Please indicate the model name and the operating system version number. Be sure to provide a return address.
5.Software licensed under the GNU General Public License (GPL) is included in this product. Please check Appendix 3 below for the detail terms of this license. Specifically, the following software included in this product is subject to t
GCC library (note that an exception clause applies, see Appendix 6)
Linux Kernel
buaybox 1.20.2
u-boot
udev 164
PPP - Paul's PPP Package 2.4.5
IP-pptp-3.8
libXesp2
l2adyn
libmp-2.3
6.Software licensed under the GNU General Public License (GPL), Version 3 is included in this product. Please check Appendix 2 below for the detail terms of this license. Specifically, the following software included in this product is a
libiconv-1.14
7.Software licensed under the GNU Lesser General Public License (LGPL), Version 2.1 is included in this product. Please check Appendix 3 below for the detail terms of this license. Specifically, the following software included in this pr
liborip
liborip
8.Software licensed under a modified BSD license is included in this product. Please check Appendix 4 below for the detail terms under which this software is distributed.
CryptoJS 3.1.2
crypto
md5.js
JSON2
uuid
libqmp-1.6.19
9.Software licensed under the MIT license is included in this product. Please check Appendix 5 below for the detail terms of this license. Specifically, the following software included in this product is subject to the MIT license:
jquery.js 4.9.3
jquery.qrcode.js
jquery.mousewheel.js
jquery-ui-slider-pips.js
jquery.qplot.js
jquery.flot.js
jquery.dataTables.js
10.Software copyright by The FreeType Project is included in this product. Please see Appendix 7 below for the terms under which this software is distributed.
freetype-2.6.3
11.Software copyright by The OpenSSL Project is included in this product. Please check Appendix 8 below for the detail terms of this license under which this software is distributed.
OpenSSL 1.0.2h
```

3.10.2 ネットワーク状態

ネットワーク状態には、ネットワーク状態と帯域幅ステータスの3つの主要部分が含まれます。

ネットワーク状態

Network Status

Network Status

Network Test

Receive Bandwidth			
Free	183Mbps	Used	17Mbps

LAN1			
Connection	Link is up - 100Mbps Duplex		
IPv4 DHCP	Disable	IPv6 Mode	Manual
IP Address	192.168.7.103	IPv6 Address	
IPv4 Netmask	255.255.240.0	IPv6 Prefix Length	
IPv4 Gateway	192.168.7.2	IPv6 Gateway	
Preferred DNS Server	8.8.8.8	Alternate DNS Server	
MAC	1C:C3:16:0A:25:F6	MTU	1500
Receive Rate	25.54Mbps	Send Rate	428.06Kbps

LAN2			
Connection	Link is down - 0Mbps Half Duplex		
IPv4 DHCP	Disable	IPv6 Mode	Manual
IP Address	192.168.10.200	IPv6 Address	
IPv4 Netmask	255.255.255.0	IPv6 Prefix Length	
IPv4 Gateway	192.168.10.1	IPv6 Gateway	
Preferred DNS Server	8.8.8.8	Alternate DNS Server	
MAC	1C:C3:16:0A:25:F7	MTU	1500
Receive Rate	0.00Kbps	Send Rate	0.00Kbps

ネットワークテスト

ユーザーは、NVRとカメラやコンピューターなどの宛先アドレス間のネットワーク・ステータスを迅速に把握することができます。

Network Status

The screenshot shows a web interface for 'Network Status'. It has two tabs: 'Network Status' and 'Network Test', with the latter being active. Below the tabs, there is a 'Destination Address' field containing '192.168.14.103'. Underneath, a 'Test Result' section displays the output of a ping command: 'PING 192.168.14.103 (192.168.14.103): 56 data bytes'. This is followed by ten lines of results, each showing '64 bytes from 192.168.14.103: seq=[0-9] ttl=64 time=[various] ms'. At the bottom of the interface, there are two buttons: 'Start' and 'Stop'.

Network Status Network Test

Destination Address 192.168.14.103

Test Result

```
PING 192.168.14.103 (192.168.14.103): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.14.103: seq=0 ttl=64 time=5.084 ms
64 bytes from 192.168.14.103: seq=1 ttl=64 time=0.609 ms
64 bytes from 192.168.14.103: seq=2 ttl=64 time=1.047 ms
64 bytes from 192.168.14.103: seq=3 ttl=64 time=0.666 ms
64 bytes from 192.168.14.103: seq=4 ttl=64 time=1.158 ms
64 bytes from 192.168.14.103: seq=5 ttl=64 time=3.356 ms
64 bytes from 192.168.14.103: seq=6 ttl=64 time=1.758 ms
64 bytes from 192.168.14.103: seq=7 ttl=64 time=1.035 ms
64 bytes from 192.168.14.103: seq=8 ttl=64 time=7.535 ms
64 bytes from 192.168.14.103: seq=9 ttl=64 time=7.950 ms
64 bytes from 192.168.14.103: seq=10 ttl=64 time=22.612 ms
```

Start Stop

3.10.3 カメラ状態

カメラ状態には、チャンネル、名前、IPアドレス、Record、最大フレームレート、ビットレート、解像度、状態が表示されます。

Camera Status

Channel	Name	IP Address	Record	Frame Rate	Bit Rate	Resolution	Status
1	CAM1	192.168.14.102	Off	0fps	0Kbps	0x0	
2	CAM2	192.168.14.103	Off	26fps	4018Kbps	1920x1080	
3	CAM3	192.168.14.104	Off	20fps	3424Kbps	1920x1080	
4	CAM4	192.168.14.105	Off	21fps	8419Kbps	2560x2560	
5	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-	-
14	-	-	-	-	-	-	-
15	-	-	-	-	-	-	-
16	-	-	-	-	-	-	-

3.10.4 ディスクのステータス



ディスクのステータス

ディスクのステータスには、ポート、ベンダー、ステータス、容量（GB）、空き容量（GB）、プロパティが含まれます。

3.10.5 イベント状況

ステータス→イベント状況

カメライベント

































ユーザーはここで、ビデオロス、動体検知、Audio Alarm などのカメライベントを確認できます。対応するアラームが検出されると、 が  に変わります。

Event Status

Camera Event



Alarm

VCA

Channel	Name	IP Address	Video Loss	Motion
1	CAM1	192.168.69.66		
2	CAM2	192.168.69.202		
3	CAM3	192.168.69.60		
4	CAM4	192.168.69.245		
5	CAM5	192.168.69.204		
6	CAM6	192.168.69.203		
7	CAM7			
8	CAM8			
9	CAM9			
10	CAM10			
11	CAM11			
12	CAM12			
13	CAM13			
14	CAM14			
15	CAM15			
16	CAM16			

Alarm Input/Output

NVRに対応する画面がある場合、ユーザーはここでアラーム入出力リストを確認することができます。

は、対応するアラームが検出されると、がに変わります。NVRのアラーム入力または出力については、該当するアラーム入力または出力が最初に表示されます。例えば、1、2など、カメラのアラーム入力または出力については、カメラのチャンネルと対応するアラーム番号に従って、CHx_x（CH1_1など）と表示されます。

Event Status

Camera Event

Alarm

VCA

Alarm Input List

No.	Alarm Name	Alarm Type	Status
1		NO	
2		NO	
3		NO	
4		NO	
5		NO	
6		NO	
7		NO	
8		NO	

Alarm Output List

No.	Alarm Name	Alarm Type	Dwell Time	Status
1		NO	5s	
2		NO	5s	
3		NO	5s	
4		NO	5s	
CH1_1		-	-	-
CH1_2		-	-	-
CH2_1		-	-	-
CH2_2		-	-	-

スマートイベント

スマートイベントのステータスを表示します。対応するアラームが発生した場合、 が に変わります。

Event Status

Camera Event

Alarm

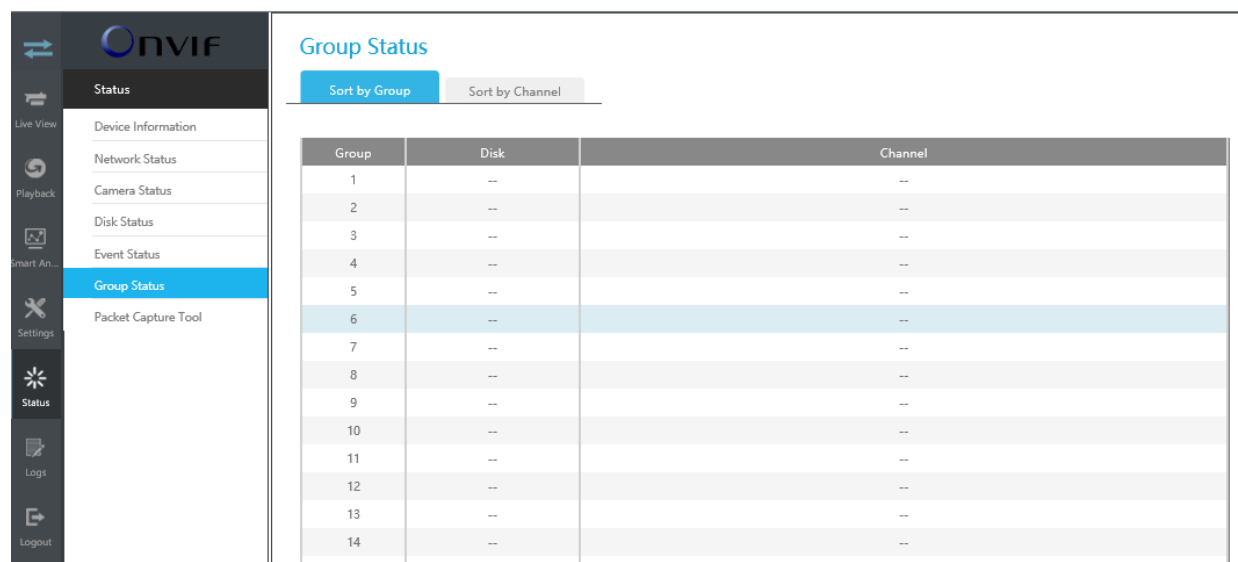
VCA

Channel	Name	IP Address	Region Entrance	Region Exiting	Advanced Motion Detection	Tamper Detection	Line Crossing	Loitering	Human Detection	Object Left/Removed
1	CAM1	192.168.69.66								
2	CAM2	192.168.69.202								
3	CAM3	192.168.69.60								
4	CAM4	192.168.69.245								
5	CAM5	192.168.69.204								
6	CAM6	192.168.69.203								
7	CAM7									
8	CAM8									
9	CAM9									
10	CAM10									
11	CAM11									
12	CAM12									
13	CAM13									
14	CAM14									
15	CAM15									
16	CAM16									

3.10.6 グループステータス

ステータス→グループステータス

グループのステータスを確認します。作成されたすべてのグループのステータスを、グループまたはチャンネルごとに並び替えすることができます。



Group	Disk	Channel
1	--	--
2	--	--
3	--	--
4	--	--
5	--	--
6	--	--
7	--	--
8	--	--
9	--	--
10	--	--
11	--	--
12	--	--
13	--	--
14	--	--

3.10.7 オンラインユーザー

ステータス→オンラインユーザー

リアルタイムでNVRにリモート接続しているユーザーは、オンライン・ユーザーに一覧表示することができます。リストには、ユーザー名、ユーザー・レベル、IPアドレス、ユーザー、ログイン時間が表示されます。

ONVIF

Status

- Device Information
- Network Status
- Camera Status
- Disk Status
- Event Status
- Group Status
- Online User**
- Packet Capture Tool

Live View

Playback

Retrieve

Smart A.

Settings

Status

Logs

Logout

Online User

Refresh

No.	User Name	User Level	IP Address	User Login Time	Add to Access Filter
1	admin	Admin	192.168.7.25	2021-06-25 00:45:00	

IPアドレスは、オンラインユーザー画面から直接Access Filter画面に追加することができます。

Online User

Refresh


No.	User Name	User Level	IP Address	User Login Time	Add to Access Filter
1	admin	Admin	192.168.7.25	2021-06-24 02:23:09	<input type="checkbox"/>



3. 10. 8 パケットキャプチャツール

ステータス→パケットキャプチャツール

IP、ポートを入力してパスを選択し、[開始]をクリックしてキャプチャを開始し、[終了]をクリックして停止します。キャプチャされたパッケージは、選択したパスに保存されます。

 注：ローカルモニター側で3分以内のパケットをキャプチャすることをお勧めします。

3. 10. 9 ログ

ログ画面では、ログの確認、検索、エクスポートが可能です。開始時間、終了時間、チャンネル、メインタイプ、サブタイプを選択すると、ログの規模を絞り込むことができ、必要なログを検索することができます。

No.	Main Type	Time	Sub Type	Parameter	Channel	User	Remote Host IP	Details
1	Event	2020-11-26 22:01:04	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
2	Event	2020-11-26 22:01:04	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
3	Event	2020-11-26 22:00:54	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
4	Event	2020-11-26 22:00:54	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
5	Event	2020-11-26 22:00:44	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
6	Event	2020-11-26 22:00:44	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
7	Event	2020-11-26 22:00:34	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
8	Event	2020-11-26 22:00:34	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
9	Event	2020-11-26 22:00:24	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
10	Event	2020-11-26 22:00:24	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
11	Event	2020-11-26 22:00:14	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
12	Event	2020-11-26 22:00:14	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
13	Event	2020-11-26 22:00:04	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
14	Event	2020-11-26 22:00:04	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
15	Event	2020-11-26 21:59:54	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
16	Event	2020-11-26 21:59:54	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
17	Event	2020-11-26 21:59:44	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
18	Event	2020-11-26 21:59:44	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
19	Event	2020-11-26 21:59:34	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
20	Event	2020-11-26 21:59:34	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
21	Event	2020-11-26 21:59:24	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
22	Event	2020-11-26 21:59:24	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
23	Event	2020-11-26 21:59:14	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
24	Event	2020-11-26 21:59:14	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
25	Event	2020-11-26 21:59:04	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
26	Event	2020-11-26 21:59:04	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
27	Event	2020-11-26 21:58:54	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
28	Event	2020-11-26 21:58:54	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
29	Event	2020-11-26 21:58:44	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
30	Event	2020-11-26 21:58:44	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
31	Event	2020-11-26 21:58:34	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
32	Event	2020-11-26 21:58:34	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
33	Event	2020-11-26 21:58:24	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
34	Event	2020-11-26 21:58:24	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
35	Event	2020-11-26 21:58:14	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
36	Event	2020-11-26 21:58:14	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
37	Event	2020-11-26 21:58:04	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
38	Event	2020-11-26 21:58:04	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
39	Event	2020-11-26 21:57:54	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
40	Event	2020-11-26 21:57:54	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
41	Event	2020-11-26 21:57:44	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
42	Event	2020-11-26 21:57:44	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
43	Event	2020-11-26 21:57:34	Stop Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍
44	Event	2020-11-26 21:57:34	Start Motion Detection	N/A	2	admin	192.168.7.20	🔍

検索したログをメディアデバイスにエクスポートする場合は、「エクスポート」をクリックします。

特に、以下の種類のイベントについては、イベントの対象となった被写体の情報がログ情報に表示されます。

- 侵入検知
- 退出検知
- 高度なモーション検知
- ラインクロス
- 徘徊検知

Details

Time:

Type:

Local User:

Remote Host IP:

Parameter:

Channel:


Log Information:

Channel:4

Stream Type: Primary Stream

Detection Object:Human

3.11 ログアウト

現在のアカウントを終了するには、 をクリックします。

Message from webpage ×

 Log out?

OK

Cancel